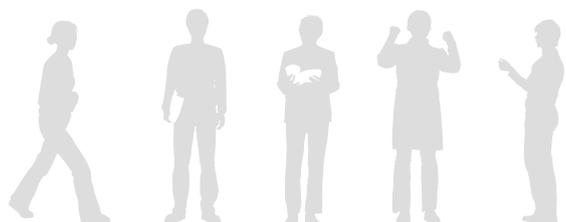
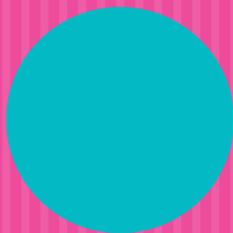
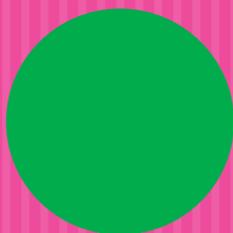


学 生 便 覧

HAND BOOK 2018



履修のてびき・時間割



学 生 諸 君 へ

岡山商科大学 教学部長

－ 受講態度の改善に関するお願い －

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる授業や生活に、期待と不安とが交錯しているかと思います。

また、在学生の皆さんは新たな年度に意欲を燃やしていることと思います。

毎年、年度初めのこの時期に、学生諸君に向け、下記のようなお願いと呼びかけをしています。

本学は、以下のような改善活動に取り組んでいます。

(1) キャンパス内の環境美化改善活動

- ① 本学事務職員が中心となり、キャンパス内を毎朝清掃しています。
- ② 「クリーン作戦」と称し、学生および教職員がともに、キャンパス内を清掃しています。
- ③ 施設課職員が常時キャンパス内の美化・緑化に努めています。

(2) 3M（マナー、モラル、モチベーション）運動の展開

学生あるいは社会人として当然身につけておかなければならない礼儀や道徳感を涵養したり、勉学意欲の高揚をめざす運動です。

こうした改善活動の輪をさらに広げるため、教学部では、授業中における受講態度の改善に取り組んでいます。学生諸君の協力に感謝するとともに、今後も、本学における授業環境の改善にご協力頂くようお願いいたします。

* 授業中において、以下の行為を禁止します。

- ① 私語
- ② 飲食
- ③ 携帯電話の使用（電源を切ってカバンの中に入れておく）
- ④ 教材の不携帯による受講
- ⑤ 遅刻・早退・勝手な出入り
- ⑥ 着帽（特別な場合を除く）
- ⑦ その他受講者として望ましくない行為（居眠り等）

上記の行為は、いずれも受講者が慎むべき当然のマナーやモラルと考えます。これらの行為に対しては、今後講義を担当するすべての教員により指導が徹底されます。もし、その指導に従わない場合、教員の判断により退室等の指示が下されることもあることを心得ておいてください。

以上

2018 (平成30) 年度

学生便覧



OKAYAMA SHOKA UNIVERSITY

法学部 法学科

経済学部 経済学科

経営学部 [経営学科]
[商学科]

〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1

TEL (086) 252-0642(代)

FAX (086) 255-6947

URL <http://www.osu.ac.jp/>

目 次

沿 革	5 頁
学 歌	6
岡山商科大学の目的、建学の精神等	7
岡山商科大学基本方針	8
岡山商科大学のポリシー	9
教育職員紹介	11

I 履修のてびき

年間行事予定表	16
はじめに（教学部からのお知らせ）	20
授業（講義）について	22
履修の基本事項	23
履修登録について	25
履修中止について	31
演習科目の履修について	32
アジアビジネス・プログラムについて	38
外国語の到達目標について	39
英語の履修について	40
英語以外の外国語の履修について	42
健康教育科目の履修について	43
簿記の履修について	44
特別演習の履修について（経済学部対象）	44
他学部・他学科授業科目の履修について（法学部は除く）	45
定期試験・追試験・再試験について	46
成績評価について	49
卒業レポート・卒業論文・卒業について	52
教職課程について（2009年度以後入学生用）	53
学芸員課程について	74
特別単位認定科目について	76
1. 自己開拓によるインターンシップ（教務課取扱い）	77
2. 実践学習（教務課取扱い）	78
3. 実践学習《慶應MCC夕学講座》（社会総合研究所取扱い）	79
4. インターンシップ（キャリアセンター課取扱い）	80
学生相互交流制度による派遣聴講生について	81
大学コンソーシアム岡山について	82
松山大学・甲南大学との単位互換制度について（経営学部対象）	83
ファイナンシャル・プランニング技能士について	84
行政書士講座について	84

社会調査士について（経済学部・経営学部対象）	85
社会福祉主事（任用資格）について	87
公務員試験対策講座について	88
資格取得支援「商大塾」について	89

Ⅱ 各学科インフォメーション

法学部

法学科 2011年度以後入学生用	97
法学科インフォメーション	99
コースと履修モデル	100
履修届作成の手順	108

経済学部

経済学科 2009年度以後入学生用	117
経済学科インフォメーション	119
履修届作成の手順	128

経済学科 2017年度以後入学生用

履修細則	129
教養科目配当表	130
専門科目配当表	132

経済学科 2016年度入学生用

履修細則	138
------	-----

経済学科 2009～2015年度入学生用

履修細則	139
教養科目配当表	140

経済学科 2013～2016年度入学生用

専門科目配当表	142
---------	-----

経営学部

経営学科 2009年度以後入学生用	147
経営学科インフォメーション	149
履修届作成の手順	152

経営学科 2013年度以後入学生用

履修細則	153
教養科目配当表	154
専門科目配当表	156

経営学科 2009～2012年度入学生用

履修細則	159
教養科目配当表	160
専門科目配当表	162

商学科 2009年度以後入学生用

商学科インフォメーション	167
履修届作成の手順	172

商学科 2013年度以後入学生用	
履修細則	173
教養科目担当表	174
専門科目担当表	176
Ⅲ 時 間 割	179
時間割の見方について	181
曜日・時限別時間割	183
担当者別時間割	211
講義案内システム操作マニュアル	(1)

沿 革

沿 革

岡山商科大学は、学校法人吉備学園が設立した4年制の大学です。1965年4月、岡山市津島京町に設立された岡山商科大学は、開学当初は商学部商学科のみでしたが、1991年に法経学部法学科・経済学科、1995年に大学院修士課程を設置、そして、2005年には商学部、法学部、経済学部の3学部体制となりました。さらに2009年には、商学部を改組し、経営学部経営学科・商学科を設置して現在に至っています。2015年には創立50周年を迎え、50周年記念室を井尻記念館に開設（2017年）しました。

その歴史は古く、前身は、1911年3月に設立された吉備商業学校（岡山市南方）まで遡ります。産業教育の一翼を担うことを目的として同校を設立した学校法人吉備学園は、1948年4月に吉備高等学校（1994年4月岡山商科大学附属高等学校と改称）、ついで1955年3月には、吉備商科短期大学を設立（1957年1月岡山商科短期大学と改称、1966年3月廃止）。そして、1965年4月、産業教育における50有余年の歴史と伝統を基調として設立されたのが、岡山商科大学です。

年 譜

1965年 1月25日	岡山商科大学設置認可
1965年 4月 1日	岡山商科大学商学部商学科開学
1971年 4月 1日	商学部産業経営学科設置
1972年 3月10日	附属図書館完成
1972年 4月 1日	附属経営研究所設置
1991年 4月 1日	法経学部法学科・経済学科設置
1995年 4月 1日	大学院商学研究科商学専攻修士課程設置
1997年 4月 1日	商学部国際観光学科設置
1998年 4月 1日	大学院法学研究科法学専攻修士課程設置 大学院経済学研究科経済学専攻 修士課程設置
1999年 4月 1日	附属経営研究所を社会総合研究所に改称
2003年 4月 1日	情報教育センター、会計教育センター設置
2005年 4月 1日	商学部会計学科、法学部法学科、経済学部経済学科設置、地域再生支援センター設置
2007年 4月 1日	産学官連携センター設置
2007年11月25日	岡山商科大学孔子学院設立
2009年 4月 1日	商学部を経営学部に変更、経営学部経営学科・商学科を設置
2015年 5月23日	創立50周年記念式典、祝賀会を開催
2017年 3月16日	50周年記念室を開設（井尻記念館2階）

岡 山 商 科 大 学 学 歌

♩ = 100

やまむらさきにのひろくとぶ
よしらさぎそらのもとみ
よーやおかやましょうだいをこー
ここにたまありたからありしょうだいしょうだいわれらがほこー

(故本学名誉教授)

有本芳水 作詞
野上義臣 作曲

一 山紫に野は広く

とぶよ白鷺空のもと

見よや岡山商大を

ここに珠あり宝あり

商大 商大 われらが母校

二 若き命の朝ほらけ

くれない匂ふ頬をあげて

空もとどろに声高く

賛えよあまねき栄光を

商大 商大 われらが母校

三 紺碧の空かがやかに

光まばゆき日輪を

仰いで行けよ若人よ

勝利はわれらとともにあり

商大 商大 われらが母校

四 心の虹をうちかけて

大地を蹴りて進むとき

雄々しきかなや実在の

王座は近し若人よ

商大 商大 われらが母校

岡山商科大学の目的、建学の精神等

<目的>(学則第1条の1)

- 法律、経済及び経営に関する専門的学術の教授、研究及び社会貢献によって、社会、国家及び人類のために、有為な人材を育成する

<建学の精神>(学則第1条の2)

- **中正な思想**を涵養し、広い視野をもって社会に貢献しうる人物の養成
- 学問と真理とに対して謙虚な情熱と不屈のファイトをもつ人物の養成
- 産業の現実に関心を持ち、文化的知性をそなえ、創造的に社会の発展を指向する人物の養成

<使命・目的>(学則第1条の3)

- 中正な思想を有する人材の育成、真理を探究する不屈の精神の涵養、産業・社会との連携と貢献

<教育理念>(学則第1条の4)

- 社会事象を的確に捉え、分析し、解決する能力を備えた心豊かな人材の育成

<教育目標>(学則第1条の5)

- 幅広い学習機会の提供
「社会事象を的確に捉える」ためのスタンド・ポイントを築くことができるように、幅広い学習の機会を提供する。
- 専門学術の振興
「社会事象を分析し、解決できる能力を備える」ための専門学術を振興し、豊かな知識に裏付けられた鋭い洞察力と問題解決能力を身につけることができるようにする。
- 社会的人材の育成
「心豊かな人材」でありうるために、社会での役割を認識し、これに積極的に取り組むことの意識を理解できるようにする。

岡山商科大学基本方針

I. 建学の精神

思想	人材
中正な思想	広い視野 社会に貢献
学問と真理	謙虚な情熱 不屈のファイト
産業の現実	文化的知性 創造的に社会の発展

II. 本学の目的

法律、経済、経営の分野で、
教育、研究、社会貢献により、
社会、国家、人類のために有為な人材を育成

III. 大学の使命・目的

- ① 中正な思想を有する人材の育成
- ② 真理を探究する不屈の精神の涵養
- ③ 産業・社会との連携と貢献

IV. 教育理念

社会事象を的確に捉える人材の育成
社会事象を分析し、解決する能力を備える人材の育成
心豊かな人材の育成

V. 教育目標

幅広い学習機会の提供 スタンド・ポイントの構築
専門学術の振興 鋭い洞察力と問題解決能力の修得
社会的な人材の育成 社会での役割認識と積極的に取り組む意識の理解

VII. 中長期目標

多様化社会への大学の質的転換
①アウトカムを重視した3つの方針展開
②個性化した多様な学生の育成体制
③教育・研究の「見える化」による学内外との連携
④国際化への対応

VI. 本学の個性・特色(現状)

- ①社会事象に対する実践力・専門力の涵養
4年一貫ゼミ、学部改組、専攻改革
- ②社会と呼吸する大学としての地域連携・貢献
地域商大サテライトの設置
フィールドスタディの実施
- ③教育研究体制の整備
外部資金(科研費、文科省公募事業、企業等)
- ④国際交流の推進
本学・国内他大学 大学院進学者数

VIII. 中長期展開目標

3つのポリシー展開(※) 重点施策

ディプロマポリシー 社会人 高度職業人 大学院への進学	重点施策 ①教員の教育・研究・社会貢献力 活動レベルの見える化 教育・研究環境の改善 ②学生支援力 フィールドスタディ キャリア教育 国内外でのインターンシップ 高度資格取得 ③募集力 高大連携アドバイザーの強化 学生生活・教育・研究内容の見える化 各種入試特待生制度 ④国際力 東南アジアの国々との連携
カリキュラムポリシー 実践力 専門力	
アドミッションポリシー 多様な学生の受け入れ	

IX. 学部学科の教育目標

各学部・学科は以下の知識、能力を有する人材を育成する。

- ①法学部法学科
基本的な法知識と解釈能力
- ②経済学部経済学科
経済に関する専門知識
- ③経営学部経営学科
企業という組織の中で 創造的に貢献できる能力
- ④経営学部商学科
ビジネスにおける総合的理解力と専門的実行力

岡山商科大学のポリシー

2013年9月11日 制定
2014年4月01日 実施
2017年4月01日 改訂

ディプロマポリシー(DP)

1. 学位授与の基本方針

岡山商科大学では、「教育理念」において社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ(文化的知性)を有する人材の育成をすることと定めており、これを具現化するために、次に示す「学力の3要素」の9項目に関して学修目標を達成した学生に対して、客観的な評価をし、学位を授与する。

なお、本学では就職率100%を目指して、各学部学科ではDP9項目の到達目標を達成し、社会で活躍できる人材を育成する。

その際、各学部学科において、次に示すDP9項目に関して、履修すべき科目、単位、達成目標について示している。

2. DPで習得すべき「学力の三要素」の9項目

学力の三要素		事項	ディプロマ・ポリシー(DP)	
1	知識・技能	専門知識	DP1	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の習得
		一般知識	DP2	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の習得
2	思考力・判断力・表現力	思考力	DP3	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の習得
		判断力	DP4	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の習得
		会話・文章力	DP5	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の習得
3	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・態度)	意欲・責任感	DP6	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の習得
		協調性	DP7	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの習得
		持続性	DP8	生涯にわたって学び続けようとする態度の習得
		倫理観	DP9	社会のルールを守る倫理観の習得

3. 履修すべき科目と単位

下記本学ホームページで確認してください
<http://www.osu.ac.jp/annai/index.html>

カリキュラムポリシー(CP)

1. 教育課程の基本方針

岡山商科大学では、「教育理念」に基づき社会事象を的確に捉え、分析し、創造的に問題を解決することができ、かつ、心豊かさ(文化的知性)を有する人材を育成するために、DP9項目を考慮したカリキュラム、シラバス、評価方法を整備し、学生が学習できる体制を整えている。

なお、評価の指針(アセスメントポリシー)については、評価手段(試験、レポート、成果発表等)毎に、DP9項目(○を付けた項目)について学習目標値(%)を示すこととする。

2. 教育目標

岡山商科大学の掲げる「教育目標」は、「学力の3要素」に基づき、DP9項目を基準にして、CP9項目を構成している。

- (1) 幅広い学習機会の提供(知識・技能)(思考力・判断力・表現力)(主体性・態度)
- (2) 専門学術の振興
鋭い洞察力と問題解決能力の修得 (知識・技能)(思考力・判断力・表現力)
- (3) 社会的人材の育成
社会での役割認識と積極的に取組む意識の理解(主体性・態度)

3. CPで学習すべき「学力の3要素」の9項目

CP9項目では、DP9項目の内容との一貫性を確保するために語尾の「習得」を「学習」にしている。

学力の三要素		事項	カリキュラム・ポリシー(CP)	
1	知識・技能	専門知識	CP1	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習
		一般知識	CP2	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習
2	思考力・判断力・表現力	思考力	CP3	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習
		判断力	CP4	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習
		会話・文章力	CP5	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習
3	主体性・態度(様々な人々と協働して多様な個性を持つ)	意欲・責任感	CP6	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習
		協調性	CP7	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習
		持続性	CP8	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習
		倫理観	CP9	社会のルールを守る倫理観の学習

4. 岡山商科大学の教育の特色

下記本学ホームページで確認してください
<http://www.osu.ac.jp/annai/index.html>

教育職員紹介

(50音順)

教 授



天野雅敏
〔商業史〕



粟屋剛
〔医事法〕



伊藤治彦
〔行政法〕



大崎紘一
〔生産管理論〕



大谷崇正
〔健康教育〕



長田貴仁
〔経営学〕



蒲和重
〔証券市場論〕



川本和則
〔財務諸表論〕



岸田芳朗
〔地域づくり論〕



岸本雅之
〔ドイツ語〕



九鬼一人
〔哲学〕



小松原実
〔情報技術論〕



佐井至道
〔市場調査論〕



佐藤豊信
〔農業経済学〕



宍戸圭介
〔憲法〕



肖爽
〔中国語〕



駿河輝和
〔経済政策〕



大東正虎
〔経営情報〕



高林宏一
〔ファイナンシャルプランニング〕



田中勝次
〔国際金融論〕



田中潔
〔情報システム論〕



田中康秀
〔ミクロ経済学〕



陶静
〔管理会計論〕



鳴滝善計
〔投資信託・資産運用〕



西敏明
〔経営統計学〕



西浦公
〔憲法〕



伴恒信
〔教職課程〕



ピーター・バーデン
〔英語〕



古川澄明
〔経営学〕



前田健一
〔教職課程〕



松井 温文
〔商業経営論〕



三谷 直紀
〔労働経済学〕



三好 宏
〔商学〕



吉田 信
〔教職課程〕

特任教授



福本 明
〔学芸員課程〕

准教授



井尻 裕之
〔金融論〕



内田 浩徳
〔税務会計論〕



于 琳
〔国際企業論〕



大石 貴之
〔観光地理学〕



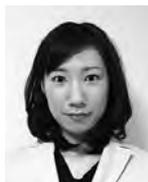
海宝 賢一郎
〔ファイナンシャルプランニング〕



香月 恵里
〔ドイツ語〕



加藤 真也
〔環境経済学〕



加藤 友佳
〔税法〕



加藤 摩耶
〔刑法〕



島田 伸夫
〔情報処理概論〕



白井 諭
〔刑事訴訟法〕



砂川 和泉
〔国際法〕



全 円子
〔ハンゲル〕



田村 直樹
〔マーケティング〕



中原 敬介
〔英語〕



埜村 紳二
〔政治学〕



松浦 美佐子
〔英語〕



箕輪 弘嗣
〔情報システム技術〕



山下 賢二
〔国際経済学〕



横澤 幸宏
〔経営戦略論〕



黎 晓妮
〔中国語〕



渡邊 憲二
〔生産マネジメント学〕

講 師



青木 隆
〔健康教育〕



石原 憲
〔芸術〕



王 蔓柳
〔中国語〕



川合一 央
〔経営史〕



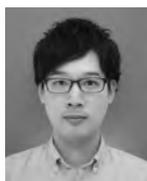
吉良 友人
〔簿記論〕



國光 類
〔社会保障論〕



倉持 弘
〔民法〕



佐々木 昭洋
〔経済政策〕



徐 沈 廷
〔観光学〕



陳 惠 貞
〔企業統治論〕



中山 秀木
〔商法・経済法〕



樋上 潔
〔教職課程〕



両角 成 広
〔西洋経済史〕

助 教



菊川 顕
〔健康教育〕



鬼頭 祐紀
〔民法〕



湯 文
〔日本語教育〕



西 春 奈
〔マーケティング〕



渡辺 寛之
〔金融工学〕

大学院特任教授



青井 秀夫
〔法哲学〕

I 履修のてびき

2018年度年間行事予定表（前期）

カレンダー		行事内容		日 時					
日	月	火	水	木	金	土	日	時	
							3月26日	(月) ~ 4月5日 (木)	
							4月3日	(火)	
4	月	8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
		22	23	24	25	26	27	28	
		29	30					4月6日	(金)
							4月2日	(月) ・ 4月4日 (水) ~ 10日 (火)	
							4月2日	(月)	
							4月4日	(水) ・ 5日 (木)	
5	月	6	7	8	9	10	11	12	
		13	14	15	16	17	18	19	
		20	21	22	23	24	25	26	
		27	28	29	30	31			
							4月6日	(金)	
							4月6日	(金)	
							4月6日	(金)	
							4月9日	(月)	
							4月10日	(火)	
6	月	3	4	5	6	7	8	9	
		10	11	12	13	14	15	16	
		17	18	19	20	21	22	23	
		24	25	26	27	28	29	30	
							4月10日	(火)	
							4月10日	(火)	
							4月10日	(火)	
							4月11日	(水)	
							4月5日	(木) ~ 4月11日 (水)	
							4月13日	(金) ~	
							4月20日	(金)	
							5月2日	(水)	
							6月1日	(金) ~ 6月5日 (火)	
							5月下旬 ~ 6月下旬		

カレンダー		行事内容		日時				
日	月	火	水	木	金	土	日	時
1	2	3	4	5	6	7	7月3日	(火)
8	9	10	11	12	13	14	7月13日	(金)
15	16	17	18	19	20	21	7月17日	(火)
22	23	24	25	26	27	28	7月19日	(木)
29	30	31					7月25日	(水)
							7月26日	(木)～8月1日(水)
							8月1日	(水)
			1	2	3	4	8月2日	(木)～8月6日(月)
5	6	7	8	9	10	11	8月20日	(月)
12	13	14	15	16	17	18	8月21日	(火)～
19	20	21	22	23	24	25	8月2日	(木)～9月14日(金)
26	27	28	29	30	31		8月上旬～9月中旬	
							9月3日	(月)
							9月4日	(火)
							9月6日	(木)
							9月13日	(木)
							9月3日	(月)～9月13日(木)
							9月14日	(金)
							9月18日	(火)
							9月13日	(木)～9月20日(木)
							9月18日	(火)～
							9月25日	(火)
							9月26日	(水)

日	月	火	水	木	金	土	行事内容
							実践学習(教務課取扱)前期申請締切り(16時30分まで)
							前期卒業論文提出締切り(16時まで)*経営学部
							振替講義日〔火曜日の授業は無しで月曜日の授業を行います。〕
							学芸員課程説明会(12時20分～)※1・2年次生のみ
							前期講義終了
							前期定期試験
							学芸員課程申込み締切り(16時30分まで)※1・2年次生のみ
							追・再試験申込み期間(16時30分まで)
							追・再試験日程発表(10時～)
							追・再試験開始
							夏季休業
							博物館実習(4年次生)
							金融総合教育プログラム説明会(在学生)(15時～)
							金融総合教育プログラム説明会(在学生)(15時～)
							他学部・他学科履修申込み締切り(16時30分まで)
							金融総合教育プログラム申込み締切り(在学生)(16時30分まで)
							Web履修登録期間(16時30分まで)
							前期学位記授与式(10時～)
							後期講義開始
							テキスト販売(11時45分～15時まで)
							履修確認書配布
							振替講義日〔火曜日の授業は無しで月曜日の授業を行います。〕
							履修工率一訂正締切り(16時30分まで)

2018年度年間行事予定表（後期）

カレンダー		行事内容	日 時																																										
10月	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">日</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">月</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">9</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">11</td><td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">15</td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">19</td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">22</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">25</td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">27</td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">29</td><td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	日	1	2	3	4	5	6	月	7	8	9	10	11	12		13	14	15	16	17	18		19	20	21	22	23	24		25	26	27	28	29	30		31						<p>振替講義日〔水曜日の授業は無しで月曜日の授業を行います。〕</p> <p>大学祭</p> <p>大学祭に伴う休講日</p> <p>振替講義日〔木曜日の授業は無しで月曜日の授業を行います。〕</p>	<p>10月10日（水）</p> <p>10月20日（土）～10月21日（日）</p> <p>10月19日（金）、22日（月）</p> <p>10月25日（木）</p>
日	1	2	3	4	5	6																																							
月	7	8	9	10	11	12																																							
	13	14	15	16	17	18																																							
	19	20	21	22	23	24																																							
	25	26	27	28	29	30																																							
	31																																												
11月	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">日</td><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">3</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">月</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">11</td><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">18</td><td style="text-align: center;">19</td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">22</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">24</td><td style="text-align: center;">25</td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">29</td><td style="text-align: center;">30</td><td style="text-align: center;">31</td><td></td><td></td> </tr> </table>	日	1	2	3				月	4	5	6	7	8	9		10	11	12	13	14	15		16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27		28	29	30	31			<p>履修中止期間（16時30分まで）</p> <p>防災訓練の日（14時～15時）</p> <p>振替講義日〔火曜日の授業は無しで金曜日の授業を行います。〕</p> <p>創立記念日</p>	<p>11月5日（月）～11月7日（水）</p> <p>11月14日（水）</p> <p>11月20日（火）</p> <p>11月25日（日）</p>
日	1	2	3																																										
月	4	5	6	7	8	9																																							
	10	11	12	13	14	15																																							
	16	17	18	19	20	21																																							
	22	23	24	25	26	27																																							
	28	29	30	31																																									
12月	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">日</td><td style="text-align: center;">1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">月</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">9</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">11</td><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">15</td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">18</td><td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">22</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">24</td><td style="text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">27</td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">29</td><td style="text-align: center;">30</td><td style="text-align: center;">31</td> </tr> </table>	日	1						月	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13		14	15	16	17	18	19		20	21	22	23	24	25		26	27	28	29	30	31	<p>冬季休業</p>	<p>12月25日（火）～1月4日（金）</p>
日	1																																												
月	2	3	4	5	6	7																																							
	8	9	10	11	12	13																																							
	14	15	16	17	18	19																																							
	20	21	22	23	24	25																																							
	26	27	28	29	30	31																																							

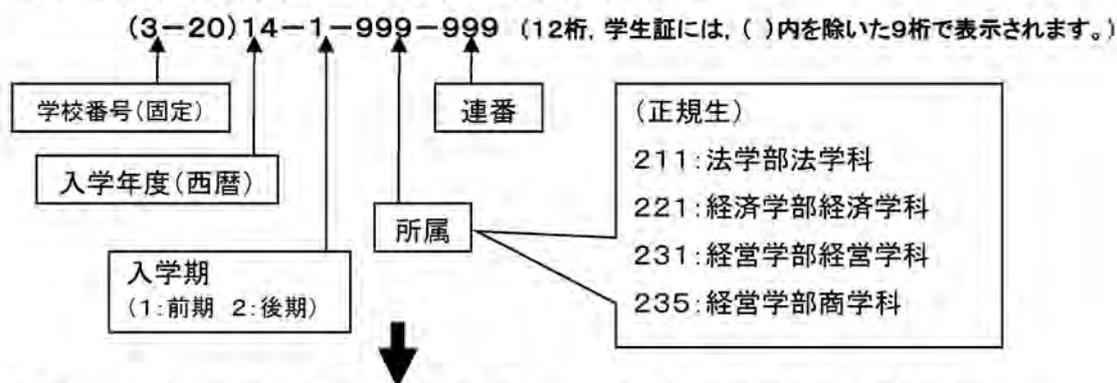
カレンダー		行事内容		日時		
日	月	火	水	木	金	土
	1	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11
1	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30	31	
	日	月	火	水	木	金
	1	2				
2	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	
	日	月	火	水	木	金
	1	2				
3	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					
実践学習（教務課取扱）後期申請締切り（16時30分まで）						
卒業論文提出締切り（16時まで）*経営学部						
振替講義日〔水曜日の授業は無しで金曜日の授業を行います。〕						
教職課程説明会（16時30分～）						
学芸員課程説明会（16時30分～）※1・2年次生のみ						
臨時休講日（センター試験準備）						
後期講義終了						
後期定期試験						
教職課程申込み締切り（16時30分まで）						
学芸員課程申込み締切り（16時30分まで）※1・2年次生のみ						
追・再試験申込み期間（16時30分まで）						
追・再試験日程発表（10時～）						
追・再試験開始						
講義概要等Web上公開予定						
卒業生判定会議						
在学生進級・留年判定会議						
学位記授与式（10時～）						
学生便覧・学生手帳配布開始						
他学部・他学科履修申込み締切り（16時30分まで）						
金融総合教育プログラム説明会（在学生）（15時～）						
金融総合教育プログラム説明会（在学生）（15時～）						
Web履修登録期間（16時30分まで）						

はじめに（教学部からのお知らせ）

（１）学籍番号について

学籍番号とは、学生一人ひとりに付与される識別番号のことを言います。本学の学生であることを証明する番号でもあります。各種問い合わせ等の際に必ず必要になる番号です。（学籍番号は、学生証に記載されていますので、常に携帯するように心がけてください。）

■学籍番号の見方（2009～2014年度入学生）■



■新表示（2015年度入学生から）（例）320181999999

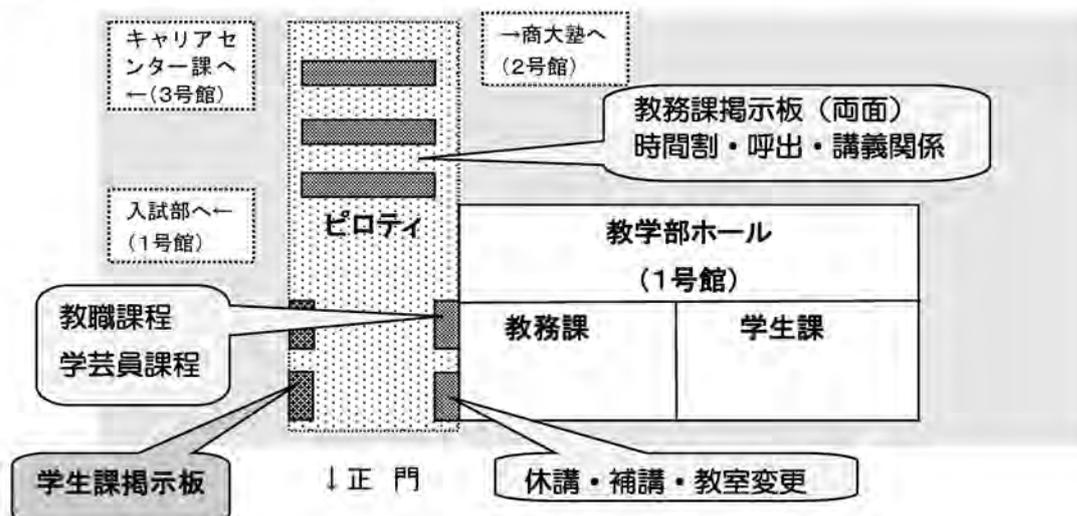
2015年度入学生の学生証から学籍番号の表示が、先頭に“320”をつけたフル表示に変更となりました。なお、下3桁の数字はランダムな数字となります。

（２）掲示（伝達・連絡）について

学生の皆さんへの伝達・連絡は基本的に掲示で行います。掲示内容は各自で確認したものと見なされますので、見落としのないよう、毎日必ず確認をしてください。（教学部以外の掲示板も確認するようにしてください。）

なお、現在は掲示板と平行して、携帯電話等へのメール配信での連絡も行っています。（内容によってはメールあるいは掲示でのみ行われる場合もあります。）巻末の【講義案内システムマニュアル】を見て、必ずメール登録、また変更した場合には再登録をしてください。

■教学部関係 掲示板案内■



(3) 事務取扱時間について

事務取扱時間は、通常下記のとおりとなります。

平日(月曜～金曜) 8:30～16:30

※ ただし、講義日および定期試験期間中は18時まで行います。

※ 時間外、土・日・祝日および大学一斉休業期間中の取扱いはしません。

授業(休講・補講・教室変更・時間割等)・履修・成績に関することは、**教務課へ**
学籍・奨学金・成績および在学証明書・その他学生生活全般に関することは、**学生課へ**

※ 各課で事務取扱内容が異なりますので、注意してください。

(4) 学生談話室について

学生が自由に利用できる学生談話室を**2号館1階**に設けています。

利用時間: **9時～18時**

★お互いにマナーを守って、気持ちよく利用しましょう。★

(利用についての問い合わせは、**学生課へ**)

(5) 自習パソコン室について

自習パソコン室を**1号館3階(132教室)**に設けています。学生証を提示すれば利用が可能です。

利用時間: **9時～19時**(原則として平日、講義等により利用できないことがあります。なお、長期休暇期間中は時間短縮あるいは閉室となります。)

★マナーを守って利用しましょう。(自習室管理者の指示に従ってください。)★

(利用についての問い合わせは、**教務課へ**)

(6) オフィス・アワーについて

学生が、教員に質問・相談に行く際の目安として、「オフィス・アワー」を設定しています。オフィス・アワーとして指定した時間には、教員は研究室に待機していますので、気軽に尋ねて話をしてみてください。(教員の研究室配置・オフィス・アワーは、学生手帳に掲載、また掲示もしています。)

※非常勤の先生は研究室がありませんが、必要に応じて授業前後等で対応します。

(井尻記念館1階に非常勤講師室があります。)

授業（講義）について

（１）授業時間について

本学の授業は、1コマ(90分)を1時限として行っています。(定期試験も同様の時間帯で行われます。追・再試験については時間帯が異なります。)(→定期試験・追試験・再試験について p.46～参照)

時 限	時 間
1時限	09:00～10:30
2時限	10:40～12:10
昼 休 み	
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50

※通常の講義は、週1時限で行われますが、週2時限行うペア科目・短期間(不定期)に行う集中講義もあります。

※授業の開始時間には遅れないようにしましょう。

（２）休講・補講について

教員の都合による休講・補講(休講を補う授業)は、教務課所定の掲示板へ随時掲示します。また、登録されたメールアドレス(→登録方法は巻末のマニュアル参照)へ配信を行います。(授業開始後30分を経過しても授業が行われない場合は、特別な指示がない限り、自然休講となりますが、その際はメールの配信は行われません。)

なお、自然災害(台風等)の場合を除き、電話での問い合わせには応じられませんので、必ず各自で確認してください。

特別な事由による臨時の全学休講についても、同様に掲示ならびにメールアドレスへの配信等により伝達します。(下記参照)

岡山地域(岡山県南部)に暴風警報が発令された場合、以下のとおり取り扱います。

- ① 午前7時までに暴風警報が解除された場合は、平常どおり行います。
- ② 午前7時までに暴風警報が解除されず、午前10時までに解除された場合は、午前中を休講とし、午後は平常どおり行います。
- ③ 午前10時までに暴風警報が解除されない場合は、終日休講とします。
- ④ 原則として上記のとおりですが、諸状況により、その都度、掲示板・ホームページ・メール等で連絡しますので注意してください。
- ⑤ 休講となった場合は原則として後日補講がありますので、掲示等で確認してください。

履修の基本事項

(1) 単位制について

大学での学修は、単位制で行われています。全ての授業科目に「単位数」が定められており、履修登録(→p.25～参照)を行い、その授業科目を履修し、成績評価で合格点を出すことにより、単位が与えられます(単位認定)。修業年限(4年)以上在学し、所属する学部が定める一定の要件(必要単位数)を満たした者に対して、卒業が認められます。(→卒業要件)

① 講義・演習

15週間に渡り、週に1コマ(1時限90分)の授業を受け、予習・復習(4時間程度)を行い、試験等に合格した場合、2単位認定されます。

② 外国語科目・健康教育実践・スポーツ実践・実習

15週間に渡り、週に1コマ(1時限90分)の授業を受け、予習・復習(1時間程度)を行い、試験等に合格した場合、1単位認定されます。

※大学設置基準第二十一条の規定による

(2) 科目の開講形態について

学 期:本学では、1年間(4月～翌3月)を**前期・後期**に分けています。

開講形態:ほとんどの授業科目が、半期完結の講義ですが、ゼミ等一部の科目に通年開講となっているものがあります。

開講形態	
前期科目	前期に開講、授業は半期で完結し、成績評価および単位認定が前期末に行われる。
後期科目	後期に開講、授業は半期で完結し、成績評価および単位認定が後期末に行われる。
通年科目	前後期通じて授業が行われ、成績評価および単位認定は後期末に行われる。
集中講義	夏期休暇および冬期休暇期間中等に短期間(変則的)に行われ、成績評価および単位認定は、開講期での認定となる。
ペア科目	前期または後期に2コマ(週2時限)開講され、授業は半期で完結し、成績評価および単位認定は各学期末に行われる。(2コマ履修しないと、単位認定は行われない。)

(3) 授業科目について

授業科目は、大きく**教養科目・専門科目・キャリア科目**の3つに分類されます。

この他に、卒業要件に含まれない科目として、教職課程科目があります。

教養科目(大きく4つに分類)	<p>① I～Ⅲ群に分類されている科目 I群:歴史と社会, II群:文化とコミュニケーション, III群:自然と人間</p> <p>② 外国語科目 ・第1外国語:英語(留学生も同じ) ・第2外国語:ドイツ語, 中国語, ハングル, 日本語(留学生のみ受講可) ※法学部・経済学部では「外国語」と表記されます。(第1・第2の区別なし)</p> <p>③ 健康教育科目 講義—健康教育論 実習—健康教育実践, 初級スポーツ実践, 中級スポーツ実践, 総合スポーツ実践</p> <p>④ 教養演習 1年次に必修の科目です。この科目の教員が1年間の担任となります。 <u>2年次修了時点で単位未修得の場合, 3年次に進級できません。</u></p> <p>※ 留学生の特設授業科目 留学生(編入は除く)は, 特設授業科目(8科目12単位)を全て修得しなければなりません。</p>
専門科目(大きく3つに分類)	<p>① 共通必修科目 学科に設置されている専門科目のうち, コースに関係なく, 共通して卒業までに必ず修得しなければならない科目群です。(学科により異なります。) ・基礎演習—(法学部・経済学部)2年次に履修 ・研究演習2年—(経営学部)2年次に履修 ・研究演習3年・4年—3年次および4年次に履修(原則2年間同一教員の指導を受ける)</p> <p>② 選択必修科目 学科に設置されている専門科目のうち, 選択履修が可能な科目群です。</p> <p>③ 自由選択科目 共通必修科目および選択必修科目以外の専門科目群です。</p>
キャリア科目	<p>① キャリア形成論Ⅰ〔AL 形情報リテラシー教育(エクセルによる分析・まとめ・発表力)〕</p> <p>② キャリア形成論Ⅱ〔社会人基礎力・社会人マナー・キャリアデザイン〕</p> <p>③ キャリア形成論Ⅲ〔コミュニケーション能力・交渉能力・職業人意識〕 卒業までに, 上記3科目を必ず修得しなければなりません。</p>

(4) 卒業要件について

卒業に必要な単位数は, 124単位以上です。

- ① 各学部学科で, 卒業に必要な単位数(教養科目・専門科目・キャリア科目)の内訳が異なります。(→履修細則)
- ② **必修科目は, 全て修得しないと卒業できません。**
- ③ 教養・専門それぞれの部門(群)で必要単位数を充たさないと, 卒業できません。その上で修得単位の合計が124単位以上ある必要があります。

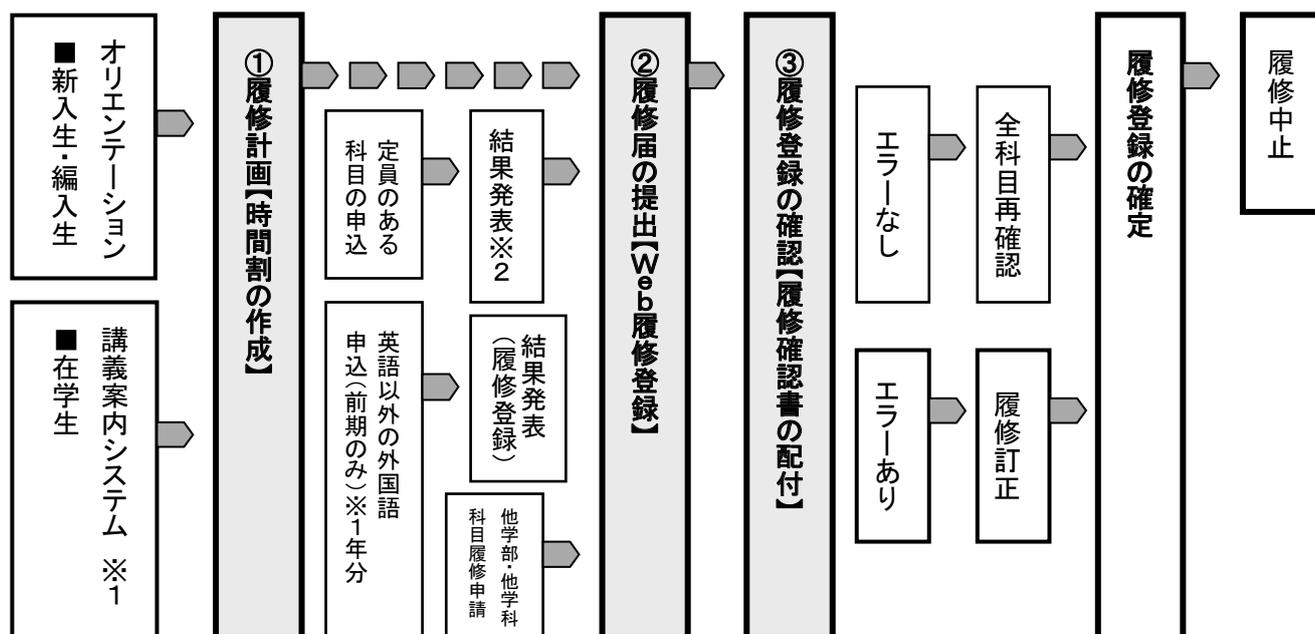
※日本語を母国語としない留学生は, 日本語能力試験(N2)を取得ないし同程度の能力を有している必要があります。(2018年度中は試行期間です。)

履修登録について

(1) 履修登録とは？

履修登録とは、自らの学修計画に基づいて、授業科目の履修(授業を受ける)の意志表示をすることを意味します。従って、履修登録を行っていない科目については、履修することができません(単位の認定も行われません)。以下の手順に従って、確実に履修登録を行ってください。

(2) 履修登録の流れ →「全体の流れ」参照 (p.28~30)



※1 修得済みの科目・単位数の確認, シラバス・時間割の検索を行います。利用にはパスワードが必要です。

※2 選定方法および発表方法は科目担当教員により異なります。

① 履修計画(履修届=時間割の作成)

1) 履修届作成上の注意点

※履修届(時間割)作成前に、学生便覧(履修のてびき・時間割)と併せて、講義概要(シラバス)にも必ず目を通してください。

- 履修登録は、前期と後期の学期始め(年2回)に行います。各学期末に教務課から送付される成績表の修得単位整理表を基に、部門(群)別に必要な科目を、授業科目配当表で確認して、履修届を作成してください。(講義案内システムで単位の修得状況、各種冊子の閲覧が可能です。)
- 履修可能単位数には上限と下限があります。上限を超えての登録はできません(4年次生を除く。卒業要件に含まれない科目は除く)。また、下限に達しない単位数での登録も認められません。
- 前期の履修登録は、前期開講科目・通年科目が対象となります。
- 後期の履修登録は、後期開講科目が対象となります。後期登録時に、前期に登録した通年科目を変更することはできません。
- 授業科目には、配当学科・年次の指定があります。配当のない科目の履修はできません。(ただし、経済および経営学部には、他学部・他学科科目の履修を認める制度があります。→p.45参照)
- 英語以外の外国語科目(ドイツ語・中国語・ハンゲル)は、事前申込の必要があります。4月に1年分

の申込を行います。(やむを得ない理由がある場合、後期履修時に科目担当教員の判断により曜日・時限の変更は可能です。なお、最終的には、同一言語をⅠ・Ⅱセットで2単位修得する必要があります。)(→p.42参照)

- ・ クラス指定のある科目があります。(原則として新入生対象、一部2年次生も対象の科目有り。時間割の備考欄を参照のこと。)
- ・ 履修者制限(人数制限)のある科目については、第1回目の講義に必ず出席し、指示を受けてください。事前申込が必要な科目もあるので注意のこと。(掲示板等で確認のこと。)
- ・ 一部履修条件のある科目があります。(講義概要・時間割の備考欄等で確認のこと。)
- ・ ペア科目(週2時限開講される科目)は、2時限とも履修しなければ単位認定されません。
- ・ 修得済みの科目(担当教員が異なる場合でも)を再度履修(登録)することはできません。(科目名が変更された場合も、同一科目とみなされます。)ただし、英語・中国語・スポーツ実践、特別演習については、再履修が可能です。
- ・ **【4年次生のみ】**重複履修(同一学期に同一科目を複数履修する)が可能です。(成績評価後、得点の低い方を削除します。)
- ・ 卒業に必要な単位を全て修得した後でも、興味関心のある科目は履修可能です。(修得済みの科目の場合は、科目担当教員の許可を得た上での聴講となります。)

■履修可能単位数■

半期ごとに履修登録できる単位数および進級基準は、下記のとおりです。

ただし、教職に関する科目(及び一部学芸員科目)は、履修可能単位数および卒業単位には含まれません。また、履修登録期間外に募集を行う一部集中講義も履修可能単位数に含まれません。

○2009年度以後入学生(3学部とも)

年次	履修可能単位数(半期)	進級基準
1年次	16単位以上24単位以下	
2年次	16単位以上24単位以下	2年次末に52単位以上修得(教養演習を含む) ※GPA値も進級判定の判断基準のひとつとなります(→p.51)
3年次	16単位以上24単位以下	3年次研究演習が修得済であること
4年次	<u>24単位以下</u> ※	

《注意！》通年科目(4単位)は、前後期それぞれに2分割(各期2単位)してカウントされます。

※2016年度から、4年次の各期の履修可能単位数が変更になりました。

ただし、特別な事情があるとゼミ担当教員、学部長、学科長、教学委員が判断する場合は、その了承を得た上で(教務課へ書類の提出が必要)、各期の上限を超えて履修することができます。

②履修届の提出(Web履修登録)

- ・ 講義案内システムから Web 履修登録します。巻末のマニュアルを熟読の上、期限内に必ず登録を行ってください。(期限を超えて登録はできません。)

【Web 履修登録指定日】

学期	登録指定日		教職課程・学芸員課程・他学部他学科履修は、指定期日までに申込みを行ってください。(申込後、各自で履修登録することになります。)
前期	在學生	2018年3月26日(月)～ 4月5日(木)16時30分まで	
	新入生 編入生	2018年4月5日(木)～ 4月11日(水)16時30分まで	
後期	全學生	2018年9月3日(月)～ 9月13日(木)16時30分まで	

③履修登録の確認・訂正(履修確認書の配布)

- ・ 履修確認書で履修内容の確認を行います。(要押印)
- ・ エラー表示があった場合は、速やかに教務課で訂正を行ってください(手続きは本人が行います)。
- ・ エラー表示がなくとも、必ず全部に目を通して確認してください。

■エラー訂正が認められる例■

- ①履修可能単位数エラー(上限・下限)
- ②定員オーバー
- ③指導教員の指導(判断)によるもの
- ④4年次生で共通必修科目の履修忘れ等、卒業に係わる場合

※自己都合による履修科目の変更はできません。

学期	確認書配布	エラー訂正締切	手続き
前期	2018年4月13日(金)～ 【ゼミで配布】	2018年4月16日(月)～ 4月20日(金)16時30分まで	教務課
後期	2018年9月18日(火)～ 【ゼミで配布】	2018年9月19日(水)～ 9月26日(水)16時30分まで	

※訂正後の確認書の発行は行いません。講義案内システムで確認のこと。

(3) 教科書の購入について

前後期とも指定する日に、業者による販売を行います。詳細日程・販売リストについては、教務課で資料を配付しますので、そちらで確認の上、必ず期間内に購入してください。(販売期間終了後は、各自での購入となります。)

履修登録は、前期・後期それぞれ半期毎に行いますが、4月に履修を組むときに、1年間を見据えた履修計画を立てましょう。

※時間割等に変更があった場合は、掲示板でお知らせします。

2018年度前期 Web履修 (モバイル履修) 全体の流れ【在学生用】

月	日	曜日	1	2	3	4	5	6
12	12	火	2018年度前期 Web履修 (モバイル履修) 全体の流れをゼミ毎に配布					
1	15	月	他学部・他学科履修申請書を教務課で配布開始					
1	18	木	教職課程・学芸員課程説明会 (16:30から)					
1	29	月	教職課程・学芸員課程申込締切 (16:30まで) ※申込後4月5日(木)に各自でWeb履修登録する					
2	15	木	講義概要等Web上公開予定					
2	23	金	2018年度学生便覧配布開始予定 (印刷物)					
3	23	金						
4	1	日	入学式					
4	2	月						
4	3	火						
4	4	水						
4	5	木	前期講義開始					
4	6	金						
4	7	土						
4	8	日						
4	9	月						
4	10	火						
4	11	水						
4	12	木						
4	13	金	履修確認書配布 (注)					
4	14	土						
4	15	日						
4	16	月						
4	17	火						
4	18	水						
4	19	木						
4	20	金						
4	21	土						
4	22	日						
4	23	月						
4	24	火						
4	25	水						
4	26	木						
4	27	金						
4	28	土						
4	29	日						
4	30	月						
5	1	火						
5	2	水						
5	3	木						
5	4	金						
5	5	土						
5	6	日						
6	1	金						
6	2	土						
6	3	日						
6	4	月						
6	5	火						
6	6	水						
6	7	木						
6	8	金						
6	9	土						
6	10	日						
6	11	月						
6	12	火						
6	13	水						
6	14	木						
6	15	金						
6	16	土						
6	17	日						
6	18	月						
6	19	火						
6	20	水						
6	21	木						
6	22	金						
6	23	土						
6	24	日						
6	25	月						
6	26	火						
6	27	水						
6	28	木						
6	29	金						
6	30	土						
6	1	日						
6	2	月						
6	3	火						
6	4	水						
6	5	木						
6	6	金						

履修エラー訂正期間 (16:30まで)
訂正が認められる例
①履修可能単位数エラー (上限・下限)
②定員オーバー
③指導教員の判断 (指示) によるもの
④4年次生で共通必修科目の履修忘れ等、卒業に係わる場合

履修中止期間 (16:30まで)
※履修規程に従って履修していることが前提条件 (16単位以上履修していること)
※科目中止の要件を必ず確認のこと

Web履修登録期間 (16:30まで)
※締切日以後の追加・変更は一切不可 (エラーを除く)

教科書販売期間 (11:45~15:00まで)
※4月3日 (火) 入学式日を除く

英語以外の外国語申込期間 (16:30まで) ※1年間分の履修申込
※1次募集: 4月5日 (木) ※決定後, 4月11日 (水) までに教務課がWeb履修登録をする (変更不可)
※2次募集: 4月6日 (金) 募集結果は掲示で各自確認すること

下記科目は、あらかじめ履修登録されています。(削除不可)

【2017年度入学の2年次生】
・「キャリア形成論Ⅲ」(学科でクラス指定)

※これ以外のクラス指定のある科目については、時間割やシラバスの備考欄等に従い履修登録することになります。

(注) 履修確認書をゼミの時間帯に確認する。(要押印) ~4/27 (4/27以降、履修確認書は教務課で保管する。)

履修中止について

履修中止が出来るのは、各学部履修規程に従って履修していることが前提条件となります。

(1) 履修中止とは？

「履修中止」とは、履修登録確定後に、下記の理由により履修を放棄したい場合、講義期間の途中において履修を中止することができる制度です。

履修を中止した科目は、成績通知書(および成績証明書)に付帯事項として表記されるGPA(→p.50参照)の換算対象から除外されます。

■履修中止の理由として認められる事項■

- ・ 授業内容が勉強したいものと異なっていた場合
- ・ 授業のスピードについていけるだけの事前知識が不足していた場合
- ・ その科目を中止したとしても、進級および卒業に全く影響がないと認められる場合
- ・ 健康上の理由から、履修科目を減らしたい場合
- ・ 履修制限(定員オーバー含む)により履修が認められなかった場合
※履修を認められなかった科目を他の科目に入れ替える場合は、必ず履修エラー訂正期間に手続きをすること(履修中止期間は削除のみ可能)
- ・ その他、本学がやむを得ないと認めた場合

(2) 履修を中止する際の注意点

- ・ 履修を中止した科目の代わりに、別の科目を登録することはできません。
- ・ 履修を中止した科目は、いかなる理由があっても、その学期中の復活はできません。ただし、履修を中止した科目を、次学期以降に改めて履修することは可能です。(前期に中止した通年科目を後期に復活させることはできません。)
- ・ 通年科目を後期に中止することはできません。

(3) 履修中止を行うことができないケース

- ・ 履修中止をすることにより、半期履修可能単位数の下限を下回る場合。
- ・ 以下の科目は、原則として、履修中止の申請ができません。
 - ① 各学部の共通必修科目
 - ② 大学コンソーシアム岡山等単位互換科目
 - ③ 卒業要件に含まれない科目(GPA対象外)

(4) 履修中止の方法

- ・ 教務課で「履修中止届」を受け取り、演習指導教員の承認印をもらった上で、下記期間内に提出してください。(期間後の中止の申し出および中止の取消は一切認められません。)

学期	履修中止期間	提出先
前期	2018年 6月1日(金)・4日(月)・5日(火)16時30分まで	教務課
後期	2018年 11月 5日(月)・6日(火)・7日(水)16時30分まで	

※中止申請した科目は、履修から完全に削除されます。(履修確認書は配付されません。)

演習科目の履修について

(1) 教養演習について (全学部)

- ① 2年次までに必ず修得する必要があります。(必修・通年4単位) なお、2年次末までに修得できなかった場合、3年次に進級できません。(進級基準)
- ② 1年次に必ず履修してください。この演習(ゼミ)の担当教員が、その年度の担任ということになりますので、気軽に相談してください。
- ③ 教養演習を1年次に修得できなかった場合は、次の要領で再履修をしてください。

【再履修方法】

<p>■法学科</p> <p>①単位未修得者は、申込用紙を教務課で受け取り、第1希望のみ記入の上、教務課に提出してください。</p>	<p>■経済学科</p> <p>①単位未修得者は、再申込みを行わない場合、引き続き同じ教員になります。前期履修登録時に直接登録してください。(手続き不要)</p> <p>②担当教員を変更する場合は、申込用紙を教務課で受け取り、履修を希望する演習担当教員の許可を得てください。(申込用紙に許可印をもらい、教務課に提出した上で、履修登録してください。)</p> <p>③何か不都合がある場合は、早めに教務課へ相談してください。</p>
<p>■経営学科</p> <p>①再履修するクラスは、学年末に改めて決め直します。</p> <p>②演習の可否を、「講義案内システム」を使って早急に確認してください。演習の単位が取得できなかった人は、「演習再履修申込書」を教務課で受け取り、希望するゼミ名を書いて、期日までに所定の場所に提出してください</p> <p>③クラスの変更を希望しない人も「演習再履修申込書」を出さなくてはなりません。</p> <p>④希望を出さなかった人の再履修ゼミは、学科で決めさせていただきます。(異議を申し立てることはできません。)</p>	<p>■商学科</p> <p>①単位未修得者は、原則として引き続き同じ教員になります。前期履修登録時に直接登録してください。(手続き不要)</p> <p>②担当教員を変更する場合は、教務課で申込用紙を受け取り、履修を希望する演習担当教員の許可を得てください。(申込用紙に許可印をもらい、教務課に提出した上で、履修登録してください。)</p> <p>③何か不都合がある場合は、早めに教務課へ相談してください。</p>

(2) 基礎演習について（法学部・経済学部）

- ① 卒業までに必ず修得する必要があります。（必修・通年4単位）
- ② 2年次に必ず履修してください。（演習の申込は1年次の後期に行います。）この演習（ゼミ）の担当教員が、その年度の担任ということになりますので、気軽に相談してください。
- ③ 2年次に履修できなかった場合、卒業までに履修（修得）してください。
- ④ 2年次に基礎演習を修得したが、3年次に進級できなかった場合は、下のとおりとなります。
 - ・ 原則として、基礎演習の単位認定教員が、引き続きその年度の指導担当教員となります。
 - ・ 履修届の検印や履修相談等、研究室に行って気軽に相談してください。
 - ・ 何か不都合がある場合は、教務課に相談してください。
- ⑤ 基礎演習を再履修する場合は、次の要領で行ってください。

【再履修方法】

■法学科	■経済学科
①単位未修得者は、申込用紙を教務課で受け取り、履修を希望する演習担当教員の許可を得てください。（申込用紙に許可印をもらい、教務課に提出した上で、履修登録してください。）	①単位未修得者は、再申込みを行わない場合、引き続き同じ教員になります。前期履修登録時に直接登録してください。（手続き不要） ②担当教員を変更する場合は、教務課で申込用紙を受け取り、履修を希望する演習担当教員の許可を得てください。（申込用紙に許可印をもらい、教務課に提出した上で、履修登録してください。） ③何か不都合がある場合は、早めに教務課へ相談してください。

(3) 研究演習2年について（経営学部）

- ① 卒業までに必ず修得する必要があります。（必修・通年4単位）
- ② 2年次に必ず履修してください。（演習の申込は1年次の後期に行います。）この演習（ゼミ）の担当教員が、その年度の担任ということになりますので、気軽に相談してください。
- ③ 2年次に研究演習を修得したが、3年次に進級できなかった場合は、下のとおりとなります。
 - ・ 原則として、研究演習2年の単位認定教員が、引き続きその年度の指導担当教員となります。
 - ・ 履修届の検印や履修相談等、研究室に行って気軽に相談してください。
 - ・ 何か不都合がある場合は、教務課に相談してください。
- ④ 研究演習2年を再履修する場合は、次の要領で行ってください。

■経営学科

- ①再履修するクラスは、学年末に改めて決め直します。
- ②演習の可否を、「講義案内システム」を使って早急に確認してください。演習の単位が取得できなかった人は、「演習再履修申込書」を教務課で受け取り、希望するゼミ名を書いて、期日までに所定の場所に提出してください。
- ③クラスの変更を希望しない人も「演習再履修申込書」を出さなくてはなりません。
- ④希望を出さなかった人の再履修ゼミは、学科で決めさせていただきます。(異議を申し立てることはできません。)

■商学科

- ①単位未修得者は、原則として引き続き同じ教員になります。前期履修登録時に直接登録してください。(手続き不要)
- ②担当教員を変更する場合は、教務課で申込用紙を受け取り、履修を希望する演習担当教員の許可を得てください。(申込用紙に許可印をもらい、教務課に提出した上で、履修登録してください。)
- ③何か不都合がある場合は、早めに教務課へ相談してください。

(4) 研究演習3年・4年について (全学部)

- ① 卒業までに必ず修得する必要があります。(3年・4年それぞれ必修・通年4単位)
- ② **研究演習3年は、3年次でしか履修できません。**(演習の申込は2年次の後期に行います。)
また、**単位を修得しなければ、4年次に進級できません。(進級基準)**
- ③ 3年次・4年次と、続けて同じ教員が指導教員となります。
- ④ 3年次に単位を修得できなかった場合は、下記の要領で再履修をしてください。

【再履修方法】

- ・ 単位未修得者は、原則として引き続き同じ教員になります。前期履修登録時に直接登録してください。(手続き不要)
- ・ 何か不都合がある場合は、早めに教務課に相談してください。

「金融総合教育プログラム」(全学共通特別プログラム)について

- この教育プログラムは、全学共通の学科横断的教育プログラムであり、金融の基礎から実践的な学びまで金融に特化した特別プログラムです。
- このプログラムの目的は、各学部の専門知識に加え、金融に関する知識と判断力を養成し、金融機関はもちろん、様々なステージで活躍できる人材の育成を目指します。
- 本プログラムには、本学入学時はもちろん、年次問わず前期後期いずれからでも参加可能であり、一定の要件を満たした学生には、学長名の修了証書が授与されます。
- このプログラムに参加する場合は、履修登録期間内に『金融総合教育プログラム登録申請書』の提出(教務課)が必要です。

【説明会スケジュール】

前期 在学生対象: 3月26日(月) 及び 27日(火) 15:00~

新入生対象: 4月 9日(月) 及び 10日(火) 16:30~

後期 在学生対象: 9月 3日(月) 及び 4日(火) 15:00~

(1) 履修カリキュラム (次ページ別表参照)

このプログラムは、共通必修科目と選択科目及び必修の教養科目である「金融リテラシー講座」からなり、本カリキュラムから修得した単位は、卒業要件に組み入れることができます。

※次ページの科目は各学科の教養科目及び専門科目配当表に含まれていますので、プログラムに参加しなくても履修は可能です。一部科目のみを履修する場合は、プログラムに登録する必要はありません。

【履修例】

1年次 :金融リテラシー講座, ファイナンシャルプランニング関連科目, など。

2・3年次:金融共通必修科目, 法学・経済学・経営学・商学の各専門科目, インターンシップ・ちゅうぎん「金融知力」講座, など。

(2) 修了証書授与要件

次のすべての要件を満たした学生に、学長名による「金融総合教育プログラム」(以下「本プログラム」とする)の修了証書を授与します。

1. 本プログラムにおける金融リテラシー講座(教養科目)を履修し、2単位を修得すること。
2. 本プログラムにおける共通必修科目を履修し、原則として、8単位を修得すること。
3. 本プログラムにおける選択科目を履修し、合計28単位以上を修得すること。
4. インターンシップに参加すること。

(別表)「金融総合教育プログラム」共通科目・選択科目

①共通必修科目

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
1 法	民法概説	2	1	1	1	1	
2 経済	金融論	2	1	1	2	2	
3 経営	簿記論Ⅰ	2	1	1	1	1	
4 商	証券市場論Ⅰ	2	2	2	2	2	

②選択科目

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考	
			法学科	経済学科	経営学科	商学科		
5 法学科	金融商品取引法Ⅰ(旧:金融法Ⅰ)	2	2	2	2	2		
	金融商品取引法Ⅱ(旧:金融法Ⅱ)	2	2	2	2	2		
	会社法概説	2	2	2	2	2		
	会社法Ⅰ	2	2	2	2	2		
	会社法Ⅱ	2	2	2	2	2		
	商法総則・商行為	4	2	2	2	2		
	物権総論	2	2	2	2	2		
	担保物権	2	2	2	2	2		
	債権総論	2	2	2	2	2		
	法と言語Ⅰ	2	1	1	1	1		
	法と言語Ⅱ	2	1	1	1	1		
	16 経済学科	金融政策	2	2	2	2	2	
		地域金融論	2	2	2	2	2	
		国際金融論	2	3 ※1	3	3	3	
		金融システム論	2	2	2	2	2	
金融工学入門		2	2 ※1	2	2	2		
開発金融論		2	3 ※1	3	3	3		
金融特別演習Ⅰ(旧:経済学特殊講義Ⅰ)		2	2 ※1	2	2	2		
金融特別演習Ⅱ(旧:経済学特殊講義Ⅱ)		2	3 ※1	3	3	3		
金融リテラシー講座(資産運用編)		2	3 ※1	3	3	3		
ミクロ経済学		2	2	2	2	2		
マクロ経済学	2	2	2	2	2			
27 経営学科	簿記論Ⅱ	2	1	1	1	1		
	簿記論Ⅲ	2	1	1	1	1		
	簿記論Ⅳ	2	1	1	1	1		
	会計学Ⅰ	2	2	2	1	1		
	会計学Ⅱ	2	2	2	1	1		
	財務諸表論Ⅰ	2	2	2	2	2		
	財務諸表論Ⅱ	2	2	2	2	2		
	経営分析論Ⅰ	2	3 ※1	3	3	3		
	経営分析論Ⅱ	2	3 ※1	3	3	3		
	経営学Ⅰ	2	2 ※1	2	1	2		
現代ビジネス事情	2	1	1	1	1			
38 商学科	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1	1	1	1		
	ライフプランニングと資産計画・リスク管理Ⅰ	2	1	1	1	1		
	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1	1	1	1		
	FP技能論Ⅰ	2	2	2	2	2		
	FP技能論Ⅱ	2	2	2	2	2		
	証券市場論Ⅱ	2	2	2	2	2		
	ポートフォリオ・マネジメント	2	2 ※1	2	2	2		
	リーガル&コンプライアンス	2	2	2	2	2		

※1 法学科は企業コース生のみ履修可能

③教養科目(必修)

開講学科	科目名	単位数	配当年次				備考
			法学科	経済学科	経営学科	商学科	
46 Ⅲ群	金融リテラシー講座	2	1	1	1	1	

2018年度 海外研修 (国内フィードスタディーを含む) のご案内

語学	国名等	研修先場所	実施期間・時期 (単位認定期)	研修費用	担当者 (科 目 名)	担当学科	配当学年 法 経 営 商	単 位	目標レベル	備 考
0010	アメリカ	グアム大学	8月上旬から3週間 (前期)	約26万円	バーデンP. (総合英語II)	経営学科	1 1 1 1	2	TOEIC 470, B1 (CEFR)	10名以上で実施
0020	ニュージーランド	ワイアリキ工科大学 (TOI-OHOMAI Institute of Technology)	2月下旬から3週間 (翌年度前期) 4月上旬から半年間 (前期)	約36万円 約200万円	バーデンP. (総合英語II) バーデンP.	経営学科 経営学科	1 1 1 1 1 1 1 1	2 16 24	TOEIC 470, B1 (CEFR) TOEIC 470, B1 (CEFR)	
0030	マルタ共和国	マルタ大学	9月上旬から半年間 (後期) 8月下旬から3週間 (前期)	約200万円 約40万円	バーデンP. (総合英語II)	経営学科 経営学科	1 1 1 1 1 1 1 1	2 24	TOEIC 470, B1 (CEFR) TOEIC 470, B1 (CEFR)	
0040	中国 (大連)	大連外国語大学	8月上旬から10日間 (前期) 12月上旬から6日間 (後期)	約6万円 約6万円	黎曉妮 (総合中国語II) 黎曉妮 (総合中国語I)	商学科 商学科	1 1 1 1 1 1 1 1	2 1	新HSK1~2級 新HSK1~2級	10名以上で実施 10名以上で実施
0050	韓国	忠清大学校	8月上旬から8日間 (前期) 8月上旬から14日間 (前期)	約8万円 約10万円	全円子 (総合ハングルI) 全円子 (総合ハングルII)	商学科 商学科	1 1 1 1 1 1 1 1	1 2	韓国語能力試験 (初級: 1~2級) 韓国語能力試験 (初級: 1~2級)	2名以上で実施 2名以上で実施
0060		岡山県新庄村・吉備中央町	夏季休業期間中3泊4日 (前期)	約2万円	岸田芳朗 (商学特殊講義I)	商学科	2 2 2 2	2		
0070	国内	岡山県真庭市	夏季休業期間中3泊4日 (前期)	約1万円	大石貴之 (観光地計画論)	商学科	3 2	2		
0080	—	徳島県名西郡神山町	8月下旬から4日間 (前期)	約3万円	大石貴之 (テーマパークデザイン論)	商学科	2 2	2		
0090	グアム	Hamamoto Tropical Fruit World	2月中旬から11日間 (後期)	約17万円	岸田芳朗 (商学特殊講義II)	商学科	2 2 2 2	2		
0100	未定	未定	未定	未定	ソユンゾン (観光サービスマスター)	商学科	2 2	2		
0110	フィリピン	JPN社 (株) 石井表記)	8月下旬 (前期)	約8万円	キャリアアセスター (特別単位認定科目)		2 2 2 2	2		上限3名
0120	カンボジア	JHC アンコールツアーズ シエムリアップ営業所	8月下旬 (前期)	約8万円	キャリアアセスター (特別単位認定科目)		2 2 2 2	2		上限3名

★『総合中国語I・II』は『初級中国語I・II』のいずれかに充当できます。

★『総合英語II』は『初級ハングルI・II』のいずれかに充当できます。

★『総合中国語I・II』及び『総合ハングルI・II』の単位認定はそれぞれ一回のみ。最高6単位まで。外国語の必要単位を充当した場合、教養科目として扱われます。

★半期の履修可能単位数には含まれません。

★卒業予定者は、単位認定をする場合、『ニューゼaland語学研修』(2月下旬~9月上旬~半年間)には参加できません。

★研修費用は、研修実施時の為替レートにより最終的に決定します。(上記表中の金額はあくまで目安ということになります。)

アジアビジネス・プログラムについて

■法学科・経済学科・経営学科・商学科対象■

(1) アジアビジネス・プログラム（通称ABプログラム）とは

学部学科に関係なく「国際的(日本も含めたアジア)に働きたい」という目的を持つ学生を支援するものです。

(2) ABプログラムで学ぶこと

「国際的に働ける人材」のために必要な複数の専門知識、語学能力、語学以外のコミュニケーション能力、現場力を養います。語学は中国語を中心とします。

(3) ABプログラムでの中国語の学習

学生一人一人の希望に応じた段階の学習を行います。

段 階	研修期間	配当科目	目 標 中国語 レベル	単 位	配当 年次	実施 時期	実施場所	実施形態
STEP1 中国を体験する	6日 or 10日	総合中国語 I or II	新HSK1～2級 (漢語水平考試) 【初級】	1 or 2	1234	8月 or 12月	大連 外国語大学 漢学院	①●孔子学院サマーキャンプ ②●孔子学院ウインターキャンプ
STEP2 日常会話レベルの習得	半年	交換留学制度適用 提携大学での単位を読替え	新HSK3級 【中級】	24	123	前期 後期	大連 外国語大学 漢学院	①●交換留学 詳細は孔子学院まで
STEP3 日常会話レベルの習得	1年	交換留学制度適用 提携大学での単位を読替え	新HSK4級 【上級】	48	123	後期	大連 外国語大学 漢学院	①●交換留学 詳細は孔子学院まで
STEP4 ビジネス会話レベルの習得	1年半 or 2年	交換留学制度適用 提携大学での単位を読替え	新HSK5級 【上級】	60	2	後期	大連 外国語大学 漢学院	①●交換留学 詳細は孔子学院まで

※上記表中のSTEP2～4の単位は、最大修得可能単位です。

STEP1 総合中国語 I・II

総合中国語 I・II の項目(2017年度 海外研修(国内フィールドスタディー含む)のご案内)を参照のこと。

STEP2,3,4 交換留学制度適用

留学先でのカリキュラムに応じて岡山商科大学への単位に読み替えます。費用等の詳細については別に説明します。

※商学科のみ、STEP2以上を目指す学生が演習科目を半期ごとに受講することが可能であり、STEP3までは4年間で卒業することが可能です。STEP2以上を希望する学生については個別に相談に応じ指導します。

中国政府認定講師による本格的中国語講座！

さらに基礎語学力を伸ばすために孔子学院「中国語講座」の履修も可能です。入門・初級・中級の授業を受講することで(有償:1科目9,000～11,000円※正規の授業料の半額)単位認定もされます。受講希望の方は個別にご相談ください。

(問い合わせ先:教務課)

外国語の到達目標について

本学では、外国語の目標レベルを以下表のとおり設定しています。各自、目標レベルに到達できるよう勉学に励んでください。

種別	授業科目	単位	配当年次				目標レベル	
外国語	* 入門英語 I	1	1	2	3	4	TOEIC 220, A1(CEFR)	
	* 入門英語 II	1	1	2	3	4	TOEIC 220, A1(CEFR)	
	初級英語 I	1		2	3	4	TOEIC 220, A2(CEFR)	
	初級英語 II	1		2	3	4	TOEIC 220, A2(CEFR)	
	中級英語 I	1	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	中級英語 II	1	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	中級英語 III	1		2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	中級英語 IV	1		2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	中級英語(TOEIC) I	1	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	中級英語(TOEIC) II	1	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	上級英語 I	1	1	2	3	4	TOEIC 730, B2(CEFR)	
	上級英語 II	1	1	2	3	4	TOEIC 730, B2(CEFR)	
	上級英語(TOEIC) I	1	1	2	3	4	TOEIC 730, B2(CEFR)	
	上級英語(TOEIC) II	1	1	2	3	4	TOEIC 730, B2(CEFR)	
	総合英語 I	1	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	総合英語 II	2	1	2	3	4	TOEIC 470, B1(CEFR)	
	外国語	初級ドイツ語 I	1	1	2	3	4	独検5級程度
		初級ドイツ語 II	1	1	2	3	4	独検4級程度
		初級中国語 I	1	1	2	3	4	新HSK1級(漢語水平考試)
		初級中国語 II	1	1	2	3	4	新HSK2級(漢語水平考試)
総合中国語 I		1	1	2	3	4	新HSK1級(漢語水平考試)	
総合中国語 II		2	1	2	3	4	新HSK2級(漢語水平考試)	
初級ハングル I		1	1	2	3	4	韓国語能力試験(初級:1~2級)	
初級ハングル II		1	1	2	3	4	韓国語能力試験(初級:1~2級)	
総合ハングル I		1	1	2	3	4	韓国語能力試験(初級:1~2級)	
総合ハングル II		2	1	2	3	4	韓国語能力試験(初級:1~2級)	
中級中国語 I		孔子学院でのみ 開講	1		2	3	4	新HSK3級
中級中国語 II			1		2	3	4	新HSK3級
上級中国語 I			1		2	3	4	新HSK4級
上級中国語 II			1		2	3	4	新HSK4級
日本語	日本語 I	1	1	2	3	4	日本語能力試験N2	
	日本語 II	1	1	2	3	4	日本語能力試験N2	
	日本語 III	1	1	2	3	4	日本語能力試験N2	
	日本語 IV	1	1	2	3	4	日本語能力試験N2	

※ * 入門英語 I・II は留学生のみ受講可能

英語の履修について

1年	2年	3年以上
指定クラス 学科別の指定クラスにて、中級英語Ⅰ、中級英語Ⅱを履修	指定クラス 学科別の指定クラスにて、中級英語Ⅲ、中級英語Ⅳを履修 ＊法学部・経済学部は学部の学則に従ってください。	
目的別・発展的学習 指定クラスに代えて、上級英語、中級英語(TOEIC)、初級・中級・上級(e-learning)も履修可 海外語学研修は33ページ参照	目的別・発展的学習 指定クラスに代えて、上級英語、中級英語(TOEIC)、初級・中級・上級(e-learning)も履修可 海外語学研修は33ページ参照	目的別・発展的学習 指定クラスに代えて、上級英語、中級英語(TOEIC)、初級・中級・上級(e-learning)も履修可 海外語学研修は33ページ参照
基礎的学習 ＊商学科は入学後の基礎学力テスト(英・数・国)の成績で、通常クラスと入門クラスにクラス指定します。入門クラスは基礎的学習を行います。	基礎的学習 再履修者は、初級英語Ⅰ、初級英語Ⅱを履修	基礎的学習 再履修者は、初級英語Ⅰ、初級英語Ⅱを履修
専門科目へ 英語特別演習(経営学科は除く)	専門科目へ 英語特別演習(経営学部は除く) 観光英会話(経営学科、商学科のみ)、ビジネス英会話(経営学科、商学科のみ)、商業英語(商学科のみ)	専門科目へ 英語特別演習(全学科) 観光英会話(経営学科、商学科のみ)、ビジネス英会話(経営学科、商学科のみ)、商業英語(商学科のみ)

☆英語担当教員の指導を受けながら、自分の能力にあわせて学習を進めます☆

(1) 履修について

法学部・経済学部

法学部・経済学部生は、『外国語』(英語、それ以外の外国語を含む)として、卒業までに4単位修得する必要があります。(必修)(→英語以外の外国語の履修について p.42参照)

経営学部

経営学部生は、『第1外国語』として、英語を卒業までに必ず4単位修得する必要があります。

- ① 英語の授業は、基本的に【中級英語】の指定クラス(1年次・2年次)を履修します。
 ※新入生オリエンテーション時の配付資料で確認してください。(2年次は時間割の備考欄で確認)
- ② 次に該当する場合は、指定クラス以外の英語科目に変更することができます。
 - ・高度な授業を受けたい人は、上級英語を履修してください。(ただし、入門英語・初級英語しか履修していない学生の履修は、望ましくありません。)
 - ・英語以外の必修科目等と時間割が重なり、そちらを優先する必要がある場合は、変更先の担当教員の許可をとった上で、変更をしてください。英語の授業は定員があります。(上限50名)
- ③ 後期も、基本的には指定クラスを受講しますが、前期に履修した結果、クラスを変更することができます。やむを得ず変更を希望する場合は、変更先の教員に必ず許可をとってください。
- ④ 総合英語(集中講義:海外研修)は、履修届には記入しないでください。(履修可能単位数には含まれません。) なお、海外研修については、別途説明会が開催されます。

(2) 開講科目について

① 中級英語 I・II・III・IV

I～IVはI→IVとレベルが上がっていくものではなく、独立した別々の科目です。

② 上級英語

英語学習に強い意欲を持つ学生のためのクラスです。会話・TOEIC(下記③参照)の各分野に目的を特化した少人数クラスで、それぞれの能力を高めることを目指します。

③ TOEIC

「TOEIC」などの英語検定試験対策を目的としたクラスです。中級英語レベルと上級英語レベルがあり、それぞれTOEIC470点、730点を目標として学習します。

④ 初級英語 I・II (2年次からの再履修者のみ。1年次は履修できません。)

中級英語不合格者を対象に、英語を基本から再学習するクラスです。

(3) 履修に際しての注意点

- ① どの科目も外国語の必修単位に加えて、教養科目として履修できます。(上限なし)
- ② 入門・初級・中級・上級英語は、すべて繰り返し履修できます。ただし、同一担当教員の同一教科書の科目は、重複履修することはできません。
- ③ 総合英語(海外研修)は、I・IIそれぞれ履修できるのは1回のみです。(合計3単位まで取得可能です。なお、研修への参加回数に制限はありません。)

(4) e-learning について (ALC NetAcademy2) ※2015年度導入

① 利用方法

パソコンさえあれば講義案内システムのパスワードを使って、いつでもどこでも英語を自習することができます。※スマートフォンからはアクセスしないでください(動作環境が保障できません)。

② 単位認定

前後期末曜3限(ともに754教室)において、ALC NetAcademy2の「PowerWordsコース」を利用した授業があります。(詳細はシラバスを見てください。)

1) 第1週の授業でレベル診断テストを受けて、診断されたレベルで履修登録します。

(登録講義名) レベル1:初級英語, レベル2～3:中級英語, レベル4～12:上級英語
万一、履修登録期間中に登録した講義名と異なる場合には、履修訂正期間に訂正を行います。

2) 自分のレベルを半期、シラバスの進行表に従って、教室で学習します。e-learningが中心ですが、毎時間、紙媒体での小テストも行います。適宜、英語教員に質問しながら学習してください。

3) 試験期間中に教室でテストを受けます。

4) オンラインでの学習状況と小テスト、テストの結果によって単位認定します。

③ 自己学習

英語を勉強したいけど、何をすればいいかわからない、英語の学力に不安がある。そういう人は「英語入門コース」での自習で基礎学力を身につけましょう。

単語力を身につけたいという人は「PowerWordsコース」で自分の英語力に合った学習をしましょう。

英語以外の外国語の履修について

(1) 履修方法について

法学部・経済学部

- ・法学部・経済学部生は、『外国語』として、卒業までに4単位修得する必要があります。
(どの言語を選択するかは、各自の判断に委ねられます。4単位全てを英語で修得する場合は、英語以外の外国語を履修する必要はありません。)

経営学部

- ・経営学部生は、『第2外国語』として、卒業までに必ず2単位修得する必要があります。

【注意事項】

- ① 英語以外の外国語(以下、第2外国語)は、初級ドイツ語・初級中国語・初級ハンゲルが I (前期)・II (後期)と開講されています。
- ② 第2外国語は、初級ドイツ語 I・II のように、同一言語について、I・II の組み合わせで2単位修得する必要があります。(I または II のみでは外国語の卒業単位として認定されません。また異なる言語での組み合わせもできません。)
- ③ 必修単位を含めて、6単位まで教養科目として修得できます。
- ④ それぞれの科目に人数制限がありますので、事前に申込みが必要です。
- ⑤ 孔子学院(図書館5階)で開講されている中国語講座も履修が可能です。(入門・初級・中級→学部では順に初級・中級・上級として認定)詳細は掲示で確認してください。
- ⑥ 2012年度から、中国語については同じ科目の繰り返し履修が可能となりました。

【申込み方法】 ※英語以外の外国語(留学生の特設科目を除く)は「抽選科目」となります。

Web 履修登録はできません。

- ・教務課で申込用紙を配付します。(新入生は、4月の教務関係オリエンテーションで配付します。)
- ・4月に前後期分(1年分)の申込みをします。※後期のみ履修の場合も、この時点で申し込むこと。
- ・提出は、教学部ホール内の所定ボックスへ。

1次募集申込締切: 4月5日(木)16:30

4月6日(金)9時～ 教学部ホール内の掲示板にて結果発表。

※履修登録は4月11日(水)までに教務課で行います(変更不可)。

- ・1次募集にもれた人、1次募集に間に合わなかった人は、2次募集へ。

2次募集申込締切: 4月6日(金)16:30

4月9日(月)9時～ 教学部ホール内の掲示板にて結果発表。

※履修登録は4月11日(水)までに教務課で行います(変更不可)。

- ① 留学生については、日本語 I・II (必修)の単位を外国語の単位とします。(事前申込は不要です。自分で Web 履修登録してください。)
- ② 海外研修(総合中国語及び総合ハンゲル)を希望する場合、説明会に参加してください。(履修可能単位数には含まれません。)

(2) 後期の履修について

4月に決定した時点で履修登録されています。やむを得ない理由により変更を希望する場合は、変更先の担当教員の許可を得た上で、履修エラー訂正期間内に変更手続きをとってください。

健康教育科目の履修について

(1) 履修方法について

- ① 健康教育科目は、卒業までに必ず4単位以上修得する必要があります。
- ② 健康教育科目のうち、「健康教育実践」は、半期1単位の必修科目です。卒業必要単位数の残り3単位については、「健康教育論」(2単位)、「各スポーツ実践」(1単位)を組み合わせることにより修得してください。なお、健康教育科目は、8単位を限度として履修することができます。
- ③ 「健康教育実践」と「健康教育論」は、1年次はクラス指定がありますので、そのクラスを履修するようにしてください。(クラス分け資料は新入生オリエンテーションで配付します。「健康教育実践」はあらかじめ履修登録されています。)

注意！ 女子学生は、女子専用クラスを履修します。

- ④ 健康教育実践、健康教育論を再履修する場合は、どのクラスでも履修可能ですが、履修登録をした上で必ず第1回目の授業に出席し、担当教員の許可を受けてください。
- ⑤ 健康教育実践を修得してから、スポーツ実践を履修することが望ましいですが、再履修等でスポーツ実践を先に履修することになっても構いません。(半期に両方を履修することも可能です。)なお、スポーツ実践は、同じ科目を複数履修することができます。
- ⑥ スポーツ実践(2年次以上履修可能)については、人数制限がありますので、事前申込の必要があります。
 - ・初級スポーツ実践……初心者対象
 - ・中級スポーツ実践……経験者対象
 - ・総合スポーツ実践……野外実習(夏期集中講義)※不開講
スキー(スノーボード)実習(冬期集中講義)

【申込方法】(申込先・期間等については、掲示で確認してください。)

- ・前後期とも、事前申込が必要です。
 - ・申込をした上で、履修登録してください。(申込をせずに登録しても受講は認められません。)
 - ・なお、総合スポーツ実践は半期の履修可能単位数に含まれません。募集時期が履修登録時とは異なりますので、掲示等で必ず確認してください。
- ⑦ 健康教育実践、初級・中級スポーツ実践の第1回目の講義は、前後期とも体育館に集合してください。(詳細は掲示でお知らせします。)



簿記の履修について

(1) 履修方法について

- ① 簿記科目として、簿記論Ⅰ～Ⅳが開講されています。簿記論Ⅰは経営学科・商学科必修科目です。(卒業までに必ず修得する必要があります。)
- ② 学習内容の難易度は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に高まります。初学者は、簿記論Ⅰから、この順で履修するようにしてください。

(2) 資格取得による、簿記論Ⅰ・Ⅱの単位認定について

- ① 簿記論Ⅰ・Ⅱについては、下記の要領で特別に単位を認定する制度があります。
 - ◆ 対象者：全学科の在学生
 - ◆ 取得時期：入学前および入学後に修得したもの
 - ◆ 資格種類：全商簿記検定2級以上
全経簿記検定2級以上
日商簿記検定3級以上
 - ◆ 申込期間：(1)前後期それぞれ履修届提出締切まで
(2)前後期定期試験期間
 - ◆ 申込場所：教務課 合格証書を持参のこと
 - ◆ 簿記論Ⅰ・Ⅱとして4単位認定されます。(成績は、「認定」と表示され、点数は表示されません。)
 - ◆ 履修可能単位数には含まれません。(履修届に記入する必要はありません。単位認定を受けた上で、教員の許可のもと授業を聴講することは可能です。)
- ② 入学後に取得した資格については、実践学習として特別単位認定科目の申請をすることもできます。(→特別単位認定科目について p.76～参照)
 - ◆ 対象者：全学科の在学生
 - ◆ 取得時期：大学入学後に取得したもの
 - ◆ 資格種類：全経1級、全経上級、日商2級、日商1級
公認会計士2次試験、税理士試験
 - ◆ 単位認定：各学部「単位認定審査会」の審査により決定します。(簿記論Ⅰ・Ⅱとしての認定ではありません。)
 - ◆ 申込場所：教務課 合格証書を持参のこと

特別演習の履修について

■ 経済学部対象 ■

(1) 特別演習(アドヴァンスト・クラス)とは?

特別演習(アドヴァンスト・クラス)とは、大学院への進学および将来の進路を見据え、経済学のより深い学習を希望する意欲のある学生を対象に、その希望の実現を強力的にサポートするために設けられた経済学科の特別カリキュラムです。

(2) 特別演習の履修条件について

- ① 経済学部2年次以上であること。
- ② アドヴァンスト・クラス選抜試験に合格した学生であること。(合格した上で、履修登録をします。)前年度アドヴァンスト・クラス履修生は、引き続き履修が可能です。(複数履修した場合も、卒業単位[自由選択科目]として認定が可能です。)
- ③ 経済学部生以外が履修する場合は、他学部・他学科履修の申請が必要です。

他学部・他学科授業科目の履修について

■法学部は除く■

自由選択科目のうち 16 単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする 【経済学部経済学科・経営学部経営学科及び商学科 履修細則】

（１）他学部・他学科履修が可能な科目について

- ・基礎演習、研究演習を除く全学部の専門科目

（２）履修可能単位数について

- ・自由選択科目として、**16単位まで**履修できます。（各期の**履修可能上限単位数**に含まれます。）
- ・成績表にはD群で表示されます。

（３）手続き方法について

- ①他学部・他学科授業科目受講申請書を教務課で受け取る。
- ②必要事項を記入し、受講科目担当教員の承認印をもらい、指定された期限内に教務課に提出する。
- ③申請書提出後、Web 履修登録期限内に各自で履修登録を行う。

※前期のみ

新入生（編入生を含む）は申請書提出後、教務課で履修登録を行います。（自分で Web 履修登録する必要はありません。）

（４）履修確認について

- ・履修登録締切後、ゼミの時間に配付される「履修確認書」を必ず確認してください。
- ・講義案内システムの「履修一覧」からも確認可能です。
- ・「他学部・他学科科目の履修あり」のエラー表示が出ますが、訂正は不要です。

【注意】他学部・他学科科目（専門科目配当表にない科目）は

申請しないと受講できません。

定期試験・追試験・再試験について

(1) 定期試験について

- ① 前後期講義終了後の1週間で実施します。
- ② 定期試験期間 前期（7月下旬） 後期（1月下旬）
- ③ 試験の時間割は、掲示板に掲示します。変更等もありますので随時注意して見てください。
- ④ **時間割は、原則として、通常の講義の曜日・時限と同じです。**ただし、試験時間の長さは、科目によって異なります。（60分・70分・80分のいずれか）
- ⑤ 科目により授業の時間内に実施するものもあります。その場合、通常の定期試験とは別扱いになりますので、注意してください。（教務課が作成する「定期試験時間割一覧」には、含まれません。）

■受験資格について■

- ① 履修登録した科目について受験できます。
- ② 授業担当教員が、所定の出席回数以上を受験資格とする場合があります。

(2) 追試験について（全年次生対象）・・・定期試験終了後

- ① 正当な理由により定期試験が受けられなかった場合、追試験の受験が可能です。ただし、定期試験（教務課扱い）を実施した科目に限ります。
- ② **試験日に該当した日付がある証明書が必要です。**
【例】公共交通機関の遅れ・・・遅延証明書
病気・けがが・・・・・・・診断書（期間が入ったもの・不明な点は事前に問い合わせのこと）
忌引き・・・・・・・死亡が確認できるもの（条件有・事前に連絡すること）
- ③ 成績は原得点の90%となります。ただし就職試験等（キャリアセンター課で証明書が発行されるもの）は原得点となります。
- ④ 受験料は**1科目** 1,000 円です。なお、原則として、納入された受験料の返金はできません。
- ⑤ 試験の申込みは、指定する期間内に限ります。
- ⑥ 集中講義、大学コンソーシアム等の科目については追試験の対象になりません。

(3) 再試験について（2年次生・4年次生対象）・・・定期試験終了後

- ① 以下の受験資格に該当する場合、再試験の受験が可能です。ただし、定期試験（教務課扱い）を実施した科目に限ります。
- ② 成績は“可”または“不可”となります。
- ③ 受験料は**1単位** 1,000 円です。なお、原則として、納入された受験料の返金はできません。
- ④ 試験の申込みは、指定する期間内に限ります。
- ⑤ 集中講義、大学コンソーシアム等の科目については再試験の対象になりません。

■受験資格について■

《卒業予定者》

- ① 卒業に必要な単位が定期試験終了時（追・再試験申込締切時）、8単位以内不足のため、卒業資格を得ることができない場合、本人の願い出により、授業担当教員が認めた場合に再試験を行うことがあります。
- ② 上限12単位まで受験可能です。

- ③ 原則として後期末に行い、9月卒業予定者のみ、前期末に行うことがあります。

《一部の2年次生(3年次進級予定者)》

- ① 進級に必要な単位が定期試験終了時(追・再試験申込締切時)、6単位以内不足のため、進級資格を得ることができない場合、本人の願い出により、授業担当教員が認めた場合に再試験を行うことがあります。
- ② 上限10単位まで受験可能です。ただし、単位として認定されるのは3年次への進級基準の単位数(52単位)までです。原則として後期末に行います。

■ 追・再試験の時間割 ■

時 限	時 間
1時限	09:00~10:00
2時限	10:20~11:20
昼 休 み	
3時限	12:30~13:30
4時限	13:50~14:50
5時限	15:10~16:10
6時限	16:30~17:30

◆受験上の注意◆

1. 【入室】 試験開始時刻の10分前には、試験室として指定された教室に入室し、着席してください。試験開始後30分を経過した後は、入室は認めません。
2. 【定期試験時間】 試験は、60分・70分・80分のいずれかで実施されます。試験開始前に監督者から告げられる時間で受験してください。
3. 【不正行為】 試験中は、監督者の指示に従ってください。カンニング等の不正行為や、私語その他の言動により試験の円滑な進行を妨げる行為をしてはいけません。
 - ◆監督者の指示に従わず、不正行為等を行ったと認められた人については、当該期の定期試験をすべて無効とし（各学部成績考査規程第5条）、さらに岡山商科大学学則第43条に従い、懲戒を行うことがあります。
4. 【学生証の携行】 学生証は、学生手帳その他のケースから出し、写真の貼付してある側を表にして、机の上の通路側に置いてください。学生証又は仮学生証を携行していない人は、この試験を受けることができません。
 - ◆試験中に限り、学生証を紛失・忘失等した場合は、学生課において「仮学生証」を発行しています。（有料）
5. 【持込物件等】
 - ① 机の上には、持込を許可されたものを除いて、学生証（仮学生証）・筆記用具・時計等、明らかに試験に必要と認められるもの以外は置いてはいけません。
 - ② 筆記用具は、筆箱等から出しておいてください。
 - ③ テキスト・ノート・筆箱その他の荷物は、すべてカバン等の中に入れて、着席している椅子の下又は足元等、監督者の邪魔にならない場所に置いてください。通路の上にカバンその他荷物を置いてはいけません。
 - ④ 持込を許可されたものや筆記用具等について、試験の最中に受験者同士で貸し借りをしてはいけません。
6. 【携帯電話】 携帯電話・スマートフォン・PHS等を時計代わりに使用することはできません。携帯電話等の電源は、試験場に入る前に切ってください。試験中に携帯電話等の呼出し音等が鳴った場合には、円滑な試験の実施を妨害するものとして、退場を命じられることもあります。
 - ◆携帯電話等の場合に限らず、試験中に監督者から退場を命じられた人に対する措置は、カンニング等の不正行為を行った人に対するものと同様です。（上記3、ならびに各学部成績考査規程第4条第6項・第5条参照）
7. 【退出時間】 試験開始後30分を経過した後は、答案を提出した上で、試験場から退出することができます。ただし、試験中に退出する場合は、答案と共に自分の荷物を持って答案提出場所に向かい、答案提出後、着席していた場所に二度と戻ることのないようにして、速やかに退出してください。

- 《注意》
1. 学生証必携（仮学生証可・学生課で発行）（有料）
 2. 試験開始後30分以内なら入室可
 3. 不正行為厳禁（当該期の定期試験科目がすべて無効となる）

成績評価について

(1) 成績評価（成績表の表示）について

- ① 成績評価は、当該学期末に行われます。
- ② 科目の成績は、100点を持って満点とし、60点以上を合格とします。
- ③ 合格した人には、所定の単位が与えられます。

点数	評価	GPA	合否
100点～90点	優	4	合格
89点～80点		3	
79点～70点	良	2	
69点～60点	可	1	
59点以下	不可	0	不合格
評価不能(-)	不認定	0	

※ 特別単位認定科目は、合格の場合、評価は認定となります。

※ 成績証明書には、合格した科目が「優・良・可・認定」で記載されます。（不合格科目は記載されません。）

(2) 成績通知書の発送について

- ① 成績通知書の発送は、各学期末(前期:8月下旬, 後期:3月中旬)に、保護者と学生本人の連名で、保護者宅へ親展文書で郵送されます。
ただし、後期卒業要件充足者には卒業式の案内が郵送され、成績通知書は郵送されません。
- ② 成績通知書は、卒業まで必ず保存してください。**再発行はできません。**
- ③ なお、成績(合否のみ)は、講義案内システムで確認が可能です。(学内のPCに限ります。)

(3) 成績表および修得単位整理表について（下記は、経営学部の例）

成績表

群・科目	担当者	単位	評点	評価	期
【教養科目】					
(I群)					
NNNNNNNN	NNNNN	2	75	良	前
(第1外国語)					
中級英語Ⅲ	NNNNN	1	80	優	前
【専門科目】					
(共通必修科目【X群】)					
基礎演習	NNNNN	4		履修	通
(選択必修科目【B群】)					
NNNNNNNN	NNNNN	2		—	前
(自由選択科目【C群】)					
NNNNNNNN		2		認定	前
【キャリア科目】					
キャリア形成論Ⅱ	NNNNN	2	92	優	前
当該期修得単位数					22
当該期 GPA 値(注)					3.08

※評価「認定」: 所定の条件のもと、履修せず単位の修得を認められた科目です。

※評価「—」: 出席をしていない等の理由により評価不能(不認定)科目です。

※評価「履修」: 前期成績表発送時に成績評価の出していない科目です。

(一部の集中講義、及び後期に評価の出る通年科目がそれに該当します。)

修得単位整理表

類別	必要単位	修得単位	不足単位
【教養科目】			
I群	4	4	0
II群	4	2	2
III群	4	4	0
第1外国語	4	2	2
第2外国語	2	1	1
健康教育	4	3	1
教養演習	4	4	0
【専門科目】			
共通必修科目	22	8	14
選択必修科目	22	10	12
自由選択科目	38	16	22
【その他教養・専門科目】	10	0	10
【キャリア科目】	6	4	2
<余剰単位数>		0	
合計	124	58	66
累積GPA(注)			3.08

※修得単位整理表は履修細則に従って分類されます。

(注)GPAについては、次頁参照

■成績表■

- ①成績表には、当該学期に履修している全ての科目が、教養・専門科目別に授業科目配当表の分類(群)順に掲載されます。(履修中止の申請をした科目は除く。)
- ②その「群」により、科目部門別に修得単位が分類されます。(→修得単位整理表)
- ③成績について、不明な点がある場合は、早めに教務課に申し出てください。(卒業予定者は、直ちに申し出てください。)

■修得単位整理表■

- ①現在までの修得単位を科目部門別に累積表示しています。
- ②それぞれの科目部門の必要単位数を修得しなければ、卒業できません。
- ③次学期は、この表を参考にして、不足単位分を修得していけるよう履修を組んでください。

★GPAによる成績評価について(2009年度以後入学生のみ)★

1. GPAとは?

GPAとは、Grade Point Averageの略で、科目の評点をGP(グレードポイント)に換算し、1単位のGPの平均値を算出するものです。

2. 計算方法

各自の履修に基づき、各科目の成績結果(評点)を下表のように換算し、その合計を科目の総単位数で割ったものです。

評点	GP(グレードポイント)
100点～90点	4
89点～80点	3
79点～70点	2
69点～60点	1
59点以下	0
空白(評価不能)	0
履修中止(届出必要)	算定対象外
卒業要件外科目	
認定科目	

$$GPA = \frac{(\text{科目のGP} \times \text{単位数})\text{の総和}}{\text{科目の単位数の合計}}$$

- ※GPAの最高点は、4.00です。
- ※卒業まで、ポイントが累計されます。

3. 事例

科目名	単位(a)	評点	GP(b)	a×b
教養演習	4	90	4	16
社会学概論 I	2		0	0
コンピュータ処理 I	2	70	2	4
中級英語 I	1	55	0	0
ビジネス概論 I	2	80	3	6
計	11			26

履修登録した授業科目の単位数の合計=11

(履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目のGP)の総和=26

当該期のGPA=26÷11=2.36

GPAによる成績評価は、アメリカの大学で始まり、近年、日本でもこの計算方法を採用する大学が増えています。履修内容には個人差があり、従来の成績評価では単純な比較が困難であるとの理由から、進学・就職等の成績評価基準として、国内外で利用されています。(ただし、実際の運用方法は大学により異なります。)

本学での成績評価は、評点(点数)での評価が基本となりますが、こうした社会情勢もあり、2009年度入学生より、成績通知書および成績証明書にGPAを付帯事項として記載しています。なお、今後GPAの重要性が高まる傾向にあることから、**2014年度には本学におけるGPAの活用指針を作成しました(次ページ)**。当該期および累計GPAの変化を見ることにより、自分の学習成果を客観的にとらえることができますので、学業成績の指標のひとつとして、また大学卒業に向けた目標達成のために役立ててください。

進級判定等におけるGPAの活用について

本学では、学業成績をはかる基準として、「優」「良」「可」「不可」の成績評価に加え、GPA 制度を利用しています。GPA 制度は科目ごとの成績に単位数を加味した加重平均で全体の成績を表わそうとするもので、成績評価をより明確にし、個々の学生の学習指導に役立てることを目的にしています。

1. 進級判定(進級基準)

2 年次修了時の修得単位数が 52 単位以上であれば、これまでは進級できましたが、今後は、各期の GPA についても参考にします。

具体的には、GPA の最大値が 1.0 未満の学生、及び、各期の GPA の最大値が 1.0 以上であっても、GPA の最小値が 0.5 未満である学生については、進級基準の【2 年次から 3 年次に進級する時点での修得単位数が累計 52 単位以上(教養演習を含む)】を満たしている場合においても、履修の内容や将来の目標等に関して、指導教員が面談等の指導を行います。

その上で、所属学部の教授会において審議し、進級を判定します。

2. 退学防止

近年1, 2年次の退学率が極めて高くなっており、特に GPA が 1.5 未満の学生の退学率が高いことが明らかになってきました。「学期 GPA」の推移を見ることで、学修状況の現状把握をすることができます。

下記の「GPA 制度による学修状況把握」の目安を参考に、履修計画を立てて頑張ってください。

「GPA制度による学修状況把握」の目安

成績表には、学期ごとの履修科目を基にした「学期 GPA」と、入学時から現在までに履修したすべての科目(累計成績)を基にした「累計 GPA」が記載されています。

大学生活全般の履歴は「累計 GPA」が、現在の学修状況を確認するには「学期 GPA」が参考になります。

GPA の値	評点の平均値	学習・生活面の状態
4.0~3.0	80 点 ~ 100 点を平均的に修得	非常に優秀で問題はない。
2.9~2.0	70 点 ~ 79 点を平均的に修得	問題はないが、前の期より下がってきている場合には注意が必要。
1.9~1.0	60 点 ~ 69 点を平均的に修得	ぎりぎり合格しているレベル。 学修姿勢により、不合格が増える可能性がある。 ① 過去の期 GPA で 0.5 以下がある場合、進級できない可能性がある。「努力が必要」 ② 過去の期 GPA で 0.25 以下がある場合、進級できない可能性がある。「相当努力が必要」 ③ 過去の期 GPA で 0.5 以下が 2 回以上ある場合、ほとんど進級できないので「覚悟を決めてほしい」
0.9~	不合格の割合が多い	ほとんど進級できないので、「覚悟する必要がある」

2014 年 8 月作成・掲示

卒業レポート・卒業論文・卒業について

(1) 卒業レポートについて

法学部・経済学部

- ◆内容・形式全て、研究演習担当教員の指示(指導)に従ってください。

(2) 卒業論文について

経営学部

経営学部では、4年次に卒業論文を提出します。大学4年間の集大成として、充実した論文が作成できるよう、1年次から計画的な学習を心がけましょう。

- ◆内容: 研究演習担当教員の指導によります。
- ◆形式: 履修規程第13条6項により、以下のように定められています。

- ☆用紙
 - ・A4判 縦向き 横書き
 - ・コンピュータ入力の場合(市販のコピー用紙等でよい)
40字×30行に設定 13枚以上
 - ・手書きの場合 400字詰原稿用紙(原稿用紙以外不可)
38枚以上 鉛筆書き不可
- ☆字数 15,000字以上
- ☆表紙 指定用紙あり(教務課で販売: 1セット 50円)
- ☆提出には、演習指導教員の検印が必要です。

- ◆提出期限: 履修規程第13条5項に以下のように定められています。

卒業論文の提出は、1月14日午後4時までとする。当日が土曜日又は祝日の場合は前日の午後4時、日曜日の場合は前々日の午後4時をもって期限とする。

2018年度卒業論文提出締切: 2019年1月11日(金)16:00 教務課
※決められた提出期限を過ぎた場合、一切受理されません。

(3) 前期卒業について

- ◆4年次後期(3月)に卒業できなかった場合、次年度の前期(9月)に卒業できる制度があります。

《注意》ただし、当該年度の前期の開講科目により、履修上卒業が可能な場合に限ります。

(4) 卒業判定結果の通知について(前期・後期とも)

- ◆卒業要件を充足した場合、卒業判定会議終了後、保護者と本人の連名で保護者宅に卒業式の案内が郵送されます。卒業式に出席できない場合は、総務企画課に申し出てください。
- ◆後期卒業を逸した場合(留年)には、通常の成績通知書を郵送します。
(ただし、前期は、卒業決定に拘わらず、全員に成績通知書を郵送します。)

(5) 卒業証明書・成績証明書の発行について(学生課取扱い)

- ◆卒業式より事前に申込みを受け付けます。式当日の申込みは郵送または翌日渡しになります。

教職課程について

■ 2009年度以後入学生用 ■

教職課程は、教育職員免許状取得のための課程です。将来教員になることを目指している人は、この課程を履修してください。

新しい時代の教員には、情報化、国際化の進展や、学校教育を巡る諸問題に対応できる高度な資質能力と強い意志が要求されています。

教職課程履修希望者は、これらのことを十分認識した上で、教員になる強固な意志を持って履修してください。

【教職コースについて】

2016年度から教職コースが新設されました。2016年度以後の入学生で、教職課程を履修する者については、通常の各学科のコースとは別に、副コースとして「教職コース」に所属することになります。「教職コース」のゼミ【教職サブゼミ】において、教員としての資質を養うべく、教職課程担当教員が指導します。

*在学中で教職課程を辞退した場合、「教職コース」の所属ではなくなりますが、学科のコースには影響することはありません。

1. 本学で取得できる教育職員免許状の種類および教科

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
法 学 部	法 学 科	中学校教諭一種免許状	社 会
		高等学校教諭一種免許状	公 民
経 済 学 部	経 済 学 科	中学校教諭一種免許状	社 会
		高等学校教諭一種免許状	公 民
経 営 学 部	経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状	商 業
	商 学 科	高等学校教諭一種免許状	情 報
			商 業

※所属学科に記載されている以外の免許教科の履修を希望する場合には、教務課に相談してください。

2. 教育職員免許状取得のための基礎資格と最低修得単位数

免許状を取得するためには「教育職員免許法」に定める基礎資格を有し、大学における最低修得単位数を満たさなければなりません。免許状を得るための基礎資格と本学における所要単位は、次のとおりです。

①一種免許状取得のための基礎資格

学士の学位を有すること。(大学卒業が条件となります。)

②本学における必要単位数(2009年度以後入学生用)

2000年度入学生から新基準の適用になっています。

科目		免許教科		法学部		経済学部		経営学部		
				法学科		経済学科		経営学科		商学科
				中学社会	高校公民	中学社会	高校公民	商業	情報	商業
教科に関する科目		必修	34 36 ※	22 24 ※	34	22	20	22	20	
教職に関する科目		必修	37	29	37	29	29	29	29	
教科又は教職に関する科目		必修	8 6 ※	16 14 ※	8	16	16	16	16	
教養 科目	法学Ⅱ(日本国憲法を含む)	必修	2	2	2	2	2	2	2	
	健康教育実践	必修	1	1	1	1	1	1	1	
	健康教育論	必修	2	2	2	2	2	2	2	
	コンピュータ処理Ⅰ	必修	2	2	2	2	2	2	2	
	中級英語Ⅰ	このうち 2科目を 選択必修	2	2	2	2	2	2	2	
	中級英語Ⅱ									
	中級英語Ⅲ									
	中級英語Ⅳ									
合計単位			88単位	76単位	88単位	76単位	74単位	76単位	74単位	

※「法学科の2016年度入学生」のみ、単位数を変更しています。

- ★「教科に関する科目」および「教職に関する科目」の詳細については、次頁以降の一覧表を参照してください。
- ★「教職に関する科目」「教科に関する科目」のうち、卒業に必要な単位数に含まれるものについては、一覧表にある科目に【※】を付けていますので、履修する際に確認をしてください。
- ★「教職に関する科目」または「教科に関する科目」のうち、教育職員免許法の最低取得単位数を超えて履修した単位は、「教科または教職に関する科目」の単位数に振り替えます。

履修内容の確認について

教職課程の履修に関しては、入学年度のカリキュラムが基本となります。

そのため、必修・選択科目の履修等の確認についても、入学年度の学生便覧で行う必要があります。免許状の取得時まで、各年次の学生便覧を保存しておいてください。

※「教科に関する科目」については、次頁以降にある「教科に関する科目の単位修得方法」の一覧表に旧科目名や注意事項を記載していますので、確認をしてください。

3. 教科に関する科目の単位修得方法

(1) 法学部法学科

中学校教諭一種免許状（社会）を取得するには、次の表の単位を修得しなければなりません。

・法学科（中学社会）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
日本史及び外国史	※日本史概説Ⅰ	2		2,3,4		【2017年度以降入学生】 【2015年度以前入学生】 必修科目34単位 選択科目 8単位 【2016年度入学生】 必修科目36単位 選択科目 6単位
	※日本史概説Ⅱ	2		2,3,4		
	※外国史概説	2		1,2,3,4	隔年開講 2017開講	
	※経済史概論Ⅰ		2	1,2,3,4		
	※経済史概論Ⅱ		2	1,2,3,4		
地理学 (地誌を含む。)	※地理学概説Ⅰ	2		2,3,4		
	※地理学概説Ⅱ	2		2,3,4		
	※地誌学	2		2,3,4		
「法学、政治学」	※法律学入門	2		1,2,3,4	2016年度入学生より必修 *2015年度以前入学生は対象外(教科に関する単位に含みません)	
	※法律学概説	2		2,3,4	2016年度以前入学生は必修 *2017年度以降入学生は削除(教科に関する単位に含みません)	
	※国際社会と法Ⅰ	2		2,3,4		
	※国際社会と法Ⅱ	2		2,3,4		
	※憲法Ⅰ(統治1)		2	1,2,3,4		
	※憲法Ⅱ(統治2)		2	1,2,3,4		
	※民法概説		2	1,2,3,4		
	※民法総則		2	2,3,4		
	※刑法Ⅰ(総論1)		2	1,2,3,4		
	※刑法Ⅱ(総論2)		2	1,2,3,4		
	※行政法Ⅰ (基本原理, 行政組織法)		2	2,3,4		
	※行政法Ⅱ (行政作用法1)		2	2,3,4		
	※商法総則・商行為		4	2,3,4		
	※政治学Ⅰ		2	2,3,4		
※政治学Ⅱ		2	2,3,4			
「社会学、経済学」	※国際経済学Ⅰ	2		2,3,4		
	※国際経済学Ⅱ	2		2,3,4		
	※マクロ経済学	2		2,3,4		

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
「社会学，経済学」	※ミクロ経済学	2 2017年度 以後入学生	2 2016年度 以前入学生	2.3.4	2017年度以後入学生 より必修 *2016年度以前入 学生は、2017度以降の 履修は選択科目	【2017年度以降 入学生】 【2015年度以前 入学生】 必修科目34単位 選択科目 8単位 【2016年度 入学生】 必修科目36単位 選択科目 6単位
	※中級マクロ経済学	2 2016年度 以前入学生	2 2017年度 以後入学生	2.3.4	2017年度以後入学生 より選択科目 *2016年度以前入 学生必修	
	※中級ミクロ経済学		2	2.3.4	2017年度以後の履修 生より該当	
	※産業組織論		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅰ	
	※経済政策		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅱ	
	※社会政策Ⅰ		2	2.3.4		
	※社会政策Ⅱ		2	2.3.4		
	※金融論		2	1.2.3.4	旧 金融論Ⅰ	
	※金融システム論		2	2.3.4	2017年度以後の履修 生のみ該当	
	※金融論Ⅱ		2	2.3.4	2016年度以前の履修 生のみ該当	
	※財政政策Ⅰ		2	2.3.4	2015年度以前の履修 生のみ該当	
※財政政策Ⅱ		2	2.3.4	2015年度以前の履修 生のみ該当		
「哲学，倫理学，宗 教学」	※哲学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※哲学概論Ⅱ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅱ	2		2.3.4		

高等学校教諭一種免許状（公民）を取得するには、次の表の単位を修得しなければなりません。

・法学科（高校公民）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単位		履修配当年次		
		必修	選択			
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	※法律学入門	2		1.2.3.4	2016年度入学生より必修 *2015年度以前入学生は対象外（教科に関する単位に含みません）	【2017年度以降入学生】 【2015年度以前入学生】 必修科目22単位 選択科目16単位 【2016年度入学生】 必修科目24単位 選択科目14単位
	※法律学概説	2		2.3.4	2016年度以前入学生は必修 *2017年度以降入学生は削除（教科に関する単位に含みません）	
	※国際社会と法Ⅰ	2		2.3.4		
	※国際社会と法Ⅱ	2		2.3.4		
	※憲法Ⅰ（統治1）		2	1.2.3.4		
	※憲法Ⅱ（統治2）		2	1.2.3.4		
	※民法概説		2	1.2.3.4		
	※民法総則		2	2.3.4		
	※刑法Ⅰ（総論1）		2	1.2.3.4		
	※刑法Ⅱ（総論2）		2	1.2.3.4		
	※行政法Ⅰ （基本原理、行政組織法）		2	2.3.4		
	※行政法Ⅱ （行政作用法1）		2	2.3.4		
	※商法総則・商行為		4	2.3.4		
	※政治学Ⅰ		2	2.3.4		
※政治学Ⅱ		2	2.3.4			
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	※国際経済学Ⅰ	2		2.3.4		
	※国際経済学Ⅱ	2		2.3.4		
	※マクロ経済学	2		2.3.4		
	※ミクロ経済学	2 2017年度以後入学生	2 2016年度以前入学生	2.3.4	2017年度以後入学生より必修 *2016年度以前入学生は、2017年度以降の履修は選択科目	
	※中級マクロ経済学	2 2016年度以前入学生	2 2017年度以後入学生	2.3.4	2017年度以後入学生より選択科目 *2016年度以前入学生必修	
	※中級ミクロ経済学		2	2.3.4	2017年度以後の履修生より該当	
	※産業組織論		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅰ	
	※経済政策		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅱ	
	※社会政策Ⅰ		2	2.3.4		
	※社会政策Ⅱ		2	2.3.4		

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単位		履修配当年次		
		必修	選択			
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	※金融論		2	1.2.3.4	旧 金融論Ⅰ	【2017年度以降入学生】 【2015年度以前入学生】 必修科目22単位 選択科目16単位 【2016年度入学生】 必修科目24単位 選択科目14単位
	※金融システム論		2	2.3.4	2017年度以後の履修生のみ該当	
	※金融論Ⅱ		2	2.3.4	2016年度以前の履修生のみ該当	
	※財政政策Ⅰ		2	2.3.4	2015年度以前の履修生のみ該当	
	※財政政策Ⅱ		2	2.3.4	2015年度以前の履修生のみ該当	
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	※哲学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※哲学概論Ⅱ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅱ	2		2.3.4		

(2) 経済学部経済学科

中学校教諭一種免許状（社会）を取得するには、次の表の単位を修得しなければなりません。

・経済学科（中学社会）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
日本史及び外国史	※日本史概説Ⅰ	2		2.3.4		必修科目34単位 選択科目 8単位 以上
	※日本史概説Ⅱ	2		2.3.4		
	※外国史概説	2		1.2.3.4	隔年開講 2017開講	
	※経済史概論Ⅰ		2	1.2.3.4		
	※経済史概論Ⅱ		2	1.2.3.4		
	※日本経済史Ⅰ		2	2.3.4		
	※日本経済史Ⅱ		2	2.3.4		
地理学 (地誌を含む。)	※地理学概説Ⅰ	2		2.3.4		
	※地理学概説Ⅱ	2		2.3.4		
	※地誌学	2		2.3.4		
「法学、政治学」	※法学入門	2		1.2.3.4	2017年度入学生より必修 *2016年度以前入学生は対象外(教科に関する単位に含みません)	
	※法学概説	2		2.3.4	2016年度以前入学生は必修 *2017年度以降入学生は削除(教科に関する単位に含みません)	
	※国際社会と法Ⅰ	2		2.3.4		
	※国際社会と法Ⅱ	2		2.3.4		
	※憲法Ⅰ(統治1)		2	1.2.3.4		
	※憲法Ⅱ(統治2)		2	1.2.3.4		
	※民法概説		2	1.2.3.4		
	※行政法Ⅰ (基本原理、行政組織法)		2	2.3.4		
	※行政法Ⅱ (行政作用法1)		2	2.3.4		
※商法総則・商行為		4	2.3.4			
「社会学、経済学」	※国際経済学Ⅰ	2		2.3.4		
	※国際経済学Ⅱ	2		2.3.4		
	※マクロ経済学	2		2.3.4		
	※ミクロ経済学	2 2016年度以後入学生	2 2015年度以前入学生	2.3.4	2016年度以後入学生より必修 *2015年度以前入学生は、2016年度より選択科目	
	※中級マクロ経済学	2 2015年度以前入学生	2 2016年度以後入学生	2.3.4	2016年度以後入学生より選択科目 *2015年度以前入学生必修	
	※中級ミクロ経済学		2	2.3.4	2016年度以後の履修生より該当	

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
「社会学， 経済学」	※産業組織論		2	2.3.4	旧 経済政策 I	必修科目34単位 選択科目 8単位 以上
	※経済政策		2	2.3.4	旧 経済政策 II	
	※社会政策 I		2	2.3.4		
	※社会政策 II		2	2.3.4		
	※経済統計論 I		2	2.3.4		
	※経済統計論 II		2	2.3.4		
	※金融論		2	1.2.3.4	旧 金融論 I	
	※金融政策		2	2.3.4	2017年度以後の履修 生より該当	
	※金融論 II		2	2.3.4	2016年度以前履修生 のみ該当	
	※民法総則		2	2.3.4	2014年度以前履修生 のみ該当	
	※財政政策 I		2	2.3.4	2015年度以前履修生 のみ該当	
※財政政策 II		2	2.3.4	2015年度以前履修生 のみ該当		
「哲学， 倫理学， 宗 教学」	※哲学概論 I	2		2.3.4		
	※哲学概論 II	2		2.3.4		
	※倫理学概論 I	2		2.3.4		
	※倫理学概論 II	2		2.3.4		

高等学校教諭一種免許状（公民）を取得するには、次の表の単位を修得しなければなりません。

・経済学科（高校公民）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	※法律学入門	2		1.2.3.4	2017年度入学生より必修 *2016年度以前入学生は対象外（教科に関する単位に含みません）	必修科目22単位 選択科目16単位以上
	※法律学概説	2		2.3.4	2016年度以前入学生は必修 *2017年度以降入学生は削除（教科に関する単位に含みません）	
	※国際社会と法Ⅰ	2		2.3.4		
	※国際社会と法Ⅱ	2		2.3.4		
	※憲法Ⅰ（統治1）		2	1.2.3.4		
	※憲法Ⅱ（統治2）		2	1.2.3.4		
	※民法概説		2	1.2.3.4		
	※行政法Ⅰ （基本原理、行政組織法）		2	2.3.4		
	※行政法Ⅱ （行政作用法1）		2	2.3.4		
	※商法総則・商行為		4	2.3.4		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	※国際経済学Ⅰ	2		2.3.4		必修科目22単位 選択科目16単位以上
	※国際経済学Ⅱ	2		2.3.4		
	※マクロ経済学	2		2.3.4		
	※ミクロ経済学	2 2016年度以後入学生	2 2015年度以前入学生	2.3.4	2016年度以後入学生より必修 *2015年度以前入学生は選択科目	
	※中級マクロ経済学		2	2.3.4	2016年度以後入学生より選択科目 *2015年度以前入学生必修	
	※中級ミクロ経済学		2	2.3.4	2016年度以後の履修生より該当	
	※産業組織論		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅰ	
	※経済政策		2	2.3.4	旧 経済政策Ⅱ	
	※社会政策Ⅰ		2	2.3.4		
	※社会政策Ⅱ		2	2.3.4		
	※経済統計論Ⅰ		2	2.3.4		
	※経済統計論Ⅱ		2	2.3.4		
	※金融論		2	1.2.3.4	旧 金融論Ⅰ	
	※金融政策		2	2.3.4	2017年度以後の履修生より該当	
※金融論Ⅱ		2	2.3.4	2016年度以前履修生のみ該当		

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
「社会学，経済学 (国際経済を含む。)」	※財政政策Ⅰ		2	2.3.4	2015年度以前履修生のみ該当	必修科目22単位 選択科目16単位 以上
	※財政政策Ⅱ		2	2.3.4	2015年度以前履修生のみ該当	
	※民法総則		2	2.3.4	2014年度以前履修生のみ該当	
「哲学，倫理学，宗 教学，心理学」	※哲学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※哲学概論Ⅱ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅰ	2		2.3.4		
	※倫理学概論Ⅱ	2		2.3.4		

(3) 経営学部経営学科

高等学校教諭一種免許状（商業）を取得するには、次の表の「商業の関係科目」と「職業指導」の単位を修得しなければなりません。

- 経営学科（高校商業）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
商業の関係科目	※簿記論Ⅲ	2		1,2,3,4		必修科目20単位 選択科目16単位 以上
	※簿記論Ⅳ	2		1,2,3,4		
	※会計学Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※経営学Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※経営学Ⅱ	2		1,2,3,4		
	※マーケティング論Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※情報処理概論Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※情報処理概論Ⅱ	2		1,2,3,4		
	※簿記論Ⅰ		2	1,2,3,4	単位「認定」を受けた場合、 【教科に関する科目】 としての単位数に充当できません。	
	※簿記論Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※工業簿記Ⅰ		2	1,2,3,4		必修科目20単位 選択科目16単位 以上
	※工業簿記Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※原価計算論		2	1,2,3,4	旧 原価計算論Ⅰ	
	※会計学Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※管理会計論		2	2,3,4	旧 管理会計論Ⅰ	
	※マーケティング論Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※証券市場論Ⅰ		2	2,3,4		
	※証券市場論Ⅱ		2	2,3,4		
	※財務諸表論Ⅰ		2	2,3,4		
	※財務諸表論Ⅱ		2	2,3,4		
	※保険論		2	3,4		
	※商業経営論		2	2,3,4		
	※市場調査論		2	3,4		
	※広告論		2	2,3,4		
	※国際経営論Ⅰ		2	2,3,4		
	※国際経営論Ⅱ		2	2,3,4		
	※経営管理論Ⅰ		2	2,3,4		
	※経営管理論Ⅱ		2	2,3,4		
	※商品開発		2	3,4		
	※ビジネス概論Ⅰ		2	1,2,3,4	他学部・他学科科目	
※ビジネス概論Ⅱ		2	1,2,3,4			

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
商業の関係科目	※国際会計論		2	3.4	2017年度以後の履修生のみ該当	
	※現代ビジネス事情		2	1,2,3,4		
	※コーポレート・ファイナンス		2	2,3,4	2016年度以後の履修生のみ該当	
	※ビジネス・エコノミクス		2	2,3,4		
	※経営戦略論		2	2,3,4		
	※経営組織論		2	2,3,4		
	※国際会計論Ⅰ		2	3,4	2014年度以前の履修生のみ該当	
	※国際会計論Ⅱ		2	3,4		
	※中小企業論Ⅰ		2	2,3,4		
	※中小企業論Ⅱ		2	2,3,4		
	※財務管理論Ⅰ		2	2,3,4	2015年度以前の履修生のみ該当	
	※財務管理論Ⅱ		2	2,3,4		
	※経営数学Ⅰ		2	2,3,4		
	※経営数学Ⅱ		2	2,3,4		
	※民法概説		2	1,2,3,4	2016年度以前の履修生のみ該当	
	※商法総則・商行為		4	2,3,4		
	※原価計算論Ⅱ		2	1,2,3,4	2017年度以前の履修生のみ該当	
	※管理会計論Ⅱ		2	2,3,4		
職業指導	※職業指導Ⅰ	2		1,2,3,4	2016年度以後の入学者は卒業要件単位に充当	
	※職業指導Ⅱ	2		2,3,4		

【注意】簿記論Ⅰ・簿記論Ⅱの単位「認定」を受けた場合、【教科に関する科目】としての単位に充当できません。

高等学校教諭一種免許状（情報）を取得するには、次の表の単位を修得しなければなりません。

・経営学科（高校情報）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	単 位		履修配当年次		
		必修	選択			
情報社会及び情報倫理	※情報社会と情報倫理	2		1,2,3,4		必修科目22単位 選択科目16単位 以上
	※情報技術論Ⅰ		2	2,3,4		
	※情報技術論Ⅱ		2	2,3,4		
	※情報システム論		2	2,3,4		
コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	※計測制御演習	2		2,3,4	2016年度より、免許法施行規則に定める科目区分を変更	
	※サーバアプリケーション		2	2,3,4	旧 ハードウェアOS構築	
	※プログラミングVB	2		2,3,4	旧 プログラミングBASIC	
	※アプリケーション作成演習	2		2,3,4		
	※プログラミングJAVA		2	2,3,4	旧プログラミングC++	
情報システム（実習を含む）	※情報システム技術	2		1,2,3,4		
	※データベース論	2		2,3,4		
	※データベース実践	2		2,3,4	2015年以前の履修生は他学部・他学科科目	
	※情報管理論		2	2,3,4	2016年度より、免許法施行規則に定める科目区分を変更	
情報通信ネットワーク（実習を含む）	※情報ネットワーク論Ⅰ	2		3,4		
	※情報ネットワーク論Ⅱ		2	3,4		
	※ネットワークシステム演習		2	2,3,4	旧 LAN構築演習	
マルチメディア表現及び技術（実習を含む）	※マルチメディア表現	2		2,3,4		
	※マルチメディア技術	2		2,3,4		
	※Webデザイン		2	2,3,4	旧 WebプログラミングHTML	
	※Webプログラミング		2	2,3,4	旧 WebプログラミングJAVA	
情報と職業	※情報と職業	2		1,2,3,4		

(4) 経営学部商学科

高等学校教諭一種免許状（商業）を取得するには、次の表の「商業の関係科目」と「職業指導」の単位を修得しなければなりません。

- ・商学科（高校商業）〔※印の科目は卒業に必要な単位数に充当します。〕

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	必修		履修配当年次		
		単位	選択			
商業の関係科目	※ビジネス概論Ⅰ	2		1,2,3,4		必修科目20単位 選択科目16単位 以上
	※ビジネス概論Ⅱ	2		1,2,3,4		
	※マーケティング論Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※マーケティング論Ⅱ	2		1,2,3,4		
	※情報処理概論Ⅰ	2		1,2,3,4		
	※情報処理概論Ⅱ	2		1,2,3,4		
	※簿記論Ⅲ	2		1,2,3,4		
	※簿記論Ⅳ	2		1,2,3,4		
	※保険論		2	3,4		
	※証券市場論Ⅰ		2	2,3,4		
	※証券市場論Ⅱ		2	2,3,4		
	※商業経営論		2	2,3,4		
	※流通システム論Ⅰ		2	1,2,3,4		
	※流通システム論Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※ビジネス英会話Ⅰ		2	2,3,4		
	※ビジネス英会話Ⅱ		2	2,3,4		
	※市場調査論		2	3,4		
	※広告論		2	2,3,4		
	※商品開発		2	3,4		
	※経営学Ⅰ		2	2,3,4		
	※経営管理論Ⅰ		2	2,3,4		
	※経営管理論Ⅱ		2	2,3,4		
	※国際経営論Ⅰ		2	2,3,4		
	※国際経営論Ⅱ		2	2,3,4		
	※簿記論Ⅰ		2	1,2,3,4	単位「認定」を受けた場合、「教科に関する科目」としての単位数に充当できません。	
	※簿記論Ⅱ		2	1,2,3,4		
	※会計学Ⅰ		2	1,2,3,4		必修科目20単位 選択科目16単位 以上
	※会計学Ⅱ		2	1,2,3,4		
※工業簿記Ⅰ		2	1,2,3,4			
※工業簿記Ⅱ		2	1,2,3,4			
※原価計算論		2	1,2,3,4	旧 原価計算論Ⅰ		
※財務諸表論Ⅰ		2	2,3,4			

免許法施行規則に定める科目区分	本学開設科目				備考	履修要件
	授業科目	必修		履修配当年次		
		単位	選択			
	※財務諸表論Ⅱ		2	2,3,4		
	※管理会計論		2	3,4	旧 管理会計論Ⅰ	
	※税務会計論Ⅰ		2	3,4		
	※税務会計論Ⅱ		2	3,4		
	※経営分析論Ⅰ		2	3,4		
	※経営分析論Ⅱ		2	3,4		
	※コーポレート・ファイナンス		2	2,3,4	2016年度以後の履修生のみ該当	
	※ビジネス・エコノミクス		2	2,3,4		
	※経営戦略論		2	2,3,4		
	※経営組織論		2	2,3,4		
	※コンピュータ会計論		2	2,3,4	2012年度以前の履修生のみ該当	
	※中小企業論Ⅰ		2	2,3,4	2013年度以前の履修生のみ該当	
	※中小企業論Ⅱ		2	2,3,4		
	※経営数学Ⅰ		2	2,3,4	2015年度以前の履修生のみ該当	
	※経営数学Ⅱ		2	2,3,4		
	※国際経済学Ⅰ		2	2,3,4		
	※国際経済学Ⅱ		2	2,3,4		
	※原価計算論Ⅱ		2	1,2,3,4	2017年度以前の履修生のみ該当	
	※管理会計論Ⅱ		2	3,4		
職業指導	※職業指導Ⅰ	2		1,2,3,4	2016年度以後の入学者は卒業要件単位に充当	
	※職業指導Ⅱ	2		2,3,4		

【注意】簿記論Ⅰ・簿記論Ⅱの単位「認定」を受けた場合、【教科に関する科目】としての単位に充当できません。

4. 教職課程の履修について

(1) 教職課程の申し込みについて

履修希望者は、1年次の4月に行われる説明会に必ず出席し、説明会で配布される申込用紙に記入し、履修料を添えて教務課へ申し込んでください。

1年次4月の申込を原則としますが、それ以降に、履修を希望する場合には、教務課へ問い合わせてください。

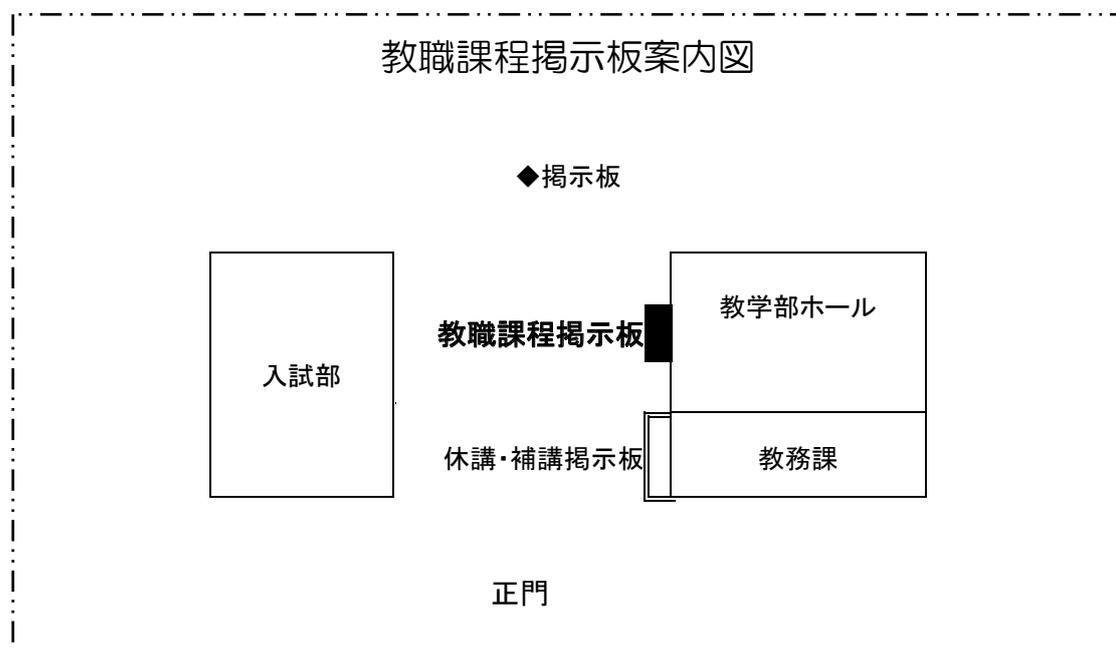
◆ 教職課程履修料	1 教科	20,000 円
	2 教科	30,000 円

いったん納入された履修料は、いかなる理由があろうと返金できません。

(2) 教職課程履修上の注意

- ★ 教職科目は、教職課程の申し込みをしないと履修できません。申し込みをしないで履修登録をしても無効です。
- ★ 「教職に関する科目」は、各年次の「履修可能単位数」には含まれません（一部科目は含む）。
- ★ 「教職に関する科目」は、可能な限り各配当年次に必ず履修して、修得してください。
- ★ 時間割で、教職科目と各学科の卒業要件の必修科目等が、同一時限に重なる場合、教務課に相談してください。

※ 教務課からの連絡は、掲示によって行いますので、教職課程掲示板をよく見て確認するようにしてください。



(3) 教職に関する科目

教職に関する科目は、どの教科の免許状を取得する場合でも修得しなければならない科目であり、各免許状を取得するには、下表「免許法施行規則に定める科目区分」の最低修得単位数を修得しなければならない。

免許法施行規則に定める科目区分・最低修得単位数			学 部	法		経済		経営					
				学 科	法		経済		経営		商		
					社会	公民	社会	公民	商業	情報	商業		
教職の意義等に関する科目	左記科目に含める必要事項 ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	単位数 2	教職論 (旧：教師論)	1年後期	2	2	2	2	2	2	2		
					※教育原理	1年前期	2	2	2	2	2	2	2
					※教育史	2年前期	2	2	2	2	2	2	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	※教育心理学Ⅰ	3年前期	2	2	2	2	2	2	2		
			※教育心理学Ⅱ	3年後期	選択 2								
			教育社会学 (旧：教育制度論)	3年後期	2	2	2	2	2	2	2		
			教育課程論	2年前期	2	2	2	2	2	2	2		
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法 ・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	中12 高6	社会科教育法Ⅰ	2年前期	2	—	2	—	—	—	—		
			社会科教育法Ⅱ	2年後期	2	—	2	—	—	—	—		
			社会科・公民科教育法Ⅰ	3年前期	2	2	2	2	—	—	—		
			社会科・公民科教育法Ⅱ	3年後期	2	2	2	2	—	—	—		
			商業科教育法Ⅰ	3年前期	—	—	—	—	2	—	2		
			商業科教育法Ⅱ	3年後期	—	—	—	—	2	—	2		
			情報科教育法Ⅰ	3年前期	—	—	—	—	—	2	—		
			情報科教育法Ⅱ	3年後期	—	—	—	—	—	2	—		
			道徳教育の理論と方法 (旧：道徳教育の研究)	3年前期	2	選択 2	2	選択 2	選択 2	選択 2	選択 2		
			特別活動の指導	3年前期	2	2	2	2	2	2	2		
教育方法論	2年後期	2	2	2	2	2	2	2					
生徒指導・教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	4	生徒・進路指導の理論と方法	3年後期	2	2	2	2	2	2	2		
			教育相談	2年前期	2	2	2	2	2	2	2		
教育実習		中5 高3	教育実習指導	3年後期	1	1	1	1	1	1	1		
			教育実習Ⅰ	4年前期	2	—	2	—	—	—	—		
			教育実習Ⅱ	4年前期	2	2	2	2	2	2	2		
教職実践演習		2	教職実践演習 (中・高)	4年後期	2	2	2	2	2	2	2		
必修単位数合計					37	29	37	29	29	29	29		

- 【※】のついている科目は、2016年度以後の入学生のみ「卒業要件単位」として加算されます。
- 「教職論」「教育社会学」「道徳教育の理論と方法」は、2016年度から名称変更しています。

◇「各教科の指導法」に関する科目の履修について

前ページの教職科目の中「各教科の指導法」については、各免許教科により、それぞれ履修してください。

免許教科

教科の指導法

中学校教諭一種免許状（社会）－「社会科・公民科教育法Ⅰ，Ⅱ」，「社会科教育法Ⅰ，Ⅱ」
 高等学校教諭一種免許状（公民）－「社会科・公民科教育法Ⅰ，Ⅱ」
 高等学校教諭一種免許状（商業）－「商業科教育法Ⅰ，Ⅱ」
 高等学校教諭一種免許状（情報）－「情報科教育法Ⅰ，Ⅱ」

5. 教育実習について

教育実習は、4年次生教職課程履修者の必修科目であり教職課程の集大成ともいえる最後の関門ですが、教育実習生を受け入れる中学校、高等学校及び教育委員会では、通常の授業計画に大きな影響があるとして、受け入れ条件に「教員となる意志強固な者に限る」という方針を強く打ち出しています。

また同時に、大学側にも「実習生の厳選」が求められています。従って、教職課程を履修したからといって、自動的に免許状が取得できるわけではありません。

教職課程履修という厳しい条件を背負い、懸命に研さんを積む強固な意志と努力を必要とします。

《参加資格》

- ★ 卒業年次（4年）であること。
- ★ 教員になる強い意志を持っていること。
- ★ 「教職に関する科目」中、以下の科目の単位を3年次修了時までまでに修得していること。

3年次修了時までまでに単位修得が必要な科目			
教職論	2単位	商業科教育法Ⅰ・Ⅱ〈高校商業〉	4単位
教育原理	2単位	情報科教育法Ⅰ・Ⅱ〈高校情報〉	4単位
教育史	2単位	道徳教育の理論と方法〈中学社会のみ〉	2単位
教育心理学Ⅰ	2単位	特別活動の指導	2単位
教育社会学	2単位	教育方法論	2単位
教育課程論	2単位	生徒・進路指導の理論と方法	2単位
各教科の指導法に関する科目		教育相談	2単位
社会科教育法Ⅰ・Ⅱ 〈中学社会〉	4単位	教育実習指導	1単位
社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ 〈中学社会〉	4単位		
社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ 〈高校公民〉	4単位		

*下線の科目は、2016年度から科目名を変更しています。

《実習時期》

4年次の前期（6月頃）学校現場での実習があります。

《実習期間》

・中学校 3週間 ・高校 2週間（社会科の場合は3週間）

《実習の内諾》

3年次の4月から9月にかけて、実習希望校を訪問し、翌年度の教育実習の内諾を得ること。

*内諾を得るための書類は配付しますが、所定の書類等がある場合には、教務課まで連絡をしてください。

6. 介護等体験の義務づけについて

1998（平成10）年4月1日から、小学校及び中学校教諭の普通免許状取得希望者には、下記のこと
が義務づけられました。

本学では、1998（平成10）年4月以降の入学生で、中学校教諭一種免許状（社会）の取得を希望
する人が対象となります。

特別支援学校（特殊教育諸学校）で2日間	}	合計7日間
社会福祉施設等で5日間		

- ★ 上記の介護等体験実習は、原則として3年次に実施します。
- ★ 事前の説明会等については、掲示によりお知らせします。見落としのないよう注意してください。
- ★ 体験先施設に健康診断書を提出しますので、3年次生は学内で実施される健康診断（胸部レントゲンを含む）を必ず受診してください。
- ★ 体験の申し込みは、大学を通して行いますので、個人で各施設・学校に直接申し込みをすることはできません。

7. 教育職員免許状

《一括申請》

◇ 大学が岡山県教育委員会に、一括して免許状の申請手続きを行います。

一括申請の手続きに関する説明会を4年次の後期に行いますので、免許状を申請する学生は、必ず説明会に出席してください。

申請書類等

- ・教育職員免許状授与申請書（教育委員会交付の用紙）・・・説明会で配付
- ・学力に関する証明書 1通 200円
- ・岡山県収入証紙 1通 3,710円
- ・介護等体験証明書（中一種免（社会）取得者のみ必要） 支援学校・施設 各1通
*証明書については、3年次に実施される介護等体験終了後、原則として大学へ提出。

- ★ 上記、証明書・証紙代については、変更される場合があります。
- ★ 申請手続き書類と費用については、1免許状ごとに1部ずつ必要となりますので、免許状を2教科申請する場合は、上記の書類と費用が2倍になります。

一括申請をし、岡山県教育委員会より授与された免許状は、卒業式当日に交付します。

《個人申請》

一括申請をしなかった学生は、卒業後に自分で居住地等の都道府県教育委員会に申請することになります。

個人申請は卒業後、随時行うことができますが、申請方法や提出書類・個人申請の受付期間等、詳細については、各自で問合せてください。

問合せ先（岡山県の場合） 岡山県教育庁教職員課給与免許班
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
TEL (086) 226-7579

8. 教員採用候補者選考試験について

【公立学校】

公立学校の教員を志望する場合、各都道府県又は市の教育委員会で実施される教員採用試験に合格、採用候補者名簿に登載されなければなりません。

第1次試験が7月初旬～中旬、第2次試験が8月中旬～下旬に実施され、試験の結果、一定の基準に達した者は採用候補者名簿に登載されます。

また、試験期日・試験項目は都道府県・市によって異なりますので、各自で確認をしてください。

岡山県の場合

《出願書類の受付》 5月初旬～5月中旬

《試験日程及び内容》 第1次試験 7月初旬～中旬 第2次試験 8月中旬～下旬

《出願書類の交付・受付先》 岡山県教育庁教職員課・岡山教育所義務教育支援課

岡山市の場合 *2016年度から、「岡山市」単独で教員採用試験が実施されています。

《出願書類の受付》 4月下旬～5月中旬

《試験日程及び内容》 第1次試験 7月初旬～中旬 第2次試験 8月中旬～下旬

《出願書類の交付・受付先》 岡山市教育委員会事務局学事課

【私立学校】

それぞれの学校において独自に募集や採用試験を行っているため、試験の実施時期も異なります。5月上旬までに直接問合せをしてください。

《問い合わせ先》 各都道府県私立学校協会・学校 等

◇「私立学校教員適性検査」について

私立中学高等学校協会等が実施し全受検者氏名および評定を記載した「受検者名簿」が、私立中学高等学校長あてに配付されています。この検査は採用試験ではないので、合格・不合格の判定は行わず、「ABCD」4段階の評定で行われます。

岡山県私立学校の場合

岡山県私学協会へ履歴書を提出することにより、履歴書委託制度の手続きを行っておくと、協会加入している私立学校に対し、教員志願者の情報を提供してくれます。

岡山県私学協会 〒700-0813 岡山市北区石関町2-1
<http://www.oka-shigaku.gr.jp>

2018年度 教職課程年間スケジュール

岡山商科大学教務課

時期 \ 年次	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生
4月6日(金)	教職課程説明会			
4月初旬～				教育実習日誌販売開始
4月初旬～中旬			介護等体験申込説明会・ 申込 (岡山県・社会福祉協議会)	
4月初旬～中旬			教育実習内諾依頼に関する書類配付	
4月2日～13日の 指定日 *13日予備日	4日・5日 健康診断実施日	11日・12日 健康診断実施日	11日・12日 健康診断実施日 *介護体験等実施予定者： (要レントゲン撮影) 4日・5日 健康診断実施日	2日 健康診断実施日
4月10日(火)	教職課程申込締切 (1年次のみ)			
4月下旬～9月上旬			教育実習希望校訪問 (内諾依頼のため)	
5月上旬～5月下旬				教育実習費等 教育実習関係書類配付
5月中旬以降			介護等体験 事前指導開始	
5月下旬～6月下旬				教育実習
6月上旬～			介護等体験開始 (前期体験申込者)	
7月上旬～8月下旬				教育職員採用試験 一次 7月上旬～下旬 二次 8月中旬～下旬
11月上旬～			介護等体験開始 (後期体験申込者)	
10月中旬～ 10月下旬				教育職員免許状一括申請に 関する説明会・申請書類配付
11月上旬				教育職員免許状授与申請書 提出
1月中旬～3月下旬		教育実習希望校調査 配付・提出	教育実習生調査票 配付・提出	
3月22日(金)				教育職員免許状交付

※上記日程は予定ですので、変更する場合があります。掲示板等で確認をしてください。

学芸員課程について

学芸員課程は、「学芸員資格」取得のための課程です。学芸員の資格を取りたい人は、この課程を履修してください。

学芸員は、主として博物館法に基づき、博物館・美術館等で資料の収集、保管、調査研究、展示、教育普及活動を行う専門職員です。

〈博物館法〉

昭和26年制定の「博物館法」には、「博物館」とは、「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関のうち、地方公共団体、民法第34条の法人、宗教法人、又は政令で定めるその他の法人が設置するもので博物館登録原簿への登録を受けたもの」と規定されています。この正規の登録博物館には、「学芸員」を置くことが必要条件です。学芸員資格は、「学士の学位を有する者で大学において文部科学省令に定める博物館に関する科目の単位を修得したもの」(博物館法第5条第1項第1号)に授与されます。

(1) 申込対象者について

- ① 全学部全学科(1~2年次)
- ② 説明会日時
2018年4月6日(金)(16時30分~) : 新入生対象
2018年7月19日(木)(12時20分~) : 1~2年次生対象
2019年1月17日(木)(16時30分~) : 1~2年次生対象

(2) 履修上の注意

- ① 希望者は、上記の日時に行われるいずれかの説明会に必ず出席してください。
- ② 履修上、クラス指定の科目・必修科目と重なる場合は、教務課へ相談してください。
- ③ 必修科目19単位、選択必修科目8単位以上の修得が必要です。
- ④ 3または4年次では、博物館実習があります。
- ⑤ 学芸員課程を履修する人は、卒業までの単位修得計画をたてた上で、履修してください。

(3) 申込及び履修料の納付について

- ① 説明会で配布される申込用紙に記入し、履修料を添えて教務課へ申し込んでください。
- ② 締切日を過ぎると、申し込みは受け付けません。

☆申込締切

2018年度前期(新入生対象)・・・2018年4月10日(火) 16時30分まで
2018年度後期(1~2年次生対象)・・・2018年8月1日(水) 16時30分まで
2019年度前期(1~2年次生対象)・・・2019年1月30日(水) 16時30分まで

- ③ 学芸員課程履修料・・・**20,000円**

◆いったん納入された履修料は、いかなる理由があっても、返金できません。

(4) 学芸員資格取得のための基礎資格と必要単位数について

- ① 取得のための基礎資格
学士の学位を有すること(大学卒業が条件となります。)
- ② 本学における必要修得単位数

【2014年度以後入学生用 科目表】

				卒業単位に含まれる学科別配当年次					
	科目名	単位	配当年次	法	経	営	商	所属の授業科目配当表	備考
必修科目	生涯学習概論	2	1	1	1	1	1	教養科目Ⅰ群	★19単位すべて必修です。 ※博物館実習を受けるには、必修科目(16単位)を修得していることが条件です。
	博物館経営論	2	1	1	1	1	1		
	博物館教育論	2	1	1	1	1	1		
	博物館概論	2	1	1	1	1	1	教養科目Ⅱ群	
	博物館展示論	2	1	1	1	1	1		
	博物館実習	3	3	3	3	3	3		
	博物館資料論	2	1	1	1	1	1	教養科目Ⅲ群	
	博物館資料保存論	2	1	1	1	1	1		
	博物館情報・メディア論	2	1	1	1	1	1		
選択必修科目	A	文化史Ⅰ	2	1	1	1	1	教養科目Ⅱ群	※不開講 ★8単位以上の修得が必要です。
		文化史Ⅱ	2	1	1	1	1		
	B	芸術Ⅰ	2	1	1	1	1	教養科目Ⅱ群	
		芸術Ⅱ	2	1	1	1	1		
	C	考古学Ⅰ	2	1	1	1	1	教養科目Ⅰ群	
		考古学Ⅱ	2	1	1	1	1		
	D	民俗学Ⅰ	2	1	1	1	1	教養科目Ⅱ群	
		民俗学Ⅱ	2	1	1	1	1		

★注意1 上記表中の選択必修科目B『芸術Ⅰ・Ⅱ』は教養科目Ⅱ群で開講される『芸術Ⅰ・Ⅱ(担当:石原先生)※音楽の授業』とは異なります。

(5) 博物館実習について

① 参加資格

★3または4年次生であること

★博物館実習以外の必修科目が修得済みであること

② 実習方法

★博物館・美術館等で行いますが、実習の事前・事後の指導は主として学内で行います。

★実習を含め、全授業時間90時間以上必要です。

③ 実習費

実習の履修を登録する際に教務課へ納付してください。・・・16,000円

(6) 「学芸員資格証明書」の授与について

資格を得るための条件を備えた人に授与されます。(卒業式当日)

(授与方法は教務課掲示板で案内します。)

特別単位認定科目について

【概要】

- (1) 特別単位認定科目として、「インターンシップ学習講座」「実践学習講座」の2科目を開講しています。(履修規程第15条)
- (2) 特別単位認定科目を履修すると教養科目または専門科目の卒業に必要な単位として、それぞれ下表のとおり認定されます。

どちらの科目群に申請するかは、各自で決定してください。

特別単位認定科目	科目名	単位認定区分		修得可能単位数
	インターンシップ学習講座(2~8単位)	その他教養科目	2単位~8単位	
		自由選択専門科目	2単位~8単位	
	科目名	単位認定区分		
実践学習講座(1~8単位)	その他教養科目	1単位~8単位		
	自由選択専門科目	1単位~8単位		

※必修・選択必修の単位には充当されません。

※以下、科目名を、インターンシップおよび実践学習と略称で表記します。

- (3) 1回の申請で認定される単位は、「インターンシップ」は2単位または4単位、「実践学習」は1単位~4単位です。
- (4) 履修可能単位数の上限には含まれません。
- (5) 認定については所属する学部の「単位認定審査会」で審査され、教授会で決定されます。
- (6) 種類と提出期限等

種類	オリエンテーション日時	提出締切日	提出先
1. 自己開拓によるインターンシップ	教務課窓口で 随時実施	就労活動終了後2週間以内	教務課
2. 実践学習(資格・ボランティア等)		前期として申請する場合 2018年7月3日(火) 後期として申請する場合 2019年1月8日(火)	
3. 実践学習(夕学講座)	別途指示有り	前期・後期とも、社会総合研究所の指示による	社会総合研究所 (商大塾)
4. キャリアセンター斡旋によるインターンシップ	別途指示有り	就労活動終了後2週間以内	キャリアセンター課

★詳細は次頁以降にあります。

★取扱いを行う課によるオリエンテーションを必ず受講してください。

1. 自己開拓によるインターンシップ（教務課取扱い）

【単位認定の申請要件および手続き】

- ★自己開拓により、就労先をみつけて就労するケースのインターンシップです。
- ★通算120時間以上の就労であることが条件となります。
- ★単なるアルバイトでは認定されません。将来の進路等を踏まえて、経験上有意義とみなされるものでなければなりません。
- ★就労活動の開始前までに、教務課に届け出てください。（自己賠償責任保険の付保を求められる場合があります。手続きは学生課で行います。）

(1) 就労前申請書類

《受講済証》

教務課窓口でインターンシップ・オリエンテーションを受講し、その受講済証の交付を受ける必要があります。ただし、就労の進行状況によっては、申請が次学期にまたがっても構いません。

《インターンシップ単位認定申請書》

就労活動の開始に当たって、教務課に提出してください。

(2) 就労後申請書類

《インターンシップ活動評価書》

- ① 大学所定の様式によるインターンシップ活動評価書に、就労活動を管理する人（団体）の記入を受けてください。
- ② 教務課指定の封筒で、就労活動責任者に郵送してもらってください。
- ③ 送料は申請者の負担とし、あらかじめ切手を貼っておいてください。

《インターンシップ・レポート》

- ① 申請する就労活動の初期・中期・後期の3段階にまとめたインターンシップ・レポートを作成してください。（ゼミ教員の点検・検印が必要。）
- ② 各レポートは、それぞれ1,000字以上とし、手書きは認められません。

用紙 A4 縦, 横書き, 横40文字, 縦40行

（教務課配付の表紙を使用すること。）

- ③ レポートは、就労活動終了後、2週間以内に教務課へ提出してください。

2. 実践学習（教務課取扱い）

「実践学習」については、活動開始前にゼミ担当教員に相談をしてください。

活動認定分野および例

活動認定分野	例：入賞・資格等の種類
1. 資格・検定の取得	日商簿記検定，実用英語検定，法学検定，経済学検定，国家資格など
2. ボランティア活動	災害救援活動，障害者支援活動，地域貢献活動など
3. 大会・コンクールの入賞	サークル活動（文化系，体育系）実績など
4. 大学貢献活動	個人または団体（代表者）による大学貢献活動 （学内サークルでの活動の場合は，顧問の推薦が必要）

【単位認定の申請要件および手続き】

(1) 申請する実践学習は、本学入学後3ヶ月を経過した時点から、卒業3ヶ月前の間に完了したものでなくてはなりません。

(2) 申請書類①

《受講済証》

教務課窓口で実践学習オリエンテーションを受講し、受講済証の交付を受けてください。

《実践学習単位認定申請書》

ボランティア活動など、傷害保険適用の検討が必要と考えられる場合は、活動開始までにあらかじめ教務課へ提出してください。

これに該当しない場合は、他の申請書類の提出と同じで構いません。

(3) 申請書類②

《実践学習の事実を証明する書類》

・実践学習の事実を証明するものが必要です。

活動証明書，合格証，認定証，修了証，賞状，感謝状等
（原本は教務課でコピーを取った後，返却します。）

・上記活動認定分野のうち「2. ボランティア活動」及び「4. 大学貢献活動」については複数の活動の合計時間での申請が可能です。

* 30時間で1単位，60時間で2単位の申請が可能，「ボランティア活動」と「大学貢献活動」両方の組み合わせでも可。

* 専用の申請用紙有り，活動開始前までに教務課で受け取り，各自で管理を行うこと。

(4) 申請書類③

《実践学習レポート》

①活動について，その意図，経過および成果をまとめた実践学習レポートを作成してください。（ゼミ教員の点検・検印が必要。）

②各レポートは，それぞれ1,000字以上とし，手書きは認められません。

用紙A4縦，横書き，横40字，縦40行

（教務課配付の表紙を使用すること。）

③なお，「ボランティア活動」「大学貢献活動」の合算で申請する場合は，それぞれの分野についてレポートの作成が必要です。

(5) 上記の「申請書類①，②，③」を，提出期限までに，教務課へ提出してください。

3. 実践学習《慶應 MCC 夕学講座》（社会総合研究所取扱い）

慶應義塾の社会人教育機関「慶應丸の内シティキャンパス」と連携して、社会人教育特別講座を「慶應 MCC 夕学講座」として開講しています。講座は、文化人・学者・ジャーナリスト等、第一線で活躍されている講師陣の講演を、インターネット回線を利用して生中継で受講します。

本講座を通して、建学の精神である「中正な思想を涵養し、広い視野を持って社会に貢献する人物の養成」「産業の現実に関心を持ち、文化的知性をそなえ、創造的に社会の発展に指向する人物の養成」を目指すものです。

【講座日程・会場等】

「慶應 MCC 夕学講座」のスケジュール等につきましては、「商大塾」(2号館1階)にお問い合わせください。受講料は、無料です。(学生証を携帯してください。)

★開催時間：18:30～20:30 ★会場：学生会館2階(地域交流談話室)★

【単位認定の申請及び手続き】

(1) 申請書類①

- 「商大塾」で所定の「慶應 MCC 夕学講座 単位認定申請書」を受け取り、必要事項を記入のうえ、提出してください。

★対象：全学部 1～4年生

(2) 申請書類②

- 毎回、レポート提出用紙を配布しますので、受講後に講義内容についてのレポートを受付に提出してください。提出されたレポートにより、出欠の確認も行います。
- 前・後期ともに、11回以上受講し、毎回レポートを提出した学生について、所属学部の「単位認定審査会」で審査し、単位認定を行います。

(3) 手続き等の締切日

- 申請書類①について

☆前期：4月13日(金)15時までに、「商大塾」へ提出してください。

☆後期：10月12日(金)15時までに、「商大塾」へ提出してください。

- 認定対象期間

☆前期：4月～7月末日までに開講された講座(全15回)

☆後期：10月～1月末日までに開講された講座(全15回)

* 単位認定を受けるためには、上記の期日までに11回以上の出席とレポート提出が必須となります。

【単位認定】

認定する単位は、『その他教養科目2単位』または『自由選択専門科目2単位』のうち、受講学生の希望する科目で認定されます。

4. インターンシップ（キャリアセンター課取扱い）

キャリアセンター課が斡旋するインターンシッププログラム（原則として夏季休業中に開催）に参加して、単位認定を受けようとする学生が対象となります。このプログラムへの参加案内は、キャリアセンター課掲示板等でお知らせします。

- * このインターンシッププログラムは、新規学卒者の退職率が高い（3年以内の離職率3割）ことから、大学在学中に就業体験を行い、就職のミスマッチを防ごうとすることを狙いとしています。
- * 対象は2年次生以上（キャリア形成論Ⅰの単位取得者）。

【単位認定の申請要件および手続き】

(1) キャリアセンター課斡旋企業とのマッチングができた時点で、申請書類①および②をお渡しします。

(2) 申請書類①

《インターンシップ単位認定申請書》

就労活動の開始前までにキャリアセンター課へ提出してください。

- インターンシップ等賠償責任保険の付保を求められますので、必ず加入の手続きをしてください。

(3) 申請書類②

《インターンシップ活動評価書》

① 大学所定の様式によるインターンシップ活動評価書に、就労活動を管理する方（就労活動責任者）の記入を受けてください。

② 指定封筒で就労活動責任者に郵送してもらってください。

③ 上記封筒の送料は申請者の負担とし、あらかじめ切手（485円分）を貼っておいてください。

- 就労活動の開始にあたって、申請書類②インターンシップ活動評価書用紙を、あらかじめ企業の就労活動責任者の方に渡しておいてください。

- 就労活動を終わったら、申請書類②インターンシップ活動評価書をキャリアセンター課あてに送付してもらってください。

(4) 申請書類③

《インターンシップ・レポート》

① 申請する就労活動の初期・中期・後期の3段階にまとめたインターンシップ・レポートを作成してください。（ゼミ教員の点検・検印が必要。）

② レポートは、それぞれ1,000字以上とし、手書きは認められません。

用紙A4縦、横書き、横40字、縦40行

（キャリアセンター課配布の表紙を使用すること。）

③ レポートは、就労活動終了後、2週間以内にキャリアセンター課へ提出してください。

学生相互交流制度による派遣聴講生について

(1) 制度の概要

本学と単位互換協定を結んだ大学(協定大学)との間で相互に学生の派遣および受入れを行い、それぞれの派遣先大学において取得した単位を、派遣大学の定めるところを限度として、卒業に必要な単位として組み入れる制度です。

(2) 制度のねらい

海外の協定大学にて異文化体験と国際的視野を持ち、かつ制度的・恒常的な交流を行うことを通じて、行動力のある人材を育成することにあります。

(3) 主な協定大学

中国:大連外国語大学, 江西師範大学, 東北師範大学, 大連大学, 九江学院, 大連海洋大学, 大連民族学院, 大連東軟信息学院, 天津理工大学, 長春師範学院, 吉林華橋外国語学院, 浙江越秀外国語学院, 長江大学, 洛陽理工學院

台湾:建国科技大学

韓国:韓国観光大学, 忠清大学

※その他, 各国に協定大学があります。

(4) 聴講できる科目

① 協定大学の開講科目

② 受講科目は、現地大学にて指導を受け、決定します。

(5) 本学での身分 派遣期間中は、在学のままとなります。

(6) 派遣人数および派遣期間

① 派遣人数 若干名(協定大学と協議の上、決定する。)

② 派遣期間 半年または1年間

(7) 単位認定

① 協定大学で学業成績証明書を発行します。

② 協定大学で修得した単位のうち、本学の単位として読み替え可能なものは、所属学部において審議し、単位認定します。

(8) 授業料について

① 本学への授業料納付金は、派遣期間中も納付が必要です。

② 協定大学での授業料は、必要ありません。

(9) 受入れ先での宿舍 宿舍の準備は受入れ大学が行います。

(10) 自己負担について

① 光熱水費と生活費その他

② 渡航費

③ 健康保険料(現地)または海外旅行保険が必要です。

(11) 派遣学生の資格

全学部全学科……2年次～4年次

※ただし、現地で授業を受講できるだけの語学力が必要です。

(12) 出願書類

① 派遣願書

② 派遣願理由書(留学理由・学習計画や目標などをまとめたもの)

(13) 選考方法 書類審査と面接

(14) 申込みについて

① 申込時期: 4月

② 申込先: 教務課

(問い合わせ先: 教務課)

大学コンソーシアム岡山について

「大学コンソーシアム岡山」とは、岡山県内17大学を核に、産学官の連携で行われる大学の枠を越えた単位互換事業で、以下に示す3点を開講科目の柱としています。

【開講科目】※具体的な科目については掲示、大学コンソーシアム岡山HPで確認のこと。

(1) 大学提供科目

各大学で既に実施されている、あるいは新規の科目で、「大学コンソーシアム岡山」に単位互換授業科目として提供される授業科目。

(2) コーディネート科目

既存科目とは別に開講される科目で、岡山らしいものや各大学向けのを、他大学の教員や実業界で活躍されている方がオムニバス形式で行う授業科目。

(3) 集中講義科目

各大学の授業時間帯開講科目以外の時間帯(夏季・冬季休業期間, 土, 日, 休日を含む)に、週複数回の授業を行い、短期間で終了する授業科目。

なお、開講科目には授業を行う大学へ直接出向く対面型と、所属大学で受講できる双方向ライブ型(テレビ会議システムにより他大学に同時双方向配信)があります。

双方向ライブ型：指定された教室で他大学の講義を生中継で受講。

【本学における単位認定】

「大学コンソーシアム岡山」において修得した単位は、各学科が定める教養科目の自由選択枠の範囲で卒業要件に含めることができるものとする。その上限を超えた修得単位については、卒業要件外の教養科目単位として認定する。

【出 願】

- ① 出願資格は、2年次以上の本学学部生とする。
- ② 履修希望科目を、「大学コンソーシアム岡山」所定の用紙により、教務課へ申し込みを行う。(申込期間は、前期分3月下旬～4月上旬および後期分7月上旬～9月中旬)
- ③ 履修できる科目は、受入れ大学が指定する配当年次とする。

【本学での履修登録】

- ① 履修する単位数は、各学期の履修可能上限単位数に含める。
- ② 教務課での申込みの際に個別に指示します。

【成績表への科目名の表記、異なる評価基準への対応】

- ① 提供大学の科目名(「*」を付けて表示)・単位数をそのまま使用する。
- ② 本学と異なる評価基準の大学については、個別に対応する。

【追・再試験】

- ① 科目提供大学の規程による。

(問い合わせ先:教務課) 大学コンソーシアム岡山HP <http://www.consortium-okayama.jp/>

松山大学・甲南大学との単位互換制度について

■経営学部対象■

単位互換制度とは、本学と単位互換協定を結んだ大学(協定大学)との間で、相互に学生の派遣および受け入れを行い、それぞれの派遣先大学において修得した単位を卒業要件単位数に組み入れる制度です。

【協定大学】

松山大学(経営学部)[愛媛県松山市]

甲南大学(経営学部)[神戸市東灘区]

【派遣人数および期間】

派遣人数 1協定大学あたり10名以内

派遣期間 原則1年間

【募集時期および内定発表】

募集時期 10月下旬(掲示板に掲示)

内定発表 11月中旬(本人に直接連絡)

【出願資格】

経営学部の2年次生, 3年次生(募集時点では1年次生・2年次生)

【選考方法】

書類審査と面接

【出願書類】

- ① 派遣聴講願書
- ② 派遣聴講生出願理由書(留学理由・学習計画や目標をまとめたもの)
- ③ 履修希望科目調査書

【派遣期間中の身分】

本学においては派遣聴講生

協定大学においては特別聴講生

【履修できる単位数】

1年間に48単位(原則半期24単位)まで履修可能。

【聴講できる科目】

- ① 原則として協定大学の開講科目の聴講が可能です。
- ② 希望聴講科目を事前に申告し、承認を得なければなりません。
- ③ 時間割の作成等が遅れ、上記②が間に合わない場合は、協定大学で履修指導が行われます。

【単位認定】

- ① 最高60単位まで卒業単位数に認定します。
- ② 認定の科目について、事前に決めておく必要があります。

(問い合わせ先 : 教務課)

ファイナンシャル・プランニング技能士について

ファイナンシャル・プランニングとは、「個人のライフデザインとライフプランを実現するために、個人の収入・支出、資産・負債、保障内容などに関するあらゆるデータを集め、必要に応じて専門家の協力を得ながら現状分析を行い、貯蓄・運用プラン、住宅取得プラン、教育資金プラン、老後資金プランなどパーソナル・ファイナンスに関するさまざまなプランを個人のライフプランにそって立案し、併せて実行援助と見直しをすることを意味します。」
(日本FP協会「FP総論第3版」から抜粋)

近年、わが国社会の急速な高齢化の進展、金融の自由化・グローバル化の進展、個人の金融資産の増大を背景とし、個人金融資産のホームドクター的存在として、FPビジネスが金融の各分野で拡大し、注目を集めています。

授業を履修することにより、ライフプラン、金融・証券・保険、不動産、税金等の幅広い知識を習得します。また、3級FP技能士、2級FP技能士、AFP資格の取得をめざします。

(1) 資格について

- ① 国家資格(FP技能士検定)
 - ・3級FP技能士
 - ・2級FP技能士
 - ・1級FP技能士
- ② 民間資格(日本FP協会)
 - ・AFP
 - ・CFP®

(2) ファイナンシャル・プランニング授業科目および履修について

最初の授業で説明があります。必ず出席してください。

(3) 在学中における目標

3級FP技能士、2級FP技能士、AFP資格の取得をめざします。

(4) 他の専門科目との関連について

資格取得のみを目標とした場合、社会で通用する人材の育成には到達しないため、まず3級FP技能士を目標としますが、取得中および取得後も上級資格を目指すと同時に、他の専門科目:法学系、経済学系、経営学系、商学系、情報関係の科目を履修し理論的体系を身に付けるようにします。

行政書士講座について

本学法学部、社会総合研究所(商大塾)共催で開講しています。

【開講時期】 初級コース:11月～3月、既修者コース:5月～11月

【問い合わせ先】 商大塾(2号館1階)

社会調査士について

■経済学部・経営学部対象■

本学の認定科目（6科目 14単位）を修得し、手続きをすれば、社会調査士資格が社会調査協会から授与されます。

急激な変化を遂げる現代社会で、アンケートやインタビューによる社会調査は不可欠な手段となっています。行政、マスコミ、調査会社あるいは企業のマーケティング部門などさまざまな場面で、社会調査を行うことのできる人材が幅広く求められ、社会科学系資質を特徴づける1つにも数えられています。このような社会調査へのニーズが高まる中、社会調査の質的な改善、水準向上が強く求められるのを受けて、日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の3学会が母体となって社会調査士資格認定機構が2003年に発足しました。また、2008年12月には、一般社団法人「社会調査協会」として法人化されました。この協会には、社会調査に関する相応力と倫理観を身につけた人材に対し「社会調査士資格」を認定する資格制度が設けられています。

本学はこの認定校としてこの制度にいち早く取り組み、開講されている所定の認定科目（標準カリキュラム、科目は学部学科で異なる）を受講し、単位を修得することにより、卒業時に社会調査士資格を得ることができます。（取得には決められた時期に協会への申請が必要です。特別な試験などはありません。）この制度は、平素の講義が資格取得にも生かされた制度です。社会調査に関する専門知識・実践能力を身につけ、資格取得を目指してください。

◆資格要件と申請日程

☆ 対象者：経済学部および経営学部の学生

（※法学部の学生は、他大学での認定科目の単位修得により取得可能です。）

☆ 標準カリキュラムA～EおよびG(計6科目)の該当科目(認定有効年度に注意してください)を修得し、単位認定を得ること。

☆ 代用履修について:各学部で指定された科目を、すでに認定担当者以外で修得している場合、他学部や他大学で指定されている同じ標準カリキュラムの科目で代用履修できます。(本学他学部の科目を履修する場合は、他学部・他学科履修の申請が必要です。)

☆ 正規資格は学部卒業の時点で申請します。代用履修科目がある場合や卒業後に申請する場合も、申請手続きは卒業校である本学で行います。

☆ 取得見込み資格について

○就職などで取得見込み資格が必要な場合、以下の条件があります。

- ① 在籍期間が2年以上であること。
- ② 社会調査士科目を3科目以上修得していること。
- ③ 修得済及び今年度履修中の科目が、合計5科目以上あること。

※社会調査士指定科目証明書の申し込みは教務課へ(証明料 200円)

◆本学設置の標準カリキュラム（A～E & G） 科目一覧

対象学部	経営学部			経済学部		
	科目名	担当者	※認定有効年	科目名	担当者	※認定有効年
A	情報処理概論Ⅱ	島田	年度（1）	経済統計論Ⅰ	佐井	年度（2）
B	市場調査論	佐井	年度（1）	市場調査論	佐井	年度（2）
C	経営統計学Ⅰ	西	年度（1）	統計学総論Ⅰ 経営統計学Ⅰ	佐井 西	年度（1） 年度（4）
D	応用情報処理Ⅰ	西	年度（1）	統計学総論Ⅱ 応用情報処理Ⅰ	佐井 西	年度（1） 年度（4）
E	経済統計論Ⅱ	佐井	年度（5）	経済統計論Ⅱ	佐井	年度（2）
F	本学では開講なし（取得に不要）					
G	社会調査実践	田中潔	年度（3）	社会調査実践	田中潔	年度（3）
	合計 14 単位			合計 14 単位		

認定有効年度 年度（1）：H15（2003）年度以降，年度（2）：H17（2005）年度以降，
年度（3）：H18（2006）年度以降，年度（4）：H20（2008）年度以降，
年度（5）：H21（2009）年度以降にそれぞれ取得した科目。

※科目と担当者はセットで認定になります。

※他学部の科目を履修する場合は，他学部・他学科履修の申請が必要です。

（経済学部・経営学部対象 →P.45参照）

◆提出先と費用

申請者本人が教務課窓口申請書類を提出します。

認定審査手数料 16,200 円（取得見込み資格審査手数料も同額。2016 年 1 月現在）は，申請者が郵便局から社会調査協会宛に直接振込みます。なお，取得見込み資格を取得した場合は，改めて変更申請（手数料 5,400 円）が必要です。申請時期は別に定め掲示しますので，希望者は，必ず事前に教務課窓口と連絡責任者である経営学部 田中 潔まで申し出て下さい。

認定証は社会調査協会から送付されます。資格取得証明書が必要な場合は社会調査協会へ申し込んでください。（証明料 540 円）

◆申込み，不明点や質問など

詳細は，連絡責任者（全学共通）経営学部 田中 潔（専門社会調査士 67 号，tanaka@po.osu.ac.jp）までお問い合わせ下さい。また，下記サイトでも随時ご案内しています。

学内向け社会調査士案内 <http://www.osu.ac.jp/~tanaka/shachoshi/>

一般社団法人社会調査協会 <http://jasr.or.jp/>

教務課窓口でも，気軽にお問い合わせください。

社会福祉主事（任用資格）について

《該当科目については、教務課で確認をしてください》

社会福祉法第19条第1項において定められている「社会福祉に関する科目」は、時代の変遷とともに科目名の変更を行っています。

このため、3科目主事の該当可否を判断する際には、卒業された年度において規定されていた指定科目名に基づいて確認することになります。在学時に指定科目を3科目以上履修し、卒業されていなければいけません(科目等履修生として履修されたものは認められません)。

なお、国や自治体が発行する「資格証明書」はありません。3科目以上を履修したことを証する書類としては、学校から出される卒業証明書と成績証明書の2点をもって確認することとしています。※厚生労働省ホームページより

ただし、この資格は任用資格なので、公務員として福祉関連業務に就いた場合にのみ名乗れるものです。民間企業の福祉関連においては、有識者を求めるところの採用基準の一つとして準用しているところもあります。

《厚生労働大臣指定の科目について》

2000年度（平成12年度）以後に入学した者。

★厚生労働省指定科目(34科目とその読替科目)と本学科目名が同一名称のもののみ対象。

社会福祉概論、社会保障論、社会福祉行政論、公的扶助論、身体障害者福祉論、老人福祉論、児童福祉論、家庭福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、社会学、心理学、社会福祉施設経営論、社会福祉援助技術論、社会福祉事業史、地域福祉論、保育理論、社会福祉調査論、医学一般、看護学、公衆衛生学、栄養学、家政学、倫理学、教育学、経済学、経済政策、社会政策、法学、民法、行政法、医療社会事業論、リハビリテーション論、介護概論

ただし、指定科目名称以外であっても指定科目として認められる範囲(「読替え」と呼称)を規定しており、この読替えの範囲としてあげられている科目名と同じ名称の科目を履修されていれば、この場合も指定科目を履修したこととなります。

※読替え通知:平成20年7月31日「社援発第0731002号」及び平成25年3月28日「社援発 0328第3号」による

本学独自の指定科目

①2006年度に認定を受けた以下の5科目が追加対象となる。

※2006年度(平成18年度)以後に入学した者。

本 学 科 目	厚生労働省指定の科目
社会政策論Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ・Ⅱセットで) ※(社会政策Ⅰ・Ⅱ←2009年度読替名称変更)	社会政策
民法総則Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ・Ⅱセットで) ※(民法総則Ⅰ→民法概説 民法総則Ⅱ→民法総則 2011年度読替名称変更のため、セットで履修のこと)	民法
社会保障論Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ・Ⅱセットで)	社会保障論
倫理学概論Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ・Ⅱセットで)	倫理学
行政法Ⅲ・Ⅳ(Ⅲ・Ⅳセットで)	行政法

②2009年度(平成21年度)以後に入学した者

※本学においては、①の科目に加え、下記科目が対象となる。

本 学 科 目	厚生労働省指定の科目
法律学概説	法学
民法概説(旧科目:民法概説Ⅰ・民法概説Ⅱ・民法総則Ⅰ)	民法
民法総則(旧科目:民法総則Ⅱ)	

公務員試験対策講座について

公務員をめざす上では、しっかりとした計画を立て準備をしておくことが重要です。受験間際になって慌てることのないよう早い時期から取り組むためにも、まずは、どのような職種をめざすのかを決め、受験に必要な勉強を計画的に進めましょう。

また、省庁や自治体ごとに試験スケジュールが定められていますので、受験申し込みの受付期間や試験日などの情報を収集し、受験機会を逃さないようにしましょう。

岡山商科大学キャリアセンター・法学教育センターでは、公務員試験対策として下記の「公務員試験対策講座」を開催しています。これらの講座は、公務員試験における教養試験の対策を基礎から応用までじっくりと学習できる内容となっています。大学内の教室での開講となりますので、大学の授業や部活動との両立も可能になります。

各講座共に受講希望の学生は、申込締切日までに受講手続きをして下さい。なお、詳細は各講座の説明会及び担当部署等で確認してください。

<合格目標>

- 警察官 ●消防士 ●教養試験型市町村職員 ●国立大学法人職員
- 警察事務職員 ●小・中学校事務職員 ●刑務官 ●入国警備官
- 皇宮護衛官 ●自衛隊幹部候補生

①基礎学力養成講座 <数学・国語の基礎学力を向上させる>

推奨学年	1年生
開催時期	前期:数学、後期:国語
コマ数	各期:90分×10コマ=15時間
受講費用	各期:15,500円(予定・テキスト代込)
問い合わせ先	商大塾

②公務員試験対策講座 <警察・消防・刑務官型>

推奨学年	1年生～3年生
開催時期	5月～1月
コマ数	90分×67コマ=100.5時間
受講費用	60,000円(予定)
テキスト代	7,500円
問い合わせ先	キャリアセンター

③直前公務員試験対策講座 <警察・消防・刑務官型>

推奨学年	1年生～3年生
開催時期	4月上旬～5月下旬
コマ数	90分×8コマ=12時間
受講費用	2,000円(予定)
テキスト代	2,000円
問い合わせ先	キャリアセンター

※上記の受講費用及びテキスト代の詳細については、後日連絡します。

資格取得支援「商大塾」について

岡山商科大学に入学した学生諸君は、将来の自分の進むべき道を目指して、学部教育のみならず資格取得を目指している学生も多いことと思います。本学ではそうした学生を支援するために、各種資格取得のための学内講座を開講しており、国家資格等については学外講座の受講を推奨しています。資格に関することは「商大塾」が窓口になっていますのでお気軽にご相談ください。

また、各種資格試験の合格者には報奨金を支給する制度も設けていますので、在学中、特に3年生までに資格取得に挑戦しましょう。

各種資格の申込受付・相談：10：00～16：30

※定期的に利用して、最新の資格情報を収集してください。

※自習スペース完備、ノートPCの貸出しも行っていますので、e-ラーニング等の資格講座の受講に利用してください。

1. 商大塾の取組み

- (1) 専任の資格アドバイザーが、個々の目標や進路に応じた戦略的な資格取得に関するアドバイスを行なっています。資格取得に向けた学習プランづくりや勉強方法などについて相談を受けています。
- (2) 学部およびキャリアセンターと連携し、学生ニーズに応じた学内資格講座を年間30講座程度開設しています。その企画・運営を「商大塾」が行なっています。
- (3) 資格の内容やレベルに合わせ、学外資格講座の活用（通信講座、各種資格専門学校の紹介）、ダブルスクール化、独学サポートなど、幅広い資格に対応する学習機会を提供しています。

2. 資格試験申込手続き、講座申込

(1) 資格試験申込

「商大塾」では、各種資格試験の団体申込を行っています。申込み期間に合わせて、学内掲示などにより随時ご案内しますので、申し込む際には「商大塾」にお越しください。

(2) 「商大塾」主催の講座について

「商大塾」では、日商簿記2級・3級やリテールマーケティング(販売士)2級・3級などの検定試験の試験対策講座、行政書士や宅地建物取引士などの国家資格に対応した講座、MOS試験対策講座など、毎年多数の資格講座を開講しています。開講予定講座、開講時期、受講料等についての詳細は、「商大塾」で配付している講座案内書やパンフレットで確認してください。

(3) 学部、キャリアセンター主催の講座について

行政書士講座、公務員試験対策講座など、学内で実施している講座があります。「商大塾」でもご案内できますので、お気軽にご相談ください。

(4)学外講座

日建学院, TAC, 東京アカデミー, 大原, LEC, ヒューマンアカデミー, 大栄など, 資格の専門学校主催の資格講座についても提携をしているものについては, 「商大塾」で申込みをすることで, 受講料が割引価格になります(数に限りがありますが, TACの10%割引券を用意しています。詳細は商大塾まで)。

3.資格取得に向けて

(1)相談

「商大塾」では, 「どの資格を取得するのがよいか?」「資格の難易度を知りたい」「勉強方法を知りたい」など, 様々な疑問にお答えします。また, 在学中の4年間で複数の資格を取得するプランづくりなどの相談を受けますので, お時間のある時にお気軽にお越しください。

(2)独学サポート

リテールマーケティング(販売士)3級, 日商簿記3級, 3級ファイナンシャルプランニング技能士などの一部の資格については, 独学で受験する学生向けに, 問題と解説を配布する学習サポートを行っています。詳細は商大塾で定期的に確認してください。

(3)資格取得モデル・学習プラン

後ろに標準的な「資格取得プラン」および「学習プラン」を掲載していますので, 学習を始めるタイミングなどの参考にしてください。なお, 個々のスケジュールに合わせた「資格取得プラン」も一緒に考えますので, お気軽にご相談ください。

4. 報奨金について

資格を取得するには, 講座の受講料や受験料などの費用がかかりますが, 資格試験に合格した際に「報奨金」として, 別表に掲げる金額を支給する制度があります。

(1)対象者

- ①国家公務員・地方公務員・公立学校教員については, 所定の学内講座または商大塾が推薦する講座を受講し, 各採用試験に合格した者
- ②エキスパート, ステップアップ, ベーシックに分類する資格については, 資格試験に合格した者(1年間で複数の資格に合格した場合はそれぞれに支給)

(注) 同一資格については, 在学中1回のみでの支給となります。ただし, 級・レベル・ランクが異なればそれぞれ支給します。なお, 日商簿記検定1級と全経簿記能力検定上級については, 在学中にいずれかの資格のみに支給となります。

(2)申請手続

原則として, 合格通知の日付から6ヵ月以内に次の書類を商大塾へ提出してください。手続き完了後に指定の銀行口座等へ振り込みます。

- ①報奨金申請書(商大塾にあります)
- ②合格通知の写し, 振込先口座の通帳等の写し

※報奨金申請書には押印してください(認印で可)。

(3) 報奨金の金額（別表）

■ 国家公務員・地方公務員・公立学校教員

分類	報奨金(円)
国家公務員総合職	100,000
国家公務員一般職	50,000
地方公務員上級（県・市職員等(大卒程度)並びに 公立学校教員(採用試験 一次試験合格者)を含む)	50,000
地方公務員中級等（警察官・消防官・刑務官等を含む）	20,000

■ エキスパート

資格名	報奨金(円)
公認会計士	150,000
不動産鑑定士	150,000
司法書士	150,000
通関士	100,000
日商簿記検定 1 級 又は 全経簿記能力検定上級	100,000
行政書士	70,000
社会保険労務士	70,000
税理士（1科目につき）	50,000
宅地建物取引士	30,000
応用情報技術者試験	30,000
Microsoft Office Specialist マスター	20,000
ビジネス実務法務検定 1 級	20,000
AFP 認定者	10,000
リテールマーケティング（販売士）検定 1 級	10,000
経済学検定（ERE）Sランク	8,000
法学検定アドバンス	6,000
経済学検定（EREミッド・マッド）Sランク	6,000

■ ステップアップ

資格名	報奨金(円)
経済学検定（ERE）Aランク	4,000
経済学検定（EREミッド・マッド）A+ランク	4,000
法学検定スタンダード	4,000
経営学検定 中級	4,000
ビジネス実務法務検定 2 級	4,000
2級ファイナンシャル・プランニング 技能検定	4,000
基本情報技術者試験	4,000
日商簿記検定 2 級	4,000
総合旅行業務取扱管理者試験	4,000
秘書技能検定 準 1 級	4,000
リテールマーケティング（販売士）検定 2 級	4,000
Excel VBAベーシック試験	4,000

■ ベーシック

資格名	報奨金(円)
経営学検定 初級	2,000
日商簿記検定 3 級	2,000
3級ファイナンシャル・プランニング 技能検定	2,000
法学検定バースック	2,000
リテールマーケティング（販売士）検定 3 級	2,000
貿易実務検定 C 級	2,000
ビジネス実務法務検定 3 級	2,000
ITパスポート試験	2,000
秘書技能検定 2 級	2,000
国内旅行業務取扱管理者試験	2,000
TOEIC（500点以上）	2,000
中国語検定 HSK（4級以上、5・6級は180点以上）	2,000

(注) 次の資格については支給要件をご確認ください。

- ①AFP認定者：2級ファイナンシャルプランニング技能検定試験の合格、かつAFP認定研修の修了
- ②中国語検定HSK：5級および6級については合否が発表されないため180点以上

5. 資格取得モデルプラン

タイプ	1年	2年	3年	4年
法律系資格	法学校定 ^ハ -ブック 授業および 独学で受検対策 ☆ 受検	宅地建物取引士 試験対策講座 ☆ 受検	法学校定 ^カ -ド 授業および 独学で受検対策 ☆ 受検	MOS 独学 または 試験対策講座 ☆ 受検
	行政書士 試験対策講座 初級コース		試験対策講座 既修者コース ☆ 受検	
☆2年生あるいは3年生までに行政書士、宅建などの資格を取得し、ダブルライセンスを目指す 目標：行政書士+宅地建物取引士など+PC系資格				
会計系資格	日商簿記3級 3級試験 対策講座 ☆ 3級受検 MOS	日商簿記2級 2級試験 対策講座 ☆ 2級受検	日商簿記1級 3級FP技能士 授業または 試験対策講座 ☆ 受検	MOS 独学 または 試験対策講座 ☆ 受検
	☆2年生までに日商簿記2級合格、3年生でFPなどの資格を取得し、ダブルライセンスを目指す 目標：日商簿記2級+3級FP技能士など+PC系資格			
金融系資格	3級FP技能士 授業を中心に 受検対策 ☆ 3級受検	2級FP技能士 授業を中心に 受検対策 ☆ 2級学科 受検		AFP認定者 AFP 認定研修 (学内講座)
			2級実技 受検 日商簿記2級 2級試験 対策講座 ☆ 2級受検	銀行業務検定 証券外務員
☆3年生までに2級FP技能士、日商簿記2級などの資格を取得し、ダブルライセンスを目指す 目標：2級FP技能士+日商簿記2級または1級など+PC系資格				
流通・小売系資格	リテールマーケティング (販売士)3級 3級試験対 策講座 独学サポート (商大塾) ☆ 3級受検	リテールマーケティング (販売士)2級 2級試験 対策講座 ☆ 2級受検	日商簿記2級 2級試験 対策講座 ☆ 2級受検	MOS 独学 または 試験対策講座 ☆ 受検
	☆3年生までにリテールマーケティング(販売士)2級、日商簿記2級等の資格を取得し、ダブルライセンスを目指す 目標：リテールマーケティング(販売士)2級+日商簿記2級など+PC系資格			

●その他に医療・介護関連(事務系)の資格取得を目指す学生には、医療事務(医療事務技能審査試験)、介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)等を推奨しています。

6. 学習プラン(採用試験および主な資格)

目標	1年	2年	3年	4年
公務員採用試験		公務員試験対策講座 (キャリアセンター主催)	公務員試験対策講座 (キャリアセンター主催)	☆ 採用試験
教員採用試験		公務員試験対策講座 (キャリアセンター主催) 基礎力強化	教員採用試験対策講座など (高大監推薦 学外講座)	☆ 採用試験
税理士	簿記等 基礎学力の強化 *受験資格あり(注)	税理士		
		税理士講座 (学外講座)	税理士講座 (学外講座)	税理士講座 (学外講座)
		☆ 科目受験	☆ 科目受験	☆ 科目受験
行政書士	行政書士			
	試験対策講座 初級J-1 (学内講座)	試験対策講座 既修者J-1 (学内講座)		
		☆ 受験		
宅地建物取引士	民法など 授業等を通して 基礎学力強化	宅地建物取引士 試験対策講座 (学外講座)		
		☆ 受験		
AFP	3級FP技能士		2級FP技能士	AFP認定者
	授業および 独学で受験対策	授業および 独学で受験対策	授業および 独学で受験対策	AFP 認定研修 (学内講座)
	☆ 3級学科 受験	☆ 3級実技 受験	☆ 2級受験	
日商簿記	日商簿記3級	日商簿記2級	日商簿記1級	
	3級試験 対策講座 (学内講座)	2級試験 対策講座 (学内講座)	1級試験対策講座 (学外講座)	
	☆ 3級受験	☆ 2級受験	☆ 1級受験	

(注)税理士試験には受験資格があり、3年次までに受験するには日商簿記検定1級または全経簿記上級の資格が必要となります。
また、3年次以降の受験であっても、所定の要件を満たす必要があります。

7. 本学において取得できる資格

対象：法学科・経済学科・経営学科・商学科

目標	1年	2年	3年	4年
教育職員 免許状	教職課程・履修科目			
	4月募集・履修申込（新入生）			
	在学生履修申込			
				☆ 教育実習

【問い合わせ先】教務課

対象：法学科・経済学科・経営学科・商学科

目標	1年	2年	3年	4年
学芸員資格	学芸員課程・履修科目			
	4月募集・履修申込（新入生） 必修科目：19単位、選択必修：8単位以上			
	7月募集・履修申込（1～2年次生） 必修科目：19単位、選択必修：8単位以上			
	1月募集・履修申込（1～2年次生） 必修科目：19単位、選択必修：8単位以上			
			☆ 博物館実習	

【問い合わせ先】教務課

対象：経済学科・経営学科・商学科

目標	1年	2年	3年	4年
社会調査士	認定科目履修			
	標準カリキュラム A～E&G：6科目（14単位）修得			

【申込、問い合わせ先】経営学部 田中 潔

対象：法学科・経済学科・経営学科・商学科

目標	1年	2年	3年	4年
社会福祉主事 （任用資格）	厚生労働大臣指定の科目履修			
	卒業までに修得 必要科目数：3科目以上			

※社会福祉施設職員等の資格準用されているところもある。

【問い合わせ先】教務課

Ⅱ 各学科インフォメーション

法学部

法 学 科

2011年度以後入学生用

法学科インフォメーション	99
履修届作成の手順	108
履修細則	109
教養科目・授業科目配当表	110
専門科目・授業科目配当表	112

法学科インフォメーション

■2011年度以後入学生用■

将来、公務員を目指す人、法科大学院(ロースクール)に進学したい人、法律の知識を活かして一般企業で活躍したい人…。

法学部では、基本的な法知識と解釈能力を習得することを目標とし、高い志をもつ学生のために、法律学の重要な分野の知識と人文・自然・社会の幅広い教養を組み合わせることで、より質の高い“リーガル・マインド[※]”を養うことを目指しています。そのために(1)正確な日本語の文章力・表現力を養うこと、(2)市民として必要な教養を身に付けること、(3)法律学の知識と解釈能力を習得すること、の三つを柱とした独自の教育プログラムを提供しています。

※リーガル・マインドとは、客観的に物事を分析し、様々な意見を調整しながら、合理的な解決方法を導くだけでなく、それを論理的に説明して、関係者の納得を得ようとする法的な発想方法または態度をいいます。

法学部の教育プログラムは、学生のニーズにそったきめ細やかな教育となるよう、次のような工夫がされています。

■学生の希望する進路に合わせて、「公務員コース」と「企業コース」の二つのコースを設け、それぞれのコースにはさらに細かい進路に合わせた“履修モデル”が用意されています。

■法律知識をさらに深めたい、学部を超えた専門知識を得たいといった、さまざまな学習ニーズに応えるためにカリキュラムに自由履修枠(14単位分)が設けられています。専門科目の配当表に掲載されている科目であれば、将来必要とされる内容の講義を自由に履修することができ、それが卒業要件として認められます。

■法科大学院への進学を目指す学生のためには、特別プログラムが用意されています。一定の選考を経た少人数クラスで専門教員の手厚い指導を受けられます。

■4年間を通して少人数のゼミナールで個別指導を徹底するほか、公務員試験対策や各種試験対策などの課外講座が設けられ、意欲のある学生の学びを積極的に支援しています。

学部	学科	コース名	教職課程	関連する資格	予想される進路
法学部	法学科	公務員コース	免中 許学 状校 教(社 論一 種)	司法書士, 社会保険 労務士, 行政書士	公務員(国家総合職・一般職, 地方上 級), 法科大学院進学, 法律事務所, 地方公務員(警察官, 消防職員)
		企業コース	免高 許等 状学 校(公 教論 一 種)	法学検定, ビジネス 実務法務検定, 宅地 建物取引主任者	一般企業(特に起業・経営, 金融・財 務, 法務など), 教員

コースと履修モデル

法学部では、さまざまな分野の法律専門科目を用意するだけでなく、経営学部や経済学部の開講科目も履修できるようにしています。しかし、これらの科目は順序立てて学修すべきものや将来の進路に合わせて選択すべきものがあります。無計画に講義を受講しても効率よく知識を身につけることは困難です。大学での学修をより価値あるものとし、将来の進路につなげていくためには、計画的な履修が不可欠です。

法学部では、大きく二つの進路に対応した「公務員コース」と「企業コース」の二つのコースがあります。2年次からいずれかのコースを選択して、それぞれの進路に合わせた科目の学修を進めていくことになります。

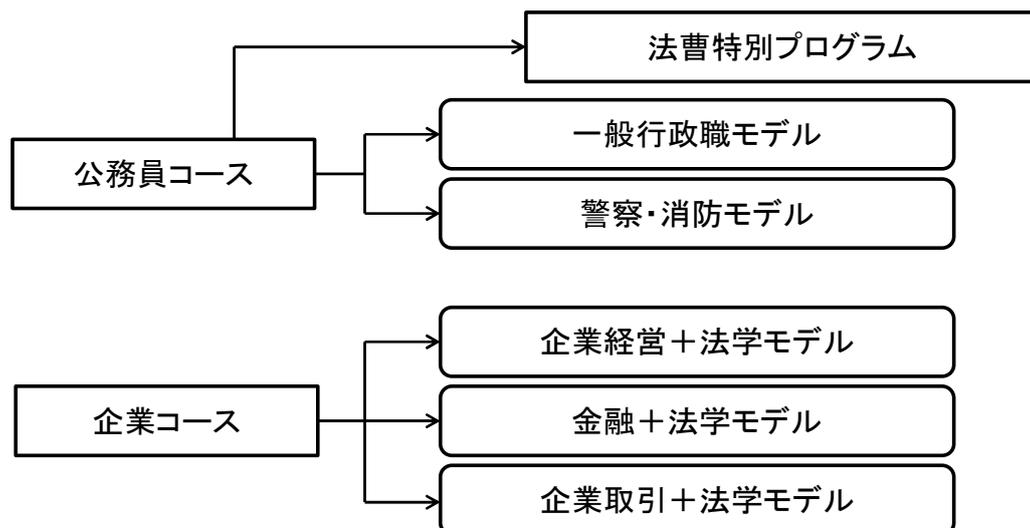
それぞれのコースでは、より細かい進路に合わせた“履修モデル”が用意されています。“履修モデル”は、絶対に従わなければならないものではありませんが、将来の進路で活躍するのに必要な知識を得るにはどのような科目を履修すれば良いかが示されていますので、自分の進路に合った履修モデルを選択し、自分に合った履修計画を立てるために活用してください。

■公務員コース

公務員コースは、一般行政職の公務員のほか、警察官・消防官など公安職の公務員を目指す学生向けのコースです。公務員となるために必要な法律知識を身に付けるだけでなく、法の基礎にある「正義」についての感覚を磨きます。公務員コースには、“一般行政職モデル”と“警察・消防モデル”の二つの履修モデルが用意されています。また、法科大学院（ロー・スクール）への進学を目指す人のための“法曹特別プログラム”もあります。

■企業コース

企業コースは、経営学部や経済学部も有する岡山商科大学の強みを活かして、法律を中心に広く社会科学を学び、法的知識を中核とした総合的能力を持つワンランク上の企業人を目指す学生向けのコースです。企業コースには、“企業経営＋法学モデル”、“金融＋法学モデル”、“企業取引＋法学モデル”の三つの履修モデルが用意されています。



※法学部の卒業要件単位は4年間で124単位（履修細則参照）ですが、4年次には各種の採用試験や就職活動があるため、これらに余裕を持って対応するためにはなるべく3年次終了までに卒業要件単位をほぼ満たせるように履修計画を立てることが重要です。

◆公務員コース：一般行政職モデル◆

一般行政職、特に国家総合職・一般職、地方上級試験レベルを目指す学生のための履修モデルです。公務員試験専門科目の主要科目と教養試験科目に対応した科目を中心に学修を進めます。

このモデルで学ぶべき主な科目	その他関連する推奨科目
<p>[共通必修科目 X群] 法律学入門、基礎演習、研究演習 (3年)、研究演習 (4年)</p> <p>[選択必修科目 E群] 憲法 I～IV、行政法 I～IV、刑法 I・II、民法概説、民法総則、政治学 I・II、行政学 I・II など</p> <p>[自由選択科目 I群] 法と言語 I・II、法と論理 I・II、国際社会と法 I・II、物権 総論、担保物権、地方自治と法 など</p> <p>[自由選択科目 J群] ミクロ経済学、中級ミクロ経済学、マクロ経済学、中級マクロ経済学 など</p>	<p>[自由選択科目 I群] 判例講読、契約法、不法行為法、家族法 I・II、会社法概説、法哲学 I・II、国際社会と法 III・IV など</p> <p>[自由選択科目 J群] 産業組織論、経済政策、地方財政分析など</p>

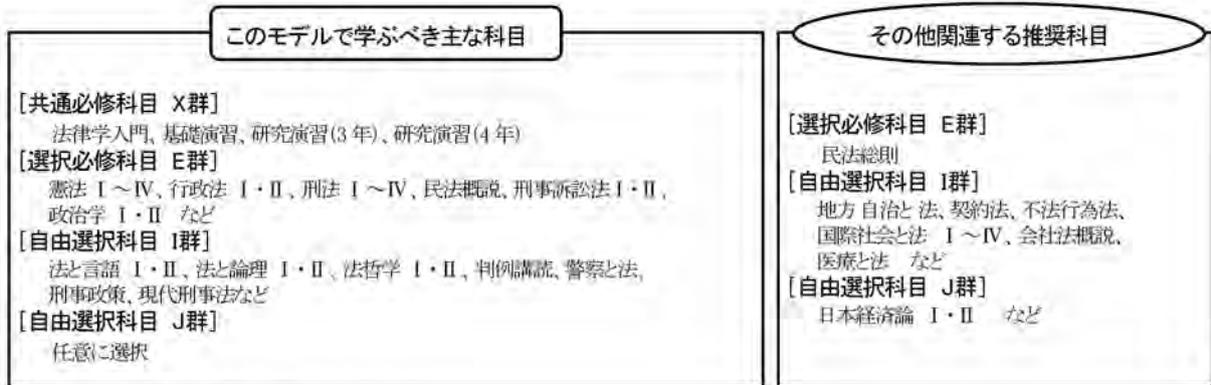
■主要科目の履修スケジュール例

1 年 次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律学入門 ・民法概説 ・憲法 I・II ・刑法 I・II ・法と言語 I・II ・法と論理 I・II など <p style="text-align: right;">前期 10単位程度 後期 10単位程度</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I群・II群・III群から12単位 ・外国語(2単位) ・健康教育実践(1単位) ・健康教育論 (2単位) ・教養演習(4単位) ・キャリア形成論 I・II など
2 年 次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法 III・IV ・政治学 I・II ・物権総論 ・ミクロ経済学 ・行政法 I・II ・国際社会と法 I・II ・担保物権 ・中級ミクロ経済学 など <p style="text-align: right;">前期 16単位程度 後期 16単位程度 通年 基礎演習</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I群・II群・III群から2単位 ・外国語(2単位) ・初級スポーツ実践(1単位) ・中級スポーツ実践 (1単位) ・キャリア形成論 III など
3 年 次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政法 III・IV ・地方自治と法 ・マクロ経済学 ・行政学 I・II ・民法総則 ・中級マクロ経済学 など <p style="text-align: right;">前期 16単位程度 後期 16単位程度 通年 研究演習3年</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I群・II群・III群から2単位 ・総合スポーツ実践(1単位) など
4 年 次	<p>研究演習4年、卒業レポートの作成、採用試験対策、興味のある講義の受講、不足単位の修得など</p>	

※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

◆公務員コース：警察・消防モデル◆

警察官、消防官など教養試験型の公務員を目指す学生のための履修モデルです。専門科目は刑事法と中心として学修し、公務員試験の教養科目に対応する科目も学びます。



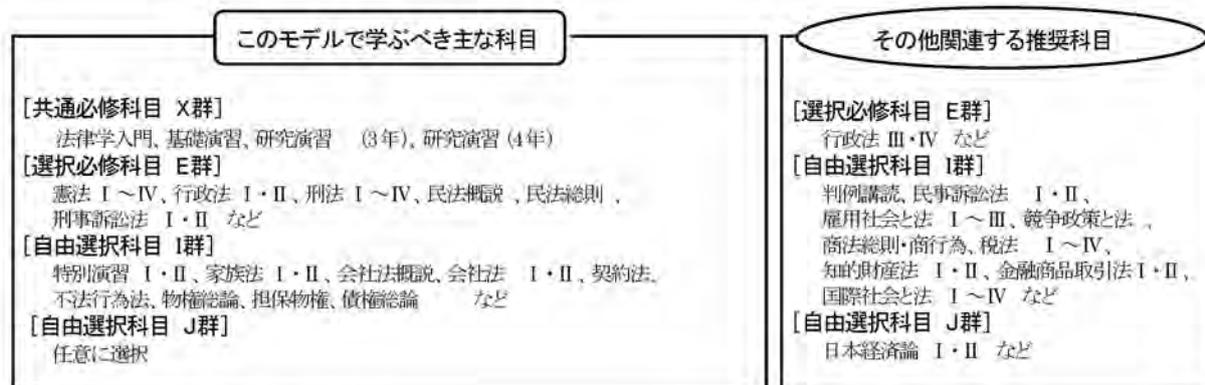
■主要科目の履修スケジュール例



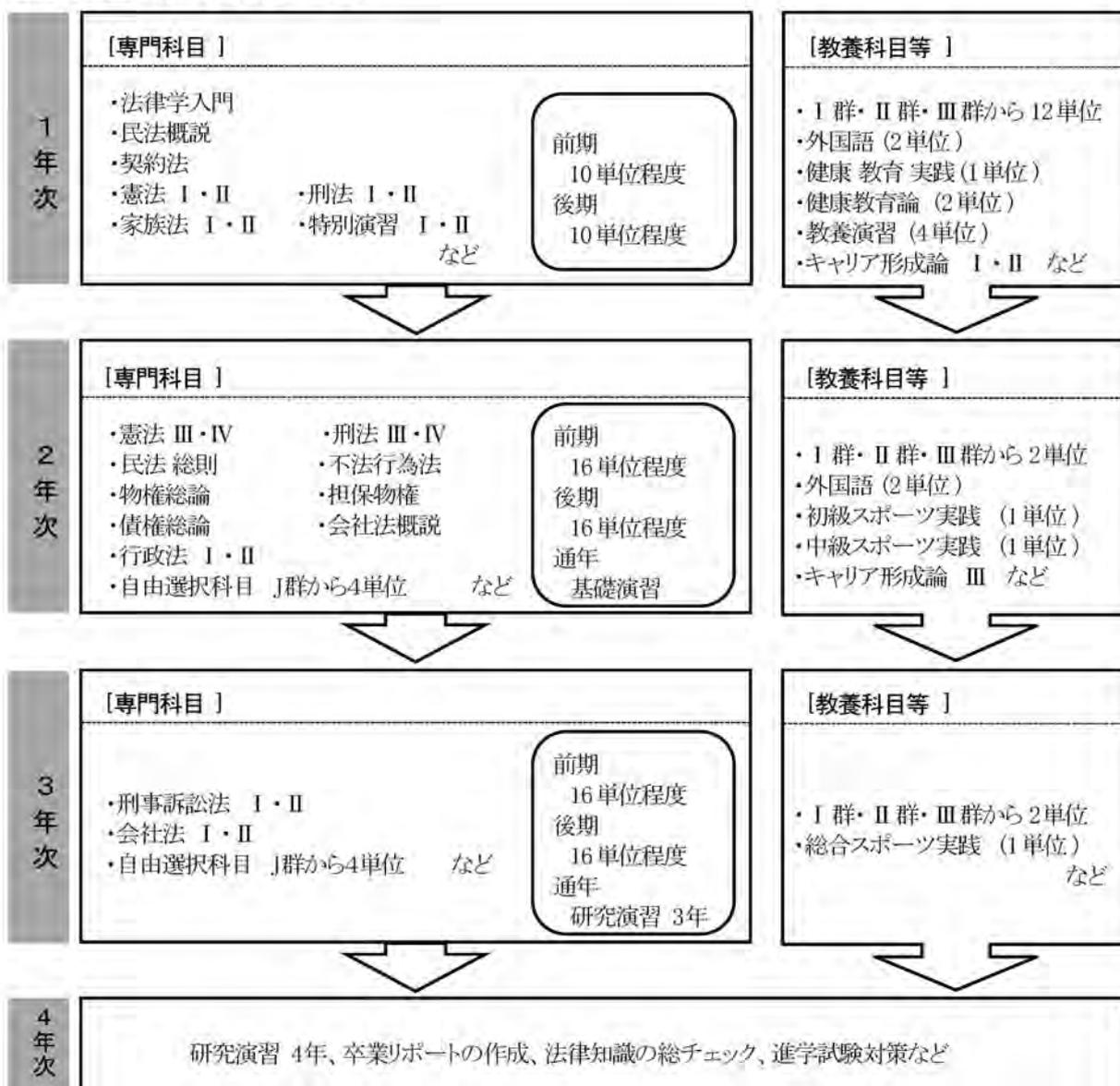
※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

◆公務員コース：法曹特別プログラム◆

法科大学院を目指す学生のための履修モデルです。基本となる六法科目を重点的に学修し、進学試験に備えます(特別プログラムの受講には選考があります)。



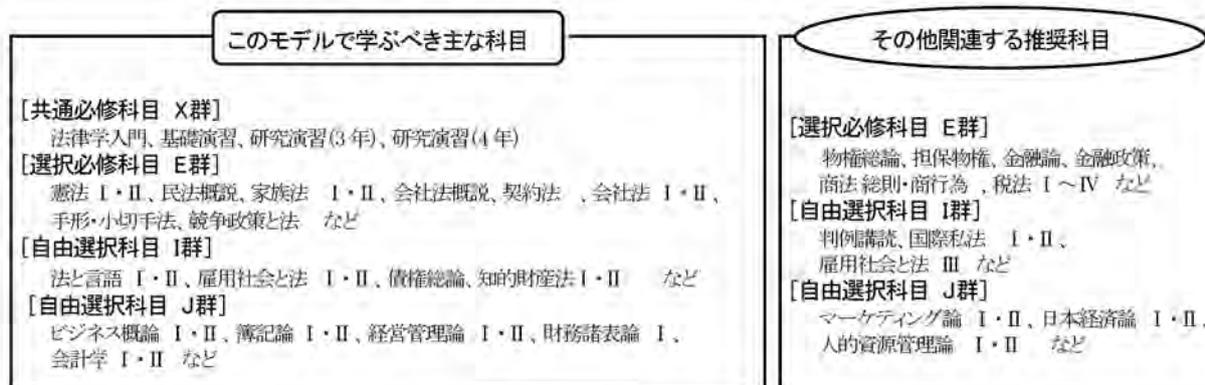
■主要科目の履修スケジュール例



※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

◆企業コース：企業経営＋法学モデル◆

法的思考力を備えた企業の経営者や起業家を目指す履修モデルです。会社法と中心として経営にかかわる各種の法律を学修するとともに経営学の知識を学びます。



■主要科目の履修スケジュール例



※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

◆企業コース：金融＋法学モデル◆

金融関係や企業財務に特化したスペシャリストを目指す履修モデルです。主に金融にかかわる法律を学修するとともに、金融にかかわる経済学・経営学の知識を学びます。

このモデルで学ぶべき主な科目	その他関連する推奨科目
<p>[共通必修科目 X群] 法学入門、基礎演習、研究演習(3年)、研究演習(4年)</p> <p>[選択必修科目 E群] 憲法 I・II、民法概説、家族法 I・II、会社法概説、契約法、物権総論、担保物権、会社法 I・II、金融商品取引法 I・II、税法 I・II・III・IV など</p> <p>[自由選択科目 I群] 法と言語 I・II、債権総論、保険法 など</p> <p>[自由選択科目 J群] 簿記論 I・II、証券市場論 I・II など</p>	<p>[選択必修科目 E群] 手形・小切手法 など</p> <p>[自由選択科目 I群] 判例講読、雇用社会と法 I～III など</p> <p>[自由選択科目 J群] リーガル&コンプライアンス、マクロ経済学、中級マクロ経済学、金融システム論、金融政策、簿記論III・IV、会計学 I・II、財務諸表論 I・II、保険論、日本経済論 I・II など</p>

■主要科目の履修スケジュール例



※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

◆企業コース：企業取引＋法学モデル◆

契約や債権回収、労務に強いビジネスパーソンを目指す履修モデルです。契約や商取引、雇用関係にかかわる法律を学修するとともに、ビジネスパーソンとして必要な商学の知識を学びます。

このモデルで学ぶべき主な科目	その他関連する推奨科目
<p>[共通必修科目 X群] 法学入門、基礎演習、研究演習（3年）、研究演習（4年）</p> <p>[選択必修科目 E群] 憲法Ⅰ・Ⅱ、民法概説、家族法Ⅰ・Ⅱ、会社法概説、契約法、不法行為法、会社法Ⅰ・Ⅱ、商法総則・商行為 など</p> <p>[自由選択科目 I群] 法と言語Ⅰ・Ⅱ、債権総論、雇用社会と法Ⅰ～Ⅲ など</p> <p>[自由選択科目 J群] ビジネス概論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング論Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ など</p>	<p>[選択必修科目 E群] 物権総論、担保物権、競争政策と法、民事訴訟法Ⅱ、税法Ⅰ～Ⅳ など</p> <p>[自由選択科目 I群] 保険法、日本法とその歴史Ⅰ・Ⅱ、福祉と法Ⅰ・Ⅱ、知的財産法Ⅰ・Ⅱなど</p> <p>[自由選択科目 J群] 情報処理概論Ⅰ・Ⅱ、ミクロ経済学、中級ミクロ経済学、労働経済学Ⅰ・Ⅱ など</p>

■主要科目の履修スケジュール例

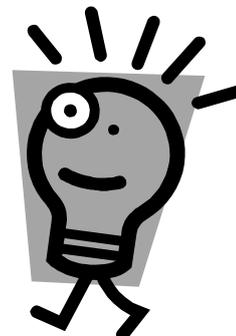
1 年次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律学入門 ・民法概説 ・憲法Ⅰ・Ⅱ ・家族法Ⅰ・Ⅱ ・法と言語Ⅰ・Ⅱ ・ビジネス概論Ⅰ・Ⅱ など <p style="text-align: right;">前期 10単位程度 後期 10単位程度</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群から12単位 ・外国語(2単位) ・健康教育実践(1単位) ・健康教育論(2単位) ・教養演習(4単位) ・キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ など
2 年次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社法概説 ・会社法Ⅰ ・契約法 ・雇用社会と法Ⅰ・Ⅱ ・日本経済論Ⅰ・Ⅱ ・マーケティング論Ⅰ・Ⅱ など <p style="text-align: right;">前期 16単位程度 後期 16単位程度 通年 基礎演習</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群から2単位 ・外国語(2単位) ・初級スポーツ実践(1単位) ・中級スポーツ実践(1単位) ・キャリア形成論Ⅲ など
3 年次	<p>[専門科目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・債権総論 ・会社法Ⅱ ・国際私法Ⅰ ・商法総則・商行為 ・雇用社会と法Ⅲ など <p style="text-align: right;">前期 16単位程度 後期 16単位程度 通年 研究演習3年</p>	<p>[教養科目等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ群・Ⅱ群・Ⅲ群から2単位 ・総合スポーツ実践(1単位) など
4 年次	研究演習4年、卒業レポートの作成、就職活動、興味のある講義の受講、不足単位の修得、資格取得など	

※上記の例はあくまでも履修のモデルです。これを参考にしながら自分で4年間の学修プランを立てましょう。

《初年度になにを履修したら良いか？》

——1年次の専門科目の選択について——

- ① 初年度の専門科目は前後期それぞれ10単位(合計20単位)程度を目安に履修します。大学生活や法律の勉強に慣れないうちは多くの法律科目を履修することは負担になるかもしれません。
- ② 共通必修科目である「法律学入門」と「教養演習」は法学部での学修の基礎となる科目ですので、必ず履修してください。
- ③ 憲法Ⅰ・Ⅱ、民法概説、法と言語Ⅰ・Ⅱは、2年次以降の法律専門科目を学修するための基礎となる科目ですので、どのコースに進む場合でもこれらは初年度に履修しておくことを勧めます。
- ④ その他、公務員コースに進もうと考えている人は、刑法Ⅰ・Ⅱや法と論理Ⅰ・Ⅱなどを履修しておくことを推奨します。企業コースに進もうと考えている人は、経済・経営系の基礎科目4単位程度(ビジネス概論Ⅰ・Ⅱや簿記論Ⅰ・Ⅱなど)を履修しておくことを勧めます(もっとも、この選択はコースを決定づけたり、コース選択後に有利・不利を生じるものではありません。将来の進路を迷っている学生は、いずれか興味のある方を選択して構いません)。
- ⑤ 法曹特別プログラムを受ける予定の学生は、必ず特別演習Ⅰ・Ⅱを履修してください。また、刑法Ⅰ・Ⅱ、家族法Ⅰ・Ⅱ、民法総則も初年度に履修しておくことを推奨します。
- ⑥ 教養科目、専門科目の講義内容や成績評価の方法、注意事項などは、シラバスのそれぞれの科目のページに記載されています。履修登録をするに当たってはシラバスの内容を良く確認しましょう。
- ⑦ どのような科目を履修すべきか迷った場合は、演習の担当教員の履修指導を受けてください。



履修届作成の手順 (例) 法学科の新入生 (前期)

履修のてびき、講義概要、時間割をよく読んで作成してください。

- (1) 前期には、前期開講科目および通年科目の履修登録を行います。
- (2) 教養演習を履修します。(通年:4単位)
 - ① 入学式当日に、教養演習の担当教員(1年次の指導教員)をお知らせします。
 - ② 時間割で曜日・時限を確認し、履修登録します。
- (3) 法学科専門科目配当表(2011年度以後入学生用)の共通必修科目(X群・キャリア科目)を記入します。
 - ① 「法律学入門」と「キャリア形成論Ⅰ」を履修します。「キャリア形成論Ⅰ」は事前登録済「キャリア形成論Ⅱ」は後期に、「キャリア形成論Ⅲ」は2年次に履修します。(事前登録)
 - ② 卒業までに、共通必修科目はすべて修得しなければなりません。
- (4) 外国語を決めます。(英語の履修について p.40～ および 英語以外の外国語の履修について p.42参照)
 - ① 英語を選ぶ場合は、自分のレベルに応じたクラスを選びます。
 - ・中級英語ⅠかⅡの自分の指定クラスを履修します。(英語クラス指定表を見て登録します。)
 - ・中級英語よりレベルの高い科目を希望する場合は、履修登録の上、第1回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。
 - ・1年次は初級英語は履修できません。
 - ・e-learningで英語の学習をする場合は、第1回講義でレベル診断を受けた上で履修登録する講義を決定します。
 - ② 英語以外の外国語を選択する場合は、4月に前後期1年分の申込みをします。 教育学部ホールの掲示板で申込みできた科目・時間割を確認します。(履修登録は教務課が行います。自分で履修登録はできません。変更不可)
 - ③ 留学生は、日本語Ⅰ・Ⅱ(必修)を履修します。(事前申込不要。自分で履修登録します。)
- (5) 健康教育科目を記入します。(健康教育科目の履修について p.43参照)
 - ① 健康教育実践を履修します。(必修・事前登録されています。)
 - ② 健康教育論を履修します。(選択必修・前後期どちらかにクラス指定あり。)
- (6) 法学科専門科目配当表(2011年度以後入学生用)のE群、I群から選択します。
 - ① 各群から、計10単位程度を選択します。
- (7) 法学科教養科目配当表(2011年度以後入学生用)のⅠ～Ⅲ群の中から選択します。
 - ① 各群から各2単位ずつ、計6単位程度を選択します。
- (8) 留学生は特設授業科目(教養科目・必修)を履修します。

【履修可能単位数 16単位以上24単位までを目安に履修します】

履修登録した、上記の科目の単位数を計算して、残り単位数分を
1年次配当の教養科目および専門科目(J群)から選びます。

後期も基本的には同じ手順で履修登録します。(登録対象は、後期開講科目です。)

★講義は第1週目＝第1回目から開始されます。

2011年度以後入学生用

履 修 細 則

【法学部・法学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳	卒業に必要な単位数		合 計		
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会	各群から2単位, 計6単位		30単位以上		
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン					
	III 群	自 然 と 人 間					
	外 国 語		※注1	4単位以上			
	健 康 教 育	健	健康教育実践 (1)	1単位		4単位以上	
		康	健康教育論 (2)	3単位以上			
		教	初級スポーツ実践 (1)				
		育	中級スポーツ実践 (1)				
			総合スポーツ実践 (1)				
	教 養 演 習		(4)	4単位			
上記で修得した教養科目以外から選択		※注2	12単位以上				
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	法律学入門 (2)	14単位		88単位以上		
		基礎演習 (4)					
		研究演習3年 (4)					
		研究演習4年 (4)					
	公 務 員 コ ー ス	選 択 必 修 科 目		※注3		12単位以上	60単位以上
		自 由 選 択 科 目	法学類	40単位以上			
			経済学・経営学・商学類	8単位以上			
	企 業 コ ー ス	選 択 必 修 科 目		※注3		12単位以上	60単位以上
		自 由 選 択 科 目	法学類	30単位以上			
			経済学・経営学・商学類	18単位以上			
上記で修得した専門科目以外から選択		※注4	14単位以上				
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論Ⅰ (2)		6単位		6単位		
	キャリア形成論Ⅱ (2)						
	キャリア形成論Ⅲ (2)						
合 計					124単位以上		

※注1 開講されているどの外国語を選択してもよいが、初級中国語Ⅰ・Ⅱのように同一語学を2単位修得しなければならない。英語については、履修制限のあるもの以外は全て履修可能。留学生は日本語Ⅰ・Ⅱの2単位を必修とし、加えて母国語以外の外国語を2単位以上修得しなければならない。

※注2 留学生の特設授業科目（日本語Ⅰ・Ⅱを除く）は、ここに充当する。

※注3 選択必修科目の修得単位数のうち、必要単位数を超えた単位は、自由選択科目（法学類）、更にその上限を超えたものについては「上記で修得した専門科目以外から選択」に移行します。

※注4 単位修得済の科目を除き、学生の所属するコースの選択必修科目、自由選択科目（法学類・経済学・経営学・商学類）の中から自由に選んでください。

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修科目	自由選択科目
外国語	* (入門英語 I)	1	1 2 3 4			すべての外国語の中から自由に選んで4単位履修する。 * e-learningの初級英語 I・IIは1年次配当 * 入門英語 I・IIは留学生のみ履修可。 * 英語以外の外国語は同一の言語について I・IIを修得すること。 ただし、総合中国語 Iは初級中国語 I・IIのいずれかに、総合ハンブル Iは初級ハンブル I・IIのいずれかに充当する。 * 留学生の特設授業科目のうち、日本語 I・IIは、ここに充当する。	前ページより続く
	* (入門英語 II)	1	1 2 3 4				
	初級英語 I	1	2 3 4				
	初級英語 II	1	2 3 4				
	中級英語 I	1	1 2 3 4				
	中級英語 II	1	1 2 3 4				
	中級英語 III	1	2 3 4				
	中級英語 IV	1	2 3 4				
	中級英語 (TOEIC) I	1	1 2 3 4				
	中級英語 (TOEIC) II	1	1 2 3 4				
	上級英語 I	1	1 2 3 4	上級英語 (会話) I			
	上級英語 II	1	1 2 3 4	上級英語 (会話) II			
	(上級英語 (TOEIC) I)	1	1 2 3 4				
	(上級英語 (TOEIC) II)	1	1 2 3 4				
	総合英語 I	1	1 2 3 4				
	総合英語 II	2	1 2 3 4	総合英語			
	初級ドイツ語 I	1	1 2 3 4				
	初級ドイツ語 II	1	1 2 3 4				
	初級中国語 I	1	1 2 3 4				
	初級中国語 II	1	1 2 3 4				
	総合中国語 I	1	1 2 3 4				
	総合中国語 II	2	1 2 3 4	総合中国語			
	初級ハンブル I	1	1 2 3 4				
初級ハンブル II	1	1 2 3 4					
総合ハンブル I	1	1 2 3 4					
総合ハンブル II	2	1 2 3 4	総合ハンブル				
中級中国語 I	1	2 3 4					
中級中国語 II	1	2 3 4					
上級中国語 I	1	2 3 4					
上級中国語 II	1	2 3 4					
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4		1 単位	3 単位	健康教育は8単位を限度とする。 スポーツ実践は複数履修可能。
	健康教育論	2	1 2 3 4				
	初級スポーツ実践	1	2 3 4				
	中級スポーツ実践	1	2 3 4				
	総合スポーツ実践	1	2 3 4				
教養演習	教養演習	4	1 2		4 単位	2 年次修了時までには必ず取得すること。	
教養単位小計					5 単位	1 3 単位	1 2 単位
合計							3 0 単位以上

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語 I・IIは除く)

留学生の特設授業科目	日本事情 I	2	1 2 3 4		1 2 単位 * 留学生は必修とする。 * 日本語 I・IIは外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情 II	2	1 2 3 4		
	教養特講 I	2	1 2 3 4		
	教養特講 II	2	1 2 3 4		
	日本語 I (外国語に充当する)	1	1 2 3 4		
	日本語 II (外国語に充当する)	1	1 2 3 4		
	日本語 III	1	1 2 3 4		
	日本語 IV	1	1 2 3 4		

() は不開講

法学部 法学科 公務員コース 専門科目配当表
2011年度以後入学生用

共通必修科目 X群 14単位											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
法律学入門	2	1 2 3 4		基礎演習	4	2 3 4		研究演習3年	4	3	
								研究演習4年	4	4	
選択必修科目 E群 12単位											
必要以上に（12単位を超えて）修得した単位は、自由選択科目（法学類）、更にその上限（40単位）を超えたものについては、履修細則「上記で修得した専門科目以外から選択」（14単位）に移行します。											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
憲法Ⅰ（統治1）	2	1 2 3 4		行政法Ⅳ（行政救済法）	2	2 3 4		民法概説	2	1 2 3 4	
憲法Ⅱ（統治2）	2	1 2 3 4		刑法Ⅰ（総論1）	2	1 2 3 4		民法総則	2	2 3 4	
憲法Ⅲ（人権1）	2	2 3 4		刑法Ⅱ（総論2）	2	1 2 3 4		政治学Ⅰ	2	2 3 4	
憲法Ⅳ（人権2）	2	2 3 4		刑法Ⅲ（各論1）	2	2 3 4		政治学Ⅱ	2	2 3 4	
行政法Ⅰ（基本原理、行政組織法）	2	2 3 4		刑法Ⅳ（各論2）	2	2 3 4		（行政学Ⅰ）	2	2 3 4	
行政法Ⅱ（行政作用法1）	2	2 3 4		刑事訴訟法Ⅰ	2	2 3 4		（行政学Ⅱ）	2	2 3 4	
行政法Ⅲ（行政作用法2）	2	2 3 4		刑事訴訟法Ⅱ	2	2 3 4					
自由選択科目 I群 40単位 法学類											
必要以上に（40単位を超えて）修得した単位は、履修細則「上記で修得した専門科目以外から選択」（14単位）に移行します。											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
法と論理Ⅰ（形式論理）	2	1 2 3 4		（国際政治学Ⅰ）	2	2 3 4		※（国際私法Ⅱ）	2	2 3 4	
法と論理Ⅱ（論理トレーニング）	2	1 2 3 4		（国際政治学Ⅱ）	2	2 3 4		法学特殊講義Ⅰ	2	1 2 3 4	
※（法と情報）	2	1 2 3 4		※政治史	2	2 3 4	政治史Ⅰ 政治史Ⅱ	法学特殊講義Ⅱ	2	1 2 3 4	
法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		税法Ⅰ	2	2 3 4		判例講読	2	1 2 3 4	
法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		税法Ⅱ	2	2 3 4		（外国書講読Ⅰ）	2	2 3 4	
医療と法	2	2 3 4		税法Ⅲ	2	2 3 4		（外国書講読Ⅱ）	2	2 3 4	
（福祉と法Ⅰ）	2	1 2 3 4		税法Ⅳ	2	2 3 4		特別演習Ⅰ	2	1	
（福祉と法Ⅱ）	2	1 2 3 4		税財政と法（廃止）	2	2 3 4		特別演習Ⅱ	2	2	
競争政策と法	4	2 3 4		現代刑事法	2	2 3 4		日本史概説Ⅰ ☆	2	2 3 4	
雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4		物権総論	2	2 3 4		日本史概説Ⅱ ☆	2	2 3 4	
雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4		担保物権	2	2 3 4		※（外国史概説）☆	2	1 2 3 4	
（雇用社会と法Ⅲ）	2	2 3 4		債権総論	2	2 3 4		哲学概説Ⅰ ☆	2	2 3 4	
（地方自治と法）	2	2 3 4		契約法	2	1 2 3 4		哲学概説Ⅱ ☆	2	2 3 4	
国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4		不法行為法	2	2 3 4					
国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4		家族法Ⅰ	2	1 2 3 4					
国際社会と法Ⅲ	2	2 3 4		家族法Ⅱ	2	1 2 3 4					
国際社会と法Ⅳ	2	2 3 4		商法総則・商行為	4	2 3 4					
※（日本法とその歴史Ⅰ）	2	2 3 4		会社法概説	2	2 3 4					
※（日本法とその歴史Ⅱ）	2	2 3 4		会社法Ⅰ	2	2 3 4					
※（大陸法とその歴史Ⅰ）	2	2 3 4		会社法Ⅱ	2	2 3 4					
※大陸法とその歴史Ⅱ	2	2 3 4		金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	金融法Ⅰ				
※英米法とその歴史Ⅰ	2	2 3 4		金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4	金融法Ⅱ				
※英米法とその歴史Ⅱ	2	2 3 4		手形・小切手法	2	2 3 4	金融法Ⅲ				
法哲学Ⅰ	2	2 3 4		※（保険法）	2	2 3 4					
法哲学Ⅱ	2	2 3 4		民事訴訟法Ⅰ	2	2 3 4					
刑事政策	2	2 3 4		民事訴訟法Ⅱ	2	2 3 4					
警察と法	2	2 3 4		※知的財産法Ⅰ	2	2 3 4					
※（法社会学Ⅰ）	2	2 3 4		※（知的財産法Ⅱ）	2	2 3 4					
※（法社会学Ⅱ）	2	2 3 4		※（国際私法Ⅰ）	2	2 3 4					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

☆の5科目は2017年度以後入学の教職コース生のみ自由選択科目として履修可能

自由選択科目 J群 8単位 経済学・経営学・商学類											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
ミクロ経済学	2	2 3 4		労働経済学Ⅱ	2	2 3 4		流通政策論Ⅰ（廃止）	2	3 4	
中級ミクロ経済学	2	2 3 4		NPO論（廃止）	2	3 4		流通政策論（廃止）	2	3 4	
マクロ経済学	2	2 3 4		※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4		流通政策論Ⅱ（廃止）	2	3 4	
中級マクロ経済学	2	2 3 4		※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4		マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4	
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4		地理学概説Ⅰ ☆	2	2 3 4		マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4	
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4		地理学概説Ⅱ ☆	2	2 3 4		消費者行動論	2	3 4	
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4		地誌学 ☆	2	2 3 4		保険論	2	3 4	
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4		倫理学概論Ⅰ ☆	2	2 3 4		証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4		倫理学概論Ⅱ ☆	2	2 3 4		証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4		経営管理論Ⅰ	2	2 3 4		博物館概論★	2	1 2 3 4	
産業組織論	2	2 3 4	経済政策Ⅰ	経営管理論Ⅱ	2	2 3 4		生涯学習概論★	2	1 2 3 4	
経済政策	2	2 3 4	経済政策Ⅱ	人的資源管理論Ⅰ（廃止）	2	2 3 4		現代社会における金融と法（廃止）	2	1 2 3 4	
日本経済論Ⅰ	2	2 3 4		人的資源管理論Ⅱ（廃止）	2	2 3 4		FP概論Ⅰ（廃止）	2	1 2 3 4	
（日本経済論Ⅱ）	2	2 3 4		人的資源管理論	2	2 3 4		FP概論Ⅱ（廃止）	2	1 2 3 4	
（財政政策Ⅰ）	2	2 3 4		（コーポレート・ファイナンス）	2	2 3 4		ライフプランニングと資産計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	
（財政政策Ⅱ）	2	2 3 4		現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	
地方財政分析	2	3 4	地方財政論Ⅰ	中小企業論Ⅰ（廃止）	2	2 3 4		タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	
地方財政論	2	3 4	地方財政論Ⅱ	岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	タックスプランニング	2	2 3 4	
金融論	2	1 2 3 4	金融論Ⅰ	岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	
金融論Ⅱ（廃止）	2	2 3 4		情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4		FP技能論Ⅰ	2	2 3 4	
金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ	情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4		FP技能論Ⅱ	2	2 3 4	
金融政策Ⅱ（廃止）	2	2 3 4		簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4		リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4	
金融システム論	2	2 3 4		簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		経営学特殊講義Ⅰ（廃止）	2	2 3 4	
地域金融論	2	2 3 4		簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		経営学特殊講義Ⅱ（廃止）	2	2 3 4	
統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4		簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		観光振興論特殊講義	2	2 3 4	
統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4		会計学Ⅰ	2	2 3 4		（英語特別演習01・02）	各1	3 4	
社会政策Ⅰ	2	2 3 4		会計学Ⅱ	2	2 3 4		英語特別演習04	1	1 2 3 4	
社会政策Ⅱ	2	2 3 4		財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		（英語特別演習03・05・06・07）	各1	1 2 3 4	
（社会保障論Ⅰ）	2	2 3 4		（財務諸表論Ⅱ）	2	2 3 4		英語特別演習08～12（廃止）	各1	1 2 3 4	
（社会保障論Ⅱ）	2	2 3 4		ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4					
労働経済学Ⅰ	2	2 3 4		ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

★「博物館概論」「生涯学習概論」2013年度以前入学生のみ自由選択科目として履修可能

☆の5科目は2017年度以後入学の教職コース生のみ自由選択科目として履修可能

法学部 法学科 公務員コース キャリア科目配当表 2011年度以後入学生用

共通必修科目 6単位											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	備 考							
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。 ※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行っています。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合は「Ⅰ」は履修できません。							
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※								
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4									

法学部 法学科 企業コース 専門科目配当表
2011年度以後入学生用

共通必修科目 X群 14単位											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
法律学入門	2	1 2 3 4		基礎演習	4	2 3 4		研究演習3年	4	3	
								研究演習4年	4	4	

選択必修科目 E群 12単位											
必要以上に（12単位を超えて）修得した単位は、自由選択科目（法学類）、更にその上限（30単位）を超えたものについては、履修細則「上記で修得した専門科目以外から選択」（14単位）に移行します。											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
競争政策と法	4	2 3 4		民法概説	2	1 2 3 4		会社法概説	2	2 3 4	
雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4		民法総則	2	2 3 4		会社法Ⅰ	2	2 3 4	
雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4		物権総論	2	2 3 4		会社法Ⅱ	2	2 3 4	
憲法Ⅰ（統治1）	2	1 2 3 4		担保物権	2	2 3 4		金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	金融法Ⅰ
憲法Ⅱ（統治2）	2	1 2 3 4		契約法	2	1 2 3 4		金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4	金融法Ⅱ
税法Ⅰ	2	2 3 4		不法行為法	2	2 3 4		手形・小切手法	2	2 3 4	金融法Ⅲ
税法Ⅱ	2	2 3 4		家族法Ⅰ	2	1 2 3 4		民事訴訟法Ⅰ	2	2 3 4	
税法Ⅲ	2	2 3 4		家族法Ⅱ	2	1 2 3 4		民事訴訟法Ⅱ	2	2 3 4	
税法Ⅳ	2	2 3 4		商法総則・商行為	4	2 3 4					

自由選択科目 I群 40単位 法学類											
必要以上に（30単位を超えて）修得した単位は、履修細則「上記で修得した専門科目以外から選択」（14単位）に移行します。											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
法と論理Ⅰ（形式論理）	2	1 2 3 4		警察と法	2	2 3 4		刑事訴訟法Ⅱ	2	2 3 4	
法と論理Ⅱ（論理トレーニング）	2	1 2 3 4		※（法社会学Ⅰ）	2	2 3 4		債権総論	2	2 3 4	
※（法と情報）	2	1 2 3 4		※（法社会学Ⅱ）	2	2 3 4		※（保険法）	2	2 3 4	
法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		政治学Ⅰ	2	2 3 4		※知的財産法Ⅰ	2	2 3 4	
法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		政治学Ⅱ	2	2 3 4		※（知的財産法Ⅱ）	2	2 3 4	
医療と法	2	2 3 4		（国際政治学Ⅰ）	2	2 3 4		※（国際私法Ⅰ）	2	2 3 4	
（福祉と法Ⅰ）	2	1 2 3 4		（国際政治学Ⅱ）	2	2 3 4		※（国際私法Ⅱ）	2	2 3 4	
（福祉と法Ⅱ）	2	1 2 3 4		※政治史	2	2 3 4	政治史Ⅰ 政治史Ⅱ	法学特殊講義Ⅰ	2	1 2 3 4	
（雇用社会と法Ⅲ）	2	2 3 4		（行政学Ⅰ）	2	2 3 4		法学特殊講義Ⅱ	2	1 2 3 4	
（地方自治と法）	2	2 3 4		（行政学Ⅱ）	2	2 3 4		判例講読	2	1 2 3 4	
国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4		憲法Ⅲ（人権1）	2	2 3 4		（外国書講読Ⅰ）	2	2 3 4	
国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4		憲法Ⅳ（人権2）	2	2 3 4		（外国書講読Ⅱ）	2	2 3 4	
国際社会と法Ⅲ	2	2 3 4		行政法Ⅰ（基本原理、行政組織法）	2	2 3 4		特別演習Ⅰ	2	1	
国際社会と法Ⅳ	2	2 3 4		行政法Ⅱ（行政作用法1）	2	2 3 4		特別演習Ⅱ	2	2	
※（日本法とその歴史Ⅰ）	2	2 3 4		行政法Ⅲ（行政作用法2）	2	2 3 4		日本史概説Ⅰ ☆	2	2 3 4	
※（日本法とその歴史Ⅱ）	2	2 3 4		行政法Ⅳ（行政救済法）	2	2 3 4		日本史概説Ⅱ ☆	2	2 3 4	
※（大陸法とその歴史Ⅰ）	2	2 3 4		税財政と法（廃止）	2	2 3 4		※（外国史概説）☆	2	1 2 3 4	
※大陸法とその歴史Ⅱ	2	2 3 4		刑法Ⅰ（総論1）	2	1 2 3 4		哲学概論Ⅰ ☆	2	2 3 4	
※英米法とその歴史Ⅰ	2	2 3 4		刑法Ⅱ（総論2）	2	1 2 3 4		哲学概論Ⅱ ☆	2	2 3 4	
※英米法とその歴史Ⅱ	2	2 3 4		刑法Ⅲ（各論1）	2	2 3 4					
法哲学Ⅰ	2	2 3 4		刑法Ⅳ（各論2）	2	2 3 4					
法哲学Ⅱ	2	2 3 4		現代刑事法	2	2 3 4					
刑事政策	2	2 3 4		刑事訴訟法Ⅰ	2	2 3 4					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

☆の5科目は2017年度以後入学の教職コース生のみ自由選択科目として履修可能

自由選択科目 J群 8単位 経済学・経営学・商学類												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
ミクロ経済学	2	2 3 4		労働経済学Ⅱ	2	2 3 4		経営分析論Ⅱ★★	2	3 4		
中級ミクロ経済学	2	2 3 4		NPO論(廃止)	2	3 4		ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4		
マクロ経済学	2	2 3 4		※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4		ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4		
中級マクロ経済学	2	2 3 4		※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4		流通政策論Ⅰ(廃止)	2	3 4		
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4		地理学概説Ⅰ☆	2	2 3 4		流通政策論(廃止)	2	3 4		
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4		地理学概説Ⅱ☆	2	2 3 4		流通政策論Ⅱ(廃止)	2	3 4		
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4		地誌学☆	2	2 3 4		マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4		
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4		倫理学概論Ⅰ☆	2	2 3 4		マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4		
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4		倫理学概論Ⅱ☆	2	2 3 4		消費者行動論	2	3 4		
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4		金融特別演習Ⅰ★★	2	2 3 4		保険論	2	3 4		
産業組織論	2	2 3 4	経済政策Ⅰ	金融特別演習Ⅱ★★	2	3 4		証券市場論Ⅰ	2	2 3 4		
経済政策	2	2 3 4	経済政策Ⅱ	金融リテラシー講座(資産運用編)★★	2	3 4		証券市場論Ⅱ	2	2 3 4		
日本経済論Ⅰ	2	2 3 4		経営学Ⅰ★★	2	2 3 4		博物館概論★	2	1 2 3 4		
(日本経済論Ⅱ)	2	2 3 4		経営管理論Ⅰ	2	2 3 4		生涯学習概論★	2	2 3 4		
(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4		経営管理論Ⅱ	2	2 3 4		現代社会における金融と法(廃止)	2	2 3 4		
(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4		人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		FP概論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
地方財政分析	2	3 4	地方財政論Ⅰ	人的資源管理論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		FP概論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
地方財政論	2	3 4	地方財政論Ⅱ	人的資源管理論	2	2 3 4		ライフプランニングと資産計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4		
金融論	2	1 2 3 4	金融論Ⅰ	(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4		金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4		
金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4		
金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ	中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		タックスプランニング	2	2 3 4		
金融政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		岡山経営者論Ⅰ注2	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4		
金融システム論	2	2 3 4		岡山経営者論Ⅱ注2	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	FP技能論Ⅰ	2	2 3 4		
地域金融論	2	2 3 4		情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4		FP技能論Ⅱ	2	2 3 4		
金融工学入門★★	2	2 3 4		情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4		ポートフォリオ・マネジメント★★	2	2 3 4		
※国際金融論★★	2	3 4		簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4		リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4		
※(開発金融論)★★	2	3 4		簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		経営学特殊講義Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4		簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		経営学特殊講義Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4		簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		観光振興論特殊講義	2	2 3 4		
社会政策Ⅰ	2	2 3 4		会計学Ⅰ	2	2 3 4		(英語特別演習01・02)	各1	3 4		
社会政策Ⅱ	2	2 3 4		(会計学Ⅱ)	2	2 3 4		英語特別演習04	1	1 2 3 4		
(社会保障論Ⅰ)	2	2 3 4		財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		(英語特別演習03・05・06・07)	各1	1 2 3 4		
(社会保障論Ⅱ)	2	2 3 4		(財務諸表論Ⅱ)	2	2 3 4		英語特別演習08~12(廃止)	各1	1 2 3 4		
労働経済学Ⅰ	2	2 3 4		経営分析論Ⅰ★★	2	3 4						

()は不開講 ※は隔年開講 ★「博物館概論」「生涯学習概論」2013年度以前入学生のみ自由選択科目として履修可能

☆の5科目は2017年度以後入学の教職コース生のみ自由選択科目として履修可能

★★の10科目は企業コース生のみ自由選択科目として履修可能(金融総合教育プログラム対象科目)

法学部 法学科 企業コース キャリア科目配当表 2011年度以後入学生用

共通必修科目 6単位				備考	
科目名	単位	配当年次	旧科目名		
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。 ※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行っています。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合は「Ⅰ」は履修できません。	
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※		
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4			

経済学部

経済学科

2009年度以後入学生用

経済学科インフォメーション..... 119

■2017年度以後

履修届作成の手順..... 128

履修細則..... 129

教養科目・授業科目配当表..... 130

専門科目・授業科目配当表..... 132

■2009～2016年度

履修細則..... 138

教養科目・授業科目配当表..... 140

■2013～2016年度

専門科目・授業科目配当表..... 142

経済学科インフォメーション

◆経済学部・目標とする人材像と期待される学習成果◆

経済・金融に関する専門知識を身につけた有能な人材を育成します。

経済学科では、経済・金融の基礎知識から経済学の理論およびその応用あるいは、歴史などの専門的内容までを体系的に学び、経済全体に生じる問題を発見する力やその解決方法について考える力を身につけることを目標としている。

2017年度以後入学生(3コース制)

【金融コース】

●目標とする人材像

経済理論を理解し、金融分野で活躍できる人材を養成する。

●期待される学習成果

- ・世の中のお金の流れについて理解できるようになる。
- ・銀行、証券会社、保険会社等、金融機関の役割について理解できる。
- ・金融機関への就職のためのみならず、社会に出る上で必要となる基本的な金融知識を身につけることができる。

【経済理論・政策コース】

●目標とする人材像

現実社会に密着した経済理論や政策を学び、直面する経済的諸問題を解決する能力を身に付けた人材を養成する。

●期待される学習成果

- ・経済社会の仕組みや経済の動向が理解できるようになる。
- ・身近に生じている経済的諸問題の因果関係が理解できるようになる。
- ・大学院進学に必要な専門知識を身につけることができる。

【データ分析コース】

●目標とする人材像

経済データを理解するための経済学と、データを処理・分析する能力を身につけた人材を養成する。

●期待される学習成果

- ・実際の経済の動きを、データとして統計的に把握する能力が身につくようになる。
- ・データの解析方法とコンピュータの処理能力が身につくようになる。
- ・社会調査士としての必要な知識が身につくようになる。

◆金融コース◆ 履修モデル

【コース紹介】

お金に関係するあらゆる問題を扱い、日常生活において必要とされる金融リテラシーについても学んでいきます。さらに、経済理論をベースとして金融に関する知識を深め、変化の著しい金融の世界を渡っていける人材を育成します。

【基本モデル】

1年次	<ul style="list-style-type: none"> ①「金融リテラシー講座」、「金融論」を履修し、金融に関する基礎知識を学びます。 ②「教養演習」を軸に、プレゼンテーション能力やディベート能力を身につけます。 ③「数学演習」、「経済学演習」、「経済学Ⅰ・Ⅱ」、「経済数学」、「統計学総論Ⅰ・Ⅱ」などを履修し、金融理論を学ぶための素養を身に着けます。 ④キャリア形成科目として「キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」を履修します。 ⑤後期には、各人の研究分野を考え、教養演習担当教員とよく相談しながら、専攻と基礎演習を決定します。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ①「基礎演習」では、経済学と金融の基礎知識を習得します。 ②「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「金融政策」、「地域金融論」、そして「金融システム論」などの基礎的専門科目をしっかりと学びます。 ③「金融特別演習Ⅰ」を履修し、業界研究を通じて金融機関への就職を視野に入れた就職活動対策を行います。 ④キャリア形成科目として「キャリア形成論Ⅲ」を履修します。 ⑤各自の研究分野を決定し、基礎演習担当教員とよく相談しながら、研究演習を決めます。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ①研究演習では、研究テーマに関する専門的知識を習得します。 ②自分の目指す職業について、具体的な情報やデータを集め、夏休みに金融機関へのインターンシップを利用して、企業での実習を体験します。 ③金融機関での企業実習の体験を生かしながら、研究テーマを絞り込み、そのテーマの下で問題発見及び解決能力を高めるとともに、ディベート能力の向上に努めます。 ④「金融特別演習Ⅱ」でも引き続き、金融機関の業界研究やプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上に力を入れます。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ①3年次までに受講できなかった専門科目などを履修します。 ②大学での勉強の最後の仕上げとして、「卒業レポート」を作成し、報告会で発表します。報告会は、自分の考え方を整理し、分かりやすく相手に伝えるプレゼンテーション能力とディベート能力を身につけることを目的にしています。

《金融機関就職モデル》 ※ 金融総合教育プログラムへの参加を推奨する。

学年	専門科目等		教養科目等
	前期	後期	
1年次	数学演習 統計学総論Ⅰ 簿記論Ⅰ 民法概説	経済学演習 金融論 経済数学 統計学総論Ⅱ 簿記論Ⅱ	経済学Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） 金融リテラシー講座（2単位） Ⅱ群から2単位 外国語（2単位） 健康教育実践（1単位） 健康教育論（2単位） キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） その他教養科目 教養演習（4単位）
2年次	ミクロ経済学 マクロ経済学 金融政策 地域金融論 時系列データ分析 計量経済学 日本経済論Ⅰ 証券市場論Ⅰ 基礎演習（4単位）	金融システム論 金融特別演習Ⅰ 中級計量経済学 証券市場論Ⅱ E R E演習 中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学	初級・中級スポーツ実践（1単位） 外国語（2単位） キャリア形成論Ⅲ（2単位） 大学コンソーシアム岡山 ちゅうぎん『金融知力』講座 その他教養科目 資格取得
3年次	金融特別演習Ⅱ 国際金融論 計量経済分析 社会保障論Ⅰ 岡山経営者論Ⅰ 研究演習3年（4単位） 就職インターンシップ	金融工学入門 開発金融論 計量経済分析Ⅱ 岡山経済分析 岡山経営者論Ⅱ 金融リテラシー講座・資産運用編	不足単位の修得 資格取得 日商簿記2級以上 3級FP技能士以上
4年次	研究演習4年（4単位） 卒業レポートの作成 就職活動 不足単位の修得		資格取得 証券アナリスト 銀行業務検定 証券外務員二種

◆経済理論・政策コース◆ 履修モデル

【コース紹介】

現在の経済に密着した基本的な仕組みや政策をベースとしながら、生活者の視点から「生きた経済」を学びます。身近に起きている具体的な経済問題を取り上げ、それを分析し、その対応策を「自分の頭で考える力」を養成します。さらに、専門職業人の資格取得や大学院への進学を準備しています。

【基本モデル】

1年次	<p>①「数学演習」、「経済学演習」などの科目を履修し、経済学の入門知識を学びます。</p> <p>②「教養演習」を軸に、読む・書く・話す能力を身につけます。</p> <p>③教養科目として「経済学Ⅰ・Ⅱ」や外国語、専門科目として「経済史概論Ⅰ・Ⅱ」、「統計学総論Ⅰ・Ⅱ」そして「経済数学」を履修し、また、できるだけ多くの教養科目の単位を修得するように努めます。</p> <p>④キャリア形成科目として「キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」を履修します。</p> <p>⑤後期には、各人の研究分野を考え、教養演習担当教員とよく相談しながら、専攻と基礎演習を決定します。</p>
2年次	<p>①「基礎演習」では、経済学と経済政策の基礎知識を習得します。</p> <p>②「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「中級ミクロ経済学」、「中級マクロ経済学」、そして「経済政策」などの基礎的専門科目をしっかりと学びます。</p> <p>③キャリア形成科目として「キャリア形成論Ⅲ」を履修します。</p> <p>④インターネットなどを利用しながら、文章情報の理解と数値情報の活用能力を高めます。</p> <p>⑤各自の研究分野を決定し、基礎演習担当教員とよく相談しながら、研究演習を決めます。</p>
3年次	<p>①研究演習では、研究テーマに関する専門的知識を習得します。</p> <p>②自分の目指す職業について、具体的な情報やデータを集め、夏休みにインターンシップを利用して、企業での実習を体験します。</p> <p>③企業実習の体験を生かしながら、研究テーマを絞り込み、そのテーマの下で問題発見及び解決能力を高めるとともに、ディベート能力の向上に努めます。</p> <p>④高度な資格試験や大学院進学を目指す場合には、「特別演習(アドヴァンスト・クラス)」を受講します。</p>
4年次	<p>①3年次までに受講できなかった専門科目などを履修します。</p> <p>②大学での勉強の最後の仕上げとして、「卒業レポート」を作成し、報告会で発表します。報告会は、自分の考え方を整理し、分かりやすく相手に伝えるプレゼンテーション能力とディベート能力を身につけることを目的にしています。</p>

《企業就職モデル》

学年	専門科目等		教養科目等
	前期	後期	
1年次	数学演習 経済史概論Ⅰ 統計学総論Ⅰ	経済学演習 経済数学 経済史概論Ⅱ 統計学総論Ⅱ 金融論	経済学Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） 金融リテラシー講座（2単位） Ⅱ群から2単位 外国語（2単位） 健康教育実践（1単位） 健康教育論（2単位） キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） その他教養科目 教養演習（4単位）
2年次	ミクロ経済学 マクロ経済学 日本経済論Ⅰ 国際経済学Ⅰ 金融政策 地域政策 労働経済学Ⅰ 産業組織論	経済政策 日本経済論Ⅱ 国際経済学Ⅱ 労働経済学Ⅱ 社会政策Ⅰ 地域資源論 岡山経済分析 経営学Ⅰ	初級・中級スポーツ実践（2単位） 外国語（2単位） キャリア形成論Ⅲ（2単位） その他教養科目 資格取得
	基礎演習（4単位）		
3年次	財政政策Ⅰ 開発政策 社会保障論Ⅰ アジア経済分析 環境経済学Ⅰ 農業経済学 経営戦略論 岡山経営者論Ⅰ	財政政策Ⅱ 地方財政論 アジア経済政策 環境経済学Ⅱ E R E演習 人的資源管理論 岡山経営者論Ⅱ	不足単位の修得 資格取得 M O S 日商簿記3級 販売士3級 秘書技能検定2級 等
	研究演習3年（4単位） 就職インターンシップ		
4年次	研究演習4年（4単位） 卒業レポート 就職活動 不足単位の修得		資格取得

《公務員・大学院進学モデル》

学年	専門科目等		教養科目等
	前期	後期	
1年次	数学演習 経済史概論Ⅰ 統計学総論Ⅰ 憲法Ⅰ（統治Ⅰ）	経済学演習 経済数学 経済史概論Ⅱ 統計学総論Ⅱ 金融論 憲法Ⅱ（統治Ⅱ）	経済学Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） 金融リテラシー講座（2単位） Ⅱ群から2単位 外国語（2単位） 健康教育実践（1単位） 健康教育論（2単位） キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ（ともに2単位） その他教養科目 教養演習（4単位）
2年次	ミクロ経済学 マクロ経済学 中級経済数学 金融政策 労働経済学Ⅰ 日本経済論Ⅰ 国際経済学Ⅰ 産業組織論 西洋経済史Ⅰ 民法概説 基礎演習（4単位）	中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学 経済政策 日本経済論Ⅱ 国際経済学Ⅱ 労働経済学Ⅱ 社会政策Ⅰ 西洋経済史Ⅱ E R E演習	初級・中級スポーツ実践（2単位） 外国語（2単位） キャリア形成論Ⅲ（2単位） その他教養科目 資格取得
3年次	経済成長論Ⅰ 財政政策Ⅰ 社会保障論Ⅰ 社会政策Ⅱ アジア経済分析 国際経済政策 計量経済学 特別演習 英語特別演習 02 研究演習3年（4単位）	経済成長論Ⅱ 金融システム論 財政政策Ⅱ 地方財政論 社会保障論Ⅱ アジア経済政策 中級計量経済学 特別演習	不足単位の修得 経済学検定受験 社会福祉主事 TOEIC 650 TOEFL 75 日本語能力試験N1 （留学生のみ）
4年次	研究演習4年（4単位） 卒業レポート 特別演習 不足単位の修得		経済学検定A取得

◆データ分析コース◆ 履修モデル

【コース紹介】

データ分析コースでは、経済データに対して解析をおこない、経済動向についての知見を得ることを学びます。経済データを理解するための経済学と、データ分析ツールとしてのコンピュータ活用能力を身につけた人材を育成します。とくに、カリキュラムに従って履修することにより「社会調査士」の資格を取得できることも大きなメリットです。

【基本モデル】

1年次	<ul style="list-style-type: none"> ①「経済学Ⅰ・Ⅱ」などの科目を履修し、経済学の入門知識を学びます。 ②実際の経済の動向をデータとして把握する統計学の基礎を学びます。 ③Internet Explorerを利用した情報収集方法を学ぶことで、プレゼンテーション能力を身に付けます。 ④Excellによる表計算能力ならびに情報管理能力を身に付けます。 ⑤これらによって、社会調査士を修得するために必要な初歩の知識を身に付けます。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎演習では、経済学とデータ解析の基礎を習得します。 ②現実の経済に対する分析の仕方とコンピュータを実際に活用する能力を身に付けます。 ③経済の基本原理・理論を学ぶとともに、経済学の応用分野について勉強します。 ④経済学で学んだ種々の経済モデルを計算機プログラム上に構築するための基礎技術を習得します。 ⑤これらによって、社会調査士として必要な基礎力・応用力を習得します。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ①研究演習では、研究テーマに関する専門知識を習得します。 ②高度なミクロ経済学およびマクロ経済学を学びます。 ③経済のさまざまな応用分野について学び、より広い視野で経済や社会を理解することができる能力を身に付けます。 ④これらによって、より実践的な社会調査を学びます。 ⑤数値シミュレーションの実践に必要なプログラミング能力を身に付けます。 ⑥可能な限り企業での実際をインターンシップ方式で体験します。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ①知識の現実応用性を高めるため、自分の将来のキャリア形成に関連する科目を体系的に履修します。 ②これまでに培った知識と技術を活かして大学時代の集大成として「卒業レポート」を作成します。

《情報サービス就職モデル》

学年	専門科目等		教養科目等
	前期	後期	
1年次	数学演習 統計学総論 I	経済学演習 統計学総論 II 経済数学	経済学 I・II (ともに 2 単位) 金融リテラシー講座 (2 単位) II 群から 2 単位 外国語 (2 単位) 健康教育実践 (1 単位) 健康教育論 (2 単位) キャリア形成論 I・II (ともに 2 単位) その他教養科目 教養演習 (4 単位)
2年次	ミクロ経済学 マクロ経済学 計量経済学 金融政策 時系列データ分析 経済統計論 I 経営統計学 I 経済データ分析 基礎演習 (4 単位)	中級計量経済学 経済統計論 II 経営統計学 II 岡山経済分析	初級・中級スポーツ実践 (2 単位) 外国語 (2 単位) キャリア形成論 III (2 単位) その他教養科目 資格取得
3年次	計量経済分析 I 経済シミュレーション I アジア経済分析 市場調査論 岡山経営者論 I 研究演習 3 年 (4 単位) 社会調査実践 (4 単位) 就職インターンシップ	計量経済分析 II 経済シミュレーション II 岡山経営者論 II	不足単位の修得 資格取得 基本情報技術者試験
4年次	研究演習 4 年 (4 単位) 卒業レポート 就職活動 不足単位の修得		資格取得 社会調査士

履修届作成の手順 (例) 経済学科の新入生 (前期)

履修のてびき、講義概要、時間割をよく読んで作成してください。

- (1) 前期には、前期開講科目および通年科目の履修登録を行います。
- (2) 教養演習を記入します。(通年:4単位)
 - ① 入学式当日に、教養演習の担当教員(1年次の指導教員)をお知らせします。
 - ② 時間割で曜日・時限を確認し、履修登録します。
- (3) 経済学科専門科目配当表(2017年度以後入学生用)の共通必修科目(X群・キャリア科目)を記入します。
 - ① 「キャリア形成論Ⅰ」「数学演習」を履修します(事前登録済)。その他の科目は後期あるいは2年次から履修します。
 - ② 卒業までに、共通必修科目はすべて修得しなければなりません。
- (4) 外国語を決めます。(英語の履修について p.40～ および 英語以外の外国語の履修について p.42参照)
 - ① 英語を選択する場合は、自分のレベルに応じたクラスを選びます。
 - ・中級英語ⅠかⅡの自分の指定クラスを履修します。(別配付の英語クラス指定表を見て登録します。)
 - ・中級英語よりレベルの高い科目を希望する場合は、履修登録の上、第1回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。
 - ・1年次は初級英語は履修できません。
 - ・e-learningで英語の学習をする場合は、第1回目講義でレベル診断を受けた上で履修登録する講義を決定します。
 - ② 英語以外の外国語を選択する場合は、4月に前後期1年分の申込みをします。教学部ホールの掲示板で申込みができた科目・時間を確認します。(履修登録は教務課が行います。自分で履修登録することはできません。変更不可。)
 - ③ 留学生は、日本語Ⅰ・Ⅱ(必修)を履修します。(事前申込不要。自分で履修登録します。)
- (5) 健康教育科目を記入します。(健康教育科目の履修について p.43参照)
 - ① 健康教育実践を履修します。(必修、事前登録されています。)
 - ② 健康教育論を履修します。(選択必修・前後期どちらかにクラス指定あり。)
- (6) 経済学科教養科目配当表(2017年度以後入学生用)のⅠ～Ⅲ群の中から選択します。
 - ① Ⅰ群から「経済学Ⅰ」を履修します。(必修)
 - ② Ⅱ群とⅢ群から、それぞれ1科目(2単位・計4単位)履修します。
- (7) 留学生は特設授業科目(必修)があります。

【履修可能単位数 16単位以上24単位までを目安に履修します】

履修登録した、上記の科目の単位数を計算して、残り単位数分を

1年次配当の教養科目及び専門科目(E群)、(I群)の順に選びます。

後期も基本的には同じ手順で履修登録します。(登録対象は、後期開講科目です。)

★講義は第1週目＝第1回目から開始されます。

2017年度以後入学生用 履修細則

【経済学部・経済学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳		卒業に必要な単位数		合 計	
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会		I 群の経済学Ⅰ(2) 経済学Ⅱ(2) Ⅱ群から2単位、Ⅲ群から2単位 を必修とする。 8単位以上		30単位以上	
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン					
	III 群	自 然 と 人 間					
	外 国 語		※注1		4 単位以上		
	健 康 教 育	健	健康教育実践	(1)	1 単位		4 単位以上
		康	健康教育論	(2)	4 科目の中から 3 単位以上		
		教	初級スポーツ実践	(1)			
		育	中級スポーツ実践	(1)			
		育	総合スポーツ実践	(1)			
	教 養 演 習		(4)		4 単位		
上記で修得した教養科目以外から選択 ※注2				10単位			
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	数学演習	(2)	基礎演習	(4)	20単位	
		経済学演習	(2)	研究演習3年	(4)		
		ミクロ経済学	(2)	研究演習4年	(4)		
		マクロ経済学	(2)				
	選 択 必 修 科 目				24単位以上		86単位以上
自 由 選 択 科 目 ※注4	経済学類		42単位以上				
	商学類・経営学類・経営情報学類						
	会計学類						
	法学類						
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目 ※注3						2 単位	
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論Ⅰ		(2)		6 単位	6 単位	
	キャリア形成論Ⅱ		(2)				
	キャリア形成論Ⅲ		(2)				
合 計						124単位以上	

※注1 開講されているどの外国語を選択してもよいが、初級中国語Ⅰ・Ⅱのように同一語学を2単位修得しなければならない。英語については、履修制限のあるもの以外は全て履修可能。留学生は日本語Ⅰ・Ⅱの2単位を必修とし、加えて母国語以外の外国語を2単位以上履修しなければならない。

※注2、3 留学生の特設授業科目（日本語Ⅰ・Ⅱを除く）は、ここに充当する。

※注4 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

経済学部 経済学科 教養科目配当表

2017年度以後入学生用

類別	授業科目	単位	配当年次	必修科目	選択必修科目	自由選択科目
Ⅰ群 歴史と社会	アクティブラーニング社会学基礎編	2	1 2 3 4	2単位 2単位		教養科目の中から 必修・選択必修で 履修したものを 除き、 10単位履修する。 上記10単位以外に 残りの 《教養科目》 《専門科目》の 中から、自由に選 択して2単位履修 する。 留学生の特設授業科 目のうち、10単位は ここに充当する。
	アクティブラーニング社会学展開編	2	1 2 3 4			
	経済学Ⅰ	2	1 2 3 4			
	経済学Ⅱ	2	1 2 3 4			
	法学Ⅰ	2	1 2 3 4			
	法学Ⅱ（日本国憲法を含む）	2	1 2 3 4			
	西洋史Ⅰ	2	1 2 3 4			
	西洋史Ⅱ	2	1 2 3 4			
	※政治学入門Ⅰ	2	1 2 3 4			
	※（政治学入門Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	（地理Ⅰ）	2	1 2 3 4			
	（地理Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	（日本史Ⅰ）	2	1 2 3 4			
	（日本史Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	考古学Ⅰ	2	1 2 3 4			
	考古学Ⅱ	2	1 2 3 4			
	（人権教育）	2	1 2 3 4			
	法律学概説	2	2 3 4			
	岡山講座	2	1 2 3 4			
	生涯学習概論	2	1 2 3 4			
博物館経営論	2	1 2 3 4				
博物館教育論	2	1 2 3 4				
（教職コース生のみ）						
	教育原理	2	1 2 3			
	教育史	2	2 3			
Ⅱ群 文化とコミュニケーション	法を考える	2	1 2 3 4	Ⅱ群から 2単位		
	政治を考える	2	1 2 3 4			
	外国文学Ⅰ	2	1 2 3 4			
	外国文学Ⅱ	2	1 2 3 4			
	文学を考える	2	1 2 3 4			
	文学と時代	2	1 2 3 4			
	（人間学としての文学）	2	1 2 3 4			
	（現実世界と文学）	2	1 2 3 4			
	（文学の概要）	2	1 2 3 4			
	（文学の読解）	2	1 2 3 4			
	※（日本語学）	2	1 2 3 4			
	※日本語表現	2	1 2 3 4			
	※倫理学Ⅰ	2	1 2 3 4			
	※（倫理学Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	芸術Ⅰ	2	1 2 3 4			
	芸術Ⅱ	2	1 2 3 4			
	芸術Ⅲ	2	1 2 3 4			
	芸術Ⅳ	2	1 2 3 4			
	（文化史Ⅰ）	2	1 2 3 4			
	（文化史Ⅱ）	2	1 2 3 4			
日中ビジネス比較論	2	1 2 3 4				
科学と哲学	2	1 2 3 4				
こころの哲学	2	1 2 3 4				
民俗学Ⅰ	2	1 2 3 4				
民俗学Ⅱ	2	1 2 3 4				
博物館概論	2	1 2 3 4				
博物館展示論	2	1 2 3 4				
博物館実習	3	4				
Ⅲ群 自然と人間	※（現代数学への招待A（無限と連続））	2	1 2 3 4	Ⅲ群から 2単位		
	（現代数学への招待B（数の構造））	2	1 2 3 4			
	使える数学A（線形代数）	2	1 2 3 4			
	※使える数学B（微分と積分）	2	1 2 3 4			
	※思考の論理的形式Ⅰ	2	1 2 3 4			
	※（思考の論理的形式Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	コンピュータ処理Ⅰ	2	1 2 3 4			
	コンピュータ処理Ⅱ	2	1 2 3 4			
	※（環境保全論）	2	1 2 3 4			
	※（物質・エネルギーの化学）	2	1 2 3 4			
	（人間生物学Ⅰ）	2	1 2 3 4			
	（人間生物学Ⅱ）	2	1 2 3 4			
	こころの科学	2	1 2 3 4			
	適応の心理学	2	1 2 3 4			
	※（古典的世界観（時間と空間））	2	1 2 3 4			
	※（極限の世界（ミクロの自然像））	2	1 2 3 4			
	（技術と人間）	2	1 2 3 4			
	博物館資料論	2	1 2 3 4			
	博物館資料保存論	2	1 2 3 4			
	博物館情報・メディア論	2	1 2 3 4			
金融リテラシー講座	2	1 2 3 4				
（教職コース生のみ）						
	教育心理学Ⅰ	2	3			
	教育心理学Ⅱ	2	3			

（ ）は不開講 ※は隔年開講

類別	授業科目	単位	配当年次	必修科目	選択必修科目	自由選択科目
外国語	* (入門英語 I)	1	1 2 3 4		4 単位 すべての外国語の中から自由に選んで4単位履修する。 * e-learningの初級英語 I・II は1年次配当 * 入門英語 I・II は留学生のみ履修可。 * 留学生の特設授業科目のうち、日本語 I・II は、ここに充当する。 * 英語以外の外国語は同一の言語について I・II を修得すること。 ただし、総合中国語 I は初級中国語 I・II のいずれかに、総合ハングル I は初級ハングル I・II のいずれかに充当する。	前ページより続く
	* (入門英語 II)	1	1 2 3 4			
	初級英語 I	1	2 3 4			
	初級英語 II	1	2 3 4			
	中級英語 I	1	1 2 3 4			
	中級英語 II	1	1 2 3 4			
	中級英語 III	1	2 3 4			
	中級英語 IV	1	2 3 4			
	中級英語 (TOEIC) I	1	1 2 3 4			
	中級英語 (TOEIC) II	1	1 2 3 4			
	上級英語 I	1	1 2 3 4			
	上級英語 II	1	1 2 3 4			
	(上級英語 (TOEIC) I)	1	1 2 3 4			
	(上級英語 (TOEIC) II)	1	1 2 3 4			
	総合英語 I	1	1 2 3 4			
	総合英語 II	2	1 2 3 4			
	初級ドイツ語 I	1	1 2 3 4			
	初級ドイツ語 II	1	1 2 3 4			
	初級中国語 I	1	1 2 3 4			
	初級中国語 II	1	1 2 3 4			
	総合中国語 I	1	1 2 3 4			
	総合中国語 II	2	1 2 3 4			
	初級ハングル I	1	1 2 3 4			
初級ハングル II	1	1 2 3 4				
総合ハングル I	1	1 2 3 4				
総合ハングル II	2	1 2 3 4				
中級中国語 I	孔子学院でのみ開講	1	2 3 4			中級中国語 I・II、を履修する場合は、初級 I・II の単位が修得済みであること。
中級中国語 II		1	2 3 4			
上級中国語 I		1	2 3 4			
上級中国語 II		1	2 3 4			
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4	1 単位	3 単位	健康教育は8単位を限度とする。スポーツ実践は複数履修可能。
	健康教育論	2	1 2 3 4			
	初級スポーツ実践	1	2 3 4			
	中級スポーツ実践	1	2 3 4			
	総合スポーツ実践	1	2 3 4			
教養演習	教養演習	4	1 2	4 単位	2 年次修了までに必ず取得すること。	
教養単位小計				9 単位	11 単位	10 単位
合計				30 単位以上		

【注意】旧科目 (変更前の科目) をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語 I・II は除く)

留学生の特設授業科目	日本事情 I	2	1 2 3 4	1 2 単位 ※留学生は必修とする。 ※日本語 I・II は外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情 II	2	1 2 3 4	
	教養特講 I	2	1 2 3 4	
	教養特講 II	2	1 2 3 4	
	日本語 I (外国語に充当する)	1	1 2 3 4	
	日本語 II (外国語に充当する)	1	1 2 3 4	
	日本語 III	1	1 2 3 4	
日本語 IV	1	1 2 3 4		

() は不開講

経済学部 経済学科 金融コース 専門科目配当表
2017年度以後入学生用

共通必修科目 X群 20単位								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
数学演習	2	1 2 3 4	マクロ経済学	2	2 3 4	研究演習3年	4	3
経済学演習	2	1 2 3 4	基礎演習	4	2 3 4	研究演習4年	4	4
ミクロ経済学	2	2 3 4						
選択必修科目 E群 24単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
★経済学基礎	2	3 4	計量経済分析Ⅰ	2	3 4	※☆開発金融論	2	3 4
中級ミクロ経済学	2	2 3 4	計量経済分析Ⅱ	2	3 4	統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4
中級マクロ経済学	2	2 3 4	日本経済論Ⅰ	2	2 3 4	統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4
経済統計論Ⅰ	2	2 3 4	日本経済論Ⅱ	2	2 3 4	経済数学	2	1 2 3 4
経済統計論Ⅱ	2	2 3 4	地域政策	2	2 3 4	中級経済数学	2	1 2 3 4
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4	市場調査論	2	3 4	社会政策Ⅰ	2	2 3 4
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4	※岡山経済分析	2	3 4	社会保障論Ⅰ	2	3 4
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4	(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4	※経済データ分析	2	2 3 4
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4	(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4	時系列データ分析	2	2 3 4
計量経済学	2	2 3 4	地方財政分析	2	3 4	労働経済学Ⅰ	2	2 3 4
中級計量経済学	2	2 3 4	地方財政論	2	3 4	労働経済学Ⅱ	2	2 3 4
日本経済史Ⅰ	2	2 3 4	☆金融論	2	1 2 3 4	農業経済論	2	2 3 4
日本経済史Ⅱ	2	2 3 4	☆金融政策	2	2 3 4	農業政策	2	2 3 4
産業組織論	2	2 3 4	☆金融システム論	2	2 3 4	ERE演習	2	2 3 4
経済政策	2	2 3 4	☆地域金融論	2	2 3 4	☆金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4
※国際経済政策	2	3 4	☆金融工学入門	2	2 3 4	☆金融特別演習Ⅱ	2	3 4
アジア経済分析	2	3 4	※☆国際金融論	2	3 4	☆金融リテラシー講座(資産運用編)	2	3 4

() 不開講 ※隔年開講

☆印科目は、金融コース推奨科目

★印科目は、3年次編入生のみ履修可能

自由選択科目 1群 42単位 経済学・商学・経営学・経営情報学・会計学・法学類

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
経済成長論Ⅰ	2	3 4	F P相続・事業継承	2	2 3 4	会社法Ⅰ	2	2 3 4
経済成長論Ⅱ	2	3 4	F P技能論Ⅰ	2	2 3 4	会社法Ⅱ	2	2 3 4
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4	F P技能論Ⅱ	2	2 3 4	物権総論	2	2 3 4
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4	※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	担保物権	2	2 3 4
アジア経済政策	2	3 4	※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	債権総論	2	2 3 4
開発政策	2	3 4	ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4	所得税法	2	2 3 4
地域資源論	2	2 3 4	リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4	法人税法	2	2 3 4
※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4	証券化商品論(廃止)	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4
※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4	※(不動産運用設計論)	2	2 3 4	法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4
※経済シミュレーションⅠ	2	3 4	※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4	法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4
※経済シミュレーションⅡ	2	3 4	※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4	警察と法	2	2 3 4
社会政策Ⅱ	2	2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	医療と法	2	2 3 4
社会保障論Ⅱ	2	3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	(福祉と法Ⅰ)	2	1 2 3 4
福祉情報論	2	3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	(福祉と法Ⅱ)	2	1 2 3 4
地理学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4
地理学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4	経営統計学Ⅱ	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4
地誌学 注1	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4
倫理学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4	経営戦略論	2	2 3 4	国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4
倫理学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4	(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4	憲法Ⅰ(統治1)	2	1 2 3 4
特別演習	2	2 3 4	現代ビジネス事情	2	1 2 3 4	憲法Ⅱ(統治2)	2	1 2 3 4
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	データベース論	2	2 3 4	行政法Ⅰ(基本原理, 行政組織法)	2	2 3 4
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	データベース実践	2	2 3 4	行政法Ⅱ(行政作用法)	2	2 3 4
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4	民法概説	2	1 2 3 4
貿易実務論Ⅰ	2	3 4	プログラミングVB	2	2 3 4	民法総則	2	2 3 4
貿易実務論Ⅱ	2	3 4	情報システム技術	2	1 2 3 4	商法総則・商行為	4	2 3 4
社会調査実践	4	3 4	情報と職業	2	1 2 3 4	日本史概説Ⅰ 注1	2	2 3 4
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4	Webデザイン	2	2 3 4	日本史概説Ⅱ 注1	2	2 3 4
F P概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4	Webプログラミング	2	2 3 4	※(外国史概説) 注1	2	1 2 3 4
F P概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4	簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4	哲学概論Ⅰ 注1	2	2 3 4
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	哲学概論Ⅱ 注1	2	2 3 4
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4	法律学入門 注1	2	1 2 3 4
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4	英語特別演習01・02	各1	3 4
金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	会計学Ⅰ	2	2 3 4	(英語特別演習03)	1	1 2 3 4
タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	(会計学Ⅱ)	2	2 3 4	英語特別演習04	1	1 2 3 4
タックスプランニング	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	(英語特別演習05・06・07)	各1	1 2 3 4
金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4	★日本語基礎演習Ⅰ	1	3 4
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営分析論Ⅰ	2	3 4	★日本語基礎演習Ⅱ	1	3 4
相続・事業承継	2	2 3 4	経営分析論Ⅱ	2	3 4	★日本語特別演習Ⅰ	1	3 4
F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	★日本語特別演習Ⅱ	1	3 4
F P不動産運用設計	2	2 3 4	金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4			
F Pタックスプランニング	2	2 3 4	会社法概説	2	2 3 4			

() は不開講 ※は隔年開講 ★印は、3年次編入留学生のみ履修可能
 注1：教職コース生のみ履修可能

**経済学部 経済学科 金融コース キャリア科目配当表
 2017年度以後入学生用**

必修科目 6単位			備考
科目名	単位	配当年次	
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4	

経済学部 経済学科 経済理論・政策コース 専門科目配当表
2017年度以後入学生用

共通必修科目 X群 20単位								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
数学演習	2	1 2 3 4	マクロ経済学	2	2 3 4	研究演習3年	4	3
経済学演習	2	1 2 3 4	基礎演習	4	2 3 4	研究演習4年	4	4
ミクロ経済学	2	2 3 4						
選択必修科目 E群 24単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
★経済学基礎	2	3 4	アジア経済政策	2	3 4	※開発金融論	2	3 4
中級ミクロ経済学	2	2 3 4	開発政策	2	3 4	統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4
中級マクロ経済学	2	2 3 4	日本経済論Ⅰ	2	2 3 4	統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4
経済成長論Ⅰ	2	3 4	(日本経済論Ⅱ)	2	2 3 4	経済数学	2	1 2 3 4
経済成長論Ⅱ	2	3 4	地域政策	2	2 3 4	中級経済数学	2	1 2 3 4
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4	地域資源論	2	2 3 4	社会政策Ⅰ	2	2 3 4
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4	※岡山経済分析	2	3 4	社会政策Ⅱ	2	2 3 4
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4	(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4	社会保障論Ⅰ	2	3 4
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4	(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4	社会保障論Ⅱ	2	3 4
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4	地方財政分析	2	3 4	労働経済学Ⅰ	2	2 3 4
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4	地方財政論	2	3 4	労働経済学Ⅱ	2	2 3 4
日本経済史Ⅰ	2	2 3 4	金融論	2	1 2 3 4	※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4
日本経済史Ⅱ	2	2 3 4	金融政策	2	2 3 4	※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4
産業組織論	2	2 3 4	金融システム論	2	2 3 4	農業経済論	2	2 3 4
経済政策	2	2 3 4	地域金融論	2	2 3 4	農業政策	2	2 3 4
※国際経済政策	2	3 4	金融工学入門	2	2 3 4	E R E 演習	2	2 3 4
アジア経済分析	2	3 4	※国際金融論	2	3 4			

() 不開講 ※隔年開講

★印科目は、3年次編入生のみ履修可能

自由選択科目			1群 42単位			経済学・商学・経営学・経営情報学・会計学・法学類		
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
経済統計論Ⅰ	2	2 3 4	F Pタックスプランニング	2	2 3 4	会社法概説	2	2 3 4
経済統計論Ⅱ	2	2 3 4	F P相続・事業継承	2	2 3 4	会社法Ⅰ	2	2 3 4
※経済データ分析	2	2 3 4	F P技能論Ⅰ	2	2 3 4	会社法Ⅱ	2	2 3 4
計量経済学	2	2 3 4	F P技能論Ⅱ	2	2 3 4	物権総論	2	2 3 4
中級計量経済学	2	2 3 4	※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	担保物権	2	2 3 4
計量経済分析Ⅰ	2	3 4	※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	債権総論	2	2 3 4
計量経済分析Ⅱ	2	3 4	ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4	所得税法	2	2 3 4
福祉情報論	2	3 4	リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4	法人税法	2	2 3 4
時系列データ分析	2	2 3 4	証券化商品論（廃止）	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4
※経済シミュレーションⅠ	2	3 4	※（不動産運用設計論）	2	2 3 4	法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4
※経済シミュレーションⅡ	2	3 4	※（運用設計企画Ⅰ）	2	2 3 4	法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4
地理学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4	※（運用設計企画Ⅱ）	2	2 3 4	警察と法	2	2 3 4
地理学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	医療と法	2	2 3 4
地誌学 注1	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	（福祉と法Ⅰ）	2	1 2 3 4
倫理学概論Ⅰ 注1	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	（福祉と法Ⅱ）	2	1 2 3 4
倫理学概論Ⅱ 注1	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4
金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経営統計学Ⅱ	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4
金融特別演習Ⅱ	2	3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4
金融リテラシー講座（資産運用編）	2	3 4	経営戦略論	2	2 3 4	国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4
特別演習	2	2 3 4	（コーポレート・ファイナンス）	2	2 3 4	憲法Ⅰ（統治1）	2	1 2 3 4
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	現代ビジネス事情	2	1 2 3 4	憲法Ⅱ（統治2）	2	1 2 3 4
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	憲法Ⅲ（人権1）	2	2 3 4
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	憲法Ⅳ（人権2）	2	2 3 4
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	データベース論	2	2 3 4	行政法Ⅰ（基本原理、行政組織法）	2	2 3 4
※（RMI・保険設計論）	2	2 3 4	データベース実践	2	2 3 4	行政法Ⅱ（行政作用法）	2	2 3 4
貿易実務論Ⅰ	2	3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4	民法概説	2	1 2 3 4
貿易実務論Ⅱ	2	3 4	プログラミングVB	2	2 3 4	民法総則	2	2 3 4
市場調査論	2	3 4	情報システム技術	2	1 2 3 4	商法総則・商行為	4	2 3 4
社会調査実践	4	3 4	情報と職業	2	1 2 3 4	日本史概説Ⅰ 注1	2	2 3 4
現代社会における金融と法（廃止）	2	1 2 3 4	Webデザイン	2	2 3 4	日本史概説Ⅱ 注1	2	2 3 4
F P概論Ⅰ（廃止）	2	1 2 3 4	Webプログラミング	2	2 3 4	※（外国史概説） 注1	2	1 2 3 4
F P概論Ⅱ（廃止）	2	1 2 3 4	簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4	哲学概論Ⅰ 注1	2	2 3 4
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	哲学概論Ⅱ 注1	2	2 3 4
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4	法律学入門 注1	2	1 2 3 4
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4	英語特別演習01・02	各1	3 4
金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	会計学Ⅰ	2	2 3 4	（英語特別演習03）	1	1 2 3 4
タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	（会計学Ⅱ）	2	2 3 4	英語特別演習04	1	1 2 3 4
タックスプランニング	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	（英語特別演習05・06・07）	各1	1 2 3 4
金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4	★日本語基礎演習Ⅰ	1	3 4
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営分析論Ⅰ	2	3 4	★日本語基礎演習Ⅱ	1	3 4
相続・事業承継	2	2 3 4	経営分析論Ⅱ	2	3 4	★日本語特別演習Ⅰ	1	3 4
F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	★日本語特別演習Ⅱ	1	3 4
F P不動産運用設計	2	2 3 4	金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4			

（ ）は不開講 ※は隔年開講 ★印は、3年次編入留学生のみ履修可能
 注1：教職コース生のみ履修可能

経済学部 経済学科 経済理論・政策コース キャリア科目配当表 2017年度以後入学生用

必修科目			6単位		
科目名	単位	配当年次	備 考		
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。		
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4			
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4			

経済学部 経済学科 データ分析コース 専門科目配当表
2017年度以後入学生用

共通必修科目 X群 20単位								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
数学演習	2	1 2 3 4	マクロ経済学	4	2 3 4	研究演習3年	4	3
経済学演習	2	1 2 3 4	基礎演習	4	2 3 4	研究演習4年	4	4
ミクロ経済学	2	2 3 4						
選択必修科目 E群 24単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
★経済学基礎	2	3 4	金融システム論	2	2 3 4	労働経済学Ⅰ	2	2 3 4
中級ミクロ経済学	2	2 3 4	地域金融論	2	2 3 4	労働経済学Ⅱ	2	2 3 4
中級マクロ経済学	2	2 3 4	金融工学入門	2	2 3 4	※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4	※国際金融論	2	3 4	※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4	※開発金融論	2	3 4	農業経済論	2	2 3 4
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4	統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4	農業政策	2	2 3 4
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4	統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4	時系列データ分析	2	2 3 4
産業組織論	2	2 3 4	経済統計論Ⅰ	2	2 3 4	※経済シミュレーションⅠ	2	3 4
経済政策	2	2 3 4	経済統計論Ⅱ	2	2 3 4	※経済シミュレーションⅡ	2	3 4
アジア経済分析	2	3 4	※経済データ分析	2	2 3 4	市場調査論	2	3 4
日本経済論Ⅰ	2	2 3 4	計量経済学	2	2 3 4	社会調査実践	4	3 4
(日本経済論Ⅱ)	2	2 3 4	中級計量経済学	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4
※岡山経済分析	2	3 4	計量経済分析Ⅰ	2	3 4	経営統計学Ⅱ	2	2 3 4
(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4	計量経済分析Ⅱ	2	3 4	データベース論	2	2 3 4
(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4	経済数学	2	1 2 3 4	データベース実践	2	2 3 4
地方財政分析	2	3 4	中級経済数学	2	1 2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4
金融論	2	1 2 3 4	社会政策Ⅰ	2	2 3 4	プログラミングVB	2	2 3 4
金融政策	2	2 3 4	社会政策Ⅱ	2	2 3 4	ERE演習	2	2 3 4

() は不開講 ※は隔年開講 ★印科目は、3年次編入生のみ履修可能

自由選択科目

1群 42単位

経済学・商学・経営学・経営情報学・会計学・法学類

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
経済成長論Ⅰ	2	3 4	相続・事業承継	2	2 3 4	会社法Ⅱ	2	2 3 4
経済成長論Ⅱ	2	3 4	F P リスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	物権総論	2	2 3 4
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4	F P 不動産運用設計	2	2 3 4	担保物権	2	2 3 4
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4	F P タックスプランニング	2	2 3 4	債権総論	2	2 3 4
日本経済史Ⅰ	2	2 3 4	F P 相続・事業継承	2	2 3 4	所得税法	2	2 3 4
日本経済史Ⅱ	2	2 3 4	F P 技能論Ⅰ	2	2 3 4	法人税法	2	2 3 4
※国際経済政策	2	3 4	F P 技能論Ⅱ	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4
アジア経済政策	2	3 4	※F P 提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4
開発政策	2	3 4	※F P 提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	法と言語Ⅱ	2	2 2 3 4
地域政策	2	2 3 4	ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4	警察と法	2	2 3 4
地域資源論	2	2 3 4	リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4	医療と法	2	2 3 4
地方財政論	2	3 4	証券化商品論(廃止)	2	2 3 4	(福祉と法Ⅰ)	2	1 2 3 4
社会保障論Ⅰ	2	3 4	※(不動産運用設計論)	2	2 3 4	(福祉と法Ⅱ)	2	1 2 3 4
社会保障論Ⅱ	2	3 4	※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4
福祉情報論	2	3 4	※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4	雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4
地理学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4
地理学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4
地誌学 注1	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	憲法Ⅰ(統治1)	2	1 2 3 4
倫理学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	憲法Ⅱ(統治2)	2	1 2 3 4
倫理学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4	経営戦略論	2	2 3 4	憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4
金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4	憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4
金融特別演習Ⅱ	2	3 4	現代ビジネス事情	2	1 2 3 4	行政法Ⅰ(基本原理, 行政組織法)	2	2 3 4
金融リテラシー講座(資産運用編)	2	3 4	岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	行政法Ⅱ(行政作用法)	2	2 3 4
特別演習	2	2 3 4	岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	民法概説	2	1 2 3 4
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	情報システム技術	2	1 2 3 4	民法総則	2	2 3 4
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	Webデザイン	2	2 3 4	商法総則・商行為	4	2 3 4
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	Webプログラミング	2	2 3 4	日本史概説Ⅰ 注1	2	2 3 4
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	情報と職業	2	1 2 3 4	日本史概説Ⅱ 注1	2	2 3 4
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4	簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4	※(外国史概説) 注1	2	1 2 3 4
貿易実務論Ⅰ	2	3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	哲学概説Ⅰ 注1	2	2 3 4
貿易実務論Ⅱ	2	3 4	簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4	哲学概説Ⅱ 注1	2	2 3 4
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4	簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4	法律学入門 注1	2	1 2 3 4
F P 概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4	会計学Ⅰ	2	2 3 4	英語特別演習01・02	各1	3 4
F P 概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4	(会計学Ⅱ)	2	2 3 4	(英語特別演習03)	1	1 2 3 4
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	英語特別演習04	1	1 2 3 4
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4	(英語特別演習05・06・07)	各1	1 2 3 4
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	経営分析論Ⅰ	2	3 4	★日本語基礎演習Ⅰ	1	3 4
金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	経営分析論Ⅱ	2	3 4	★日本語基礎演習Ⅱ	1	3 4
タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	★日本語特別演習Ⅰ	1	3 4
タックスプランニング	2	2 3 4	金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4	★日本語特別演習Ⅱ	1	3 4
金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	会社法概説	2	2 3 4			
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	会社法Ⅰ	2	2 3 4			

() は不開講 ※は隔年開講 ★印は、3年次編入留学生のみ履修可能

注1: 教職コース生のみ履修可能

経済学部 経済学科 データ分析コース キャリア科目配当表

2017年度以後入学生用

必修科目		6単位		備考
科目名	単位	配当年次		
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4		
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。	
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4		

履修細則

【経済学部・経済学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳		卒業に必要な単位数		合 計	
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会		I 群の経済学Ⅰ(2) 経済学Ⅱ(2) Ⅱ群から2単位、Ⅲ群から2単位 を必修とする。		30単位以上	
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン					
	III 群	自 然 と 人 間					8単位以上
	外 国 語		※注1	4 単位以上			
	健 康 教 育	健	健康教育実践	(1)	1 単位		4 単位以上
		康	健康教育論	(2)	4 科目の中から 3 単位以上		
		教	初級スポーツ実践	(1)			
		育	中級スポーツ実践	(1)			
		育	総合スポーツ実践	(1)			
	教 養 演 習		(4)	4 単位			
上記で修得した教養科目以外から選択		※注2		10単位			
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	ミクロ経済学		16単位		86単位以上	
		マクロ経済学					
		基礎演習					
		研究演習3年					
		研究演習4年					
	選 択 必 修 科 目				28単位以上		
	自 由 選 択 科 目 ※注4		経済学類	42単位以上			
		商学類・経営学類・経営情報学類					
		会計学類					
		法学類					
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目 ※注3						2 単位	
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論Ⅰ		(2)	6 単位		6 単位	
	キャリア形成論Ⅱ		(2)				
	キャリア形成論Ⅲ		(2)				
合 計						124単位以上	

※注1 開講されているどの外国語を選択してもよいが、初級中国語Ⅰ・Ⅱのように同一語学を2単位修得しなければならない。英語については、履修制限のあるもの以外は全て履修可能。留学生は日本語Ⅰ・Ⅱの2単位を必修とし、加えて母国語以外の外国語を2単位以上履修しなければならない。

※注2、3 留学生の特設授業科目（日本語Ⅰ・Ⅱを除く）は、ここに充当する。

※注4 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

2009～2015年度入学生用

履 修 細 則

【経済学部・経済学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳	卒業に必要な単位数		合 計	
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会	I 群の経済学Ⅰ(2) 経済学Ⅱ(2) Ⅲ群のコンピュータ処理Ⅰ(2) コンピュータ処理Ⅱ(2) を必修とする。Ⅱ群から2単位		30単位以上	
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン				
	III 群	自 然 と 人 間				10単位以上
	外 国 語		※注 1	4 単位以上		
	健 康 教 育	健康教育実践	(1)	1 単位		4 単位以上
		健康教育論	(2)	4 科目の中から 3 単位以上		
		初級スポーツ実践	(1)			
		中級スポーツ実践	(1)			
		総合スポーツ実践	(1)			
	教 養 演 習		(4)	4 単位		
上記で修得した教養科目以外から選択		※注 2	8 単位			
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	ミクロ経済学	(2)	16単位		
		マクロ経済学	(2)			
		基礎演習	(4)			
		研究演習 3 年	(4)			
		研究演習 4 年	(4)			
	選 択 必 修 科 目			28単位以上		
	自 由 選 択 科 目 ※注 4	経済学類		42単位以上		
商学類・経営学類・経営情報学類						
会計学類						
法学類						
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目					※注 3	2 単位
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論Ⅰ	(2)	6 単位		6 単位	
	キャリア形成論Ⅱ	(2)				
	キャリア形成論Ⅲ	(2)				
合 計					124単位以上	

※注 1 開講されているどの外国語を選択してもよいが、初級中国語Ⅰ・Ⅱのように同一語学を2単位修得しなければならない。英語については、履修制限のあるもの以外は全て履修可能。留学生は日本語Ⅰ・Ⅱの2単位を必修とし、加えて母国語以外の外国語を2単位以上履修しなければならない。

※注 2、3 留学生の特設授業科目（日本語Ⅰ・Ⅱを除く）は、ここに充当する。

※注 4 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

経済学部 経済学科 教養科目配当表 2009～2016年度入学生用

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修科目	自由選択科目			
I 群 歴史と社会	アクティブラーニング社会学基礎編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅰ		2015年度以前の教職課程履修者は卒業要件外の教職科目扱い	教養科目の中から必修・選択必修で履修したものを除き、8単位履修する。 上記8単位以外に残りの「教養科目」≪専門科目≫の中から、自由に選択して2単位履修する。			
	アクティブラーニング社会学展開編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅱ						
	経済学Ⅰ	2	1 2 3 4		2単位					
	経済学Ⅱ	2	1 2 3 4		2単位					
	法学Ⅰ	2	1 2 3 4							
	法学Ⅱ（日本国憲法を含む）	2	1 2 3 4							
	西洋史Ⅰ	2	1 2 3 4							
	西洋史Ⅱ	2	1 2 3 4							
	※政治学入門Ⅰ	2	1 2 3 4							
	※（政治学入門Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	（地理Ⅰ）	2	1 2 3 4							
	（地理Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	（日本史Ⅰ）	2	1 2 3 4							
	（日本史Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	考古学Ⅰ	2	1 2 3 4							
	考古学Ⅱ	2	1 2 3 4							
	（人権教育）	2	1 2 3 4							
	法律学概説	2	2 3 4							
	岡山講座	2	1 2 3 4							
	（2014年度以後入学生のみ）									
		生涯学習概論	2	1 2 3 4						
		博物館経営論	2	1 2 3 4						
		博物館教育論	2	1 2 3 4						
	（2016年度以後入学の教職コース生のみ）									
		教育原理	2	1 2 3						
	教育史	2	2 3							
（2000～2016年度入学の教職課程履修者のみ）										
	日本史概説Ⅰ	2	2 3 4							
	日本史概説Ⅱ	2	2 3 4							
	※（外国史概説）	2	1 2 3 4							
	地理学概説Ⅰ	2	2 3 4							
	地理学概説Ⅱ	2	2 3 4							
	地誌学	2	2 3 4							
II 群 文化とコミュニケーション	法を考える	2	1 2 3 4			II 群から 2単位	留学生の特設授業科目のうち、10単位はここに充当する。			
	政治を考える	2	1 2 3 4							
	外国文学Ⅰ	2	1 2 3 4							
	外国文学Ⅱ	2	1 2 3 4							
	文学を考える	2	1 2 3 4							
	文学と時代	2	1 2 3 4							
	（人間学としての文学）	2	1 2 3 4							
	（現実世界と文学）	2	1 2 3 4							
	（文学の概要）	2	1 2 3 4							
	（文学の読解）	2	1 2 3 4							
	※（日本語学）	2	1 2 3 4							
	※日本語表現	2	1 2 3 4							
	※倫理学Ⅰ	2	1 2 3 4							
	※（倫理学Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	芸術Ⅰ	2	1 2 3 4							
	芸術Ⅱ	2	1 2 3 4							
	芸術Ⅲ	2	1 2 3 4							
	芸術Ⅳ	2	1 2 3 4							
	（文化史Ⅰ）	2	1 2 3 4							
	（文化史Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	日中ビジネス比較論	2	1 2 3 4							
	科学と哲学	2	1 2 3 4							
	こころの哲学	2	1 2 3 4							
	民俗学Ⅰ	2	1 2 3 4							
	民俗学Ⅱ	2	1 2 3 4							
（2014年度以後入学生のみ）										
	博物館概論	2	1 2 3 4							
	博物館展示論	2	1 2 3 4							
	博物館実習	3	4							
（2000～2016年度入学の教職課程履修者のみ）										
	哲学概論Ⅰ	2	2 3 4							
	哲学概論Ⅱ	2	2 3 4							
	倫理学概論Ⅰ	2	2 3 4							
	倫理学概論Ⅱ	2	2 3 4							
III 群 自然と人間	※（現代数学への招待A（無限と連続））	2	1 2 3 4			（2016年度入学生） III 群から 2単位 2009～2015年度入学生のみ必修	2015年度以前の教職課程履修者は卒業要件外の教職科目扱い			
	（現代数学への招待B（数の構造））	2	1 2 3 4							
	使える数学A（線形代数）	2	1 2 3 4							
	※使える数学B（微分と積分）	2	1 2 3 4							
	※思考の論理的形式Ⅰ	2	1 2 3 4							
	※（思考の論理的形式Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	コンピュータ処理Ⅰ	2	1 2 3 4		2単位					
	コンピュータ処理Ⅱ	2	1 2 3 4		2単位					
	※（環境保全論）	2	1 2 3 4							
	※（物質・エネルギーの化学）	2	1 2 3 4							
	（人間生物学Ⅰ）	2	1 2 3 4							
	（人間生物学Ⅱ）	2	1 2 3 4							
	こころの科学	2	1 2 3 4							
	適応の心理学	2	1 2 3 4							
	※（古典的世界観（時間と空間））	2	1 2 3 4							
	※（極限の世界（ミクロの自然像））	2	1 2 3 4							
	（技術と人間）	2	1 2 3 4							
	（2014年度以後入学生のみ）									
		博物館資料論	2	1 2 3 4						
		博物館資料保存論	2	1 2 3 4						
		博物館情報・メディア論	2	1 2 3 4						
	（2016年度以後入学の教職コース生のみ）									
		教育心理学Ⅰ	2	3						
		教育心理学Ⅱ	2	3						

（ ）は不開講 ※は隔年開講

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修科目	自由選択科目
外国語	* (入門英語Ⅰ)	1	1 2 3 4			4単位 すべての外国語の中から自由に選んで4単位履修する。 * e-learningの初級英語Ⅰ・Ⅱは1年次配当 * 入門英語Ⅰ・Ⅱは留学生のみ履修可。 * 留学生の特設授業科目のうち、日本語Ⅰ・Ⅱは、ここに充当する。 * 英語以外の外国語は同一の言語についてⅠ・Ⅱを修得すること。 ただし、総合中国語Ⅰは初級中国語Ⅰ・Ⅱのいずれかに、総合ハンブルⅠは初級ハンブルⅠ・Ⅱのいずれかに充当する。	前ページより続く
	* (入門英語Ⅱ)	1	1 2 3 4				
	初級英語Ⅰ	1	2 3 4				
	初級英語Ⅱ	1	2 3 4				
	中級英語Ⅰ	1	1 2 3 4				
	中級英語Ⅱ	1	1 2 3 4				
	中級英語Ⅲ	1	2 3 4				
	中級英語Ⅳ	1	2 3 4				
	中級英語 (TOEIC)Ⅰ	1	1 2 3 4				
	中級英語 (TOEIC)Ⅱ	1	1 2 3 4				
	上級英語Ⅰ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅰ			
	上級英語Ⅱ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅱ			
	(上級英語 (TOEIC)Ⅰ)	1	1 2 3 4				
	(上級英語 (TOEIC)Ⅱ)	1	1 2 3 4				
	総合英語Ⅰ	1	1 2 3 4	総合英語			
	総合英語Ⅱ	2	1 2 3 4				
	初級ドイツ語Ⅰ	1	1 2 3 4				
	初級ドイツ語Ⅱ	1	1 2 3 4				
	初級中国語Ⅰ	1	1 2 3 4				
	初級中国語Ⅱ	1	1 2 3 4				
総合中国語Ⅰ	1	1 2 3 4					
総合中国語Ⅱ	2	1 2 3 4	総合中国語				
初級ハンブルⅠ	1	1 2 3 4					
初級ハンブルⅡ	1	1 2 3 4					
総合ハンブルⅠ	1	1 2 3 4					
総合ハンブルⅡ	2	1 2 3 4	総合ハンブル				
中級中国語Ⅰ	1	2 3 4					
中級中国語Ⅱ	1	2 3 4					
上級中国語Ⅰ	1	2 3 4					
上級中国語Ⅱ	1	2 3 4					
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4		1単位	3単位	健康教育は8単位を限度とする。スポーツ実践は複数履修可能。
	健康教育論	2	1 2 3 4				
	初級スポーツ実践	1	2 3 4				
	中級スポーツ実践	1	2 3 4				
	総合スポーツ実践	1	2 3 4				
教養演習	教養演習	4	1 2		4単位	2年次修了までに必ず取得すること。	
教養単位小計					13単位	9単位	8単位
合計							30単位以上

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
 ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語Ⅰ・Ⅱは除く)

留学生の特設授業科目	日本事情Ⅰ	2	1 2 3 4		12単位	※留学生は必修とする。 ※日本語Ⅰ・Ⅱは外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情Ⅱ	2	1 2 3 4			
	教養特講Ⅰ	2	1 2 3 4			
	教養特講Ⅱ	2	1 2 3 4			
	日本語Ⅰ(外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語Ⅱ(外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語Ⅲ	1	1 2 3 4			
日本語Ⅳ	1	1 2 3 4				

() は不開講

経済学部 経済学科 政策創造コース 専門科目配当表
2013～2016年度入学生用

共通必修科目 X群 16単位									
科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
ミクロ経済学	2	2 3 4			研究演習3年	4	3		
マクロ経済学	2	2 3 4			研究演習4年	4	4		
基礎演習	4	2 3 4							
選択必修科目 E群 28単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)									
科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
★経済学基礎	2	3 4			地方財政分析	2	3 4	地方財政論Ⅰ	2
中級ミクロ経済学	2	3 4			地方財政論	2	3 4	地方財政論Ⅱ	2
中級マクロ経済学	2	2 3 4			金融論	2	1 2 3 4	金融論Ⅰ	2
経済成長論Ⅰ	2	3 4			金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
(経済成長論Ⅱ)	2	3 4			金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ	2
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4			金融政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4			金融システム論	2	2 3 4		
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4			地域金融論	2	2 3 4		
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4			金融工学入門	2	2 3 4	金融工学入門Ⅰ 金融工学入門Ⅱ	2 2
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4			※国際金融論	2	3 4	国際金融論Ⅰ	2
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4			国際金融論Ⅱ(廃止)	2	3 4		
日本経済史Ⅰ	2	2 3 4			※(開発金融論)	2	3 4		
日本経済史Ⅱ	2	2 3 4			統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4		
産業組織論	2	2 3 4	経済政策Ⅰ	2	統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4		
経済政策	2	2 3 4	経済政策Ⅱ	2	★経済数学基礎(廃止)	2	3 4		
※(国際経済政策)	2	3 4			経済数学	2	1 2 3 4	経済数学Ⅰ	2
アジア経済分析	2	3 4			中級経済数学	2	1 2 3 4	経済数学Ⅱ	2
アジア経済政策	2	3 4			社会政策Ⅰ	2	2 3 4		
開発政策	2	3 4	開発政策Ⅰ	2	社会政策Ⅱ	2	2 3 4		
開発政策Ⅱ(廃止)	2	3 4			(社会保障論Ⅰ)	2	2 3 4		
★日本経済基礎(廃止)	2	3 4			(社会保障論Ⅱ)	2	2 3 4		
日本経済論Ⅰ	2	2 3 4			労働経済学Ⅰ	2	2 3 4		
(日本経済論Ⅱ)	2	2 3 4			労働経済学Ⅱ	2	2 3 4		
地域政策	2	2 3 4	地域政策Ⅰ	2	※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4		
地域政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4		
地域資源論	2	2 3 4			農業経済論	2	2 3 4	農業経済論Ⅰ	2
※岡山経済分析	2	3 4			農業経済論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4			農業政策	2	2 3 4		
(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4							

() は不開講 ※は隔年開講 ★印科目は3年次編入留学生のみ履修可能です。
【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

自由選択科目 1群 42単位 経済学・商学・経営学・経営情報学・会計学・法学類

科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
経済統計論Ⅰ	2	2 3 4			(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4		
経済統計論Ⅱ	2	2 3 4			現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		
※経済データ分析	2	2 3 4			岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	2
計量経済学	2	2 3 4	計量経済学Ⅰ	2	岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	2
中級計量経済学	2	2 3 4	計量経済学Ⅱ	2	データベース論	2	2 3 4		
計量経済分析Ⅰ	2	3 4	経済情報処理Ⅰ	2	データベース実践	2	2 3 4		
(計量経済分析Ⅱ)	2	3 4	経済情報処理Ⅱ	2	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4		
福祉情報論	2	3 4			(応用情報処理Ⅱ)	2	1 2 3 4		
時系列データ分析	2	2 3 4	プログラミング論基礎Ⅰ	2	プログラミングVB 注1	2	2 3 4	応用情報処理Ⅱ	2
プログラミング論基礎Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4			情報システム技術	2	1 2 3 4		
※(経済シミュレーションⅠ)	2	3 4	シミュレーション基礎Ⅰ	2	情報と職業	2	1 2 3 4		
※(経済シミュレーションⅡ)	2	3 4	シミュレーション基礎Ⅱ	2	Webデザイン	2	2 3 4		
金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経済学特殊講義Ⅰ	2	Webプログラミング	2	2 3 4		
金融特別演習Ⅱ	2	3 4	経済学特殊講義Ⅱ	2	簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4		
(金融リテラシー講座(資産運用編))	2	3 4			簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		
特別演習	2	2 3 4			簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4			簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4			会計学Ⅰ	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4			(会計学Ⅱ)	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4			財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		
※(RMⅠ・保険設計論)	2	2 3 4			財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅰ)	2	3 4			経営分析論Ⅰ	2	3 4		
(貿易実務論Ⅱ)	2	3 4			経営分析論Ⅱ	2	3 4		
市場調査論	2	3 4			金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4		
社会調査実践	4	3 4			金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4		
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4			会社法概説	2	2 3 4		
F P概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4			会社法Ⅰ	2	2 3 4		
F P概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4			会社法Ⅱ	2	2 3 4		
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4			物権総論	2	2 3 4		
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4			担保物権	2	2 3 4		
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4			債権総論	2	2 3 4		
金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4			所得税法	2	2 3 4		
タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4			(法人税法)	2	2 3 4		
タックスプランニング	2	2 3 4			相続税法	2	2 3 4	相続・贈与税法	2
金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4			法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4			法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		
相続・事業承継	2	2 3 4			警察と法	2	2 3 4		
F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4			医療と法	2	2 3 4		
F P不動産運用設計	2	2 3 4			(福祉と法Ⅰ)	2	1 2 3 4		
F Pタックスプランニング	2	2 3 4			(福祉と法Ⅱ)	2	1 2 3 4		
F P相続・事業継承	2	2 3 4			雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4		
F P技能論Ⅰ	2	2 3 4			雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4		
F P技能論Ⅱ	2	2 3 4			国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4		
※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4			国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4		
※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4			憲法Ⅰ(統治1)	2	1 2 3 4		
ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4			憲法Ⅱ(統治2)	2	1 2 3 4		
リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4			憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4		
証券化商品論(廃止)	2	2 3 4			憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4		
※(不動産運用設計論)	2	2 3 4			行政法Ⅰ(基本原理, 行政組織法)	2	2 3 4		
※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4			行政法Ⅱ(行政作用法)	2	2 3 4		
※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4			民法概説	2	1 2 3 4		
経営学Ⅰ	2	2 3 4			民法総則	2	2 3 4		
中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			商法総則・商行為	4	2 3 4		
中小企業論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			(英語特別演習01・02)	各1	3 4		
リスクマネジメント論	2	2 3 4			英語特別演習04	1	1 2 3 4		
国際経営論Ⅰ	2	2 3 4			(英語特別演習03・05・06・07)	各1	1 2 3 4		
経営統計学Ⅰ	2	2 3 4			★(日本語基礎演習Ⅰ)	1	3 4		
経営統計学Ⅱ	2	2 3 4			★(日本語基礎演習Ⅱ)	1	3 4		
経営戦略論	2	2 3 4			★日本語特別演習Ⅰ	1	3 4		
人的資源管理論	2	2 3 4			★日本語特別演習Ⅱ	1	3 4		

() は不開講 ※は隔年開講 ★印科目は3年次編入留学生のみ履修可能です。

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

注1:「プログラミングVB」は「応用情報処理Ⅱ」を修得済みの場合は履修(読み替え)不可

政策創造コース キャリア科目配当表 2013~2016年度入学生用

共通必修科目		6単位				備考	
科目名	単位	配当年次	旧科目	単位			
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※	2	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。		
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※	2	※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行います。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合はⅠは履修できません。		
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4					

経済学部 経済学科 データ解析コース 専門科目配当表 2013～2016年度入学生用

共通必修科目 X群 16単位									
科 目 名	単位	配当年次	旧科目（廃止）	単位	科 目 名	単位	配当年次	旧科目（廃止）	単位
ミクロ経済学	2	2 3 4			研究演習3年	4	3		
マクロ経済学	2	2 3 4			研究演習4年	4	4		
基礎演習	4	2 3 4							
選択必修科目 E群 28単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)									
科 目 名	単位	配当年次	旧科目（廃止）	単位	科 目 名	単位	配当年次	旧科目（廃止）	単位
★経済学基礎	2	3 4			※経済データ分析	2	2 3 4		
中級ミクロ経済学	2	2 3 4			計量経済学	2	2 3 4	計量経済学Ⅰ	2
中級マクロ経済学	2	2 3 4			中級計量経済学	2	2 3 4	計量経済学Ⅱ	2
国際経済学Ⅰ	2	2 3 4			★経済数学基礎（廃止）	2	3 4		
国際経済学Ⅱ	2	2 3 4			経済数学	2	1 2 3 4	経済数学Ⅰ	2
経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4			中級経済数学	2	1 2 3 4	経済数学Ⅱ	2
経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4			計量経済分析Ⅰ	2	3 4	経済情報処理Ⅰ	2
産業組織論	2	2 3 4	経済政策Ⅰ	2	計量経済分析Ⅱ	2	3 4	経済情報処理Ⅱ	2
経済政策	2	2 3 4	経済政策Ⅱ	2	社会政策Ⅰ	2	2 3 4		
アジア経済分析	2	3 4			社会政策Ⅱ	2	2 3 4		
★日本経済基礎（廃止）	2	3 4			労働経済学Ⅰ	2	2 3 4		
日本経済論Ⅰ	2	2 3 4			労働経済学Ⅱ	2	2 3 4		
（日本経済論Ⅱ）	2	2 3 4			※環境経済学Ⅰ	2	2 3 4		
※岡山経済分析	2	3 4			※環境経済学Ⅱ	2	2 3 4		
（財政政策Ⅰ）	2	2 3 4			農業経済論	2	2 3 4	農業経済論Ⅰ	2
（財政政策Ⅱ）	2	2 3 4			農業経済論Ⅱ（廃止）	2	2 3 4		
金融論	2	1 2 3 4	金融論Ⅰ	2	農業政策	2	2 3 4		
金融論Ⅱ（廃止）	2	2 3 4			時系列データ分析	2	2 3 4	プログラミング論基礎Ⅰ	2
金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ	2	プログラミング論基礎Ⅱ（廃止）	2	1 2 3 4		
金融政策Ⅱ（廃止）	2	2 3 4			※（経済シミュレーションⅠ）	2	3 4	シミュレーション基礎Ⅰ	2
金融システム論	2	2 3 4			※（経済シミュレーションⅡ）	2	3 4	シミュレーション基礎Ⅱ	2
地域金融論	2	2 3 4			市場調査論	2	3 4		
金融工学入門	2	2 3 4	金融工学入門Ⅰ 金融工学入門Ⅱ	2 2	社会調査実践	4	3 4		
※国際金融論	2	3 4	国際金融論Ⅰ	2	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4		
国際金融論Ⅱ（廃止）	2	3 4			経営統計学Ⅱ	2	2 3 4		
※（開発金融論）	2	3 4			データベース論	2	2 3 4		
統計学総論Ⅰ	2	1 2 3 4			データベース実践	2	2 3 4		
統計学総論Ⅱ	2	1 2 3 4			応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4		
経済統計論Ⅰ	2	2 3 4			（応用情報処理Ⅱ）	2	1 2 3 4		
経済統計論Ⅱ	2	2 3 4			プログラミングVB 注1	2	2 3 4	応用情報処理Ⅱ	2

() は不開講 ※は隔年開講 ★印科目は3年次編入留学生の履修可能です。
 【注意】旧科目（変更前の科目）をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
 注1：「プログラミングVB」は「応用情報処理Ⅱ」を修得済みの場合は履修（読み替え）不可

自由選択科目 / 群 42単位 経済学・商学・経営学・経営情報学・会計学・法学類

科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
経済成長論Ⅰ	2	3 4			国際経営論Ⅰ	2	2 3 4		
(経済成長論Ⅱ)	2	3 4			経営戦略論	2	2 3 4		
西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4			人的資源管理論	2	2 3 4		
西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4			(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4		
日本経済史Ⅰ	2	2 3 4			現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		
日本経済史Ⅱ	2	2 3 4			岡山経営者論Ⅰ 注2	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	2
※(国際経済政策)	2	3 4			岡山経営者論Ⅱ 注2	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	2
アジア経済政策	2	3 4			情報システム技術	2	1 2 3 4		
開発経済	2	3 4	開発経済Ⅰ	2	Webデザイン	2	2 3 4		
開発政策Ⅱ(廃止)	2	3 4			Webプログラミング	2	2 3 4		
地域政策	2	2 3 4	地域政策Ⅰ	2	情報と職業	2	1 2 3 4		
地域政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4		
地域資源論	2	2 3 4			簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		
地方財政分析	2	3 4	地方財政論Ⅰ	2	簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		
地方財政論	2	3 4	地方財政論Ⅱ	2	簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		
(社会保障論Ⅰ)	2	2 3 4			会計学Ⅰ	2	2 3 4		
(社会保障論Ⅱ)	2	2 3 4			(会計学Ⅱ)	2	2 3 4		
福祉情報論	2	3 4			財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		
金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経済学特殊講義Ⅰ	2	財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4		
金融特別演習Ⅱ	2	3 4	経済学特殊講義Ⅱ	2	経営分析論Ⅰ	2	3 4		
(金融リテラシー講座(資産運用編))	2	3 4			経営分析論Ⅱ	2	3 4		
特別演習	2	2 3 4			金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4		
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4			金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4		
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4			会社法概説	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4			会社法Ⅰ	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4			会社法Ⅱ	2	2 3 4		
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4			物権総論	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅰ)	2	3 4			担保物権	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅱ)	2	3 4			債権総論	2	2 3 4		
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4			所得税法	2	2 3 4		
F P概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4			(法人税法)	2	2 3 4		
F P概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4			相続税法	2	2 3 4	相続・贈与税法	2
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4			法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4			法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4			警察と法	2	2 3 4		
金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4			医療と法	2	2 3 4		
タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4			(福祉と法Ⅰ)	2	1 2 3 4		
タックスプランニング	2	2 3 4			(福祉と法Ⅱ)	2	1 2 3 4		
金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4			雇用社会と法Ⅰ	2	2 3 4		
ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4			雇用社会と法Ⅱ	2	2 3 4		
相続・事業承継	2	2 3 4			国際社会と法Ⅰ	2	2 3 4		
F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4			国際社会と法Ⅱ	2	2 3 4		
F P不動産運用設計	2	2 3 4			憲法Ⅰ(統治1)	2	1 2 3 4		
F Pタックスプランニング	2	2 3 4			憲法Ⅱ(統治2)	2	1 2 3 4		
F P相続・事業継承	2	2 3 4			憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4		
F P技能論Ⅰ	2	2 3 4			憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4		
F P技能論Ⅱ	2	2 3 4			行政法Ⅰ(基本原理, 行政組織法)	2	2 3 4		
※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4			行政法Ⅱ(行政作用法)	2	2 3 4		
※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4			民法概説	2	1 2 3 4		
ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4			民法総則	2	2 3 4		
リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4			商法総則・商行為	4	2 3 4		
証券化商品論(廃止)	2	2 3 4			(英語特別演習01・02)	各1	3 4		
※(不動産運用設計論)	2	2 3 4			英語特別演習04	1	1 2 3 4		
※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4			(英語特別演習03・05・06・07)	各1	1 2 3 4		
※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4			★(日本語基礎演習Ⅰ)	1	3 4		
経営学Ⅰ	2	2 3 4			★(日本語基礎演習Ⅱ)	1	3 4		
中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			★日本語特別演習Ⅰ	1	3 4		
中小企業論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			★日本語特別演習Ⅱ	1	3 4		
リスクマネジメント論	2	2 3 4							

() は不開講 ※は隔年開講 ★印科目は3年次編入留学生のみ履修可能です。
 【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

データ解析コース キャリア科目配当表 2013~2016年度入学生用

共通必修科目		6単位				備考	
科目名	単位	配当年次	旧科目	単位			
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※	2	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。 ※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行います。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合はⅠは履修できません。		
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※	2			
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4					

経営学部

経営学科

2009年度以後入学生用

経営学科インフォメーション…………… 149

■2013年度以後

履修届作成の手順…………… 152

履修細則…………… 153

教養科目・授業科目配当表…………… 154

専門科目・授業科目配当表…………… 156

■2009～2012年度

履修細則…………… 159

教養科目・授業科目配当表…………… 160

専門科目・授業科目配当表…………… 162

経営学科インフォメーション

一般に、「経営学」の対象は、いろいろな組織の運営全般に関わる事柄です。したがって経営学科で学ぶ内容は、企業経営に関することだけではありません。組織で働く人に関すること、組織運営の方向性を決定するための各種情報の活用に関すること、組織の活動の記録や報告に関することが含まれます。これらの内容は、経営学、情報科学、会計学の各分野に分類することができます。経営学科では、まずその基本をしっかりと身につけてもらうために、学科の必修科目として、3分野の基本となる科目を共通に履修します。次に各自が特に深く学びたい分野を経営コース、情報・メディアコース、会計コースの中から選んで、そのコースの専門科目を選択必修科目あるいは自由選択科目として履修していきます。そして、2年次では、自分のコースの研究演習を選択し、より専門的な学習を行います。それぞれのコースの研究演習を効果的に学習していくために必要とされる科目が、各コースによって必要とされる科目群として指定されています。経営学科の学生の皆さんは、どのコースを自分の専門分野として学びたいかを決め、それに合わせて選択必修科目や自由選択科目の履修を行って行ってください。

経営学の分野では問題の分析とその解決方法を作り出すということが要求されます。筋道を立てて考え、答えを出す能力、即ち「考える力」は、経営学に限らず、あらゆる場面に通ずることです。経営学科では専門科目と教養科目を有機的に連携させて学習することにより、「考える力」を身につけ、バランスの良い人間を形成していくことを目指しています。

■ 経営学科

【目標とする人材像】

経営学の教育研究を行い、社会、とりわけ企業という組織の中で創造的に貢献できる能力を持った人材を育成する。

【期待される学習成果】

経営学、情報科学、会計学の基礎知識を偏ることなく習得した上で、自らの望む専門分野に関する能力を高めることができる。

■経営コース

【目標とする人材像】

現実の経営における問題発見能力と問題解決能力を備えた人材。

【期待される学習成果】

- 組織の見方, 社会の仕組み, 人間の生き方を理解できる。
- 現実の組織の経営環境変化への対応について問題を発見できる。
- 組織の資源を活用して創造的に問題解決を図っていくことができる。

■情報・メディアコース

【目標とする人材像】

新たな情報技術にも積極的に関わっていけるような人材。

【期待される学習成果】

- マルチメディアの原理やコンテンツ作成ができるようになる。
- プログラミング能力が身に付く。
- 情報データの構成や情報技術の歴史を知り, システム作りに応用できるようになる。

■会計コース

【目標とする人材像】

会計学を通じて社会の仕組みを把握できる人材。

【期待される学習成果】

- 会計学を通じて社会のしくみや出来事を把握できるようになる。
- 本学卒業後に社会人として活動する際に必要な会計の知識が身に付く。
- 会計の諸制度の内容と, その諸制度の背景にある考え方(会計理論など)が身に付く。

経営学科のプログラム

経営学科では、学生の皆さんそれぞれの将来の目標に沿った学習がしやすいように、目的に応じた学習内容を提案するプログラムを作成しています。下記の経営コースに関するプログラムは、経営学科のプログラムの一例です。プログラムについては、経営学科のホームページ(http://www.osu.ac.jp/gakubu/keiei_keiei/index.html)で詳しく説明していますので、ぜひ確認してください。

プログラムの内容等に関して質問がある場合には、演習の担当者や各コースの教員に相談してください。

とくに、会計コースに関しては、簿記や会計を初めて学習する人や高等学校等ですでに学習してきた人など、その人に応じたプログラムの選択等に関してアドバイスをしますので、会計の専門科目の履修方法に関して質問がある場合には、会計コースの教員(川本, 陶, 長谷川, 内田, 吉良)に相談してください。

経営学科のプログラムの一例(経営コースに関するプログラム)

経営に関心がある学生向け	
	教育プログラム 推奨する履修科目例
成長 経営基礎知識を修得したい	経営学基礎プログラム 経営系 : 経営戦略論, 人的資源管理論 経営管理論, 生産マネジメント
	情報能力基礎プログラム 経営系 : 情報管理論 情報系 : 情報技術論
	会計能力基礎プログラム 会計系 : 原価計算論, 財務諸表論
	社会人基礎プログラム 経営系 : 岡山経営者論 全学科目 : キャリア形成論
就職 会社に勤めたい ・経営知識に強いビジネスマン ・スポーツ系企業のマネージャー	経営学展開プログラム 経営系 : 国際経営論, 経営史 コーポレート・ファイナンス
	インターンシッププログラム、他 内外インターンシップボランティア
	スポーツマネージャープログラム 学外科目 : 日本体育協会指定科目
家業・企業 経営基礎知識に加え 自分で経営したい	起業・経営プログラム 経営系 : 経営分析論,アントレプレナーシップ論 経済系 : ミクロ経済学
	経営者プログラム 経営系 : 岡山経営者論, 企業論 商学系 : マーケティング論, 広告論 全学科目 : 夕学講座

履修届作成の手順 (例) 経営学科の新入生 (前期)

履修のてびき、講義概要、時間割をよく読んで作成してください。

- (1) 前期には、前期開講科目および通年科目の履修登録を行います。
- (2) 教養演習を記入します。(通年:4単位)
 - ① 入学式当日に、教養演習の担当教員(1年次の指導教員)をお知らせします。
 - ② 時間割で曜日・時限を確認し、履修登録します。
- (3) 経営学科専門科目配当表(2013年度以後入学生用)の共通必修科目(X群・キャリア科目)を記入します。
 - ① 配当年次が1年次の科目を履修します。
 - ② クラス指定があるものは、自分のクラスの曜日・時限を確認して履修します。(「キャリア形成論Ⅰ」は事前登録済)
 - ③ 卒業までに、共通必修科目はすべて修得しなければなりません。
- (4) 第1外国語を決めます。(英語の履修について p.40~参照)
 - ① 中級英語ⅠかⅡの自分の指定クラスを履修します。(別配付の英語クラス指定表を見て履修します。)
 - ② 中級英語よりレベルの高い科目を希望する場合は、履修登録の上、第1回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。
 - ③ 1年次は初級英語は履修できません。
 - ④ e-learning で英語の学習をする場合は、第1回目講義でレベル診断を受けた上で履修登録する講義を決定します。
- (5) 第2外国語を決めます。(英語以外の外国語の履修について p.42参照)
 - ① どの外国語にするかを選びます。
 - ② 4月に、前後期1年分の申込をします。 教学部ホールの掲示板で申込みができた科目・時間を確認し、受講します。(履修登録は教務課が行います。自分で履修登録はできません。変更不可)
 - ③ 留学生は、日本語Ⅰ・Ⅱ(必修)を履修します。(事前申込不要。自分で履修登録します。)
- (6) 健康教育科目を記入します。(健康教育科目の履修について p.43参照)
 - ① 健康教育実践を履修します。(必修・事前登録されています。)
 - ② 健康教育論を履修します。(選択必修・前後期どちらかにクラス指定あり。)
- (7) 経営学科教養科目配当表(2013年度以後入学生用)のⅠ～Ⅲ群の中から選択します。
 - ① 各群から2単位、計6単位を選択します。
- (8) 留学生は特設授業科目(必修)を履修します。

【履修可能単位数 16単位以上24単位までを目安に履修します】

履修登録した、上記の科目の単位数を計算して、残り単位数分を1年次配当の教養科目及び専門科目(B群)、(C群)の順に選びます。

後期も基本的には同じ手順で履修登録します。(登録対象は後期開講科目です。)

★講義は第1週目＝第1回目から開始されます。

2013年度以後入学生用

履 修 細 則

【経営学部・経営学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳		卒業に必要な単位数		合 計	
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会		各群から4単位、計12単位		26単位以上	
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン					
	III 群	自 然 と 人 間					12単位以上
	外国語	第1外国語		4単位以上	6単位以上		
		第2外国語 ※注1		2単位以上			
	健 康 教 育	健康教育実践 (1)		1単位	4単位以上		
		健康教育論 (2)		4科目の中から 3単位以上			
		初級スポーツ実践 (1)					
		中級スポーツ実践 (1)					
		総合スポーツ実践 (1)					
教 養 演 習 (4)		4単位					
専 門 科 目	共通必修科目	経営学 I (2)	研究演習 2年 (4)	18単位		82単位以上	
		情報処理概論 I (2)	研究演習 3年 (4)				
		簿記論 I (2)	研究演習 4年 (4)				
	選 択 必 修 科 目			34単位以上			
	自 由 選 択 科 目 (上記以外の科目) ※注3			30単位以上			
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目 ※注2						10単位	
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論 I (2)		6単位		6単位		
	キャリア形成論 II (2)						
	キャリア形成論 III (2)						
合 計						124単位以上	

※注1 初級ドイツ語I・IIまたは、初級中国語I・IIまたは、初級ハングルI・IIなどの同一語学を2単位修得しなければならない。ただし第2外国語は、6単位を限度とする。留学生は日本語I・IIを必修とする。

※注2 留学生の特設授業科目（日本語I・IIを除く）は、ここに充当する。

※注3 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

経営学部 経営学科 教養科目配当表 2013年度以後入学生用

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
Ⅰ群 歴史と社会	アクティブラーニング社会学基礎編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅰ		4単位	10単位 * ただし、残りの 《教養科目》 《専門科目》の 中から、自由に選択 できる。 * 留学生の特設授業科 目のうち、10単位は ここに充当する。
	アクティブラーニング社会学展開編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅱ			
	経済学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	経済学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅱ（日本国憲法を含む）	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅰ	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※政治学入門Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（政治学入門Ⅱ） （地理Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（地理Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅱ （人権教育）	2	1 2 3 4				
	法律学概説	2	2 3 4				
	岡山講座 （2014年度以後入学生のみ）						
	生涯学習概論	2	1 2 3 4				
	博物館経営論	2	1 2 3 4				
	博物館教育論	2	1 2 3 4				
（2016年度以後入学の教職コース生のみ）							
教育原理	2	1 2 3					
教育史	2	2 3					
Ⅱ群 文化とコミュニケーション	法を考える	2	1 2 3 4			4単位	
	政治を考える	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	文学を考える	2	1 2 3 4				
	文学と時代	2	1 2 3 4				
	（人間学としての文学）	2	1 2 3 4				
	（現実世界と文学）	2	1 2 3 4				
	（文学の概要）	2	1 2 3 4				
	（文学の読解）	2	1 2 3 4				
	※（日本語学）	2	1 2 3 4				
	※日本語表現	2	1 2 3 4				
	※倫理学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（倫理学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅰ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅱ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅲ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅳ	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	日中ビジネス比較論	2	1 2 3 4				
	科学と哲学	2	1 2 3 4				
	こころの哲学	2	1 2 3 4				
	民俗学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	民俗学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	（2014年度以後入学生のみ）						
	博物館概論	2	1 2 3 4				
博物館展示論	2	1 2 3 4					
博物館実習	2	3 4					
Ⅲ群 自然と人間	※（現代数学への招待A（無限と連続））	2	1 2 3 4			4単位	
	（現代数学への招待B（数の構造））	2	1 2 3 4				
	使える数学A（線形代数）	2	1 2 3 4				
	※使える数学B（微分と積分）	2	1 2 3 4				
	※思考の論理的形式Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（思考の論理的形式Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅰ	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※（環境保全論）	2	1 2 3 4				
	※（物質・エネルギーの化学）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	こころの科学	2	1 2 3 4				
	適応の心理学	2	1 2 3 4				
	※（古典的世界観（時間と空間））	2	1 2 3 4				
	※（極限の世界（ミクロの自然像））	2	1 2 3 4				
	（技術と人間）	2	1 2 3 4				
	金融リテラシー講座 （2014年度以後入学生のみ）						
	博物館資料論	2	1 2 3 4				
	博物館資料保存論	2	1 2 3 4				
博物館情報・メディア論	2	1 2 3 4					
（2016年度以後入学の教職コース生のみ）							
教育心理学Ⅰ	2	3					
教育心理学Ⅱ	2	3					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
外国語	第1外国語	* (入門英語 I)	1	1 2 3 4		4単位 * 入門英語 I・IIは留学生のみ履修可。 * e-learningの初級英語 I・IIは1年次配当	前ページより続く
		* (入門英語 II)	1	1 2 3 4			
		初級英語 I	1	2 3 4			
		初級英語 II	1	2 3 4			
		中級英語 I	1	1 2 3 4			
		中級英語 II	1	1 2 3 4			
		中級英語 III	1	2 3 4			
		中級英語 IV	1	2 3 4			
		中級英語 (TOEIC) I	1	1 2 3 4			
		中級英語 (TOEIC) II	1	1 2 3 4			
		上級英語 I	1	1 2 3 4	上級英語 (会話) I		
		上級英語 II	1	1 2 3 4	上級英語 (会話) II		
		(上級英語 (TOEIC) I)	1	1 2 3 4			
		(上級英語 (TOEIC) II)	1	1 2 3 4			
	総合英語 I	1	1 2 3 4				
	総合英語 II	2	1 2 3 4	総合英語			
	第2外国語	初級ドイツ語 I	1	1 2 3 4		2単位 * 同一の言語について I・IIを修得すること。 * 総合中国語 I 及び総合ハングル I は、その言語の初級 I・IIのいずれかに充当する。 * 日本語 I・IIは、ここに充当する。	中級中国語 I・II、を履修する場合は、初級 I・IIの単位が修得済みであること。
		初級ドイツ語 II	1	1 2 3 4			
		初級中国語 I	1	1 2 3 4			
初級中国語 II		1	1 2 3 4				
総合中国語 I		1	1 2 3 4				
総合中国語 II		2	1 2 3 4	総合中国語			
初級ハングル I		1	1 2 3 4				
初級ハングル II		1	1 2 3 4				
総合ハングル I		1	1 2 3 4				
総合ハングル II		2	1 2 3 4	総合ハングル			
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4		1 単位	3単位 健康教育は8単位を限度とする。 スポーツ実践は複数履修可能。	
	健康教育論	2	1 2 3 4				
	初級スポーツ実践	1	2 3 4				
	中級スポーツ実践	1	2 3 4				
	総合スポーツ実践	1	2 3 4				
教養演習	教養演習	4	1 2		4 単位	2年次修了時まで	に必ず取得すること。
	教養単位小計				5 単位	21 単位	10 単位 (教養・専門から自由に選択)
	合計					26 単位以上	

【注意】旧科目 (変更前の科目) をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語 I・IIは除く)

留学生の特設授業科目	日本事情 I	2	1 2 3 4		12 単位	* 留学生は必修とする。 * 日本語 I・IIは第2外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情 II	2	1 2 3 4			
	教養特講 I	2	1 2 3 4			
	教養特講 II	2	1 2 3 4			
	日本語 I (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語 II (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語 III	1	1 2 3 4			
日本語 IV	1	1 2 3 4				

() は不開講

経営学部 経営学科 専門科目配当表
2013年度以後入学生用

共通必修科目 X群 18単位												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
経営学Ⅰ	2	1 2 3 4		研究演習2年	4	2 3 4	基礎演習	研究演習3年	4	3		
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4						研究演習4年	4	4		
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4										
選択必修科目 B群 34単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
経営学Ⅱ	2	1 2 3 4		フードビジネス論	2	2 3 4		(会計学Ⅱ)	2	1 2 3 4		
経営史Ⅰ	2	2 3 4		岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		
経営史Ⅱ	2	2 3 4		岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4		
経営管理論Ⅰ	2	2 3 4		情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4		(財務諸表論Ⅲ)	2	3 4		
経営管理論Ⅱ	2	2 3 4		情報管理論	2	2 3 4		管理会計論	2	2 3 4	管理会計論Ⅰ	
人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		データベース論	2	2 3 4		管理会計論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
人的資源管理論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		データベース実践	2	2 3 4		連結会計論	2	2 3 4		
生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4		(ソフトウェア技術論)	2	2 3 4		税務会計論Ⅰ	2	3 4		
生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4		情報技術論Ⅰ	2	2 3 4		(税務会計論Ⅱ)	2	3 4		
※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4		情報技術論Ⅱ	2	2 3 4		会計監査論Ⅰ	2	2 3 4		
※財務管理論Ⅱ(廃止)	2	3 4		情報システム論	2	2 3 4		会計監査論Ⅱ	2	2 3 4		
経営戦略論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4		国際会計論	2	3 4	国際会計論Ⅰ	
経営戦略論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		情報ネットワーク論Ⅱ	2	3 4		国際会計論Ⅱ(廃止)	2	3 4		
国際経営論Ⅰ	2	2 3 4		情報社会と情報倫理	2	1 2 3 4		経営分析論Ⅰ	2	3 4		
国際経営論Ⅱ	2	2 3 4		(ソフトウェア技術演習)	2	2 3 4		経営分析論Ⅱ	2	3 4		
イノベーション・マネジメントⅠ(廃止)	2	3 4		計測制御演習	2	2 3 4		※英文財務諸表(廃止)	2	2 3 4		
イノベーション・マネジメントⅡ(廃止)	2	3 4		プログラミングVB	2	2 3 4		会計学基礎Ⅰ 注1	2	1		
経営数学Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		アプリケーション作成演習	2	2 3 4		会計学基礎Ⅱ 注1	2	1		
経営数学Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		プログラミングJAVA	2	2 3 4		(会計学特殊講義)	2	3 4		
経営統計学Ⅰ	2	2 3 4		情報システム技術	2	1 2 3 4		経営学特殊講義Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
経営統計学Ⅱ	2	2 3 4		マルチメディア表現	2	2 3 4		経営学特殊講義Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
経営組織論	2	2 3 4		マルチメディア技術	2	2 3 4		外国書講読Ⅰ	2	3 4		
経営戦略論	2	2 3 4		Webデザイン	2	2 3 4		外国書講読Ⅱ	2	3 4		
人的資源管理論	2	2 3 4		Webプログラミング	2	2 3 4		マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4		
生産マネジメント	2	2 3 4		簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4		
(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4		簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		(簿記入門)	2	1 2 3 4		
(アントレプレナーシップ論)	2	2 3 4		簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4						
(ビジネス・エコノミクス)	2	2 3 4		工業簿記Ⅰ	2	1 2 3 4						
イノベーション・マネジメント	2	3 4		工業簿記Ⅱ	2	1 2 3 4						
テクノロジー・マネジメント	2	3 4		原価計算論	2	1 2 3 4	原価計算論Ⅰ					
現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		原価計算論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4						
※中国ビジネス入門	2	2 3 4		会計学Ⅰ	2	1 2 3 4						

() は不開講 ※は隔年開講

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

注1: 「会計学基礎Ⅰ・Ⅱ」は2015年度入学生から履修可能(2014年度生までは履修不可)

自由選択科目 C群 30単位												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		生涯学習概論★	2	1 2 3 4		※(開発金融論)	2	3 4		
中小企業論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		博物館資料保存論★	2	1 2 3 4		※国際金融論	2	3 4		
リスクマネジメント論	2	2 3 4		博物館展示論★	2	1 2 3 4		経済統計論Ⅰ	2	2 3 4		
応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4		博物館教育論★	2	1 2 3 4		経済統計論Ⅱ	2	2 3 4		
サーバアプリケーション	2	2 3 4		博物館情報・メディア論★	2	1 2 3 4		金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経済学特殊講義Ⅰ	
情報システム技術	2	1 2 3 4		博物館実習★	3	3 4		金融特別演習Ⅱ	2	3 4	経済学特殊講義Ⅱ	
ネットワークシステム演習	2	2 3 4		現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4		金融リテラシー講座(資産運用編)	2	3 4		
情報と職業	2	1 2 3 4		F P 概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4		所得税法	2	2 3 4		
流通政策論(廃止)	2	3 4		F P 概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4		(法人税法)	2	2 3 4		
企業論Ⅰ	2	2 3 4		ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4		相続税法	2	2 3 4	相続・贈与税法	
企業論Ⅱ	2	2 3 4		金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4		法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		
商品開発	2	3 4		タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4		法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		
保険論	2	3 4		タックスプランニング	2	2 3 4		憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4		
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4		金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4		憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4		
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4		ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4		行政法Ⅰ(基本原理、行政組織法)	2	2 3 4		
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4		相続・事業承継	2	2 3 4		行政法Ⅳ(行政救済法)	2	2 3 4		
商業経営論	2	2 3 4		F P リスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4		税法Ⅰ	2	2 3 4		
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4		F P 不動産運用設計	2	2 3 4		税法Ⅱ	2	2 3 4		
(ビジネス英会話Ⅱ)	2	2 3 4		F P タックスプランニング	2	2 3 4		税法Ⅲ	2	2 3 4		
(中国ビジネス論Ⅰ)	2	2 3 4		F P 相続・事業継承	2	2 3 4		税法Ⅳ	2	2 3 4		
(中国ビジネス論Ⅱ)	2	2 3 4		F P 技能論Ⅰ	2	2 3 4		民法概説	2	1 2 3 4		
(貿易実務論Ⅰ)	2	3 4		F P 技能論Ⅱ	2	2 3 4		民法総則	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅱ)	2	3 4		※F P 提案書概論Ⅰ	2	2 3 4		物権総論	2	2 3 4		
市場調査論	2	3 4		※F P 提案書概論Ⅱ	2	2 3 4		担保物権	2	2 3 4		
社会調査実践	4	3 4		ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4		債権総論	2	2 3 4		
広告論	2	3 4		リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4		契約法	2	1 2 3 4		
(マスコミ論)	2	3 4		証券化商品論(廃止)	2	2 3 4		商法総則・商行為	4	2 3 4		
(コミュニケーション論)	2	2 3 4		※(不動産運用設計論)	2	2 3 4		会社法概説	2	2 3 4		
観光学概論	2	2 3 4		※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4		会社法Ⅰ	2	2 3 4		
観光経営論	2	2 3 4		※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4		会社法Ⅱ	2	2 3 4		
観光地計画論	2	3 4		職業指導Ⅰ★★	2	1 2 3 4		金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	金融法Ⅰ	
国際文化論	2	1 2 3 4		職業指導Ⅱ★★	2	2 3 4		金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4	金融法Ⅱ	
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4		ミクロ経済学	2	2 3 4		(英語特別演習01・02・03)	各1	3 4		
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4		中級ミクロ経済学	2	2 3 4		英語特別演習04	1	3 4		
観光英会話Ⅰ	2	2 3 4		マクロ経済学	2	2 3 4		(英語特別演習05・06・07)	各1	3 4		
観光英会話Ⅱ	2	2 3 4		中級マクロ経済学	2	2 3 4		☆(日本語基礎演習Ⅰ)	1	3 4		
商学特殊講義Ⅰ	2	2 3 4		金融論	2	2 3 4	金融論Ⅰ	☆(日本語基礎演習Ⅱ)	1	3 4		
商学特殊講義Ⅱ	2	2 3 4		金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		☆日本語特別演習Ⅰ	1	3 4		
観光振興論特殊講義	2	2 3 4		金融政策	2	2 3 4		☆日本語特別演習Ⅱ	1	3 4		
博物館概論★	2	1 2 3 4		金融システム論	2	2 3 4						
博物館資料論★	2	1 2 3 4		地域金融論	2	2 3 4						
博物館経営論★	2	1 2 3 4		金融工学入門	2	2 3 4						

() は不開講 ※は隔年開講 ☆印は、3年次編入留学生のみ履修可能

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

★の学芸員科目は、2013年度以前入学生のみ専門科目として履修可能

★★の教職科目は、2016年度以後入学の教職コース生のみ専門科目として履修可能

経営学部 経営学科 キャリア科目配当表 2013年度以後入学生用

必修科目 6単位				
科目名	単位	配当年次	旧科目名	備 考
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論ⅡⅡ	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。 ※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行っています。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合はⅠは履修できません。
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論ⅠⅡ	
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4		

2009～2012年度入学生用

履 修 細 則

【経営学部・経営学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳		卒業に必要な単位数		合 計		
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会		各群から4単位, 計12単位		26単位以上		
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン						
	III 群	自 然 と 人 間					12単位以上	
	外国語	第1外国語		4単位以上	6単位以上			
		第2外国語 ※注1		2単位以上				
	健 康 教 育	健	健康教育実践 (1)		1単位		4科目の中から 3単位以上	
			健康教育論 (2)		4単位以上			
		教 育	初級スポーツ実践 (1)					
			中級スポーツ実践 (1)					
			総合スポーツ実践 (1)					
教 養 演 習 (4)		4単位						
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	経営学 I (2)	研究演習 2年 (4)	20単位		82単位以上		
		情報処理概論 I (2)	研究演習 3年 (4)					
		簿記論 I (2)	研究演習 4年 (4)					
		会計学 I (2)						
	選 択 必 修 科 目		22単位以上					
自 由 選 択 科 目 ※注3		40単位以上						
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目 ※注2						10単位		
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論 I (2)		6単位		6単位			
	キャリア形成論 II (2)							
	キャリア形成論 III (2)							
合 計						124単位以上		

※注1 初級ドイツ語 I・IIまたは、初級中国語 I・IIまたは、初級ハングル I・IIなどの同一語学を2単位修得しなければならない。ただし第2外国語は、6単位を限度とする。留学生は日本語 I・IIを必修とする。

※注2 留学生の特設授業科目（日本語 I・IIを除く）は、ここに充当する。

※注3 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

経営学部 経営学科 教養科目配当表
2009～2012年度入学生用

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
Ⅰ群 歴史と社会	アクティブラーニング社会学基礎編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅰ		4単位	10単位 *ただし、残りの 《教養科目》 《専門科目》の 中から、自由に選択 できる。 *留学生の特設授業科 目のうち、10単位は ここに充当する。
	アクティブラーニング社会学展開編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅱ			
	経済学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	経済学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅱ（日本国憲法を含む）	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅰ	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※政治学入門Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（政治学入門Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	（地理Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（地理Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※（人権教育）	2	1 2 3 4				
	法律学概説	2	2 3 4				
岡山講座	2	1 2 3 4					
Ⅱ群 文化とコミュニケーション	法を考える	2	1 2 3 4			4単位	
	政治を考える	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	文学を考える	2	1 2 3 4				
	文学と時代	2	1 2 3 4				
	（人間学としての文学）	2	1 2 3 4				
	（現実世界と文学）	2	1 2 3 4				
	（文学の概要）	2	1 2 3 4				
	（文学の読解）	2	1 2 3 4				
	※（日本語学）	2	1 2 3 4				
	※日本語表現	2	1 2 3 4				
	※倫理学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（倫理学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅰ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅱ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅲ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅳ	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
日中ビジネス比較論	2	1 2 3 4					
科学と哲学	2	1 2 3 4					
こころの哲学	2	1 2 3 4					
民俗学Ⅰ	2	1 2 3 4					
民俗学Ⅱ	2	1 2 3 4					
Ⅲ群 自然と人間	※（現代数学への招待A（無限と連続））	2	1 2 3 4			4単位	
	（現代数学への招待B（数の構造））	2	1 2 3 4				
	使える数学A（線形代数）	2	1 2 3 4				
	※使える数学B（微分と積分）	2	1 2 3 4				
	※思考の論理的形式Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（思考の論理的形式Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅰ	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※（環境保全論）	2	1 2 3 4				
	※（物質・エネルギーの化学）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	こころの科学	2	1 2 3 4				
	適応の心理学	2	1 2 3 4				
	※（古典的世界観（時間と空間））	2	1 2 3 4				
※（極限の世界（ミクロの自然像））	2	1 2 3 4					
（技術と人間）	2	1 2 3 4					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
外国語	第1外国語	* (入門英語Ⅰ)	1	1 2 3 4		4単位 * 入門英語Ⅰ・Ⅱは留学生のみ履修可。 * e-learningの初級英語Ⅰ・Ⅱは1年次配当	前ページより続く
		* (入門英語Ⅱ)	1	1 2 3 4			
		初級英語Ⅰ	1	2 3 4			
		初級英語Ⅱ	1	2 3 4			
		中級英語Ⅰ	1	1 2 3 4			
		中級英語Ⅱ	1	1 2 3 4			
		中級英語Ⅲ	1	2 3 4			
		中級英語Ⅳ	1	2 3 4			
		中級英語 (TOEIC)Ⅰ	1	1 2 3 4			
		中級英語 (TOEIC)Ⅱ	1	1 2 3 4			
		上級英語Ⅰ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅰ		
		上級英語Ⅱ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅱ		
		(上級英語 (TOEIC)Ⅰ)	1	1 2 3 4			
		(上級英語 (TOEIC)Ⅱ)	1	1 2 3 4			
	総合英語Ⅰ	1	1 2 3 4				
	総合英語Ⅱ	2	1 2 3 4	総合英語			
	第2外国語	初級ドイツ語Ⅰ	1	1 2 3 4		2単位 * 同一の言語についてⅠ・Ⅱを修得すること。 * 総合中国語Ⅰ及び総合ハングルⅠはその言語の初級Ⅰ・Ⅱのいずれかに充当する。 * 日本語Ⅰ・Ⅱは、ここに充当する。	中級中国語Ⅰ・Ⅱ、を履修する場合は、初級Ⅰ・Ⅱの単位が修得済みであること。
		初級ドイツ語Ⅱ	1	1 2 3 4			
		初級中国語Ⅰ	1	1 2 3 4			
		初級中国語Ⅱ	1	1 2 3 4			
総合中国語Ⅰ		1	1 2 3 4				
総合中国語Ⅱ		2	1 2 3 4	総合中国語			
初級ハングルⅠ		1	1 2 3 4				
初級ハングルⅡ		1	1 2 3 4				
総合ハングルⅠ		1	1 2 3 4				
総合ハングルⅡ		2	1 2 3 4	総合ハングル			
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4		1単位	3単位	健康教育は8単位を限度とする。スポーツ実践は複数履修可能。
	健康教育論	2	1 2 3 4				
	初級スポーツ実践	1	2 3 4				
	中級スポーツ実践	1	2 3 4				
	総合スポーツ実践	1	2 3 4				
教養演習	教養演習	4	1 2		4単位	2年次修了時までには必ず取得すること。	
	教養単位小計				5単位	21単位	10単位 (教養・専門から自由選択)
	合計					26単位以上	

【注意】旧科目 (変更前の科目) をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語Ⅰ・Ⅱは除く)

留学生の特設授業科目	日本事情Ⅰ	2	1 2 3 4		12単位	* 留学生は必修とする。 * 日本語Ⅰ・Ⅱは第2外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情Ⅱ	2	1 2 3 4			
	教養特講Ⅰ	2	1 2 3 4			
	教養特講Ⅱ	2	1 2 3 4			
	日本語Ⅰ (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語Ⅱ (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4			
	日本語Ⅲ	1	1 2 3 4			
日本語Ⅳ	1	1 2 3 4				

() は不開講

経営学部 経営学科 専門科目配当表
2009～2012年度入学生用

共通必修科目 X群 20単位									
科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
経営学Ⅰ	2	1 2 3 4			研究演習2年	4	2 3 4	基礎演習	4
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4			研究演習3年	4	3		
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4			研究演習4年	4	4		
会計学Ⅰ	2	1 2 3 4							
選択必修科目 B群 22単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)									
科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
経営学Ⅱ	2	1 2 3 4			マルチメディア表現	2	2 3 4		
経営史Ⅰ	2	2 3 4			Webデザイン	2	2 3 4	WebプログラミングHTML	2
経営史Ⅱ	2	2 3 4			Webプログラミング	2	2 3 4	WebプログラミングJAVA	2
経営管理論Ⅰ	2	2 3 4			簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		
経営管理論Ⅱ	2	2 3 4			簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		
人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		
人的資源管理論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			簿記論Ⅴ(廃止)	2	1 2 3 4		
生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4			簿記論Ⅵ(廃止)	2	1 2 3 4		
生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4			工業簿記Ⅰ	2	1 2 3 4		
※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4			工業簿記Ⅱ	2	1 2 3 4		
※財務管理論Ⅱ(廃止)	2	3 4			原価計算論	2	1 2 3 4	原価計算論Ⅰ	2
経営戦略論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			原価計算論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4		
経営戦略論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			(会計学Ⅱ)	2	1 2 3 4		
イノベーション・マネジメントⅠ(廃止)	2	3 4			財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		
イノベーション・マネジメントⅡ(廃止)	2	3 4			財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4		
経営数学Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			(財務諸表論Ⅲ)	2	3 4		
経営数学Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			管理会計論	2	2 3 4	管理会計論Ⅰ	2
経営統計学Ⅰ	2	2 3 4			管理会計論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
経営統計学Ⅱ	2	2 3 4			連結会計論	2	2 3 4		
経営組織論	2	2 3 4			税務会計論Ⅰ	2	3 4		
経営戦略論	2	2 3 4			(税務会計論Ⅱ)	2	3 4		
人的資源管理論	2	2 3 4			会計監査論Ⅰ	2	2 3 4		
生産マネジメント	2	2 3 4			会計監査論Ⅱ	2	2 3 4		
(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4			国際会計論	2	3 4	国際会計論Ⅰ	2
(アントレプレナーシップ論)	2	2 3 4			国際会計論Ⅱ(廃止)	2	3 4		
(ビジネス・エコノミクス)	2	2 3 4			※コンピュータ会計論(廃止)	2	2 3 4		
イノベーション・マネジメント	2	3 4			経営分析論Ⅰ	2	3 4		
テクノロジー・マネジメント	2	3 4			経営分析論Ⅱ	2	3 4		
現代ビジネス事情	2	1 2 3 4			※英文財務諸表(廃止)	2	2 3 4		
※中国ビジネス入門	2	2 3 4			(会計学特殊講義)	2	3 4		
フードビジネス論	2	2 3 4			経営学特殊講義Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	2	経営学特殊講義Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	2	外国書講読Ⅰ	2	3 4		
情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4			外国書講読Ⅱ	2	3 4		
データベース論	2	2 3 4			マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4		
データベース実践	2	2 3 4			マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4		
(ソフトウェア技術論)	2	2 3 4			証券市場論Ⅰ	2	2 3 4		
応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4			証券市場論Ⅱ	2	2 3 4		
情報技術論Ⅰ	2	2 3 4			市場調査論	2	3 4		
☆情報システム論	2	2 3 4			コミュニケーション論A(廃止)	2	1 2 3 4		
情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4			コミュニケーション論B(廃止)	2	1 2 3 4		
情報ネットワーク論Ⅱ	2	3 4			(簿記入門)	2	1 2 3 4		
(ソフトウェア技術演習)	2	2 3 4			ミクロ経済学	2	2 3 4		
プログラミングVB	2	2 3 4	プログラミングBASIC	2	中級ミクロ経済学	2	2 3 4		
アプリケーション作成演習	2	2 3 4			金融論	2	2 3 4	金融論Ⅰ	2
プログラミングJAVA	2	2 3 4	プログラミングC++	2	金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
情報システム技術	2	1 2 3 4							

() は不開講 ※は隔年開講

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

自由選択科目 C群 40単位

科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位
中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4			F P概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4		
中小企業論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			F P概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4		
リスクマネジメント論	2	2 3 4			ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	F Pライフプランニングと資金運用Ⅰ	2
国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	国際企業論Ⅰ(総論)	2	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	F Pリスク管理・不動産Ⅰ	2
国際経営論Ⅱ	2	2 3 4	国際企業論Ⅱ(各論)	2	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	F P税制	2
サービス経営論(廃止)	2	3 4			タックスプランニング	2	2 3 4	F Pライフプランニングと資金運用Ⅱ	2
サービス産業論(廃止)	2	3 4			金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	F Pリスク管理・不動産Ⅱ	2
情報管理論	2	2 3 4			ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	F Pライフプランニングと資金計画	2
情報技術論Ⅱ	2	2 3 4			相続・事業承継	2	2 3 4	F P金融資産運用	2
情報社会と情報倫理	2	1 2 3 4			F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4		
サーバアプリケーション	2	2 3 4	ハードウェアOS構築	2	F P不動産運用設計	2	2 3 4		
計測制御演習	2	2 3 4			F Pタックスプランニング	2	2 3 4		
ネットワークシステム演習	2	2 3 4	LAN構築演習	2	F P相続・事業継承	2	2 3 4		
マルチメディア技術	2	2 3 4			F P技能論Ⅰ	2	2 3 4		
情報と職業	2	1 2 3 4			F P技能論Ⅱ	2	2 3 4		
商学特殊講義Ⅰ	2	2 3 4			※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	F P提案書作成Ⅰ	2
商学特殊講義Ⅱ	2	2 3 4			※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	F P提案書作成Ⅱ	2
※マーケティング特殊講義Ⅰ	2	2 3 4	サービス産業論	2	ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4		
観光振興論特殊講義	2	2 3 4			リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4		
(英語特別演習01・03)	各1	3 4			証券化商品論(廃止)	2	2 3 4		
英語特別演習02・04	各1	3 4			※(不動産運用設計論)	2	2 3 4		
(英語特別演習05・06・07)	各1	3 4			※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4		
英語特別演習(08~12)(廃止)	各1	1 2 3 4			※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4		
☆(日本語基礎演習Ⅰ)	1	3 4			マクロ経済学	2	2 3 4		
☆(日本語基礎演習Ⅱ)	1	3 4			中級マクロ経済学	2	2 3 4		
☆日本語特別演習Ⅰ	1	3 4			経済史概論Ⅰ	2	1 2 3 4		
☆日本語特別演習Ⅱ	1	3 4			経済史概論Ⅱ	2	1 2 3 4		
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4			西洋経済史Ⅰ	2	2 3 4		
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4			西洋経済史Ⅱ	2	2 3 4		
流通政策論(廃止)	2	3 4	流通政策論Ⅰ	2	日本経済史Ⅰ	2	2 3 4		
流通政策論Ⅱ(廃止)	2	3 4			日本経済史Ⅱ	2	2 3 4		
企業論Ⅰ	2	2 3 4			地域政策	2	2 3 4	地域政策Ⅰ	2
企業論Ⅱ	2	2 3 4			地域政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
(商品開発)	2	3 4			(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4		
保険論	2	3 4			(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4		
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4			金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ	2
商業経営論	2	2 3 4			金融政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	流通経済論Ⅰ	2	金融システム論	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	流通経済論Ⅱ	2	地域金融論	2	2 3 4		
(ビジネス・デザイン論)	2	2 3 4			金融工学入門	2	2 3 4	金融工学入門Ⅰ 金融工学入門Ⅱ	2 2
西洋デザイン史	2	3 4			※国際金融論	2	3 4	国際金融論Ⅰ	2
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4			※(開発金融論)	2	3 4		
(ビジネス英会話Ⅱ)	2	2 3 4			経済統計論Ⅰ	2	2 3 4		
(中国ビジネス論Ⅰ)	2	2 3 4			経済統計論Ⅱ	2	2 3 4		
(中国ビジネス論Ⅱ)	2	2 3 4			(社会保障論Ⅰ)	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅰ)	2	3 4			(社会保障論Ⅱ)	2	2 3 4		
(貿易実務論Ⅱ)	2	3 4			金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経済学特殊講義Ⅰ	2
社会調査実践	4	3 4			金融特別演習Ⅱ	2	3 4	経済学特殊講義Ⅱ	2
広告論	2	2 3 4			(金融リテラシー講座(資産運用編))	2	3 4		
(マスコミ論)	2	3 4			所得税法	2	2 3 4		
(コミュニケーション論)	2	2 3 4			(法人税法)	2	2 3 4		
比較文化論	2	2 3 4	比較文化論Ⅰ	2	相続税法	2	2 3 4	相続・贈与税法	2
比較文化論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4		
観光学概論	2	1 2 3 4			法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4		
観光学原論(廃止)	2	2 3 4			憲法Ⅲ(人権1)	2	2 3 4		
観光経営論	2	2 3 4			憲法Ⅳ(人権2)	2	2 3 4		
国際観光論	2	2 3 4	国際観光論Ⅰ	2	行政法Ⅰ(基本原則、行政組織法)	2	2 3 4		
国際観光論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			行政法Ⅳ(行政救済法)	2	2 3 4		
※(観光資源論)	2	2 3 4	観光資源論Ⅰ	2	税法Ⅰ	2	2 3 4	税法	4
観光資源論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4			税法Ⅱ	2	2 3 4		
観光地計画論	2	3 4			税法Ⅲ	2	2 3 4		
国際文化論	2	1 2 3 4			税法Ⅳ	2	2 3 4		
(国際文化論(欧米))	2	1 2 3 4			民法概説	2	1 2 3 4	民法概説Ⅰ 民法概説Ⅱ	2 2
景観論(廃止)	2	3 4			民法総則	2	2 3 4	民法総則Ⅰ 民法総則Ⅱ	2 2
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4			物権総論	2	2 3 4		
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4			担保物権	2	2 3 4		
生活環境論(廃止)	2	2 3 4			債権総論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
観光英会話Ⅰ	2	2 3 4			債権総論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
観光英会話Ⅱ	2	2 3 4			債権総論	2	2 3 4	債権総論Ⅰ 債権総論Ⅱ	2 2
博物館概論	2	1 2 3 4	博物館学Ⅰ	2	契約法	2	1 2 3 4		
博物館資料論	2	1 2 3 4	博物館学Ⅱ	2	商法総則・商行為	4	2 3 4	商法Ⅰ(総則・商行為)	4
博物館経営論	2	1 2 3 4	博物館学Ⅲ	2	会社法概説	2	2 3 4		
生涯学習概論	2	1 2 3 4	博物館学Ⅲ	3	会社法Ⅰ	2	2 3 4		
博物館資料保存論	2	1 2 3 4			会社法Ⅱ	2	2 3 4		
博物館展示論	2	1 2 3 4			金融商品取引法Ⅰ	2	2 3 4	金融法Ⅰ	2
博物館教育論	2	1 2 3 4			金融商品取引法Ⅱ	2	2 3 4	金融法Ⅱ	2
博物館情報・メディア論	2	1 2 3 4	視聴覚メディア論	1					
博物館実習	3	3 4							
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4							

() は不開講 ※は隔年開講 ☆印は、3年次編入留学生のみ履修可能
【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

経営学部 経営学科 キャリア科目配当表
2009～2012年度入学生用

共通必修科目		6単位			
科目名	単位	配当年次	旧科目(廃止)	単位	備 考
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※	2	※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行っています。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合はⅠは履修できません。
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※	2	
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4			

経営学部

商 学 科

2009年度以後入学生用

商学科インフォメーション…………… 167

■2013年度以後

履修届作成の手順…………… 172

履修細則…………… 173

教養科目・授業科目配当表…………… 174

専門科目・授業科目配当表…………… 176

商学科インフォメーション

◆商学科の目標◆

商学の教育研究を行い、ビジネスにおける「総合的理解力と専門的実行力」を備えた人材を育成します。

科学技術の発展や環境の変化は、私たちの社会や生活に大きな影響をおよぼしています。その中で、さまざまな新ビジネスが生まれるなど、ビジネスの展開は複雑化・多様化・高度化の方向に進んでいます。

そのような時代の流れに対応するため、商学科では、4コース(マーケティングコース、観光コース、企画開発・デザインコース、ファイナンシャルプランニングコース)を配置し、ビジネスに関する総合的理解力を培うとともに、専門的なビジネススキルが修得できるようになっています。学生の皆さんは、将来の目的意識を明確にして、4コースの中から自分が学びたい分野のコースを選択し、意欲的に学習し、充実した学生生活を送ってください。

◆コース制について◆

1年生の前期に、マーケティングコース、観光コース、企画開発・デザインコースの中から自分の希望のコースを選択します。ファイナンシャルプランニングコースについては、入学時にコースへの所属が決定されています。

2年次からの研究演習はコースとの関連で選択します。コースの詳細については、次のページからの各コースの説明をご覧ください。

◆地域でのフィールドスタディー◆

商学科の教育の大きな特色は、理論と実践のバランスの良さです。教室ではビジネス理論を学び、様々な事例についてケーススタディを行なうだけでなく、様々な分野の第一線で活躍される方々を講師とし、産業界の今について講義をいただきます。さらに、教室での学びを活かしながらフィールド(現場)で実習やリサーチの体験をつんでいきます。皆さん自身がフィールド(現場)に出て、実際にビジネスや地域の問題を体感し、産業振興・地域活性化に何ができるのか考えていきましょう。そして、地域に貢献できる人材となることが目標です。

◆マーケティングコース◆2013年度以後入学生用

【目標とする人物像】

- ・商品やサービスの創造と流通を広い視点で捉えるエキスパート
- ・地域づくりを総合的に創造・運営・推進する地域エキスパート

【期待される学習成果】

- ・商品やサービスの創造と流通に関する知識と活用する能力を習得する。
- ・流通における市場の複雑化、国際化や情報化に対応する視野や知識を習得できる。
- ・自主的な問題提起とその解決をめざす（「創造価値」）能力を身に付ける。
- ・市場や流通について調査し、その動向を見極めることができる。
- ・地域づくりを総合的に創造・運営・推進する知識と活用する能力を習得する。

共通必修科目 X群 20単位（すべて必修です）									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	基礎演習（廃止）	4	2 3 4	研究演習3年	4	3	
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	研究演習2年	4	2 3 4	研究演習4年	4	4	
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4							
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4							
選択必修科目 B群 22単位（必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します）									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4	現代社会における金融と法（廃止）	2	1 2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	
マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4	F P 概論Ⅰ（廃止）	2	1 2 3 4	人的資源管理論Ⅰ（廃止）	2	2 3 4	
企業論Ⅰ	2	2 3 4	F P 概論Ⅱ（廃止）	2	1 2 3 4	生産マネジメント学A（廃止）	2	2 3 4	
商品開発	2	3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	生産マネジメント学B（廃止）	2	2 3 4	
保険論	2	3 4	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	※財務管理論Ⅰ（廃止）	2	3 4	
※RMI・保険設計論	2	2 3 4	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	中小企業論Ⅰ（廃止）	2	2 3 4	
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	タックスプランニング	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	相続・事業承継	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	
ビジネス・デザイン論	2	2 3 4	F P リスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	生産マネジメント	2	2 3 4	
西洋デザイン史	2	3 4	F P 金融資産運用設計	2	2 3 4	コーポレート・ファイナンス	2	2 3 4	
テーマパークデザイン論	2	2 3 4	F P 不動産運用設計	2	2 3 4	フードビジネス論	2	2 3 4	
ユニバーサルデザイン論	2	1 2 3 4	F P タックスプランニング	2	2 3 4	情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4	
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4	F P 相続・事業継承	2	2 3 4	情報デザインⅠ	2	2 3 4	
広告論	2	2 3 4	F P 技能論Ⅰ	2	2 3 4	情報デザインⅡ	2	2 3 4	
コミュニケーション論	2	2 3 4	F P 技能論Ⅱ	2	2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4	
比較文化論	2	2 3 4	※F P 提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	情報技術論Ⅰ	2	2 3 4	
観光学概論	2	1 2 3 4	※F P 提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4	
観光経営論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅰ	2	2 3 4	金融論Ⅰ（廃止）	2	2 3 4	
国際観光論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅱ	2	2 3 4	金融論	2	2 3 4	
観光資源論	2	2 3 4	外国書講読Ⅰ	2	3 4	金融論Ⅱ（廃止）	2	2 3 4	
国際文化論（欧米）	2	1 2 3 4	外国書講読Ⅱ	2	3 4	所得税法	2	2 3 4	
ホテル計画論	2	3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	法人税法	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4	会計学Ⅰ	2	1 2 3 4	相続・贈与税法（廃止）	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4	

※は隔年開講

* B群の網掛け科目は、原則として、本コースで履修・単位修得を求めている科目です。

【備考】

特に販売力を身につけることに重点を置き、キャリア開発に心がけることを期待する。

選択必修科目については、コース必修科目を中心として、コース所属演習担当教員の指導に基づいて履修するものとする。

◆企画開発・デザインコース◆2013年度以後入学生用

【目標とする人物像】

“企画開発・デザイン”をキーワードに最先端のビジネススキルを備えた人材。

【期待される学習成果】

広く社会科学を志望し、かつ自然科学、芸術にも関心を持つ人が、商品の企画・開発・デザインを広く学ぶ。コースの主な達成目標は次の通りである。

(1) 商品企画、商品開発、デザインの3分野を核として学んでいく。具体的には、金融商品企画、観光地企画開発、地域再生開発などについての理論、商品開発における知的財産権、開発と深くかかわるデザインの分野では、広告論、ビジネスデザイン、現代社会で非常に重視されているユニバーサルデザインなどの理論を修得することができる。

(2) 商品開発、金融商品企画実践、情報デザイン、WEBデザインなど実践方法が身に付く。

(3) 現在の社会情勢にフィットした金融商品開発、知的財産権の法令を順守した商品開発、インスタ・マーケティングに対応した店舗計画、売場デザイン、POP広告、ロゴデザインなどの能力が身につく。

共通必修科目 X群 20単位 (すべて必修です)									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	基礎演習(廃止)	4	2 3 4	研究演習3年	4	3	
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	研究演習2年	4	2 3 4	研究演習4年	4	4	
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4							
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4							
選択必修科目 B群 22単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4	現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	
マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4	FP概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4	人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
企業論Ⅰ	2	2 3 4	FP概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4	生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4	
商品開発	2	3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4	
保険論	2	3 4	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4	
※RMI・保険設計論	2	2 3 4	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	タックスプランニング	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	相続・事業承継	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	
ビジネス・デザイン論	2	2 3 4	FPリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	生産マネジメント	2	2 3 4	
西洋デザイン史	2	3 4	FP金融資産運用設計	2	2 3 4	コーポレート・ファイナンス	2	2 3 4	
テーマパークデザイン論	2	2 3 4	FP不動産運用設計	2	2 3 4	フードビジネス論	2	2 3 4	
ユニバーサルデザイン論	2	1 2 3 4	FPタックスプランニング	2	2 3 4	情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4	
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4	FP相続・事業継承	2	2 3 4	情報デザインⅠ	2	2 3 4	
広告論	2	2 3 4	FP技能論Ⅰ	2	2 3 4	情報デザインⅡ	2	2 3 4	
コミュニケーション論	2	2 3 4	FP技能論Ⅱ	2	2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4	
比較文化論	2	2 3 4	※FP提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	情報技術論Ⅰ	2	2 3 4	
観光学概論	2	1 2 3 4	※FP提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4	
観光経営論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅰ	2	2 3 4	金融論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
国際観光論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅱ	2	2 3 4	金融論	2	2 3 4	
観光資源論	2	2 3 4	外国書講読Ⅰ	2	3 4	金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4	
国際文化論(欧米)	2	1 2 3 4	外国書講読Ⅱ	2	3 4	所得税法	2	2 3 4	
ホテル計画論	2	3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	法人税法	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4	会計学Ⅰ	2	1 2 3 4	相続・贈与税法(廃止)	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4	

※は隔年開講

* B群の網掛け科目は、原則として、本コースで履修・単位修得を求めている科目です。

【備考】

特に企画開発・デザインの実践で使える能力を身に付けることを期待する。

選択必修科目については、コース必修科目を中心として、コース所属演習担当教員の指導に基づいて履修するものとする。

◆観光コース◆2013年度以後入学生用

【目標とする人物像】

学際的な知識を持ち、観光振興に貢献できる人材を育成

【期待される学習成果】

- ・社会現象としての観光の複雑な特徴を理解するための学際的な知識とその活用能力を習得することができる。
- ・観光産業経営、観光者誘致及び観光地まちづくり振興に役立つ理論的、実務的知識とその活用能力を身に付けることができる。
- ・様々なニーズや価値観を持った観光客に対応するための理論的・実務的知識、及び幅広い視野を習得することができる。

共通必修科目 X群 20単位 (すべて必修です)									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	基礎演習(廃止)	4	2 3 4	研究演習3年	4	3	
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	研究演習2年	4	2 3 4	研究演習4年	4	4	
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4							
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4							
選択必修科目 B群 22単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)									
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	
マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4	現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4	
マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4	FP概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4	人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
企業論Ⅰ	2	2 3 4	FP概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4	生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4	
商品開発	2	3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4	
保険論	2	3 4	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4	
※RMⅠ・保険設計論	2	2 3 4	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	タックスプランニング	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4	
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4	
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	相続・事業承継	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4	
ビジネス・デザイン論	2	2 3 4	FPリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	生産マネジメント	2	2 3 4	
西洋デザイン史	2	3 4	FP金融資産運用設計	2	2 3 4	コーポレート・ファイナンス	2	2 3 4	
テーマパークデザイン論	2	2 3 4	FP不動産運用設計	2	2 3 4	フードビジネス論	2	2 3 4	
ユニバーサルデザイン論	2	1 2 3 4	FPタックスプランニング	2	2 3 4	情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4	
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4	FP相続・事業継承	2	2 3 4	情報デザインⅠ	2	2 3 4	
広告論	2	2 3 4	FP技能論Ⅰ	2	2 3 4	情報デザインⅡ	2	2 3 4	
コミュニケーション論	2	2 3 4	FP技能論Ⅱ	2	2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4	
比較文化論	2	2 3 4	※FP提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	情報技術論Ⅰ	2	2 3 4	
観光学概論	2	1 2 3 4	※FP提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4	
観光経営論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅰ	2	2 3 4	金融論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4	
国際観光論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅱ	2	2 3 4	金融論	2	2 3 4	
観光資源論	2	2 3 4	外国書講読Ⅰ	2	3 4	金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4	
国際文化論(欧米)	2	1 2 3 4	外国書講読Ⅱ	2	3 4	所得税法	2	2 3 4	
ホテル計画論	2	3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	法人税法	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4	会計学Ⅰ	2	1 2 3 4	相続・贈与税法(廃止)	2	2 3 4	
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4	

※は隔年開講

* B群の網掛け科目は、原則として、本コースで履修・単位修得を求めている科目です。

【備考】

特にサービス関連産業に関心を持つことを期待する。

選択必修科目については、コース必修科目を中心として、コース所属演習担当教員の指導に基づいて履修するものとする。

◆ファイナンシャル・プランニングコース◆2013年度以後入学生用

【目標する人物像】

パーソナルファイナンスに関する知識と技能を身につけ“個人の財産に関わる”人材を育成

【期待される学習成果】

パーソナルファイナンスに関する専門知識の習得と実践により、FP実務で活かせる専門能力を身につけることを目指します。また、ファイナンシャルプランニングの専門家として、2級FP技能士、AFPの資格取得を目指します。
1年次には、「3級FP技能士レベル」の基礎知識を身につけ、2年次以降で「FP技能論」をはじめ、「2級FP技能士レベル」の専門知識と技能を習得、さらに「証券市場論」「不動産運用設計論」「企業論」等の理論科目を、3年次以降では「FP提案書概論」「ポートフォリオ・マネジメント」等の専門科目で提案能力の向上を図ります。

共通必修科目 X群 20単位 (すべて必修です)								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4	簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4	研究演習2年	4	2 3 4
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4	情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4	研究演習3年	4	3
			基礎演習(廃止)	2	2 3 4	研究演習4年	4	4
選択必修科目 B群 22単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)								
科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4	現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4	経営学Ⅰ	2	2 3 4
マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4	FP概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4	人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4
企業論Ⅰ	2	2 3 4	FP概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4	生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4
商品開発	2	3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4	生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4
保険論	2	3 4	金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4	※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4
※RMⅠ・保険設計論	2	2 3 4	タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4	中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4	タックスプランニング	2	2 3 4	リスクマネジメント論	2	2 3 4
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4	金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4	国際経営論Ⅰ	2	2 3 4
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4	ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4	経営統計学Ⅰ	2	2 3 4
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4	相続・事業承継	2	2 3 4	人的資源管理論	2	2 3 4
ビジネス・デザイン論	2	2 3 4	FPリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4	生産マネジメント	2	2 3 4
西洋デザイン史	2	3 4	FP金融資産運用設計	2	2 3 4	コーポレート・ファイナンス	2	2 3 4
テーマパークデザイン論	2	2 3 4	FP不動産運用設計	2	2 3 4	フードビジネス論	2	2 3 4
ユニバーサルデザイン論	2	1 2 3 4	FPタックスプランニング	2	2 3 4	情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4	FP相続・事業継承	2	2 3 4	情報デザインⅠ	2	2 3 4
広告論	2	2 3 4	FP技能論Ⅰ	2	2 3 4	情報デザインⅡ	2	2 3 4
コミュニケーション論	2	2 3 4	FP技能論Ⅱ	2	2 3 4	応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4
比較文化論	2	2 3 4	※FP提案書概論Ⅰ	2	2 3 4	情報技術論Ⅰ	2	2 3 4
観光学概論	2	1 2 3 4	※FP提案書概論Ⅱ	2	2 3 4	情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4
観光経営論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅰ	2	2 3 4	金融論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4
国際観光論	2	2 3 4	※運用設計企画Ⅱ	2	2 3 4	金融論	2	2 3 4
観光資源論	2	2 3 4	外国書講読Ⅰ	2	3 4	金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4
国際文化論(欧米)	2	1 2 3 4	外国書講読Ⅱ	2	3 4	所得税法	2	2 3 4
ホテル計画論	2	3 4	簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4	法人税法	2	2 3 4
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4	会計学Ⅰ	2	1 2 3 4	相続・贈与税法(廃止)	2	2 3 4
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4	財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4	相続税法	2	2 3 4

※は隔年開講

* B群の網掛け科目は、原則として、本コースで履修・単位修得を求めている科目です。

また、自由選択科目(C群)のうち、以下の4科目の履修・単位修得を求めています。

科目名	単位	配当年次
ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4
リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4
※不動産運用設計論	2	2 3 4
不動産管理論	2	2 3 4

履修届作成の手順 (例) 商学科の新入生 (前期)

履修のてびき、講義概要、時間割をよく読んで作成してください。

- (1) 前期には、前期開講科目および通年科目の履修登録を行います。
- (2) 教養演習を履修します。(通年:4単位)
 - ① 新入生オリエンテーションで、教養演習の担当教員(1年次の指導教員)を決定します。
 - ② 時間割で曜日・時限を確認し、履修登録します。
- (3) 商学科専門科目配当表(2013年度以後入学生用)の共通必修科目(X群・キャリア科目)を履修します。
 - ① 配当年次が1年次の科目を履修します。
 - ② クラス指定があるものは、自分のクラスの曜日・時限を確認して履修します。(「キャリア形成論Ⅰ」は事前登録されています。)
 - ③ 卒業までに、共通必修科目はすべて修得しなければなりません。
- (4) 第1外国語を決めます。(英語の履修について p.40~参照)
 - ① 中級英語ⅠかⅡの自分の指定クラスを履修します。(別配布の英語クラス表を見て履修登録をします。)
 - ② 中級英語よりレベルの高い科目を希望する場合は、履修登録の上、第1回目の授業に出席して担当教員の許可を得てください。
 - ③ 1年次は初級英語は履修できません。
 - ④ e-learning で英語の学習をする場合は、第1回目講義でレベル診断を受けた上で履修登録する講義を決定します。
- (5) 第2外国語を決めます。(英語以外の外国語の履修について p.42参照)
 - ① どの外国語にするかを選びます。
 - ② 4月に、前後期1年分の申込をします。 教学部ホールの掲示板で申込みができた科目・時限を確認します。(履修登録は教務課がします。自分で履修登録はできません。変更不可)
 - ③ 留学生は、日本語Ⅰ・Ⅱ(必修)を履修します。(事前申込不要。自分で履修登録します。)
- (6) 健康教育科目を履修します。(健康教育科目の履修について p.43参照)
 - ① 健康教育実践を履修します。(必修・事前登録されています。)
 - ② 健康教育論を履修します。(選択必修・前後期どちらかにクラス指定あり。)
- (7) 商学科教養科目配当表(2013年度以後入学生用)のⅠ～Ⅲ群の中から選択します。
 - ① 各群から2単位、計6単位を選択します。
- (8) 留学生は特設授業科目(必修)があります。

【履修可能単位数 16単位以上24単位までを目安に履修します】

履修登録した、上記の科目の単位数を計算して、残り単位数分を
1年次配当の教養科目及び専門科目(B群)、(C群)の順に選びます。

後期も基本的には同じ手順で履修登録します。(登録対象は、後期開講科目です。)

★講義は第1週目＝第1回目から開始されます。

2013年度以後入学生用

履 修 細 則

【経営学部・商学科】

学生は開講科目のうちから、卒業に必要な科目を履修し、定められた単位を修得する必要がある。

		内 訳		卒業に必要な単位数		合 計		
教 養 科 目	I 群	歴 史 と 社 会		各群から4単位、計12単位		26単位以上		
	II 群	文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン						
	III 群	自 然 と 人 間					12単位以上	
	外 国 語	第1外国語		4単位以上	6単位以上			
		第2外国語 ※注1		2単位以上				
	健 康 教 育	健	健康教育実践 (1)	1単位	4科目の中から 3単位以上		4単位以上	
			健康教育論 (2)					
		教 育	初級スポーツ実践 (1)					
			中級スポーツ実践 (1)					
			総合スポーツ実践 (1)					
教 養 演 習 (4)		4単位						
専 門 科 目	共 通 必 修 科 目	ビジネス概論Ⅰ (2)	研究演習2年 (4)	20単位		82単位以上		
		ビジネス概論Ⅱ (2)	研究演習3年 (4)					
		簿記論Ⅰ (2)	研究演習4年 (4)					
		情報処理概論Ⅰ (2)						
	選 択 必 修 科 目		22単位以上					
自 由 選 択 科 目 (上記以外の科目) ※注3		40単位以上						
上記で修得した科目以外から教養及び専門科目を問わず自由に選択し、修得する科目 ※注2						10単位		
キ ャ リ ア 科 目	キャリア形成論Ⅰ (2)		6単位		6単位			
	キャリア形成論Ⅱ (2)							
	キャリア形成論Ⅲ (2)							
合 計						124単位以上		

※注1 初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱまたは、初級中国語Ⅰ・Ⅱまたは、初級ハンガールⅠ・Ⅱなどの同一語学を2単位修得しなければならない。ただし第2外国語は、6単位を限度とする。留学生は日本語Ⅰ・Ⅱを必修とする。

※注2 留学生の特設授業科目（日本語Ⅰ・Ⅱを除く）は、ここに充当する。

※注3 自由選択科目のうち16単位を限度として、他学部の専門科目（基礎演習、研究演習を除く）を修得できる。ただし、当該履修にあたっては授業科目担当者の承認を必要とするものとする。

経営学部 商学科 教養科目配当表
2013年度以後入学生用

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
I 群 歴史と社会	アクティブラーニング社会学基礎編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅰ		4 単位	10 単位 * ただし、残りの 《教養科目》 《専門科目》の 中から、自由に選択 できる。 * 留学生の特設授業科 目のうち、10単位は ここに充当する。
	アクティブラーニング社会学展開編	2	1 2 3 4	社会学概論Ⅱ			
	経済学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	経済学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	法学Ⅱ（日本国憲法を含む）	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅰ	2	1 2 3 4				
	西洋史Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※政治学入門Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（政治学入門Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	（地理Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（地理Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（日本史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	考古学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※（人権教育）	2	1 2 3 4				
	法律学概説	2	2 3 4				
	岡山講座	2	1 2 3 4				
	（2014年度以後入学生のみ）						
	生涯学習概論	2	1 2 3 4				
	博物館経営論	2	1 2 3 4				
	博物館教育論	2	1 2 3 4				
（2016年度以後入学の教職コース生のみ）							
教育原理	2	1 2 3					
教育史	2	2 3					
II 群 文化とコミュニケーション	法を考える	2	1 2 3 4			4 単位	
	政治を考える	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	外国文学Ⅱ	2	1 2 3 4				
	文学を考える	2	1 2 3 4				
	文学と時代	2	1 2 3 4				
	（人間学としての文学）	2	1 2 3 4				
	（現実世界と文学）	2	1 2 3 4				
	（文学の概要）	2	1 2 3 4				
	（文学の読解）	2	1 2 3 4				
	※（日本語学）	2	1 2 3 4				
	※日本語表現	2	1 2 3 4				
	※倫理学Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（倫理学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅰ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅱ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅲ	2	1 2 3 4				
	芸術Ⅳ	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（文化史Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	日中ビジネス比較論	2	1 2 3 4				
	科学と哲学	2	1 2 3 4				
	こころの哲学	2	1 2 3 4				
民俗学Ⅰ	2	1 2 3 4					
民俗学Ⅱ	2	1 2 3 4					
（2014年度以後入学生のみ）							
博物館概論	2	1 2 3 4					
博物館展示論	2	1 2 3 4					
博物館実習	3	3 4					
III 群 自然と人間	※（現代数学への招待A（無限と連続））	2	1 2 3 4			4 単位	
	（現代数学への招待B（数の構造））	2	1 2 3 4				
	使える数学A（線形代数）	2	1 2 3 4				
	※使える数学B（微分と積分）	2	1 2 3 4				
	※思考の論理的形式Ⅰ	2	1 2 3 4				
	※（思考の論理的形式Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅰ	2	1 2 3 4				
	コンピュータ処理Ⅱ	2	1 2 3 4				
	※（環境保全論）	2	1 2 3 4				
	※（物質・エネルギーの化学）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅰ）	2	1 2 3 4				
	（人間生物学Ⅱ）	2	1 2 3 4				
	こころの科学	2	1 2 3 4				
	適応の心理学	2	1 2 3 4				
	※（古典的世界観（時間と空間））	2	1 2 3 4				
	※（極限の世界（ミクロの自然像））	2	1 2 3 4				
	（技術と人間）	2	1 2 3 4				
	金融リテラシー講座	2	1 2 3 4				
	（2014年度以後入学生のみ）						
	博物館資料論	2	1 2 3 4				
	博物館資料保存論	2	1 2 3 4				
	博物館情報・メディア論	2	1 2 3 4				
	（2016年度以後入学の教職コース生のみ）						
教育心理学Ⅰ	2	3					
教育心理学Ⅱ	2	3					

（ ）は不開講 ※は隔年開講

類別	授業科目	単位	配当年次	旧科目	必修科目	選択必修	自由選択
外国語	第1外国語	* (入門英語Ⅰ)	1	1 2 3 4		4単位 * 入門英語Ⅰ・Ⅱは留学生のみ履修可。 * e-learningの初級英語Ⅰ・Ⅱは1年次配当	前ページより続く
		* (入門英語Ⅱ)	1	1 2 3 4			
		初級英語Ⅰ	1	2 3 4			
		初級英語Ⅱ	1	2 3 4			
		中級英語Ⅰ	1	1 2 3 4			
		中級英語Ⅱ	1	1 2 3 4			
		中級英語Ⅲ	1	2 3 4			
		中級英語Ⅳ	1	2 3 4			
		中級英語 (TOEIC)Ⅰ	1	1 2 3 4			
		中級英語 (TOEIC)Ⅱ	1	1 2 3 4			
		上級英語Ⅰ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅰ		
		上級英語Ⅱ	1	1 2 3 4	上級英語 (会話)Ⅱ		
		(上級英語 (TOEIC)Ⅰ)	1	1 2 3 4			
		(上級英語 (TOEIC)Ⅱ)	1	1 2 3 4			
	総合英語Ⅰ	1	1 2 3 4				
	総合英語Ⅱ	2	1 2 3 4	総合英語			
	第2外国語	初級ドイツ語Ⅰ	1	1 2 3 4		2単位 * 同一の言語についてⅠ・Ⅱを修得すること。 * 総合中国語Ⅰ及び総合ハングルⅠは、その言語の初級Ⅰ・Ⅱのいずれかに充当する。 * 日本語Ⅰ・Ⅱは、ここに充当する。	中級中国語Ⅰ・Ⅱ、を履修する場合は、初級Ⅰ・Ⅱの単位が修得済みであること。
		初級ドイツ語Ⅱ	1	1 2 3 4			
		初級中国語Ⅰ	1	1 2 3 4			
		初級中国語Ⅱ	1	1 2 3 4			
総合中国語Ⅰ		1	1 2 3 4	総合中国語			
総合中国語Ⅱ		2	1 2 3 4				
初級ハングルⅠ		1	1 2 3 4				
初級ハングルⅡ		1	1 2 3 4				
総合ハングルⅠ		1	1 2 3 4				
総合ハングルⅡ		2	1 2 3 4	総合ハングル			
健康教育	健康教育実践	1	1 2 3 4		1単位	3単位	健康教育は8単位を限度とする。 スポーツ実践は複数履修可能。
	健康教育論	2	1 2 3 4				
	初級スポーツ実践	1	2 3 4				
	中級スポーツ実践	1	2 3 4				
	総合スポーツ実践	1	2 3 4				
教養演習	教養演習	4	1 2		4単位	2年次修了時までには必ず取得すること。	
教養単位小計					5単位	21単位	10単位 (教養・専門)
合計						26単位以上	から自由に選択)

【注意】旧科目 (変更前の科目) をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
ただし、英語は繰り返し履修が可能です。(総合英語Ⅰ・Ⅱは除く)

留学生の特設授業科目	日本事情Ⅰ	2	1 2 3 4		12単位 * 留学生は必修とする。 * 日本語Ⅰ・Ⅱは第2外国語の単位に充当し、その他の科目については、自由選択欄の10単位に充当する。
	日本事情Ⅱ	2	1 2 3 4		
	教養特講Ⅰ	2	1 2 3 4		
	教養特講Ⅱ	2	1 2 3 4		
	日本語Ⅰ (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4		
	日本語Ⅱ (第2外国語に充当する)	1	1 2 3 4		
	日本語Ⅲ	1	1 2 3 4		
日本語Ⅳ	1	1 2 3 4			

() は不開講

経営学部 商学科 専門科目配当表
2013年度以後入学生用

共通必修科目 X群 20単位												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
ビジネス概論Ⅰ	2	1 2 3 4		研究演習2年	4	2 3 4	基礎演習	研究演習3年	4	3		
ビジネス概論Ⅱ	2	1 2 3 4						研究演習4年	4	4		
簿記論Ⅰ	2	1 2 3 4										
情報処理概論Ⅰ	2	1 2 3 4										
選択必修科目 B群 22単位 (必要以上に修得した単位は自由選択科目に移行します)												
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	
マーケティング論Ⅰ	2	1 2 3 4		ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅰ	2	1 2 3 4		簿記論Ⅱ	2	1 2 3 4		
マーケティング論Ⅱ	2	1 2 3 4		金融資産運用・不動産Ⅰ	2	1 2 3 4		会計学Ⅰ	2	1 2 3 4		
企業論Ⅰ	2	2 3 4		タックスプランニング、相続・事業承継	2	1 2 3 4		財務諸表論Ⅰ	2	2 3 4		
企業論Ⅱ	2	2 3 4		タックスプランニング	2	2 3 4		経営学Ⅰ	2	2 3 4		
商品開発	2	3 4		金融資産運用・不動産Ⅱ	2	2 3 4		人的資源管理論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
保険論	2	3 4		ライフプランニングと資金計画・リスク管理Ⅱ	2	2 3 4		生産マネジメント学A(廃止)	2	2 3 4		
※(RMI・保険設計論)	2	2 3 4		相続・事業承継	2	2 3 4		生産マネジメント学B(廃止)	2	2 3 4		
証券市場論Ⅰ	2	2 3 4		F Pリスク・リタイアメントプランニング	2	2 3 4		※財務管理論Ⅰ(廃止)	2	3 4		
証券市場論Ⅱ	2	2 3 4		F P金融資産運用設計	2	2 3 4		中小企業論Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅰ	2	1 2 3 4		F P不動産運用設計	2	2 3 4		リスクマネジメント論	2	2 3 4		
※流通システム論Ⅱ	2	1 2 3 4		F Pタックスプランニング	2	2 3 4		国際経営論Ⅰ	2	2 3 4		
(ビジネス・デザイン論)	2	2 3 4		F P相続・事業継承	2	2 3 4		経営統計学Ⅰ	2	2 3 4		
西洋デザイン史	2	3 4		F P技能論Ⅰ	2	2 3 4		人的資源管理論	2	2 3 4		
テーマパークデザイン論	2	2 3 4		F P技能論Ⅱ	2	2 3 4		生産マネジメント	2	2 3 4		
ユニバーサルデザイン論	2	1 2 3 4		※F P提案書概論Ⅰ	2	2 3 4		(コーポレート・ファイナンス)	2	2 3 4		
ビジネス英会話Ⅰ	2	2 3 4		※F P提案書概論Ⅱ	2	2 3 4		フードビジネス論	2	2 3 4		
広告論	2	2 3 4		※(運用設計企画Ⅰ)	2	2 3 4		情報処理概論Ⅱ	2	1 2 3 4		
(コミュニケーション論)	2	2 3 4		※(運用設計企画Ⅱ)	2	2 3 4		情報デザインⅠ	2	2 3 4		
比較文化論	2	2 3 4		★マーケティング入門Ⅰ	2	1 2 3 4		情報デザインⅡ	2	2 3 4		
観光学概論	2	1 2 3 4		★マーケティング入門Ⅱ	2	1 2 3 4		応用情報処理Ⅰ	2	1 2 3 4		
観光経営論	2	2 3 4		★経済入門Ⅰ	2	1 2 3 4		情報技術論Ⅰ	2	2 3 4		
国際観光論	2	2 3 4		★経済入門Ⅱ	2	1 2 3 4		情報ネットワーク論Ⅰ	2	3 4		
(観光資源論)	2	2 3 4		★商学のための数学入門	2	1 2 3 4		金融論	2	2 3 4	金融論Ⅰ	
(国際文化論(欧米))	2	1 2 3 4		★簿記入門	2	1 2 3 4		金融論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		
(ホテル計画論)	2	3 4		★(企業分析入門)	2	2 3 4		所得税法	2	2 3 4		
地域づくり論Ⅰ	2	2 3 4		★ビジネスコミュニケーション入門	2	2 3 4		(法人税法)	2	2 3 4		
地域づくり論Ⅱ	2	2 3 4		★(ビジネスリサーチ入門)	2	2 3 4		相続税法	2	2 3 4	相続・贈与税法	
現代社会における金融と法(廃止)	2	1 2 3 4		★(コミュニティビジネス入門)	2	2 3 4						
F P概論Ⅰ(廃止)	2	1 2 3 4						外国書講読Ⅰ	2	3 4		
F P概論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4						外国書講読Ⅱ	2	3 4		

()は不開講 ※は隔年開講

【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。

★入門科目: 指定を受けた学生のみ履修可能

B群科目については学科インフォメーションのコース別も合わせて参照のこと。

自由選択科目 C群 40単位											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名	科目名	単位	配当年次	旧科目名
流通政策論(廃止)	2	3 4		管理会計論	2	3 4	管理会計論Ⅰ	ネットワークシステム演習	2	2 3 4	
地域マーケティングⅠ	2	3 4		管理会計論Ⅱ(廃止)	2	3 4		マルチメディア表現	2	2 3 4	
地域マーケティングⅡ	2	3 4		連結会計論	2	2 3 4		マルチメディア技術	2	2 3 4	
消費者行動論	2	3 4		税務会計論Ⅰ	2	3 4		Webデザイン	2	2 3 4	
商業英語Ⅰ	2	2 3 4		(税務会計論Ⅱ)	2	3 4		Webプログラミング	2	2 3 4	
商業英語Ⅱ	2	2 3 4		会計監査論Ⅰ	2	2 3 4		情報と職業	2	1 2 3 4	
商業経営論	2	2 3 4		会計監査論Ⅱ	2	2 3 4		ミクロ経済学	2	2 3 4	
商業史	2	2 3 4		国際会計論	2	3 4		中級ミクロ経済学	2	2 3 4	
(ビジネス英会話Ⅱ)	2	2 3 4		国際会計論Ⅰ(廃止)	2	3 4		マクロ経済学	2	2 3 4	
(中国ビジネス論Ⅰ)	2	2 3 4		国際会計論Ⅱ(廃止)	2	3 4		中級マクロ経済学	2	2 3 4	
(中国ビジネス論Ⅱ)	2	2 3 4		経営分析論Ⅰ	2	3 4		国際経済学Ⅰ	2	2 3 4	
(貿易実務論Ⅰ)	2	3 4		経営分析論Ⅱ	2	3 4		国際経済学Ⅱ	2	2 3 4	
(貿易実務論Ⅱ)	2	3 4		※英文財務諸表(廃止)	2	2 3 4		地域資源論	2	2 3 4	
市場調査論	2	3 4		経営学Ⅱ	2	2 3 4		(財政政策Ⅰ)	2	2 3 4	
社会調査実践	4	3 4		経営史Ⅰ	2	2 3 4		(財政政策Ⅱ)	2	2 3 4	
(マスコミ論)	2	3 4		経営史Ⅱ	2	2 3 4		金融政策	2	2 3 4	金融政策Ⅰ
※観光地理学	2	1 2 3 4		経営管理論Ⅰ	2	2 3 4		金融政策Ⅱ(廃止)	2	2 3 4	
観光実務	2	2 3 4		経営管理論Ⅱ	2	2 3 4		金融システム論	2	2 3 4	
観光地計画論	2	3 4		人的資源管理論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		地域金融論	2	2 3 4	
国際文化論	2	1 2 3 4		※財務管理論Ⅱ(廃止)	2	3 4		金融工学入門	2	2 3 4	
観光サービス実習	2	2 3 4		経営戦略論Ⅰ(廃止)	2	3 4		※国際金融論	2	3 4	
観光英会話Ⅰ	2	2 3 4		経営戦略論Ⅱ(廃止)	2	3 4		※(開発金融論)	2	3 4	
観光英会話Ⅱ	2	2 3 4		中小企業論Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		経済統計論Ⅰ	2	2 3 4	
博物館概論◎	2	1 2 3 4		国際経営論Ⅱ	2	2 3 4		経済統計論Ⅱ	2	2 3 4	
博物館資料論◎	2	1 2 3 4		イノベーション・マネジメントⅠ(廃止)	2	3 4		(社会保障論Ⅰ)	2	2 3 4	
博物館経営論◎	2	1 2 3 4		イノベーション・マネジメントⅡ(廃止)	2	3 4		(社会保障論Ⅱ)	2	2 3 4	
生涯学習概論◎	2	1 2 3 4		経営数学Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		金融特別演習Ⅰ	2	2 3 4	経済学特殊講義Ⅰ
博物館資料保存論◎	2	1 2 3 4		経営数学Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		金融特別演習Ⅱ	2	3 4	経済学特殊講義Ⅱ
博物館展示論◎	2	1 2 3 4		経営統計学Ⅱ	2	2 3 4		金融リテラシー講座(資運用編)	2	3 4	
博物館教育論◎	2	1 2 3 4		経営組織論	2	2 3 4		法と言語Ⅰ	2	1 2 3 4	
博物館情報・メディア論◎	2	1 2 3 4		経営戦略論	2	2 3 4		法と言語Ⅱ	2	1 2 3 4	
博物館実習◎	3	3 4		(アントレプレナーシップ論)	2	2 3 4		税法Ⅰ	2	2 3 4	
ポートフォリオ・マネジメント	2	2 3 4		(ビジネス・エコノミクス)	2	2 3 4		税法Ⅱ	2	2 3 4	
リーガル&コンプライアンス	2	2 3 4		イノベーション・マネジメント	2	3 4		税法Ⅲ	2	2 3 4	
証券化商品論(廃止)	2	2 3 4		テクノロジー・マネジメント	2	3 4		税法Ⅳ	2	2 3 4	
※(不動産運用設計論)	2	2 3 4		現代ビジネス事情	2	1 2 3 4		民法概説	2	1 2 3 4	
不動産管理論	2	2 3 4		※中国ビジネス入門	2	2 3 4		民法総則(履修不可)注1	2	2 3 4	
☆☆職業指導Ⅰ	2	1 2 3 4		岡山経営者論Ⅰ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅰ	物権総論	2	2 3 4	
☆☆職業指導Ⅱ	2	2 3 4		岡山経営者論Ⅱ	2	1 2 3 4	経営学特殊講義Ⅱ	担保物権	2	2 3 4	
商学特殊講義Ⅰ	2	2 3 4		(応用情報処理Ⅱ)	2	1 2 3 4		債権総論	2	2 3 4	
商学特殊講義Ⅱ	2	2 3 4		情報管理論	2	2 3 4		商法総則・商行為	4	2 3 4	
※マーケティング特殊講義Ⅰ	2	2 3 4		データベース論	2	2 3 4		会社法概説	2	2 3 4	
※マーケティング特殊講義Ⅱ	2	2 3 4		データベース実践	2	2 3 4		会社法Ⅰ	2	2 3 4	
観光振興論特殊講義	2	2 3 4		(ソフトウェア技術論)	2	2 3 4		会社法Ⅱ	2	2 3 4	
(会計学特殊講義)	2	3 4		情報技術論Ⅱ	2	2 3 4		※知的財産法Ⅰ	2	2 3 4	
経営学特殊講義Ⅰ(廃止)	2	2 3 4		情報システム論	2	2 3 4		※(知的財産法Ⅱ)	2	2 3 4	
経営学特殊講義Ⅱ(廃止)	2	2 3 4		情報ネットワーク論Ⅱ	2	3 4		(英語特別演習01・02)	各1	3 4	
簿記論Ⅲ	2	1 2 3 4		情報社会と情報倫理	2	1 2 3 4		英語特別演習04	1	1 2 3 4	
簿記論Ⅳ	2	1 2 3 4		(ソフトウェア技術演習)	2	2 3 4		(英語特別演習03・05・06・07)	各1	1 2 3 4	
工業簿記Ⅰ	2	1 2 3 4		サーバアプリケーション	2	2 3 4		(外国語特別演習Ⅰ)	1	1 2 3 4	
工業簿記Ⅱ	2	1 2 3 4		計測制御演習	2	2 3 4		☆(日本語基礎演習Ⅰ)	1	3 4	
原価計算論	2	1 2 3 4	原価計算論Ⅰ	プログラミングVB	2	2 3 4		☆(日本語基礎演習Ⅱ)	1	3 4	
原価計算論Ⅱ(廃止)	2	1 2 3 4		アプリケーション作成演習	2	2 3 4		☆日本語特別演習Ⅰ	1	3 4	
(会計学Ⅱ)	2	1 2 3 4		プログラミングJAVA	2	2 3 4		☆日本語特別演習Ⅱ	1	3 4	
財務諸表論Ⅱ	2	2 3 4		情報システム技術	2	1 2 3 4					

() は不開講 ※は隔年開講 ☆印の科目は、3年次編入留学生のみ履修可能
【注意】旧科目(変更前の科目)をすでに修得済みの場合は、新科目は履修できません。
◎学会員科目は、2013年度以前入学生のみ自由選択科目として履修可能
☆☆教職科目：2016年度以後入学生のうち、教職コース生のみ履修可能
注1：「民法総則」2015年度から履修不可

経営学部 商学科 キャリア科目配当表 2013年度以後入学生用

必修科目 6単位											
科目名	単位	配当年次	旧科目名	備 考							
キャリア形成論Ⅰ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅰ※	Ⅰ・Ⅱは1年次に、Ⅲは2年次にクラス指定があります。 ※2017年度から、これまでの「Ⅰ」の内容を「Ⅱ」で行っています。2016年度までに「Ⅰ」を修得済みの場合は、Ⅱは履修できません。同じく「Ⅱ」を修得済みの場合はⅠは履修できません。							
キャリア形成論Ⅱ	2	1 2 3 4	キャリア形成論Ⅱ※								
キャリア形成論Ⅲ	2	2 3 4									

2018

時 間 割

④ 備考欄について

クラス指定や科目の履修制限(履修条件)などが表示されています。(新入生の英語・健康教育科目・キャリア科目については、新入生オリエンテーションでクラス分け表を配布します。)

(例) 経営 001-036 この科目の配当年次が1の場合、クラス指定は1年次生に対するものということになります。(ここでは、クラス指定は学籍番号下3桁で表現されています。)

↑ 学科
↑ クラス

⑤ 教室番号について

7 8 1 →781教室
(7号館8階1番教室)

↑ 建物の番号
↑ 階数
↑ 教室の番号

⑥ 人数制限のある教室(授業)について

パソコンやタブレットを使用して行われる授業には、人数制限があります。(下記教室定員とは別に、人数制限をしている授業もあります。時間割備考欄等で確認のこと。)

132教室(定員50名)〈自習パソコン室〉

321教室(定員88名・演習科目は50名)〈パソコン室〉

711教室(定員30名)〈マルチメディア教室〉

712教室(定員50名)〈ビジネスアクティブラーニングルーム〉

754教室(定員40名)〈グローバル教育アクティブラーニングルーム〉

813教室(定員36名)〈パソコン室〉

3701教室(定員150名)〈アクティブラーニングルーム〉

履修登録は、年2回(前期・後期)それぞれに行います。
時間割は1年間分掲載されています(後期に改めて配布はしません)。 なお、時間割に変更が生じた場合は、掲示でお知らせします。

曜日・時限別

2018年度 時間割 (曜日・時限)

集 中 講 義											
講義コード	科 目 名	単 位	担 当 者	開 講 法	経 営	商	備 考	教 室			
別途募集	総合英語Ⅱ	2	バーデン ビーター	前	1	1	1	1	夏期集中講義(海外語学研修)		
	総合中国語Ⅱ	2	レイ ギョウニイ	前	1	1	1	1	集中講義, 海外語学研修(事前授業, 事後授業, 本学内修了テスト有り)		
	総合ハングルⅠ	1	全 円子	前	1	1	1	1	集中講義, 海外語学研修		
	商学特殊講義Ⅰ	2	岸田 芳朗	前			2	2	地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(8月上旬から9月上旬・国内研修)		
	観光地計画論	2	大石 貴之	前			3	3	地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(国内研修)		
	テーマパークデザイン論	2	大石 貴之	前				2	地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(国内研修)		
30159	観光サービス実習 サーバアプリケーション	2	ソ ユンボン 田中 潔	前			2	2	夏期集中講義 集中講義(8/7-10), 定員16名程度, 教職優先		
別途募集	総合英語Ⅱ	2	バーデン ビーター	後	1	1	1	1	冬期集中講義(海外語学研修)		
	総合中国語Ⅰ	1	レイ ギョウニイ	後	1	1	1	1	集中講義, 海外語学研修(事前授業, 事後授業, 本学内修了テスト有り)		
	総合スポーツ実践	1	大谷 崇正	後	2	2	2	2	スキー, 後期集中講義, 事前説明会有り希望者は出席のこと		
	商学特殊講義Ⅱ	2	岸田 芳朗	後			2	2	地域フィールドスタディー, 春期集中講義(海外研修)		
	31780	アクティブラーニング社会学基礎編	2	岡崎 大輔	後	1	1	1	1	集中講義(12/23-26)・定員30名(1・2年次生を優先)	
31781	アクティブラーニング社会学展開編	2	岡崎 大輔	後	1	1	1	1	集中講義(2/10-13)・定員30名(1・2年次生を優先)		

集中講義については、別途教務課掲示板に掲示をしますので、そちらも必ず確認してください。(日程・教室等、都合により変更になる場合があります。)

■ 注意事項

1. 集中講義を履修する場合、前期開講分は4月Web履修登録期間に、後期開講分は9月Web履修登録期間に履修登録する必要があります。
2. ただし、上記のうち、斜体・網掛け科目については、別途募集をしますので、Web履修登録する必要はありません。(受講により、半期の履修可能単位数とは別に単位認定されます。)
3. 集中講義の科目については、追・再試験の対象とはなりません。(追・再試験の諸条件には該当しません)。
4. 成績評価が間に合わない場合がありますので、卒業予定者の履修には十分注意が必要です。(余裕を持って履修を組むようにしてください。)

集中

集中

担当者別

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
あ 青井 秀夫		専任								
	30558	法哲学Ⅰ	2	水Ⅳ前	2					746
	30559	法哲学Ⅱ	2	水Ⅴ前	2					821
青木 隆		専任								
	32092	健康教育実践	1	火Ⅲ前	1	1	1	1	火Ⅲ, 別紙のとおり	
	32093	中級スポーツ実践	1	水Ⅰ後	2	2	2	2	水Ⅰ, サッカー	
	32083	健康教育実践	1	水Ⅱ後	1	1	1	1	水Ⅱ, 別紙のとおり	
	32046	中級スポーツ実践	1	木Ⅰ後	2	2	2	2	木Ⅰ, バドミントン	
	32084	教養演習	4	木Ⅳ通				1		755
	30061	健康教育論	2	金Ⅰ前	1	1	1	1	金Ⅰ, 別紙のとおり	764
	30062	健康教育論	2	金Ⅰ後	1	1	1	1	金Ⅰ, 別紙のとおり	764
32082	初級スポーツ実践	1	金Ⅲ前	2	2	2	2	金Ⅲ, フットサル		
天野 雅敏		専任								
	31761	研究演習4年	4	火Ⅱ通				4		834
	30699	日本経済史Ⅰ	2	火Ⅳ前	2	2*			*経営:2012年度以前入学生のみ	222
	30700	日本経済史Ⅱ	2	火Ⅳ後	2	2*			*経営:2012年度以前入学生のみ	222
	31616	研究演習3年	4	水Ⅱ通				3		833
	31563	商業史	2	木Ⅱ前				2		831
	31657	ビジネス概論Ⅰ	2	木Ⅲ前	1	1	1*	1	木専 *経営:2012年度以前入学生のみ。ただし木3クワスは商学科1年次生(指定学生)及び3年次編入生のみ	222
	31658	ビジネス概論Ⅱ	2	木Ⅲ後	1	1	1*	1	木専 *経営:2012年度以前入学生のみ。ただし木3クワスは商学科1年次生(指定学生)及び3年次編入生のみ	222
31614	教養演習	4	木Ⅳ通				1		745	
粟屋 剛		専任								
	31829	研究演習3年	4	水Ⅲ通	3					741
	31828	基礎演習	4	木Ⅲ通	2					842
	31823	医療と法	2	木Ⅳ前	2	2				831
31899	研究演習4年	4	木Ⅴ通	4					832	
い 石井 敏弘		非常勤								
	30730	文学を考える	2	木Ⅱ前	1	1	1	1		772
	30731	文学と時代	2	木Ⅱ後	1	1	1	1		772
池田 武彦	非常勤									
31111	岡山講座	2	火Ⅲ前	1	1	1	1		831	
石原 憲		専任								
	31538	芸術Ⅰ	2	火Ⅰ前	1	1	1	1	音楽理論	222
	31539	芸術Ⅱ	2	火Ⅰ後	1	1	1	1	西洋音楽史	762
	31537	教養演習	4	火Ⅳ通		1				816
	31244	キャリア形成論Ⅰ(田中 雅子)	2	水Ⅳ前	1	1	1	1	水Ⅳ, 経済学科	アケブ・ラーニング
	31430	キャリア形成論Ⅱ(長江 由美子)	2	水Ⅳ後	1	1	1	1	水Ⅳ・経済学科	アケブ・ラーニング
	31540	芸術Ⅲ	2	木Ⅰ前	1	1	1	1	音と人	841
31541	芸術Ⅳ	2	木Ⅰ後	1	1	1	1	モーツアルトの音楽	764	
井尻 裕之		専任								
	31920	時系列データ分析	2	月Ⅱ前		2			定員18名	754
	31918	金融システム論	2	月Ⅱ後	2	2	2	2		831
	31900	研究演習4年	4	月Ⅲ通		4				754
	31894	基礎演習	4	月Ⅳ通		2				754
	31919	金融政策	2	火Ⅱ前	2	2	2	2		841
	31949	経済数学	2	火Ⅱ後		1				781
	32099	数学演習	2	火Ⅴ前		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	754
	31869	研究演習3年	4	水Ⅱ通		3				754
	32054	金融特別演習Ⅱ	2	水Ⅲ前	3*	3	3	3	定員24名 *法:企業コース生のみ	754
32053	金融特別演習Ⅰ	2	水Ⅲ後	2*	2	2	2	定員24名 *法:企業コース生のみ	754	
伊藤 治彦		専任								
	30151	研究演習3年	4	月Ⅱ通	3					747
	30152	研究演習4年	4	月Ⅲ通	4					747
	30153	基礎演習	4	火Ⅱ通	2					744
	30149	行政法Ⅲ(行政作用法2)	2	木Ⅱ前	2					762
	30150	行政法Ⅳ(行政救済法)	2	木Ⅱ後	2		2			762
	30147	行政法Ⅰ(基本原理, 行政組織法)	2	木Ⅲ前	2	2	2			782
	30148	行政法Ⅱ(行政作用法1)	2	木Ⅲ後	2	2				782

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
い 今井 英文		非常勤								
	30728	地理学概説 I	2	水 II 前	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	842
	32065	地理学概説 I	2	水 II 前	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	842
	30729	地誌学	2	金 III 前	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	832
	32066	地誌学	2	金 III 前	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	832
岩橋 邦彦		非常勤								
	30140	健康教育実践	1	月 III 前	1	1	1	1	月Ⅲ, 別紙のとおり	
	30137	健康教育実践	1	月 III 後	1	1	1	1	月Ⅲ, 別紙のとおり	
	30142	初級スポーツ実践	1	月 IV 前	2	2	2	2	月Ⅳ, バドミントン	
	30144	中級スポーツ実践	1	月 IV 後	2	2	2	2	月Ⅳ, バドミントン	
	30136	健康教育論	2	火 II 前	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり	764
	30135	健康教育論	2	火 II 後	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり	764
	30102	健康教育論	2	木 III 前	1	1	1	1	木Ⅲ, 別紙のとおり	764
	30103	健康教育論	2	木 III 後	1	1	1	1	木Ⅲ, 別紙のとおり	764
う 宇佐美 雅廣		非常勤								
	31091	警察と法	2	火 IV 前	2	2				841
内田 直樹		非常勤								
	30904	リーガル&コンプライアンス	2	月 V 前	2	2	2	2	遠隔授業	772
内田 浩徳		専任								
	30117	簿記論 I	2	火 IV 前	1	1	1	1	火Ⅳ, 経営学科	782
	30119	簿記論 II	2	火 IV 後	1	1	1	1	火Ⅳ	782
	31321	簿記論 III	2	水 II 前	1	1	1	1		222
	31322	簿記論 IV	2	水 II 後	1	1	1	1		782
	30721	税務会計論 I	2	水 III 前			3	3		743
	32038	研究演習 2年	4	木 II 通			2			832
	31306	研究演習 3年	4	木 III 通			3			832
	31471	研究演習 4年	4	木 IV 通			4		832	
于 琳		専任								
	30980	研究演習 3年	4	火 III 通			3			815
	31318	国際経営論 I	2	火 IV 前		2	2	2		781
	31333	国際経営論 II	2	火 IV 後			2	2		781
	31865	日中ビジネス比較論	2	火 V 後	1	1	1	1	オムニバス	754
	30656	経営管理論 I	2	木 III 前	2		2	2		781
	30657	経営管理論 II	2	木 III 後	2		2	2		781
		31177	研究演習 4年	4	木 IV 通			4		815
お 王 曼柳		専任								
	31479	初級中国語 I	1	月 II 前	1	1	1	1	月Ⅱ	814
	31118	初級中国語 II	1	月 II 後	1	1	1	1	月Ⅱ	814
	31121	初級中国語 I	1	木 II 前	1	1	1	1	木Ⅱ	811
	31122	初級中国語 II	1	木 II 後	1	1	1	1	木Ⅱ	811
大石 貴之		専任								
	31530	観光実務	2	月 II 前				2		742
	31495	観光地理学	2	月 III 後				1		772
	31503	観光経営論	2	月 IV 後			2	2		781
	31246	キャリア形成論Ⅲ(八木 力俊)	2	水 II 前	2	2	2	2	水Ⅱ, 商学科	773
	31513	研究演習 2年	4	木 II 通				2		754
	31615	研究演習 3年	4	木 III 通				3		816
	31762	研究演習 4年	4	木 IV 通				4		816
	31373	テーマパークデザイン論	2	集 前				2	地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(国内研修)	
		31494	観光地計画論	2	集 前			3	3	地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(国内研修)
大谷 崇正		専任								
	30067	初級スポーツ実践	1	月 III 前	2	2	2	2	月Ⅲ, ボウリング	
	31438	初級スポーツ実践	1	木 II 前	2	2	2	2	木Ⅱ, バドミントン	
	30060	教養演習	4	木 IV 通	1					811
	30069	中級スポーツ実践	1	金 III 後	2	2	2	2	金Ⅲ, ボウリング	
	30070	中級スポーツ実践	1	金 V 前	2	2	2	2	金Ⅴ, 柔道	
	30071	中級スポーツ実践	1	金 V 後	2	2	2	2	金Ⅴ, 柔道	
		30112	総合スポーツ実践	1	集 後	2	2	2	2	スキー, 後期集中講義, 事前説明会有り希望者は出席のこと

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
お 岡崎 大輔		非常勤								
	31780	アクティブラーニング社会学基礎編	2	集 後	1	1	1	1	集中講義(12/23-26)・定員30名(1・2年次生を優先)	フテブ・ラーニング
	31781	アクティブラーニング社会学展開編	2	集 後	1	1	1	1	集中講義(2/10-13)・定員30名(1・2年次生を優先)	フテブ・ラーニング
岡田 昌浩		非常勤								
	31771	知的財産法 I	2	金 III 前	2			2		742
長田 貴仁		専任								
	31915	現代ビジネス事情	2	火 II 前	1	1	1	1		832
	31372	経営学 II	2	火 II 後			1	2		832
	31610	研究演習2年	4	火 III 通			2			832
	31613	研究演習3年	4	火 IV 通			3			832
	31749	研究演習4年	4	火 V 通			4			832
	31790	人的資源管理論	2	水 II 後	2	2	2	2		781
小野 敏男		非常勤								
	31518	情報科教育法 I	2	水 IV 前			3	3	教職科目	711
	31519	教育実習 II	2	水 V 前			4	4	教職科目, 4年次生のみ	711
小野 陽美		非常勤								
	31435	健康教育実践	1	月 I 前	1	1	1	1	月 I, 女子	
	31436	健康教育実践	1	月 I 後	1	1	1	1	月 I, 女子	
か 海宝 賢一郎		専任								
	30868	タックスプランニング	2	水 III 前	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	764
	31068	FPタックスプランニング	2	水 III 後	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	756
	31067	FP不動産運用設計	2	木 I 後	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	762
	31520	研究演習2年	4	木 III 通				2		745
	32041	教養演習	4	木 IV 通				1	ファイナンシャルプランニング生のみ	744
	32086	不動産管理論	2	金 I 後				2		762
	30871	相続・事業承継	2	金 III 前	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	762
	31065	FP相続・事業継承	2	金 III 後	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	762
	30869	ライフプランニングと資金計画リスク管理 II	2	金 IV 前	2	2	2	2	2級FP技能士を目指す学生を優先	762
景山 篤		非常勤								
	31820	生涯学習概論	2	水 IV 前	1			1	学芸員科目, 法学部(2011~13年度生)及び経営学部(2009~13年度生)	811
	31822	生涯学習概論	2	水 IV 前	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
香月 恵里		専任								
	30274	初級ドイツ語 I	1	月 II 前	1	1	1	1	月 II	746
	30279	初級ドイツ語 II	1	月 II 後	1	1	1	1	月 II	834
	30284	西洋デザイン史	2	月 III 前			3*	3	*経営:2012年度以前入学生のみ	832
	30809	研究演習2年	4	月 IV 通				2		833
	30276	初級ドイツ語 I	1	木 I 前	1	1	1	1	木 I	746
	30281	初級ドイツ語 II	1	木 I 後	1	1	1	1	木 I	746
	30273	教養演習	4	木 IV 通				1		833
	30277	初級ドイツ語 I	1	金 I 前	1	1	1	1	金 I	746
	30282	初級ドイツ語 II	1	金 I 後	1	1	1	1	金 I	746
	30272	外国文学 II	2	金 II 後	1	1	1	1		832
	30278	初級ドイツ語 I	1	金 IV 前	1	1	1	1	金IV	746
	30283	初級ドイツ語 II	1	金 IV 後	1	1	1	1	金IV	834
	加藤 真也		専任							
32067		金融リテラシー講座	2	火 III 前	1	1	1	1		781
31565		特別演習	2	火 V 前			2		火 V	222
31639		環境経済学 I	2	水 I 前	2	2				831
31640		環境経済学 II	2	水 I 後	2	2				831
31921		計量経済学	2	水 II 前			2			831
31922		中級計量経済学	2	水 II 後			2			831
31925		計量経済分析 I	2	水 III 前			3		定員20名	321
31570		研究演習3年	4	木 I 通			3			821
31923		経済学 I	2	木 II 前	1	1	1	1	木 II, 経済学科対象	631
31924		経済学 II	2	木 II 後	1	1	1	1	木 II, 経済学科対象	831
31634		研究演習4年	4	木 III 通			4			811

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次				備 考	教 室	
					法	経	営	商			
か 加藤 摩耶	専任										
	30832	刑法Ⅲ(各論1)	2	水Ⅲ前	2					742	
	30833	刑法Ⅳ(各論2)	2	水Ⅲ後	2					742	
	30830	刑法Ⅰ(総論1)	2	金Ⅱ前	1					841	
	30831	刑法Ⅱ(総論2)	2	金Ⅱ後	1					841	
	30791	基礎演習	4	金Ⅲ通	2					833	
	30792	研究演習3年	4	金Ⅳ通	3					833	
	31013	研究演習4年	4	金Ⅴ通	4					833	
	加藤 友佳	専任									
		31623	研究演習4年	4	月Ⅱ通	4					研究室
31482		税法Ⅰ	2	火Ⅲ前	2	2	2			773	
31483		税法Ⅱ	2	火Ⅲ後	2	2	2			773	
31486		税法Ⅲ	2	火Ⅳ前	2	2	2			773	
31622	税法Ⅳ	2	火Ⅳ後	2	2	2			773		
蒲 和重	専任										
	30295	研究演習4年	4	火Ⅲ通			4	■特別ゼミ		研究室	
	30294	研究演習3年	4	火Ⅳ通			3	■特別ゼミ		研究室	
	31350	流通システム論Ⅰ	2	水Ⅰ前	1		1			781	
31351	流通システム論Ⅱ	2	水Ⅰ後	1		1			781		
川合 一央	専任										
	30472	経営史Ⅰ	2	火Ⅱ前		2	2			745	
	30473	経営史Ⅱ	2	火Ⅱ後		2	2			745	
	30478	研究演習2年	4	火Ⅳ通		2				757	
	30477	研究演習4年	4	火Ⅴ通		4				843	
	30474	外国書講読Ⅰ	2	水Ⅲ前		3	3			757	
	30475	外国書講読Ⅱ	2	水Ⅲ後		3	3			757	
	30476	研究演習3年	4	木Ⅲ通		3				747	
32036	教養演習	4	木Ⅳ通		1				747		
川本 和則	専任										
	31323	財務諸表論Ⅰ	2	火Ⅱ前	2	2	2	2		781	
	31324	財務諸表論Ⅱ	2	火Ⅱ後	2	2	2	2		841	
	30455	研究演習4年	4	火Ⅲ通		4				744	
	31626	会計学基礎Ⅰ	2	木Ⅱ前		1			経営学科1年次生のみ履修可能	773	
	31627	会計学基礎Ⅱ	2	木Ⅱ後		1			経営学科1年次生のみ履修可能	773	
	30454	研究演習3年	4	木Ⅲ通		3				741	
30996	会計学Ⅰ	2	金Ⅱ後	2	2	1	1		773		
き 菊川 顕	専任										
	30138	健康教育実践	1	火Ⅰ前	1	1	1	1	火Ⅰ, 別紙のとおり		
	30139	健康教育実践	1	火Ⅰ後	1	1	1	1	火Ⅰ, 別紙のとおり		
	30105	健康教育実践	1	火Ⅱ前	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり		
	30104	健康教育実践	1	火Ⅱ後	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり		
	30109	初級スポーツ実践	1	水Ⅰ前	2	2	2	2	水Ⅰ, ソフトボール		
	30106	健康教育実践	1	水Ⅱ前	1	1	1	1	水Ⅱ, 別紙のとおり		
	30111	中級スポーツ実践	1	木Ⅱ後	2	2	2	2	木Ⅱ, バスケット		
	32030	教養演習	4	木Ⅳ通	1					752	
岸田 芳朗	専任										
	31245	キャリア形成論Ⅰ(田中 雅子)	2	水Ⅰ前	1	1	1	1	水Ⅰ, 商学科	アケビ・ラーニング	
	31299	研究演習2年	4	木Ⅰ通			2			761	
	32040	教養演習	4	木Ⅳ通			1			751	
	31181	研究演習4年	4	金Ⅰ通			4			751	
	31239	地域づくり論Ⅰ	2	金Ⅱ前		2	2			781	
	31260	地域づくり論Ⅱ	2	金Ⅱ後		2	2			781	
	31238	商学特殊講義Ⅰ	2	集 前		2	2		地域フィールドスタディー, 夏期集中講義(8月上旬から9月上旬・国内研修)		
	31240	商学特殊講義Ⅱ	2	集 後		2	2		地域フィールドスタディー, 春期集中講義(海外研修)		
岸本 征子	非常勤										
	30696	福祉情報論	2	水Ⅱ前		3				832	

2018年度 時間割 (担当者別)

き

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
岸本 雅之	専任									
	30098	教養特講 I	2	火 I 前	1	1	1	1	留学生のみ	743
	30099	教養特講 II	2	火 I 後	1	1	1	1	留学生のみ	743
	30094	外国文学 I	2	金 II 前	1	1	1	1		772
北川 博史	非常勤									
	30727	地理学概説 II	2	月 IV 後	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	842
	32064	地理学概説 II	2	月 IV 後	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	842
鬼頭 祐紀	専任									
	32034	研究演習3年	4	月 III 通	3					751
	32031	基礎演習	4	月 IV 通	2					751
	30535	物権総論	2	木 I 前	2	2	2	2		762
	30536	担保物権	2	木 I 後	2	2	2	2		754
	31754	債権総論	2	金 I 前	2	2	2	2		762
	30538	不法行為法	2	金 I 後	2					712
吉良 友人	専任									
	30091	簿記論 I	2	月 I 前	1	1	1	1	月 I, 商学科	781
	30092	簿記論 II	2	月 I 後	1	1	1	1	月 I	781
	30118	簿記論 II	2	月 II 後	1	1	1	1	月 II	781
	32037	研究演習2年	4	月 IV 通			2			821
	30085	経営分析論 I	2	水 II 前	3*	3	3	3	*法:企業コース生のみ	821
	30086	経営分析論 II	2	水 II 後	3*	3	3	3	*法:企業コース生のみ	821
	30793	工業簿記 I	2	木 III 前			1	1		841
	30794	工業簿記 II	2	木 III 後			1	1		841
	31967	教養演習	4	木 IV 通			1			321
九鬼 一人	専任									
	30379	科学と哲学	2	木 III 前	1	1	1	1		772
	30380	こころの哲学	2	木 III 後	1	1	1	1		772
	30385	教養演習	4	木 IV 通	1					821
	30785	倫理学 I	2	木 V 後	1	1	1	1		821
	30386	法と論理 I (形式論理)	2	金 III 前	1					831
	30387	法と論理 II (論理トレーニング)	2	金 III 後	1					831
	30381	思考の論理的形式 I	2	金 IV 前	1	1	1	1		821
	30383	哲学概論 I	2	金 V 前	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	821
	32058	哲学概論 I	2	金 V 前	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	821
	30384	哲学概論 II	2	金 V 後	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	821
	32059	哲学概論 II	2	金 V 後	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	821
	國光 類	専任								
32098		経済学演習	2	月 III 後		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	742
31895		基礎演習	4	月 IV 通		2				631
32077		地方財政分析	2	火 V 前	3	3			定員70名	742
32078		地方財政論	2	火 V 後	3	3				831
31959		数学演習	2	水 II 前		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	631
31642		社会政策 II	2	金 IV 前	2	2				841
31641		社会政策 I	2	金 IV 後	2	2				841
31757		研究演習4年	4	金 V 通		4				831
倉持 弘		専任								
	30190	法律学入門	2	月 IV 前	1	1*			*経済学科は2017年度入学の教職課程履修者のみ	831
	31753	契約法	2	月 IV 後	1		1		『民法概説』を履修済であること	831
	30197	基礎演習	4	木 III 通	2					821
	31298	教養演習	4	木 IV 通	1					812
	30965	研究演習4年	4	金 III 通	4					812
	31019	民法概説	2	金 IV 前	1	1	1	1		831
	31020	民法総則	2	金 IV 後	2	2	2	2	『民法概説』を履修済みであること	831
	31025	特別演習 II	2	金 V 前	2				2017年度入学の法学科2年次生のみ。法科大学院志望者向け。履修登録前に科目担当者に相談のこと	843
	31024	特別演習 I	2	金 V 後	1				2018年度入学の法学科1年次生のみ。入学時又は前期末の特別プログラムの説明会に参加することが履修条件	843

く

2018年度 時間割 (担当者別)

	教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次			備 考	教 室		
						法	経	営 商				
こ	小松原 実	専任										
		30239	情報技術論 I	2	月 III 前		2	2		772		
		30240	情報技術論 II	2	月 III 後		2	2		764		
		31355	プログラミングJAVA	2	月 IV 前		2	2	定員20名	711		
		30242	マルチメディア表現	2	火 II 前		2	2	定員20名	711		
		30243	マルチメディア技術	2	火 II 後		2	2	定員20名	711		
		30244	研究演習3年	4	火 III 通			3		711		
		30245	研究演習4年	4	火 IV 通			4		711		
み	佐井 至道	専任										
		30179	研究演習4年	4	火 II 通		3			754		
		30178	研究演習3年	4	火 III 通		3			321		
		31906	統計学総論 I	2	水 II 前	1	1		定員40名程度	712		
		31907	統計学総論 II	2	水 II 後	1	1		定員40名程度	712		
		30173	市場調査論	2	金 II 前		3	3	3	764		
		30174	統計学総論 I	2	金 III 前	1	1		定員70名程度, 経済学科1年次生のみ	321		
		30175	統計学総論 II	2	金 III 後	1	1		定員70名程度, 経済学科1年次生のみ	321		
		30176	経済統計論 I	2	金 IV 前		2	2	2	定員70名程度	321	
		30177	経済統計論 II	2	金 IV 後		2	2	2	定員70名程度	321	
		佐々木 昭洋	専任									
			32050	産業組織論	2	月 II 前	2	2			772	
			32051	経済政策	2	月 II 後	2	2			772	
			31837	経済学 I	2	月 IV 前	1	1	1	1	月IV, 経済学科以外を対象	841
			31838	経済学 II	2	月 IV 後	1	1	1	1	月IV, 経済学科以外を対象	841
32049	経済データ分析		2	月 V 前		2			定員20名	754		
32035	研究演習3年		4	火 II 通		3			761			
32032	基礎演習		4	火 IV 通		2			821			
31955	数学演習		2	火 V 前		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留學生は履修不可	821		
31974	経済学演習		2	水 II 後		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留學生は履修不可	221		
32052	特別演習	2	水 III 後		2			水III	841			
佐藤 豊信	専任											
	31703	研究演習3年	4	月 I 通		3			741			
	31951	地域政策	2	火 II 前	2	2*			*経営:2012年度以前入学生のみ	773		
	31952	地域資源論	2	火 II 後	2		2		773			
	31704	農業経済論	2	火 IV 前	2				831			
	31705	農業政策	2	火 IV 後	2				831			
	31743	基礎演習	4	水 I 通	2				741			
	31758	研究演習4年	4	木 II 通	4				741			
宍戸 圭介	専任											
	30188	法と言語 I	2	火 III 前	1	1	1	1	756			
	30189	法と言語 II	2	火 III 後	1	1	1	1	756			
	32094	基礎演習	4	水 II 通	2				843			
	32095	研究演習3年	4	水 III 通	3				843			
	31248	キャリア形成論Ⅲ(八木 力俊)	2	水 IV 前	2	2	2	2	水IV, 法学科	773		
	31830	法学特殊講義 I	2	木 IV 後	1				841			
柴崎 麻穂	非常勤											
	31854	倫理学概論 I	2	水 II 前	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	745		
	32062	倫理学概論 I	2	水 II 前	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	745		
	31855	倫理学概論 II	2	水 II 後	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	745		
	32063	倫理学概論 II	2	水 II 後	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	745		
島田 伸夫	専任											
	31424	情報社会と情報倫理	2	水 III 後			1	1	教職優先	772		
	30374	情報デザイン I	2	木 I 前				2	定員87名	321		
	30375	情報デザイン II	2	木 I 後				2	定員87名	321		
	30377	研究演習4年	4	木 II 通				4	711			
	30376	研究演習3年	4	木 III 通				3	132			
	30678	コンピュータ処理 I	2	木 V 前	1	1	1	1	定員50名(第1回目に必ず出席のこと)※教職履修者及び経済学科2015年度入学生まで優先	321		
	30680	コンピュータ処理 II	2	木 V 後	1	1	1	1	定員50名(第1回目に必ず出席のこと)※経済学科2015年度入学生まで優先	321		
	30370	情報処理概論 I	2	金 I 前	1		1	1	金 I, 商学科新入生, 経営学科及び商学科3年次編入生対象	781		
	30371	情報処理概論 II	2	金 I 後	1		1	1	金 I	781		

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
し 下谷 直		非常勤								
	31070	所得税法	2	木 I 後	2	2	2			221
	30827	相続税法	2	木 II 後	2	2	2			221
肖 爽		専任								
	30930	初級中国語 I	1	金 III 前	1	1	1	1	金III	814
	30931	初級中国語 II	1	金 III 後	1	1	1	1	金III	814
	31542	初級中国語 I	1	金 IV 前	1	1	1	1	金IV	814
	31543	初級中国語 II	1	金 IV 後	1	1	1	1	金IV	814
白井 諭		専任								
	31698	研究演習3年	4	月 IV 通	3					832
	31850	研究演習4年	4	火 III 通	4					834
	31693	判例講読	2	火 IV 後	1					841
	31243	キャリア形成論 I (田中 雅子)	2	水 III 前	1	1	1	1	水III, 法学科	776・ラーニング
	31429	キャリア形成論 II (長江 由美子)	2	水 III 後	1	1	1	1	水III, 法学科	776・ラーニング
	31694	刑事訴訟法 I	2	木 I 前	2					756
	31695	刑事訴訟法 II	2	木 I 後	2					756
	31697	刑事政策	2	木 II 前	2					756
	31696	現代刑事法	2	木 II 後	2					756
	31699	教養演習	4	木 IV 通	1					842
す 砂川 和泉		専任								
	30390	国際社会と法 I	2	月 II 前	2	2				773
	30391	国際社会と法 II	2	月 II 後	2	2				773
	31026	国際社会と法 III	2	月 III 前	2					831
	31027	国際社会と法 IV	2	月 III 後	2					831
	31081	研究演習4年	4	水 III 通	4					761
	30394	基礎演習	4	木 II 通	2					761
	30392	研究演習3年	4	木 III 通	3					761
	角南 京子		非常勤							
31388		中級英語 III	1	火 III 前	2	2	2	2	火III, 商	755
31389		中級英語 IV	1	火 III 後	2	2	2	2	火III, 商	755
30220		初級英語 I	1	火 IV 前	2	2	2	2	火IV, 先着50名	755
30229		初級英語 II	1	火 IV 後	2	2	2	2	火IV, 先着50名	755
32088		初級英語 I	1	木 IV 前	2	2	2	2	木IV, 先着50名	756
30917		初級英語 II	1	木 IV 後	2	2	2	2	木IV, 先着50名	756
駿河 輝和			専任							
	31969	開発政策	2	水 II 前	3					763
	30214	アジア経済政策	2	水 II 後	3					763
	31961	経済学演習	2	木 I 後	1				2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留學生は履修不可	831
	31773	研究演習3年	4	木 III 通	3					843
	31902	研究演習4年	4	木 IV 通	4					741
	31843	特別演習	2	木 V 前	2				木V	831
	31841	ミクロ経済学	2	金 II 前	2	2	2	2	金II, 経済学科生以外を対象	831
	31842	中級ミクロ経済学	2	金 II 後	2	2	2	2	金II, 経済学科生以外を対象	831
せ 全 円子		専任								
	30490	初級ハングル I	1	水 II 前	1	1	1	1	水II	743
	30492	初級ハングル II	1	水 II 後	1	1	1	1	水II	743
	30496	国際文化論	2	水 III 前		1	1			772
	30823	日本語表現	2	水 III 後	1	1	1	1		764
	30494	日本語 I	1	木 II 前	1	1	1	1	留學生のみ	746
	30495	日本語 II	1	木 II 後	1	1	1	1	留學生のみ	746
	30491	初級ハングル I	1	木 III 前	1	1	1	1	木III	742
	30493	初級ハングル II	1	木 III 後	1	1	1	1	木III	742
	30489	教養演習	4	木 IV 通				1		746
	31595	総合ハングル I	1	集 前	1	1	1	1	集中講義, 海外語学研修	

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次			備 考	教 室
					法	経	営 商		
そ	ソ ユンゾン 専任								
	31354	比較文化論	2	火 IV 前		2*	2	第1回目に必ず出席のこと。*経営:2012年度以前入学生のみ	631
	31353	国際観光論	2	火 IV 後		2*	2	第1回目に必ず出席のこと。*経営:2012年度以前入学生のみ	631
	31183	研究演習4年	4	水 II 通			4		132
	31199	研究演習3年	4	水 III 通			3		132
	31209	観光学概論	2	木 III 前		1	1		631
	31200	研究演習2年	4	木 IV 通			2		631
	31338	観光サービス実習	2	集 前			2	夏期集中講義	
た	大東 正虎 専任								
	30981	研究演習3年	4	火 II 通			3		132
	31252	研究演習4年	4	火 III 通			4		132
	32039	研究演習2年	4	火 IV 通			2		321
	31356	Webデザイン	2	水 I 前	2	2	2	定員75名程度	321
	31357	Webプログラミング	2	水 I 後	2	2	2	定員75名程度	321
	31003	情報管理論	2	水 II 後			2		772
	30938	情報処理概論 I	2	水 III 前	1	1	1	水III, 経営学科新入生対象	831
	30939	情報処理概論 II	2	水 III 後	1	1	1	水III	831
	高林 宏一 専任	30645	FP技能論 I	2	水 I 前	2	2	2	3級FP技能士を目指す学生を優先
30646		FP技能論 II	2	水 I 後	2	2	2	3級FP技能士を目指す学生を優先	821
30901		ライフプランニングと資金計画リスク管理 I	2	水 II 前	1	1	1	3級FP技能士を目指す学生を優先	781
30902		金融資産運用・不動産 I	2	水 II 後	1	1	1	3級FP技能士を目指す学生を優先	222
32045		研究演習3年	4	木 II 通			3	ファイナンシャルプランニング生のみ	834
30810		研究演習2年	4	木 III 通			2	ファイナンシャルプランニング生のみ	744
30849		FP提案書概論 I	2	金 II 前	2	2	2	AFP資格を目指す学生を優先	811
30850		FP提案書概論 II	2	金 II 後	2	2	2	AFP資格を目指す学生を優先	811
30903		タックスプランニング、相続・事業承継	2	金 IV 前	1	1	1	3級FP技能士を目指す学生を優先	773
31064		FPリスク・リタイアメントプランニング	2	金 IV 後	2	2	2		773
瀧澤 栄治 非常勤	31170	大陸法とその歴史 II	2	木 IV 前	2				763
田中 勝次 専任	31916	国際金融論	2	月 II 前	3*	3	3	*法:企業コース生のみ	222
	32033	基礎演習	4	月 IV 通		2			621
	30817	岡山経済分析	2	月 V 前		3			831
	30131	研究演習3年	4	木 III 通		3			622
	30132	研究演習4年	4	木 IV 通		4			622
	30130	特別演習	2	木 V 後		2		木V	222
田中 潔 専任	30154	社会調査実践	4	月 IV 通		3	3	社会調査士をめざす人を優先する	813
	30161	研究演習3年	4	火 II 通			3		813
	30162	研究演習4年	4	火 III 通			4		813
	30160	ネットワークシステム演習	2	木 II 前		2	2		321
	31272	計測制御演習	2	木 II 後		2	2	PC室定員の都合上制限する場合がある, 教職優先	321
	31467	研究演習2年	4	木 IV 通			2		813
	30159	サーバアプリケーション	2	集 前		2	2	集中講義(8/7-10), 定員16名程度, 教職優先	241
田中 雅子 非常勤 ※「キャリア形成論 I」の成績認定者は()内の本学教員	31516	情報科教育法 II	2	月 IV 後		3	3	教職科目	711
	31517	教育実習指導	1	月 V 後		3	3	教職科目	711
	31245	キャリア形成論 I (岸田 芳朗)	2	水 I 前	1	1	1	水 I, 商学科	777(フ・ラーニング)
	31242	キャリア形成論 I (陳 恵貞)	2	水 II 前	1	1	1	水 II, 経営学科	777(フ・ラーニング)
	31243	キャリア形成論 I (白井 諭)	2	水 III 前	1	1	1	水 III, 法学科	777(フ・ラーニング)
	31244	キャリア形成論 I (石原 憲)	2	水 IV 前	1	1	1	水 IV, 経済学科	777(フ・ラーニング)
田中 康秀 専任	31630	日本経済論 I	2	火 III 前	2	2			841
	31957	経済学演習	2	火 III 後		1		2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留學生は履修不可	743
	31632	ミクロ経済学	2	水 III 前	2	2	2	水III, 経済学部生のみ	841
	31633	中級ミクロ経済学	2	水 III 後	2	2	2	水III, 経済学部生のみ	773
	31664	特別演習	2	木 II 前		2		木 II	232
	31621	研究演習3年	4	木 III 通		3			844
	31759	研究演習4年	4	木 IV 通		4			844

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室
					法	経	営	商		
た 田村 直樹	専任									
	31488	ビジネスコミュニケーション入門	2	火 II 前				2	入門科目, 商学科2年次の指定学生のみ	755
	31706	ビジネス概論 I	2	火 III 前	1	1	1*	1	火III *経営:2012年度以前入学生のみ 一部を除き商学科新入生はこのクラスを履修のこと	222
	31707	ビジネス概論 II	2	火 III 後	1	1	1*	1		222
	32072	商業英語 I	2	火 IV 前				2		744
	32073	商業英語 II	2	火 IV 後				2		744
	31763	研究演習4年	4	水 II 通				4		834
	31711	研究演習3年	4	木 III 通				3		834
31710	教養演習	4	木 IV 通				1		834	
湯 文	専任									
	32087	研究演習4年	4	火 III 通				4	■特別ゼミ	蒲研究室
ち 陳 恵貞	専任									
	31242	キャリア形成論 I (田中 雅子)	2	水 II 前	1	1	1	1	水 II, 経営学科	アサヒ・ラーニング
	31249	キャリア形成論 III (八木 力俊)	2	水 III 前	2	2	2	2	水 III, 経営学科	773
	31611	研究演習2年	4	木 II 通				2		132
	31825	情報と職業	2	木 III 前		1	1	1	定員40名程度	321
	32096	教養演習	4	木 IV 通				1	■特別ゼミ	231
	31748	研究演習3年	4	金 II 通				3	■特別ゼミ	712
	31903	研究演習4年	4	金 III 通				4	■特別ゼミ	712
と 陶 静	専任									
	31036	原価計算論	2	火 III 前				1		763
	31038	管理会計論	2	火 III 後				2	3	763
	30116	簿記論 I	2	火 IV 前	1	1	1	1	火IV, 経営学科・商学科2年次以上及び経営学部生以外	772
	32055	連結会計論	2	火 IV 後				2	2	763
	31912	国際会計論	2	水 I 前				3	3	763
	30114	会計監査論 I	2	水 II 前				2	2	764
	30115	会計監査論 II	2	水 II 後				2	2	764
	31966	研究演習4年	4	木 II 通				4		752
	31964	研究演習2年	4	木 III 通				2		751
な 長江 由美子	非常勤 ※「キャリア形成論 II」の成績認定者は()内の本学教員									
	31427	キャリア形成論 II (吉田 信)	2	水 I 後	1	1	1	1	水 I, 商学科	アサヒ・ラーニング
	31428	キャリア形成論 II (中原 敬介)	2	水 II 後	1	1	1	1	水 II・経営学科	アサヒ・ラーニング
	31429	キャリア形成論 II (白井 諭)	2	水 III 後	1	1	1	1	水 III・法学科	アサヒ・ラーニング
	31430	キャリア形成論 II (石原 憲)	2	水 IV 後	1	1	1	1	水 IV・経済学科	アサヒ・ラーニング
中原 敬介	専任									
	31944	中級英語 I	1	火 I 前	1	1	1	1	火 I, 別紙のとおり	753
	30318	中級英語 I	1	火 I 後	1	1	1	1	火 I, 別紙のとおり	753
	31810	中級英語 (TOEIC) I	1	火 II 前	1	1	1	1		753
	31374	中級英語 III	1	火 III 前	2	2	2	2	火 III, 経営005-366	752
	31375	中級英語 IV	1	火 III 後	2	2	2	2	火 III, 経営005-366	752
	31428	キャリア形成論 II (長江 由美子)	2	水 II 後	1	1	1	1	水 II, 経営学科	アサヒ・ラーニング
	31818	中級英語 I	1	木 II 前	1	1	1	1	木 II, 別紙のとおり	753
	31819	中級英語 I	1	木 II 後	1	1	1	1	木 II, 別紙のとおり	753
	30855	中級英語 I	1	木 III 前	1	1	1	1	木 III, 別紙のとおり	753
	31808	中級英語 I	1	木 III 後	1	1	1	1	木 III, 別紙のとおり	753
	30312	教養演習	4	木 IV 通				1		753
	31809	中級英語 I	1	金 II 後	1	1	1	1	金 II, 別紙のとおり	753
	31055	初級英語 I	1	金 III 前	2	2	2	2	金 III, 先着50名	753
	31056	初級英語 II	1	金 III 後	2	2	2	2	金 III, 先着50名	753
中山 秀木	専任									
	30463	研究演習3年	4	火 II 通	3					812
	30459	競争政策と法	4	火 III 前2	2				水 II・火 III ペア	762
	30900	商法総則・商行為	4	火 III 後2	2	2	2	2	水 II・火 III ペア, 経済学部・経営学部の学生は民法概説又は民法総則を履修済みのこと	762
	30459	競争政策と法	4	水 II 前2	2				水 II・火 III ペア	762
	30900	商法総則・商行為	4	水 II 後2	2	2	2	2	水 II・火 III ペア, 経済学部・経営学部の学生は民法概説又は民法総則を履修済みのこと	762
	31741	基礎演習	4	木 II 通	2					812
	30464	研究演習4年	4	木 III 通	4					812

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次			備 考	教 室	
					法	経	営			
な	鳴滝 善計 専任									
	31847	証券市場論 I	2	火 III 前	2		2		772	
	31848	証券市場論 II	2	火 III 後	2		2		772	
	32085	FP金融資産運用設計	2	火 IV 後			2		772	
	31935	企業論 I	2	水 I 前			2		772	
	31936	企業論 II	2	水 I 後			2		772	
	31911	金融資産運用・不動産II	2	水 II 前	2	2	2	2	オムニバス, 2級FP技能士を目指す学生を優先	756
	31006	ポートフォリオ・マネジメント	2	水 III 後	2*	2	2	2	*法: 企業コース生のみ	631
	31904	研究演習4年	4	木 I 通				4	ファイナンシャルプランニング生のみ	751
	31851	研究演習3年	4	木 II 通				3	ファイナンシャルプランニング生のみ	751
に	西 敏明 専任									
	30337	応用情報処理 I	2	月 I 前		1	1	1	定員30名	321
	31858	プログラミングVB	2	月 I 後		2	2	2	定員42名, 教職優先, 「応用情報処理II」修得済の場合は履修できません	321
	31831	情報システム技術	2	月 II 前		1	1	1	定員42名, 教職優先	321
	31857	情報システム論	2	月 II 後			2	2	定員42名, 教職優先	321
	30341	研究演習3年	4	月 III 通				3		321
	30335	経営統計学 I	2	火 IV 前		2	2	2	定員50名	772
	30336	経営統計学 II	2	火 IV 後		2	2	2	定員50名	772
	30342	研究演習4年	4	火 II 通				4		321
	西 春奈 専任	32070	消費者行動論	2	月 III 前	3			3	
32071		商品開発	2	月 III 後			3	3		773
32068		マーケティング論 I	2	火 III 前	1		1	1	商学科以外対象	764
32069		マーケティング論 II	2	火 III 後	1		1	1	商学科以外対象	764
31794		マーケティング論 I	2	火 IV 前	1		1	1	商学科対象	764
31795		マーケティング論 II	2	火 IV 後	1		1	1	商学科対象	764
西浦 公 専任		30233	憲法 I (統治1)	2	月 II 前	1	1			
	30234	憲法 II (統治2)	2	月 II 後	1	1				782
	31742	基礎演習	4	月 IV 通	2					834
	31617	法学 I	2	木 III 前	1	1	1	1		831
	31618	法学 II (日本国憲法を含む)	2	木 III 後	1	1	1	1		831
	30232	教養演習	4	木 IV 通	1					761
	30235	憲法 III (人権1)	2	金 IV 前	2	2	2			764
	30236	憲法 IV (人権2)	2	金 IV 後	2	2	2			764
の 埜村 紳二 専任	30782	政治学入門 I	2	月 II 前	1	1	1	1		763
	31755	政治史	2	月 II 後	2					763
	30170	研究演習3年	4	月 III 通	3					833
	30171	研究演習4年	4	水 III 通	4					833
	30166	政治学 I	2	木 II 前	2					763
	30167	政治学 II	2	木 II 後	2					763
	30165	教養演習	4	木 IV 通	1					843
	は バーデン P. 専任	30248	中級英語 II	1	火 I 前	1	1	1	1	火 I, 別紙のとおり
30675		中級英語 II	1	火 I 後	1	1	1	1	火 I, 別紙のとおり	814
31380		中級英語 II	1	火 II 前	1	1	1	1	火 II, 別紙のとおり	814
31381		中級英語 II	1	火 II 後	1	1	1	1	火 II, 別紙のとおり	814
31691		中級英語 II	1	木 II 前	1	1	1	1	木 II, 別紙のとおり	814
30247		中級英語 II	1	木 II 後	1	1	1	1	木 II, 別紙のとおり	814
30250		中級英語 II	1	木 III 前	1	1	1	1	木 III, 別紙のとおり	814
30251		中級英語 II	1	木 III 後	1	1	1	1	木 III, 別紙のとおり	814
30246		教養演習	4	木 IV 通				1		814
31656		英語特別演習04	1	金 I 前	1	1	3	1	アカデミック・ライティング 定員15名	814
30252		中級英語 II	1	金 II 前	1	1	1	1	金 II, 別紙のとおり	821
30253		中級英語 II	1	金 II 後	1	1	1	1	金 II, 別紙のとおり	821
30257		観光英会話 II	2	金 III 後			2	2		821
31536		総合英語 II	2	集 前	1	1	1	1	夏期集中講義(海外語学研修)	
30747		総合英語 II	2	集 後	1	1	1	1	冬期集中講義(海外語学研修)	

2018年度 時間割 (担当者別)

は	教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室
						法	経	営	商		
は	濱田 陽子		非常勤								
		31766	民事訴訟法 I	2	月 I 前	2					742
		31909	民事訴訟法 II	2	月 I 後	2					742
	伴 恒信		専任								
		31740	教養演習	4	火 II 通			1			742
		31796	教職論	2	火 III 後	1	1	1	1	教職科目	754
		31652	教育方法論	2	水 I 後	2	2	2	2	教職科目	842
		31651	教育史	2	水 II 前	2	2	2	2	教職科目(2015年度以前入学生のみ)	742
		31913	教育史	2	水 II 前	2	2	2	2	教職科目(2016年度以後入学の教職コース生のみ)	742
		31751	教育社会学	2	水 III 後	3	3	3	3	教職科目, 3年次生のみ	832
	31647	教育原理	2	木 I 前	1	1	1	1	教職科目(2015年度以前入学生のみ)	742	
	31750	教育原理	2	木 I 前	1	1	1	1	教職科目(2016年度以後入学の教職コース生のみ)	742	
	31797	道徳教育の理論と方法	2	木 II 前	3	3	3	3	教職科目(中一種免必修), 3年次生のみ	742	
	31650	教育課程論	2	木 IV 前	2	2	2	2	教職科目	743	
ひ	樋上 潔		専任								
		31681	社会科・公民科教育法 I	2	月 II 前	3	3			教職科目, 3年次生のみ	842
		31682	社会科・公民科教育法 II	2	月 II 後	3	3			教職科目, 3年次生のみ	842
		31677	教育実習 I	2	月 III 前	4	4			教職科目(中一種免必修), 4年次生のみ	842
		31683	教育実習指導	1	月 III 後	3	3			教職科目, 3年次生のみ	842
		31678	教育実習 II	2	月 IV 前	4	4			教職科目, 4年次生のみ	842
		31679	社会科教育法 I	2	火 II 前	2	2			教職科目	842
		31680	社会科教育法 II	2	火 II 後	2	2			教職科目	842
		31675	日本史概説 I	2	火 III 前	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	742
		32060	日本史概説 I	2	火 III 前	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	742
		31676	日本史概説 II	2	火 III 後	2	2			教職科目(2016年度以前入学生のみ)	742
	32061	日本史概説 II	2	火 III 後	2	2			教職科目(2017年度以後入学の教職コース生のみ)	742	
ふ	福本 明		専任								
		31559	博物館概論	2	月 IV 前	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
		31571	博物館概論	2	月 IV 前	1	1	1	1	学芸員科目, 法学部(2011~13年度生)・経営学部(2009~13年度生)のみ	811
		31562	博物館教育論	2	月 IV 後	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
		31578	博物館教育論	2	月 IV 後			1	1	学芸員科目, 経営学部(2009~13年度生)のみ	811
		31194	博物館展示論	2	月 V 前			1	1	学芸員科目, 経営学部(2012~13年度生)のみ	811
		31556	博物館展示論	2	月 V 前	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
		31561	博物館資料論	2	火 V 前	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
		31575	博物館資料論	2	火 V 前			1	1	学芸員科目, 経営学部(2009~13年度生)のみ	811
		31192	博物館資料保存論	2	火 V 後			1	1	学芸員科目, 経営学部(2012~2013年度生)	811
		31555	博物館資料保存論	2	火 V 後	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811
		31581	考古学 I	2	水 III 前	1	1	1	1		762
		31085	考古学 II	2	水 III 後	1	1	1	1	「考古学I」を履修済であることが望ましい	762
		31579	博物館実習	3	金 III 通			3	3	学芸員科目, 経営学部(2009~13年度生)のみ, 博物館見学に行くことあるため, できれば金曜は他科目の履修を控えること(特に後期)	811
	31910	博物館実習	3	金 III 通	3	3	3	3	全学部2014年度以後入学生のみ, 博物館見学に行くことあるため, できれば金曜は他科目の履修を控えること(特に後期)	811	
ふ	古川 澄明		専任								
		31792	経営学 I	2	火 I 前	2*	2	1	2	火 I, 経営学科は新入生対象 *法:企業コース生のみ	781
		31793	経営学 I	2	火 I 後	2*	2	1	2	火 I, 経営学科は3年次編入生対象 *法:企業コース生のみ	781
		31775	研究演習2年	4	火 II 通			2			821
		31774	研究演習3年	4	火 III 通			3			712
		31905	研究演習4年	4	火 IV 通			4			754
ま	前田 健一		専任								
		31360	こころの科学	2	火 II 前	1	1	1	1		782
		31361	適応の心理学	2	火 II 後	1	1	1	1		782
		31362	教育相談	2	火 IV 前	2	2	2	2	教職科目	842
		31363	生徒・進路指導の理論と方法	2	火 IV 後	3	3	3	3	教職科目	842
		31307	教職実践演習(中・高)	2	火 V 後	4	4	4	4	教職科目, 4年次生のみ	842
		31247	キャリア形成論Ⅲ(八木 力俊)	2	水 I 前	2	2	2	2	水 I, 経済学科	773
		31365	教育心理学 II	2	水 II 後	3	3	3	3	教職科目(2015年度以前入学生のみ)	832
		32104	教育心理学 II	2	水 II 後	3	3	3	3	教職科目(2016年度以後入学の教職コース生のみ)	832
		31364	教育心理学 I	2	水 III 前	3	3	3	3	教職科目(2015年度以前入学生のみ)	832
		32103	教育心理学 I	2	水 III 前	3	3	3	3	教職科目(2016年度以後入学の教職コース生のみ)	832

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時間	配当学科・年次			備 考	教 室	
					法	経	営			
ま 松井 温文	専任									
	32076	マーケティング特殊講義Ⅱ	2	火Ⅰ後			2	サービスマーケティング	アクティブ・ラーニング	
	31343	経済入門Ⅰ	2	火Ⅲ前			1	入門科目, 商学科1年次の指定学生のみ	アクティブ・ラーニング	
	31344	経済入門Ⅱ	2	火Ⅲ後			1	入門科目, 商学科1年次の指定学生のみ	アクティブ・ラーニング	
	31342	マーケティング入門Ⅱ	2	木Ⅰ後			1	入門科目, 商学科1年次の指定学生のみ	832	
	32057	研究演習3年	4	木Ⅲ通			3		815	
	30022	研究演習4年	4	木Ⅳ通			4		762	
	32056	研究演習2年	4	木Ⅴ通			2		833	
	30017	商業経営論	2	金Ⅱ前			2	2	773	
	30018	広告論	2	金Ⅱ後			2	2	764	
松浦 加寿子	非常勤									
	31816	初級英語Ⅰ	1	金Ⅰ前	2	2	2	2	金Ⅰ, 先着50名	743
	31805	中級英語Ⅰ	1	金Ⅱ前	1	1	1	1	金Ⅱ, 別紙のとおり	743
松浦 美佐子	専任									
	31712	初級英語Ⅰ	1	月Ⅱ前	1	1	1	1	e-learning 定員30名程度、第1回目に調整	アクティブ・ラーニング
	31714	中級英語Ⅰ	1	月Ⅱ前	1	1	1	1		
	31716	上級英語Ⅰ	1	月Ⅱ前	1	1	1	1		
	31862	初級英語Ⅱ	1	月Ⅱ後	1	1	1	1	e-learning 定員30名程度、第1回目に調整	アクティブ・ラーニング
	31863	中級英語Ⅱ	1	月Ⅱ後	1	1	1	1		
	31864	上級英語Ⅱ	1	月Ⅱ後	1	1	1	1		
	31806	中級英語Ⅲ	1	月Ⅲ前	2	2	2	2	月Ⅲ, 法	745
	31856	中級英語Ⅳ	1	月Ⅲ後	2	2	2	2	月Ⅲ, 法	745
	32089	中級英語Ⅰ	1	火Ⅱ前	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり	743
	31945	中級英語Ⅰ	1	火Ⅱ後	1	1	1	1	火Ⅱ, 別紙のとおり	743
	31523	初級英語Ⅰ	1	火Ⅲ前				2	火Ⅲ, 商学科2年次の指定学生のみ	753
	31524	初級英語Ⅱ	1	火Ⅲ後				2	火Ⅲ, 商学科2年次の指定学生のみ	753
	31386	中級英語Ⅰ	1	火Ⅳ前				1	火Ⅳ, 商学科1年次の指定学生のみ	743
	31387	中級英語Ⅱ	1	火Ⅳ後				1	火Ⅳ, 商学科1年次の指定学生のみ	743
	31666	観光英会話Ⅰ	2	木Ⅱ前			2	2		764
	31807	中級英語(TOEIC)Ⅱ	1	木Ⅱ後	1	1	1	1		743
32044	研究演習2年	4	木Ⅳ通				2		221	
松山 忠造	非常勤									
	31417	家族法Ⅰ	2	火Ⅱ前	1					772
	31418	家族法Ⅱ	2	火Ⅱ後	1					772
	31416	法律学概説	2	水Ⅰ前	2	2	2	2	2016年度以前入学の法学科・経済学科の教職課程履修者優先	742
み 三谷 直紀	専任									
	31422	経済学基礎	2	火Ⅴ前		3			経済学部の3年次編入留学生のみ	841
	31370	特別演習	2	火Ⅴ後		2			火Ⅴ	841
	31778	労働経済学Ⅰ	2	水Ⅱ前	2	2				841
	31779	労働経済学Ⅱ	2	水Ⅱ後	2	2				841
	31368	マクロ経済学	2	木Ⅱ前	2	2	2	2	木Ⅱ	781
	31369	中級マクロ経済学	2	木Ⅱ後	2	2	2	2	木Ⅱ	781
	31469	研究演習3年	4	木Ⅲ通		3				765
	31643	研究演習4年	4	木Ⅳ通		4				765
三井 正信	非常勤									
	30445	雇用社会と法Ⅰ	2	木Ⅳ前	2	2				764
	32048	雇用社会と法Ⅱ	2	木Ⅳ後	2	2				764
箕輪 弘嗣	専任									
	31727	使える数学A(線形代数)	2	火Ⅳ前	1	1	1	1		756
	31728	使える数学B(微分と積分)	2	火Ⅴ前	1	1	1	1		834
	31783	データベース論	2	水Ⅰ前		2	2	2		841
	31782	データベース実践	2	水Ⅰ後		2	2	2	定員30名	712
	31746	情報ネットワーク論Ⅰ	2	水Ⅱ前			3	3		772
	31725	情報ネットワーク論Ⅱ	2	水Ⅱ後			3	3	定員87名	321
	31832	アプリケーション作成演習	2	木Ⅰ後			2	2	定員40名程度, 定員超過の場合は教職履修者を優先	712
	31745	研究演習3年	4	木Ⅲ通			3			712
	32081	研究演習4年	4	木Ⅳ通			4			132

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次				備 考	教 室	
					法	経	営	商			
み 三好 宏	専任										
	31396	観光振興論特殊講義	2	火 II 前	2		2	2	オムニバス、第1回目に必ず出席する	アサヒ・ラーニング	
	32075	マーケティング特殊講義 I	2	火 II 後				2	おかやま信用金庫寄附講座	アサヒ・ラーニング	
	31335	研究演習4年	4	水 II 通				4		752	
	31341	マーケティング入門 I	2	木 I 前				1	入門科目、商学科1年次の指定学生のみ	アサヒ・ラーニング	
	31655	地域マーケティング I	2	木 II 前				3		アサヒ・ラーニング	
	31665	地域マーケティング II	2	木 II 後				3		アサヒ・ラーニング	
	31258	研究演習3年	4	木 III 通				3		752	
31296	教養演習	4	木 IV 通				1		773		
も 森岡 悦子	非常勤										
	32090	初級英語 I	1	月 II 前	2	2	2	2	月 II, 先着50名	753	
	32091	初級英語 II	1	月 II 後	2	2	2	2	月 II, 先着50名	753	
	31420	中級英語 III	1	月 III 前	2	2	2	2	月 III, 経営376-716	753	
	31421	中級英語 IV	1	月 III 後	2	2	2	2	月 III, 経営376-716	753	
	31947	中級英語 III	1	月 IV 前	2	2	2	2	月 IV, 経営720-997	753	
	31948	中級英語 IV	1	月 IV 後	2	2	2	2	月 IV, 経営720-997	753	
	守屋 明	非常勤									
		30840	英米法とその歴史 I	2	月 I 前	2					763
	30841	英米法とその歴史 II	2	月 I 後	2					763	
	や 両角 成広	専任									
		30343	西洋史 I	2	火 III 前	1	1	1	1		782
		30344	西洋史 II	2	火 III 後	1	1	1	1		782
30345		教養演習	4	火 IV 通		1				752	
30350		研究演習3年	4	木 III 通			3			757	
30351		研究演習4年	4	木 IV 通			4			757	
30348		西洋経済史 I	2	金 II 前	2	2	2*		*経営:2012年度以前入学生のみ	782	
30349		西洋経済史 II	2	金 II 後	2	2	2*		*経営:2012年度以前入学生のみ	782	
30346		経済史概論 I	2	金 IV 前	1	1	1*		*経営:2012年度以前入学生のみ	772	
30347	経済史概論 II	2	金 IV 後	1	1	1*		*経営:2012年度以前入学生のみ	772		
や 八木 佐智子	非常勤										
	30003	日本事情 I	2	水 IV 前	1	1	1	1	留学生のみ	841	
	30004	日本事情 II	2	水 IV 後	1	1	1	1	留学生のみ	841	
	八木 力俊	非常勤 ※成績認定者は()内の本学教員									
		31247	キャリア形成論 III (前田 健一)	2	水 I 前	2	2	2	2	水 I, 経済学科	831
		31246	キャリア形成論 III (大石 貴之)	2	水 II 前	2	2	2	2	水 II, 商学科	773
		31249	キャリア形成論 III (陳 惠貞)	2	水 III 前	2	2	2	2	水 III, 経営学科	773
	31248	キャリア形成論 III (宍戸 圭介)	2	水 IV 前	2	2	2	2	水 IV, 法学科	773	
	安井 敏晃	非常勤									
		31413	保険論	2	木 II 前	3		3	3		782
31412	リスクマネジメント論	2	木 III 前		2	2	2		773		
柳瀬 昭彦	非常勤										
	31196	博物館情報・メディア論	2	木 V 前			1	1	学芸員科目, 経営学部(2009~13年度生)	811	
	31557	博物館情報・メディア論	2	木 V 前	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後生のみ	811	
	31560	博物館経営論	2	木 V 後	1	1	1	1	学芸員科目, 全学部2014年度以後入学生のみ	811	
31573	博物館経営論	2	木 V 後			1	1	学芸員科目, 経営学部(2009~13年度生)のみ	811		
山下 賢二	専任										
	30811	経済成長論 I	2	月 IV 前		3				773	
	30468	マクロ経済学	2	火 I 前	2	2	2	2	火 I	773	
	30469	中級マクロ経済学	2	火 I 後	2	2	2	2	火 I	782	
	30465	教養演習	4	火 IV 通		1				712	
	30466	国際経済学 I	2	木 I 前	2	2		2		781	
	30467	国際経済学 II	2	木 I 後	2	2		2		781	
	30470	研究演習3年	4	木 III 通		3				711	
30471	研究演習4年	4	木 IV 通		4				711		
山本 二郎	非常勤										
31970	数学演習	2	水 II 前		1			2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	741		

2018年度 時間割 (担当者別)

教員氏名	講義コード	科 目 名	単 位	開講時限	配当学科・年次			備 考	教 室	
					法	経	営 商			
よ	横澤 幸宏		専任							
		31220	研究演習3年	4	水 II 通			3	711	
		31218	研究演習2年	4	水 III 通			2	712	
		31326	研究演習4年	4	金 III 通			4	132	
		31786	イノベーション・マネジメント	2	金 IV 前			3 3	781	
		31787	テクノロジー・マネジメント	2	金 IV 後			3 3	781	
		31784	経営戦略論	2	金 V 前	2	2	2	781	
		31785	経営組織論	2	金 V 後			2 2	781	
		吉田 信		専任						
		32047	特別活動の指導	2	水 I 前	3	3	3 3	教職科目, 3年次生のみ	842
		31427	キャリア形成論Ⅱ(長江 由美子)	2	水 I 後	1	1	1 1	水 I, 商学科	747(フケロ・ラーニング)
		31339	商学のための数学入門	2	水 III 前			1	入門科目, 商学科1年次の指定学生のみ	821
		31340	簿記入門	2	水 III 後			1 1	入門科目, 商学科1年次の指定学生のみ。「簿記論Ⅰ」履修者不可	821
		32043	教養演習	4	木 IV 通			1		742
	31125	職業指導Ⅱ	2	金 II 前			2 2	教職科目(2015年度以前入学生のみ)、「職業指導」を履修していることが望ましい	842	
	31941	職業指導Ⅱ	2	金 II 前			2 2	教職科目(2016年度以後入学生のみ)、「職業指導」を履修していることが望ましい	842	
	31124	職業指導Ⅰ	2	金 II 後			1 1	教職科目(2015年度以前入学生のみ)	842	
	31802	職業指導Ⅰ	2	金 II 後			1 1	教職科目(2016年度以後入学の教職コース生のみ)	842	
	31127	商業科教育法Ⅰ	2	金 III 前			3 3	教職科目, 3年次生のみ	842	
	31128	商業科教育法Ⅱ	2	金 III 後			3 3	教職科目, 3年次生のみ	842	
	31123	教育実習Ⅱ	2	金 IV 前			4 4	教職科目, 4年次生のみ	842	
	31129	教育実習指導	1	金 IV 後			3 3	教職科目	842	
	吉原 睦		非常勤							
	30701	民俗学Ⅰ	2	金 I 後	1	1	1 1		772	
	30702	民俗学Ⅱ	2	金 II 後	1	1	1 1	民俗学Ⅰを履修済み、または同時履修することが望ましい。	772	
れ	レイ ギョウニイ		専任							
		32042	研究演習3年	4	火 IV 通			3	■特別ゼミ	蒲研究室
		30586	日本語Ⅲ	1	水 III 前	1	1	1 1	留学生のみ	753
		30587	日本語Ⅳ	1	水 III 後	1	1	1 1	留学生のみ	753
		31414	日本語特別演習Ⅰ	1	木 III 前	3	3	3	海外からの3年次編入生対象, 特に大学院進学を希望するもの	743
		31415	日本語特別演習Ⅱ	1	木 III 後	3	3	3	海外からの3年次編入生対象, 特に大学院進学を希望するもの	743
		31475	教養演習	4	木 IV 通			1		754
		30966	総合中国語Ⅱ	2	集 前	1	1	1 1	集中講義, 海外語学研修(事前授業, 事後授業, 本学内修了テスト有り)	
		31700	総合中国語Ⅰ	1	集 後	1	1	1 1	集中講義, 海外語学研修(事前授業, 事後授業, 本学内修了テスト有り)	
わ	渡邊 憲二		専任							
		31788	生産マネジメント	2	月 II 前			2 2		841
		31789	フードビジネス論	2	月 II 後			2 2		841
		31671	岡山経営者論Ⅰ	2	月 IV 前	1	1	1 1	ボランティア・プロフェッサー(オムニバス), 定員150名	747(フケロ・ラーニング)
		31672	岡山経営者論Ⅱ	2	月 IV 後	1	1	1 1	ボランティア・プロフェッサー(オムニバス), 定員150名	747(フケロ・ラーニング)
		31468	研究演習3年	4	火 II 通			3		712
		31442	研究演習4年	4	木 II 通			4		712
		31791	中国ビジネス入門	2	木 III 後			2 2	定員40名	754
		31756	教養演習	4	木 IV 通			1		712
		渡辺 寛之		専任						
		31932	地域金融論	2	月 III 前	2	2	2 2		841
		31646	金融工学入門	2	月 III 後	2*	2	2 2	定員40名程度 *法:企業コース生のみ	712
		32100	数学演習	2	月 IV 前		1		2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	843
		32101	経済学演習	2	月 IV 後		1		2017年度以後入学生※3年次編入生及び短期留学生は履修不可	843
	31950	中級経済数学	2	火 III 前		1			242	
	31931	金融論	2	火 III 後	1	1	2 2		841	
	32102	教養演習	4	火 IV 通		1			745	
	31963	ERE演習	2	金 IV 後		2		2017年度以後入学生	821	

講義案内システム 操作マニュアル

岡山商科大学

2015. 4. 1 教務課作成

推薦環境

OS : Windows

ブラウザ : インターネットエクスプローラー6.0以上

講義案内システムの使い方

① 講義案内システムの画面表示

WEBブラウザ (インターネットエクスプローラー) を起動させて、以下のURLを入力してください。

<http://www.osu.ac.jp/students.html>

学生用のトップページが表示されます。

最下部右の「葉っぱ」をクリックすることで、「講義案内システム」のログイン画面が表示されます。



※講義案内システム内には、PDF形式のコンテンツが含まれています。PDF形式のコンテンツが閲覧できない場合は、Adobe Readerをインストールしてください。



クリック

講義案内システムの各種機能については、以下のページより確認できます。

- | | | | | | |
|------------|---|------|-------------------------------|-------|-------|
| (1) 履修登録 | → | 3ページ | (7) E-mailアドレス登録 | → | 9ページ |
| (2) 履修エラー | → | 3ページ | (8) セキュリティシートへの入力 | → | 10ページ |
| 履修科目一覧 | → | 3ページ | (9) wifi出席コードの入力 | → | 10ページ |
| (3) 総合掲示板 | → | 4ページ | (10) 学生カルテの入力 | → | 10ページ |
| (4) 日程表 | → | 5ページ | (11) 成績情報 (学内専用) | → | 12ページ |
| (5) シラバス検索 | → | 6ページ | (12) 学生情報 (学内専用) | → | 12ページ |
| (6) 各種冊子 | → | 8ページ | (13) ★Web履修 (モバイル履修) 申請マニュアル★ | | |
| | | | → | 21ページ | |

② ログイン手順

「学籍番号」, 「パスワード1」及び「パスワード2」を入力し, 「ログイン」ボタンをクリックしてください。(fig.1-1)

※パスワード等の情報は, 別途配布します。

携帯電話用URLの取得
「講義案内システム」の一部の機能は, スマートフォン, 携帯電話でも使用できます。スマートフォン, 携帯電話用のURLは, 「携帯メールにURLを送信する (a)」, あるいは「QRコードを読み取る (b)」のどちらかの方法で取得してください。

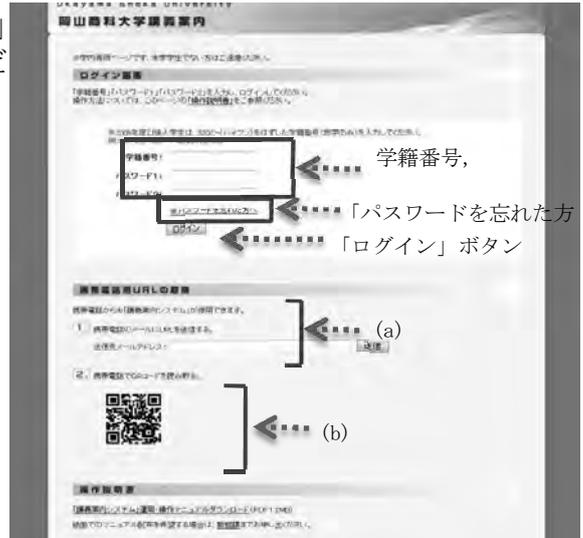


fig.1-1

③ パスワードの再通知

パスワードを忘れた場合は, 「ログイン」ボタン上の「パスワードを忘れた方へ」をクリックしてください。

パスワード再通知画面が表示されます。

(fig.1-2)

「学籍番号」, 「E-mailアドレス」を入力し, 送信ボタンをクリックしてください。

登録されているE-mailアドレス宛に, パスワードが再通知されます。

※パスワード再通知機能を利用する場合は, 講義案内システムへ事前にE-mailアドレスを登録する必要があります。



fig.1-2

④ ログイン後の確認

ログインに成功すると, 「学生メインページ」 (fig.2) が表示されます。

「学生メインページ」の表示後, 以下の2点を確認してください。

1. ユーザー (USER) 情報の確認

右上に学籍番号, 氏名が表示されます。

2. 前回ログイン日時の確認《要注意》

前回利用した日時が表示されます。身に覚えのない日時が表示された場合は, 至急教務課まで申し出て下さい。



fig.2 学生メインページ一覧画面

(1) 履修登録

※履修登録については、21ページからの『★Web履修（モバイル履修）申請マニュアル★岡山商科大学』をご覧ください。

(2) 履修エラー・履修科目一覧

履修エラー及び履修されている科目の一覧が表示されます。（fig.3）
履修エラーがある場合、教務課に申し出てください。

Okayama Shoka University
岡山商科大学講義案内
USER: 99999999999 学生確認用(ガクセイカクニンヨウ)

履修登録、履修エラー

履修登録

エラーが表示されている場合は、教務課カウンターに履修訂正を申し出て下さい。

履修科目一覧

あなたの履修科目を一覧表示しています。
一覧に赤字で表示されている行は履修届が受理されていない講義です。
科目名をクリックすると、科目の詳細情報を表示します。
[講義掲示板]をクリックすると、各科目の掲示板を表示します。

953件中、361件目～390件目までを表示 [前のページ] [次のページ]
[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [11] [12] [13] [14] [15] [16] [17] [18] [19] [20]
[21] [22] [23] [24] [25] [26] [27] [28] [29] [30] [31] [32]

科目名	単位	担当教員	曜日 時間	開講期	教室 コード	講義掲示板	時間割	ホーム ページ
英語特別演習05	1	バーデン ヒーター	木/1	前期1コマ	821	[講義掲示板]	[時間割]	
芸術III	2	石原 寧	木/1	前期1コマ	711	[講義掲示板]	[時間割]	
商業経営論	2	岡本 輝代志	木/2	前期1コマ	331	[講義掲示板]	[時間割]	
行政法III(行政作用法2)	2	伊藤 治彦	木/2	前期1コマ	762	[講義掲示板]	[時間割]	
ネットビジネスシステム演習	2	田中 泰	木/2	前期1コマ	772	[講義掲示板]	[時間割]	ホームページ
六訂改日本語の文字	2	藤野 由子	木/2	前期1コマ	773	[講義掲示板]	[時間割]	
中級英語I	1	バーデン ヒーター	木/2	前期1コマ	821	[講義掲示板]	[時間割]	

②科目名 (fig. 4) ③担当教員 (fig. 5) ④講義掲示板 (fig. 6) ⑤時間割 ⑥ホームページ

fig. 3 履修エラー・履修科目一覧画面

一覧の項目より以下の情報が確認できます。

- ①履修エラー : 履修エラーが表示されます。
- ②科目名 : クリックすることで、シラバス情報が表示されます。（fig. 4）
- ③担当教員 : クリックすることで、担当教員のプロフィールが表示されます。（fig. 5）
- ④講義掲示板 : クリックすることで、選択された講義に関する掲示内容が確認できます。（fig. 6）
- ⑤時間割 : 講義のスケジュールを確認できます。その他、「教室変更情報」、「休講情報」、「補講情報」、「出席情報（セキュリティシート、Wifi出席のみ）」、「講義ビデオ」なども確認できます。（fig. 7）
- ⑥ホームページ : 講義に関する専用のホームページが設置されている場合は、リンクが表示されます。



fig. 4 シラバス情報



fig. 5 担当教員プロフィール



fig.6 講義掲示板

■ 講義情報

科目名	社会経済学	※2014年度法政入学生
担当教員	伊藤 聡子	法2 経済学 経済学 第2
所属学部	経済学部	※2014年度法政入学生
講義1 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義2 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義3 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義4 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義5 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義6 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義7 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義8 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義9 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義10 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義11 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義12 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義13 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義14 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義15 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義16 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義17 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義18 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義19 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義20 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義21 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義22 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義23 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義24 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義25 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義26 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義27 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義28 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義29 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義30 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義31 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義32 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義33 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義34 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義35 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義36 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義37 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義38 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義39 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義40 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義41 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義42 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義43 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義44 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義45 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義46 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義47 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義48 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義49 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2
講義50 科目	経済学	法2 法2 経済学 第2

fig.7 時間割

(3) 総合掲示板

「総合掲示板」では、履修している講義に関するお知らせが全て確認できます。(fig. 8)

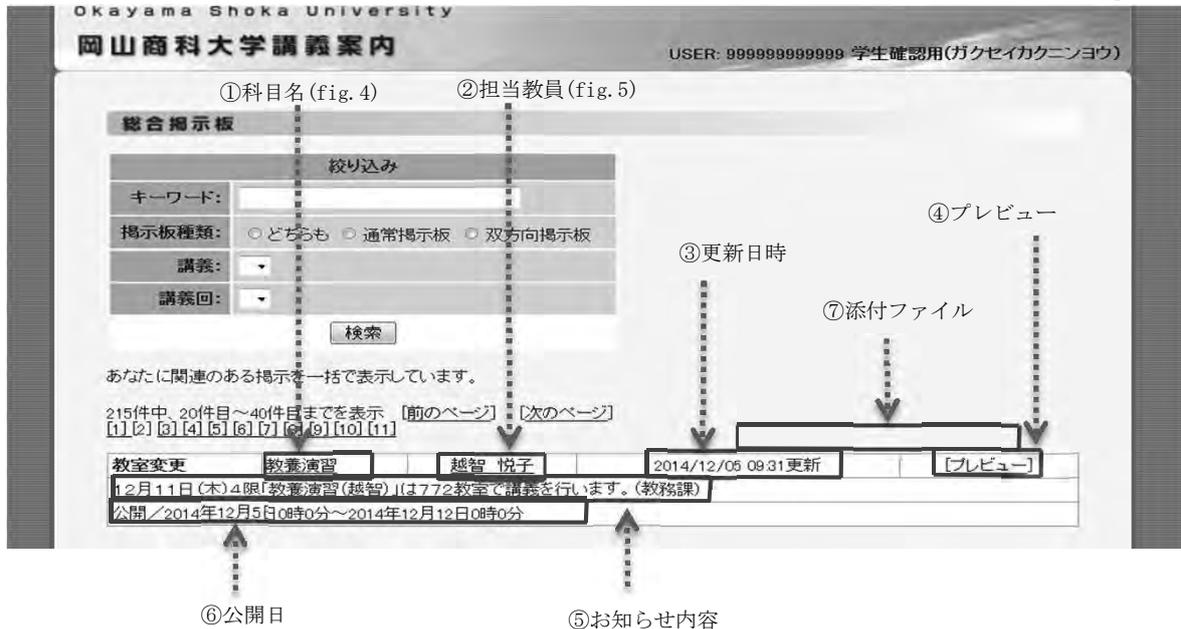


fig.8 総合掲示板画面

- ①科目名 : クリックすることで、シラバス情報が表示されます。(fig. 4)
- ②担当教員 : クリックすることで、担当教員のプロフィールが表示されます。(fig. 5)
- ③更新日時 : 登録(更新)された日時です。
- ④プレビュー : クリックすることで、印刷用の画面が表示されます。ブラウザの印刷機能を利用してプリントしてください。(fig. 9)
- ⑤お知らせ内容 : お知らせ内容が表示されます。
- ⑥公開日時 : 公開されている時間が表示されます。
- ⑦添付ファイル : 関連する資料です。(添付されている場合表示されます)

[教養演習] 講義掲示板

教室変更 ●●●●●●●●●● 2014/12/05 09:31
 12月11日(木)4限「教養演習(●●●)」は772教室で講義を行います。
 (教務課)

(c)2003 All rights reserved Okayama Shoka University

fig.9 印刷プレビュー画面

(4) 日程表

①日程種別の選択画面

日程カテゴリー（ fig. 10 ）を選択してください。



fig.10 日程カテゴリー画面

②詳細画面

選択されたカテゴリーの日程一覧（ fig. 11 ）が表示されます。

「表示」をクリックすることで、詳細画面が表示されます。（ fig. 12 ）



クリック



fig.12 詳細画面

fig.11 日程一覧画面

(5) シラバス検索

① 「年度」「入学年度」の選択

「年度選択画面」(fig. 13) で年度を選択, 「入学年度選択画面」(fig. 14) で入学年度を選択してください。



fig. 13 年度選択画面



fig. 14 入学年度選択画面

② 「学科」「検索種別」の選択

「学科」「検索種別」の順で選択することにより, 各検索画面が表示されます。また, 画面右上の検索フォームより, 「教員名」「講義名」での検索も行えます。(fig. 15)



fig. 15 「学科」「検索種別」選択画面

③ 各検索画面・検索結果一覧画面・詳細画面

各検索画面（fig.16）（fig.17）（fig.18）で選択された検索条件により，検索結果一覧画面が表示されます。（fig.19）

更に，科目名を選択することで，講義概要が表示されます。（fig.20）



fig.16 科目検索画面

fig.17 時間割検索画面

fig.18 コース検索画面



fig.19 検索結果一覧画面



fig.20 講義概要画面

(6) 各種冊子

①冊子カテゴリの選択

冊子カテゴリを選択してください。(fig.21)



fig.21 冊子カテゴリ選択画面

②冊子一覧画面

選択されたカテゴリの冊子一覧が表示されます。(fig.22)

詳細ファイルをクリックすることで、当該の冊子(PDF形式)が表示されます。(fig.23)

※PDFの表示には、Adobe Reader(ほとんどのPCにあらかじめインストールされています)が必要です。

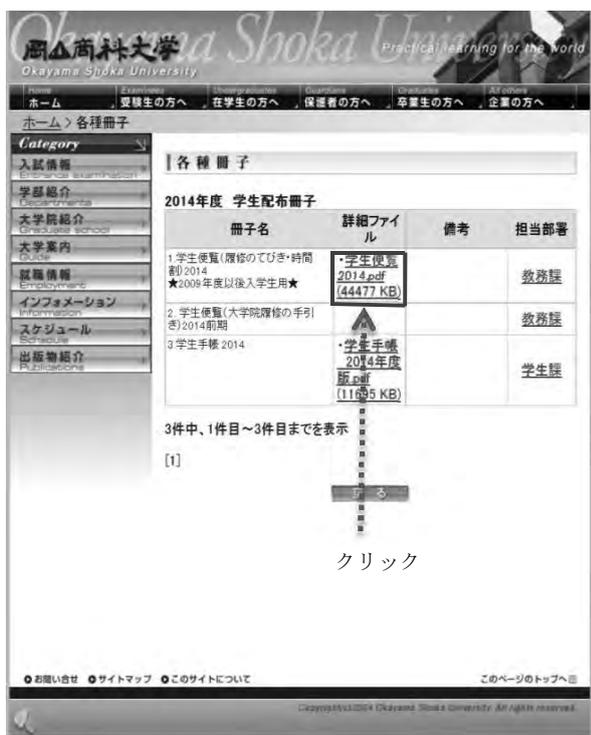


fig.22 冊子一覧画面



fig.23 冊子サンプル (PDF形式)

(7) E-mailアドレス登録

E-mailアドレス登録用の画面が表示されます。(fig. 24)

「E-mailアドレス」「E-mailへの配信」を入力の上、「登録」ボタンをクリックしてください。

「E-mailへの配信」を「希望する」にした場合は、講義掲示板・教室変更・休講・補講等の情報が、登録されたE-mailアドレスに自動配信されます。

※E-mailアドレスは、パソコン用、スマートフォン（携帯電話）用等の2つまで登録可能です。

※登録されたE-mailアドレスは、担当教員及び大学からの連絡にのみ利用します。

※大学でE-mailアドレスを申請している場合は、E-mail1は自動表示されます。

岡山商科大学講義案内

USER: 999999999999 学生確認用(カクセイカクニンヨウ)

E-mailアドレス登録

必要な情報を入力し、登録ボタンを押してください。

1. 大学でE-mailアドレスを申請されている方は、E-mailアドレス1に自動表示されています。
2. 登録されたE-mailアドレスは、担当教員および大学からの連絡のみに利用します。
3. E-mailアドレスは、パソコン用、携帯用など2つまで登録できます。優先的に使用したい方のアドレスをE-mail1に登録してください。

注意: E-Mailへの配信を「希望する」にした場合、講義掲示板・教室変更・休講・補講の情報が自動配信されます。

E-mailアドレスの入力 → Email1: gumibi@po.osu.ac.jp

E-mailへの配信 → 注意→ Email1への配信: 希望しない 希望する

Email2: kyomuka@po.osu.ac.jp

Email2(確認用): kyomuka@po.osu.ac.jp

注意→ Email2への配信: 希望しない 希望する

登録 戻る

↑
登録

(c)2004 All rights reserved Okayama Shoka University

fig. 24 E-mailアドレス登録画面

(8) セキュリティーシートの入力

セキュリティーシートの入力（出席入力）を行います。（ fig. 25 ）

各講義で教員から配布されるセキュリティーシートに記載されている番号とパスコードを入力の上、登録ボタンをクリックしてください。（座席番号は、教員から指示があった場合のみ入力してください。）

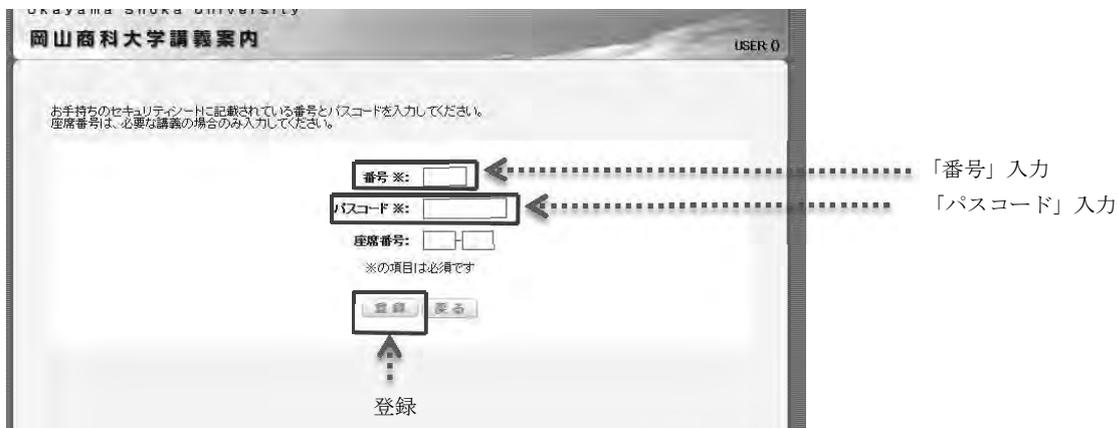


fig. 25 セキュリティーシート入力画面

(9) Wifi出席コードの入力

※wifi出席コードの入力については、13ページからの『スマートフォンを利用したWi-Fi出席登録方法～ 学内のWi-Fiに接続するための準備 ～』をご覧ください。

(10) 学生カルテの入力

学生の皆さんが、自身の情報を各項目毎に入力します。項目によって、入力時期が異なりますので、指示に従って適宜入力してください。（ fig. 26 ）

■ 学生カルテ(学生)

学生確認用 (999999999999)

表示年度: 2011 ~ 2014

種別:

編集モード

■ 学生カルテ(学生)

学生確認用 (999999999999)

表示年度: 2011 ~ 2014

種別:

編集モード

表示年度・種別をそれぞれ選択

学生カルテ(学生)

大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー	▼年度▼
学生自己申告	主な資格(入学時)	語学(日本語・英語等)	2014 追加
		簿記	2014 追加
		その他	2014 追加
	入学後にやりたいこと	勉強分野	2014 追加
		部活動分野	2014 追加
		ボランティア分野	2014 追加
		その他	2014 追加
		進路希望(就職・進学)	2014 追加
	進路	資格(入学後に取得)	2014 追加
		進学(合格した大学院等)	2014 追加
		進学(決定した大学院等)	2014 追加
		その他	2014 追加

入学直後に入力

アルバイト

大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー	▼年度▼
アルバイト	(必ず入力してください)		2014 追加

適宜入力

就職活動

大カテゴリ	中カテゴリ	小カテゴリ	
就職活動情報：内定先	(内定が出たら入力してください)		2014 追加
就職先：決定	(決定したら入力してください)		2014 追加

fig. 26 学生カルテ入力画面(追加をクリック)

■ 学生カルテ編集(学生)

学生確認用 (999999999999)

対象期間	2014年度 > 2015/04/03	←	日付を選択
カテゴリ	学生カルテ(学生) > 学生自己申告 > 入学後にやりたいこと > 勉強分野		
内容	簿記を頑張りたい		
	登録	リセット	戻る

登録をクリック

fig. 27 学生カルテ編集 (学生) 画面

○削除・訂正する場合

中カテゴリ	小カテゴリ	▼年度▼	▲対象期間▲	
格(入学時)	語学(日本語・英語等)	2014 追加		
	簿記	2014 追加		
	その他	2014 追加		
にやりたいこと	勉強分野	2014 追加	2015/03/11	簿記を頑張りたい
	部活動分野	2014 追加		
	ボランティア分野	2014 追加		
	その他	2014 追加		
	進路希望(就職・進学)	2014 追加		
	資格(入学後に取得)	2014 追加		
	進学(大学院等 決定時に入力)	2014 追加		
	その他	2014 追加		

対象の期間から削除するものを選択

■ 学生カルテ編集(学生)

学生確認用 (999999999999)

入力日時	2015/03/11 15:46:49		
対象期間	2014年度 > 2015/03/11		
カテゴリ	学生カルテ(学生) > 学生自己申告 > 入学後にやりたいこと > 勉強分野		
内容	簿記を頑張りたい		
	登録	リセット	戻る
		削除	←

削除の場合は削除

内容を訂正し、登録

(11) 成績情報 (学内専用)

成績情報 (取得済全成績, 本年度履修・成績, 取得単位整理表) が確認できます。
(fig. 28)

※学内からのみ閲覧できます。

※成績情報のコピーを禁じます。不正にコピーすると処罰される場合があります。

fig. 28 成績情報画面

(12) 学生情報 (学内専用)

学生情報 (在学情報, 入学前情報, 学生履歴) が確認できます。 (fig. 29)

※学内からのみ閲覧できます。

※学生情報のコピーを禁じます。不正にコピーすると処罰される場合があります。

fig. 29 学生情報画面

スマートフォンを利用した Wi-Fi 出席登録方法
～ 学内の Wi-Fi に接続するための準備 ～

注意: 必要な情報

講義案内システムログイン情報

- ・「学生番号」
- ・「パスワード 1」
- ・「パスワード 2」

スマートフォンを利用した Wi-Fi 出席登録方法
～ 学内の Wi-Fi に接続するための準備 ～

0. 個人のスマートフォンの登録 (初回のみ必要)

この作業では、LTE、4G、3G などの個人で契約している回線を使用すること。

(1) スマートフォンの MAC アドレス(Wi-Fi アドレス)を調べる

① MAC アドレス調べる。

①-1 iOS(iPhone) の場合

操作: ホーム画面 → 設定 → 一般 → 情報 → Wi-Fi MAC アドレス

①-2 Android の場合(代表的な例)

操作: 設定 > 端末情報 > 端末の状態 > Wi-Fi MAC アドレス

(例) A1:B2:C3:D4:E5:F6 (Wi-Fi MAC アドレス)

② 調べた自分の「MAC アドレス」を下記に記入する。 注意してください。

(例) A 1 B 2 C 3 D 4 E 5 F 6

(自分) : : : : :

(2) 講義案内システムへアクセスする

① ブラウザから下記の URL を入力する。

<http://www.osu.ac.jp/students.html>

忘れられ注意

② ページ右下の葉っぱをクリックする。



(3) 講義案内システムへログインする

① 「講義案内システムログイン情報」を入力する。

講義案内システムログイン情報

- ・「学生番号」 入力
- ・「パスワード 1」 入力
- ・「パスワード 2」 入力

クリック

(4) MAC アドレスを登録する

① 「MAC アドレスの登録」をクリックする。

② 調べた「MAC アドレス」を入力する。

注意: これを間違ると以降の接続不可能

あなたのEmailアドレスを登録して下さい。

授業の受講費
あなたの授業の費を登録して下さい。

MACアドレス登録
出席登録に利用する端末のMACアドレスを登録して下さい。

Okuyama Shoka University
岡山商科大学 講義案内

出席登録に利用する端末のWi-Fi MACアドレスを半角英数字を入力して下さい。
(例: A1B2C3D4E5F6)

Wi-Fi MACアドレス A1 B2 C3 D4 E5 F6
Wi-Fi MACアドレス(確認) A1 B2 C3 D4 E5 F6 (確認のため再度ご入力ください)

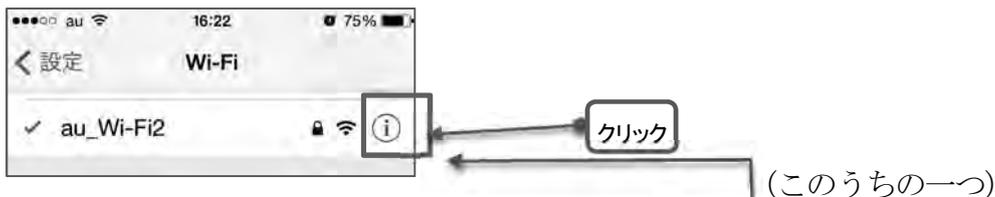
1. 教室ごとの登録 (初回のみ必要)

(1) スマートフォンでWIFIのアンテナを選択する。

(1)-1 iOS(iPhone) の場合

iPhone 用

① 操作: 設定 ⇒ Wi-Fi ⇒ ■教室のアンテナの名前 ■の i マークをクリック



■ 教室のアンテナの名前 ■ について

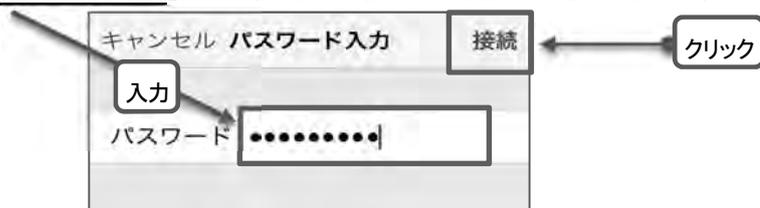
- a. 781教室 ⇒ ROOM-781
- b. 782教室 ⇒ ROOM-782
- c. 図書館7階アクティブラーニングルーム ⇒ LIBRARY-7F

② 「ネットワークに接続」をクリック



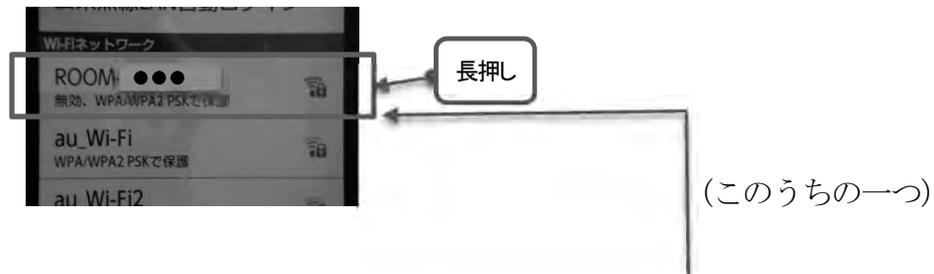
(2) パスワードを入力する

パスワード「osuwifi2214」(半角英数字、英字は小文字)を入力する。



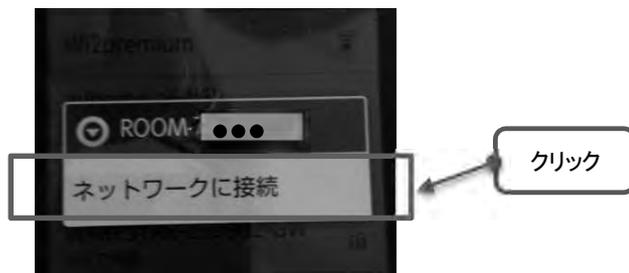
(1)-2 Android の場合

① 設定 ⇒ Wi-Fi ⇒ ■教室のアンテナの名前 ■ を長押し



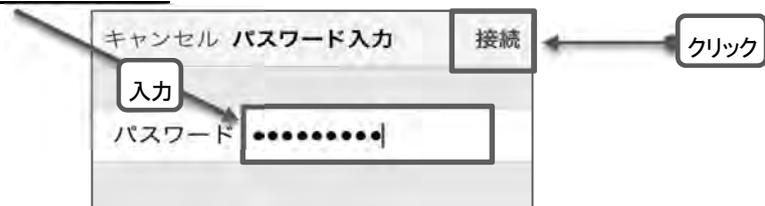
- 教室のアンテナの名前 ■ について
- a. 781教室 ⇒ ROOM-781
 - b. 782教室 ⇒ ROOM-782
 - c. 図書館7階アクティブラーニングルーム ⇒ LIBRARY-7F

② 「ネットワークに接続」をクリック。



(2) パスワードを入力する

パスワード「osuwifi2214」(半角英数字、英字は小文字)を入力する。



2. 講義ごとの登録 (出席登録: 講義で毎回入力)

2.-1 Wi-Fi アンテナへの接続

(1) スマートフォンで Wi-Fi のアンテナを選択する。

①-1 iOS (iPhone) の場合

操作: 設定 ⇒ Wi-Fi ⇒ **■教室のアンテナの名前 ■**を選択

①-2 Android の場合

操作: 設定 ⇒ Wi-Fi ⇒ **■教室のアンテナの名前 ■**を選択

■ 教室のアンテナの名前 ■

a. 781教室 ⇒ ROOM-781

b. 782教室 ⇒ ROOM-782

c. 図書館7階アクティブラーニングルーム ⇒ LIBRARY-7F

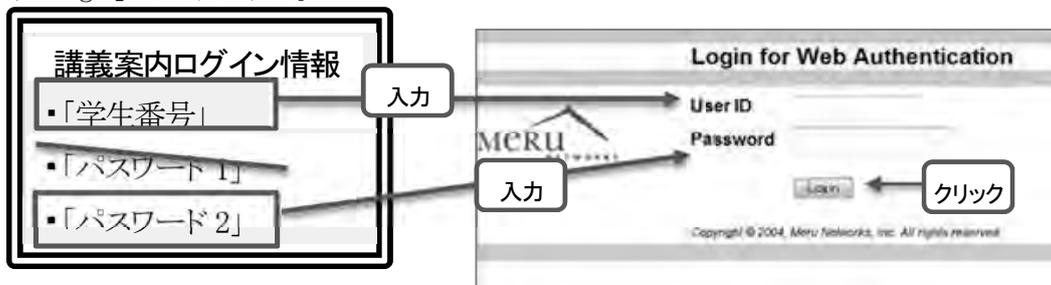
(2) スマートフォンのインターネットブラウザを立ち上げる。

① インターネットブラウザを立ち上げるとログイン画面が表示される。
(例) iOS (iPhone) のブラウザ (例) Android のブラウザ



② 表示された画面にログイン情報を入力する。(ログイン後、1時間有効)

- (ア) 学生番号を「User ID」に入力する
- (イ) パスワード2を「Password」に入力する
- (ウ) 「Login」をクリックする。



ログイン成功時の画面



ログイン失敗時の画面



③ ログインに失敗した時は、①から作業をやり直してください。

④ やりなおしても成功しない場合は、講義案内システムに登録した MAC アドレスが間違っていないか? 講義後に教務課に相談してください。**時間がかかるので講義中にはやり直さないこと。**

「2-2 講義案内システムへの接続」へ進んでください。

2.2 講義案内システムへの接続（確認用）

※0~2-1 までの作業に誤りがないか、確認をします。

(1) 講義案内システムへアクセスする

① ブラウザから下記の URL を入力する

<http://www.osu.ac.jp/students.html>

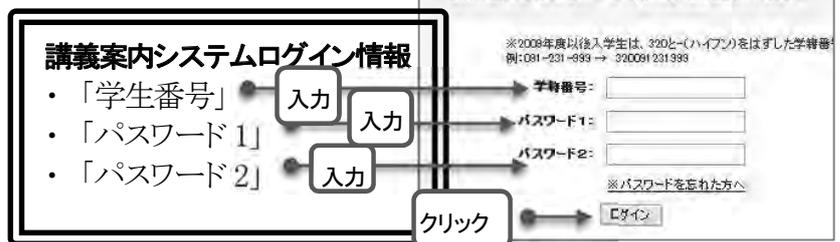
入れ忘れ注意

② ページ右下の葉っぱをクリックする。



(3) 講義案内システムへログインする

① 「講義案内システムログイン情報」を入力する。



(3) 「wifi 出席コードテスト入力」をクリックする



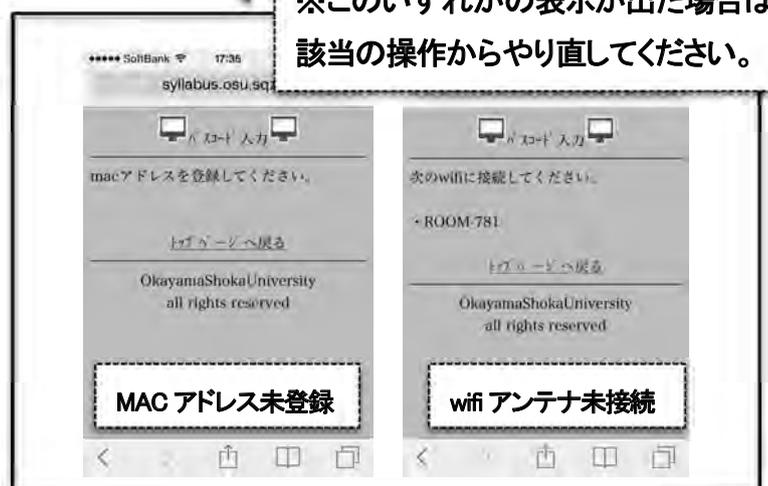
(4) パスコードを入力する

① パスコード(9999)を入力する。

② 登録をクリックする。



※このいずれかの表示が出た場合は、
該当の操作からやり直してください。



2.2 講義案内システムへの接続 (出席登録:講義で毎回入力)

(1) 講義案内システムへアクセスする

- ① ブラウザから下記の URL を入力する
<http://www.osu.ac.jp/students.html>

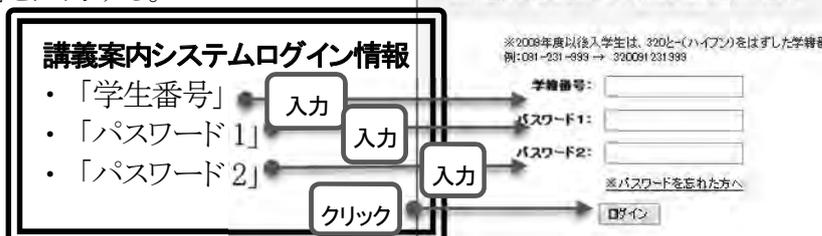
入れ忘れ注意



- ② ページ右下の葉っぱをクリックする。

(2) 講義案内システムへログインする

- ① 「講義案内システムログイン情報」を入力する。



(3) 「wifi 出席コードの入力」をクリックする



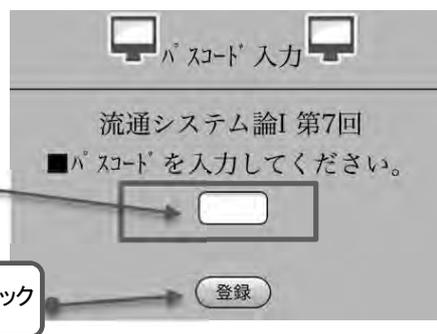
(4) パスコードを入力する

- ① パスコード (講義中に教員から指示される4桁の数字) を入力する
 ② 登録をクリックする

講義中に教員から指示される4桁の数字

入力

クリック



【参考】

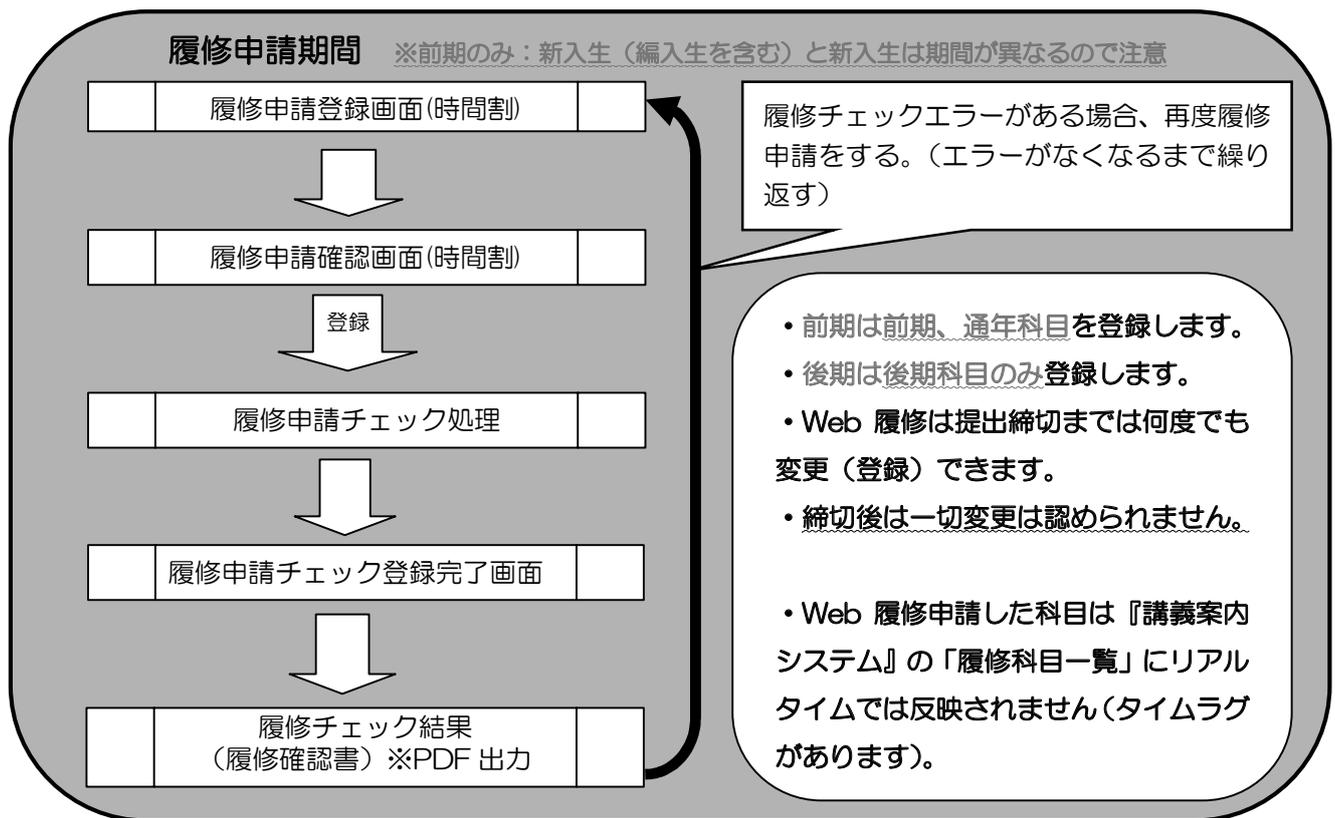
「パスワード入力」画面をブックマーク (お気に入り) に登録すると次回から簡単にアクセスできます。**注意:** 他の人があなたのスマホを操作した時に勝手に情報を見られる恐れがあるので、スマホの管理に注意してください。

★Web履修（モバイル履修）申請マニュアル★

岡山商科大学

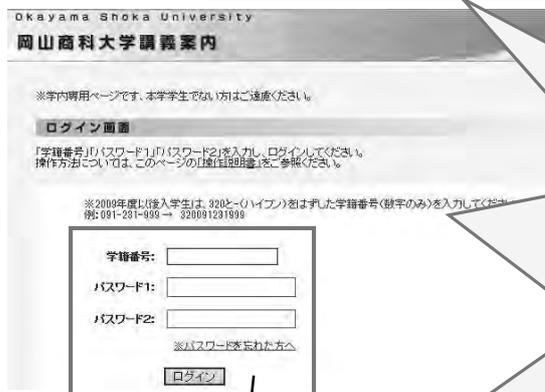
★Web 履修（モバイル履修）申請マニュアル★岡山商科大学

1-1 Web 履修申請全体フロー（Web 履修申請の流れ）



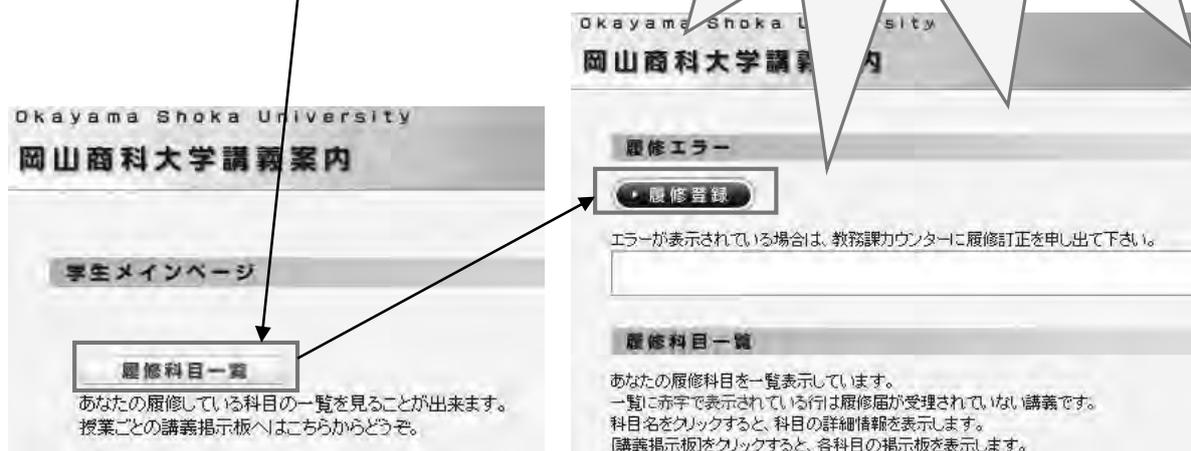
1-2 Web 履修申請の起動

①講義案内システム <http://www.osu.ac.jp/students.html> にログインします。(要パスワード)



！パソコンでの登録を推奨します！
スマートフォンでも登録はできますが、対応していない機種もあります。(iPhone は非対応多数)

②メニュー画面で「履修科目一覧」をクリック



③「履修登録」をクリックすると、「Web 履修申請」メニューが表示されます。

【重要】
講義案内システム
学生メインページ、
Web 履修申請メ
ニュー画面で
自分の名前が表示
されているか必ず
確認のこと。

Web 履修申請はログ
イン後、2時間でタイ
ムアウトします。（放
置しないように注意）

Web 履修申請画面にアクセス
できない（開けない）場合は、
ポップアップブロックがかか
っていないか確認してみま
しょう！（Web 履修申請画面は
別ウィンドウで開くので、ポ
ップアップブロックの解除が必
要です。）

システム終了はこのボタンか右上の×を押します。

クリック

以下のメニューがあります。

- ◆履修状況表示（時間割）・・・現在の履修状況を表示します。
- ◆履修申請（時間割）・・・履修の申請を行います。
- ◆履修チェック結果（時間割）・・・履修申請のチェック結果を表示します。

1-3 履修申請（時間割）

★注意★

- ・履修申請をする前に、学生便覧（履修のてびき・時間割）を熟読し、時間割を組んだ上で、登録を行うこと。（備考欄、クラス指定（主に1・2年次生）にも注意）
（修得済み科目・単位数、不足単位数は講義案内システムの成績情報、成績表で確認）
- ・『1-6 Web 履修に際しての注意事項』（p7）にも必ず目を通すこと。

①時間割形式での通常講義の履修申請 ②集中講義の履修申請 が利用可能です。

①時間割形式での通常講義の履修申請

★注意★
 1～2 年次でクラス指定のある科目、その他学部・学科が指定する一部科目はあらかじめ履修登録されています。「**■** (マイナ)」表示がないものは削除できません。

前期 [**+**] 講義の追加、[**■**] 講義の削除

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
1時限	11132220 国際商務論Ⅱ 黄島 美琴 専門科目 選択科目 203 選択 2単位 前期	永曜日	11131040 会计学 11131040 215 選択 2単位 前期
2時限	10931030 英語Ⅲ 黒岡 節利 共通科目	11111040 演習Ⅳ	10010180 情報活 近藤 節利 共通科目

(1) 新しい講義を選択 (追加)

(2) 選択済みの講義を削除

(3) 科目名クリックでシラバス確認

(1) 「+」講義の追加をクリックした場合

「講義検索」画面が表示され、選択した曜日時限に開講されている講義の内、履修可能な講義が一覧表示されます。(時間割上履修が可能な科目でも、修得済みの場合は表示されません。)

追加を行わない場合はクリック

クリック

(2) 「-」講義の削除をした場合

確認のダイアログが表示されます。

削除してよければ「OK」ボタンをクリックしてください。

クリック

(3) シラバス確認

●履修申請 (時間割) 画面

●講義検索画面

それぞれクリック

②集中講義の履修申請

履修申請(時間割)

SystemD CampusPlan Web Service

メニュー 一徳様 ログイン ログアウト ヘルプ パスワード変更

Web履修申請 Webシラバス Web学生カレン Web就職 Web時間割参照 試験時間割参照 Web掲示板 Web奨学金申請

履修申請(時間割) 【前期】

クリック

進年科目	前期科目	後期科目	集中講義等
0単位	30単位	2単位	4単位

履修時間割 集中講義入力 資格入力

集中講義

講義追加

新しい講義を選択(追加)

該当件数 2件 (1-2件目を表示)

前	講義コード	講義名称	講義副題	関連学別科目	講義開講時期	校地	講義区分	代表教員	科目分類	教室名	必選別	単位数
<input type="checkbox"/>	10010090	日本人のルーツをたどる		日本人のルーツをたどる	通年	鳥丸学院大学(からすまキャンパス)	講義	総野 勇一	共通科目一般教養科目	視聴覚室1	選択	2
<input type="checkbox"/>	11923005	教育実習講義	演習1		通年			沖田 哲	資格科目		選択	2

登録(選択)

科目名クリックでシラバス確認

選択済みの講義を削除(チェックON)

集中講義検索 - Google Chrome

SystemD CampusPlan Web Service

メニュー 一徳様 ログイン ログアウト ヘルプ ウィンドウを開じる

集中講義検索

検索条件設定 (特に明記のない項目は前方一致検索)

講義コード 講義区分

講義名称 代表教員

講義副題 科目分類・科目分野等 (部分一致検索)

学別科目名称

講義開講時期 校地

以上の条件で検索

該当件数 3件 (1-3件目を表示)

講義条件を指定し(開講時期等で)クリック
↓
履修可能な集中講義が一覧表示される
↓※「フィールドスタディ」科目及び「総合スポーツ実践」
↓「語学研修」は別途募集のためWeb履修登録はできません。

前	講義コード	講義名称	講義副題	関連学別科目	講義開講時期	校地	講義区分	代表教員	科目分類	教室名	必選別	単位数
<input checked="" type="checkbox"/>	10010090	日本人のルーツをたどる		日本人のルーツをたどる	通年	鳥丸学院大学(からすまキャンパス)	講義	総野 勇一	共通科目一般教養科目	視聴覚室1	選択	2
<input checked="" type="checkbox"/>	10010091	日本人の歴史		日本人のルーツをたどる	通年	鳥丸学院大学(からすまキャンパス)	講義	総野 勇一	共通科目一般教養科目		選択	2
<input checked="" type="checkbox"/>	11991851	図書館情報学概論II		図書館情報学概論II	通年	鳥丸学院大学(からすまキャンパス)	講義	沖田 総子	資格科目		資格関係	2

シラバス確認

履修する講義を選択(追加)

追加を行わない場合はクリック

登録

ウィンドウを開じる

エラーがある場合、履修確定した講義情報の下にエラーとなった講義の情報が表示されます。

エラー講義		
講義コード	講義名称	エラー内容
10010020	機械工学概論Ⅱ	重複履修チェックエラー
10010180	情報活用Ⅱ	曜日時限重複チェックエラー
10010180	情報活用Ⅱ	重複履修チェックエラー
11102100	コンピュータデータ分析	曜日時限重複チェックエラー

③履修確認書の PDF 出力

PDF ボタンをクリックすることで履修情報（履修確認書）を PDF 出力することができます。



前期

- 必要に応じて、保存ボタンをクリックして PDF ファイルを保存してください。
- 開くをクリックした場合、PDF に関連付いているアプリケーションが起動します。
- ファイル名はデフォルト、学籍番号_YYYYMMDDhhmm.pdf になります。

※履修チェックエラーがある場合、エラー内容も出力されます。

1-5 卒業要件集計欄について

「履修チェック結果」の一番下に表示されます。

今回の履修をした場合の見込みの修得予定単位数及び不足単位数を確認できます。実際の修得状況により必ずしも集計の通りにならない場合もあります。

卒業要件集計欄

卒業要件カリキュラム名称: 09: 経営学部経営学科

	【教養科目】	I 群	II 群	III 群	第1 外国語	第2 外国語	健康教育	教養演習	【専門科目】	共通必修科目	選択必修科目	自由選択科目	【その他教養・専門科目】	【キャリア科目】	<余剰単位数>	総計
要件必要単位数 ①		4	4	4	4	2	4	4		20	22	40	10	6	④	
修得単位数合計(見込み) ②	0	4	2	4	4	2	4	4	0	8	10	0	10	2	0	54
不足単位数(見込み) ③	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12	12	40	0	4	0	70

UP

※この集計表はシミュレーションです。現状の修得単位数は『講義案内システム』の「成績情報」の取得単位整理表で確認してください。（この表は取得単位整理表とは異なります。）

- ①要件必要単位数：それぞれの分類における卒業に必要な単位数（卒業要件単位数）
- ②修得単位数合計（見込み）：今回の履修単位数を全て修得した場合の、修得予定単位数（合計）
- ③不足単位数（見込み）：今回の履修単位数を全て修得した場合の、卒業要件単位数に対する不足単位数
- ④余剰単位数：分類のどこにも該当しない（卒業要件単位数にカウントされない）単位数

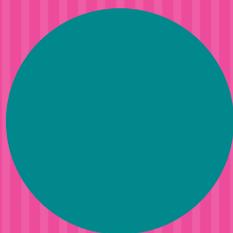
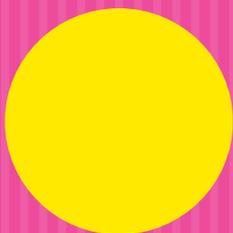
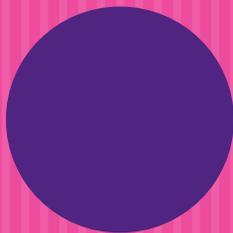
★ 注意事項 ★

- 卒業要件に含まれない科目は集計されません。
- 後期履修申請時に成績評価が出ていない科目（通年科目・集中講義）がある場合は、その単位数も集計に含まれています。
- （4年生のみ）「重複履修科目」がある場合、単位数は1科目分でカウントされます。

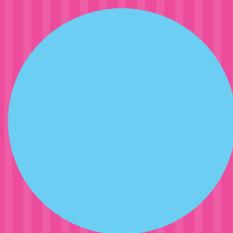
1-6 【重要】Web 履修に際しての注意事項

- ①履修申請画面で選択できても、履修が認められないケースがあります。
 - 名称が変わる前の科目を既に修得していた場合 ※履修チェックの時点でエラーとなります。
- ②履修登録が完了しても(エラーにならなくても)履修が認められないケースがあります。
 - 時間割備考欄(シラバス備考欄)等で履修対象者が限定(指定)されている場合(クラス指定・定員がある場合など)
 - ※定員がある科目は、第1回目の講義に必ず出席して指示を受けてください。定員漏れした場合は、履修エラー訂正期間に変更手続きをとってください。
 - ※クラス指定(主に1・2年次)がある科目のクラスを変更することはできません。やむを得ず指定外のクラスを履修する場合は、事前にあるいは第1回目講義で、必ず担当教員の許可を得てください。
- ③第2外国語(英語以外の外国語)の履修について
英語以外の外国語の履修を希望する場合は、「第2外国語申込書」の提出が必要です(4月に前後期分申込、履修申請画面からは申請・選択はできません)。結果は掲示板で確認します。1次募集に漏れた場合は2次募集に申し込みます。履修登録は教務課でしますので(変更不可)、履修科目一覧で必ず確認してください。
- ④他学部・他学科科目の履修について
他学部・他学科の科目の履修を希望する場合は、「他学部・他学科授業科目 受講申請書」の提出が必要です(履修申請画面からは申請・選択はできません)。申請書の提出後、Web 履修登録が可能になりますので、期間内に各自 Web 履修登録をしてください。
 - ※前期のみ:新入生(編入生を含む)は申請書提出後、教務課で履修登録を行います。(自分で Web 履修登録する必要はありません。)
 - ※他学部・他学科履修申請した科目については「【注意】他学部科目の履修あり」のエラーが表示されますが、修正する必要はありません(修正はできません)。
 - ※「他学部・他学授業科目 受講申請書」が受理された場合でも、授業開始後に定員オーバー他、担当教員の判断により受講が断られることがあります。その場合は、エラー訂正期間内に変更手続きをとってください。
- ⑤重複履修について(4年次生のみ)
重複履修した場合、「重複履修あり」のエラーが表示されますが、意図的に重複履修したものについては修正する必要はありません(エラー表示が出たままでも問題ありません)。
- ⑥教職科目の履修について(新規申込者)
教職科目は教職課程申込者しか履修できません(申請画面にも表示されません)。新規に教職課程を申し込む場合は、所定の期日までに申し込みを行い、その上で履修登録の期間内に各自 Web 履修登録してください(教職課程申込後、Web 履修登録が可能となります)。
- ⑦(3年次編入生のみ)教養科目及びキャリア科目の履修について
3年次編入生は入学時に「教養科目」「キャリア科目」を全て単位認定します。Web 履修申請では教養科目・キャリア科目も選択できますが、卒業要件単位数には含まれませんので注意してください。

上記以外とは別に、科目担当教員から指示がでることがあります。
掲示板はこまめに確認しましょう!



OKAYAMA
SHOKA
UNIVERSITY



HAND BOOK
2018

HAND BOOK
2018



OKAYAMA
SHOKA
UNIVERSITY

